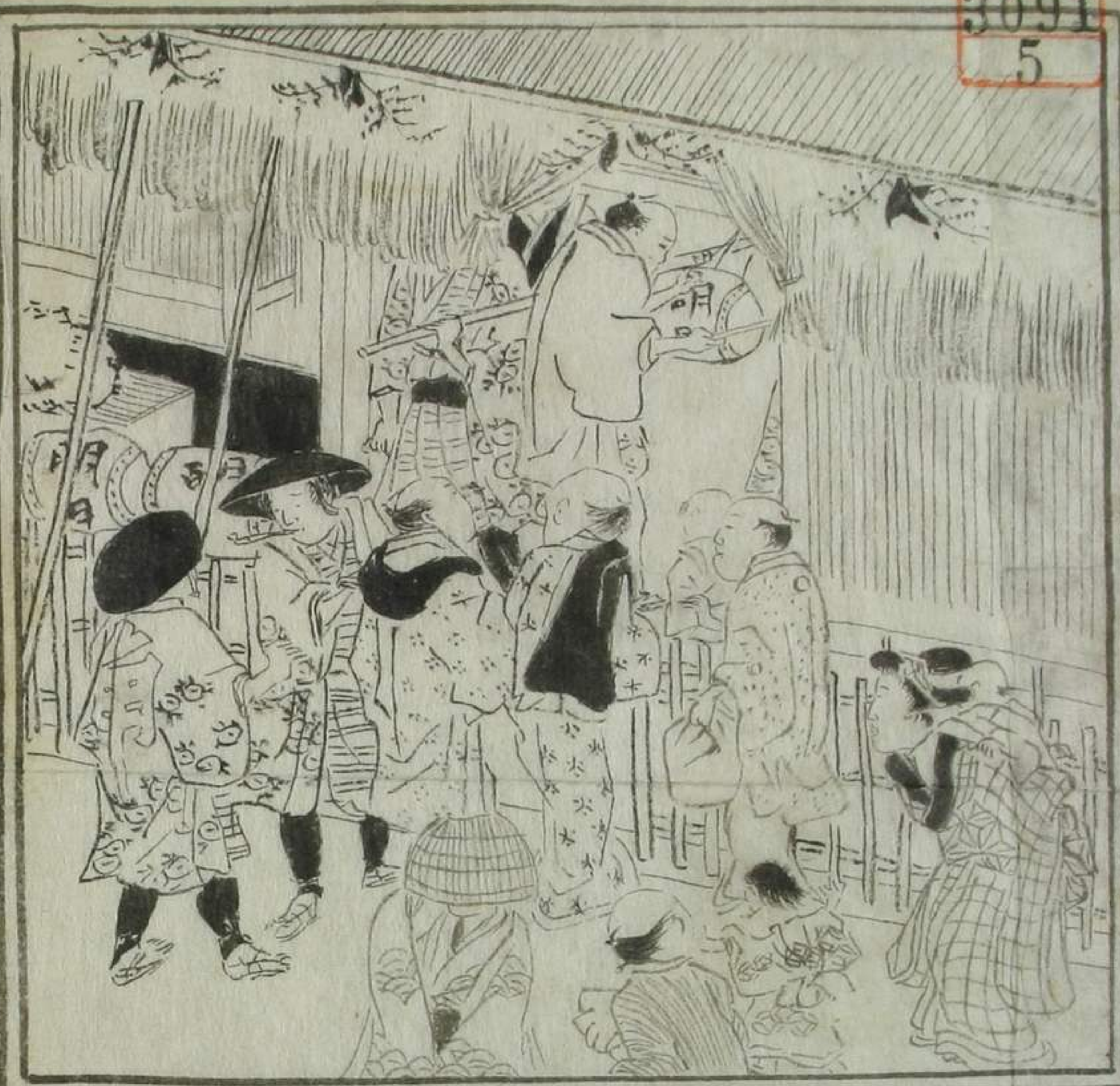
正本製五編六編　双蝶々

五

へ13
3091
5

特
へ13
3091
5



三ケら此太鼓ハ初日のお日芝居より作者その芝居の狂言を手代役者を初めよりすへて芝居へ町くらくに着のところへ持ちて太鼓を打廻るり此附状を出されより大坂中の町々へ芝居典のものを世五打廻りて後芝居にかどろ太木戸より狂言よきるとき宗座よりその太鼓を合せて打一ノ座役者舞臺に住ところ三ツ乃太鼓打あろし打切れを合図に役者一度に手をあげ国出ていくと暮せのふる形も

五渡亭
國貞誌

# 版元　西村屋與八

正本製
五編目
## 歌川國貞難波土産

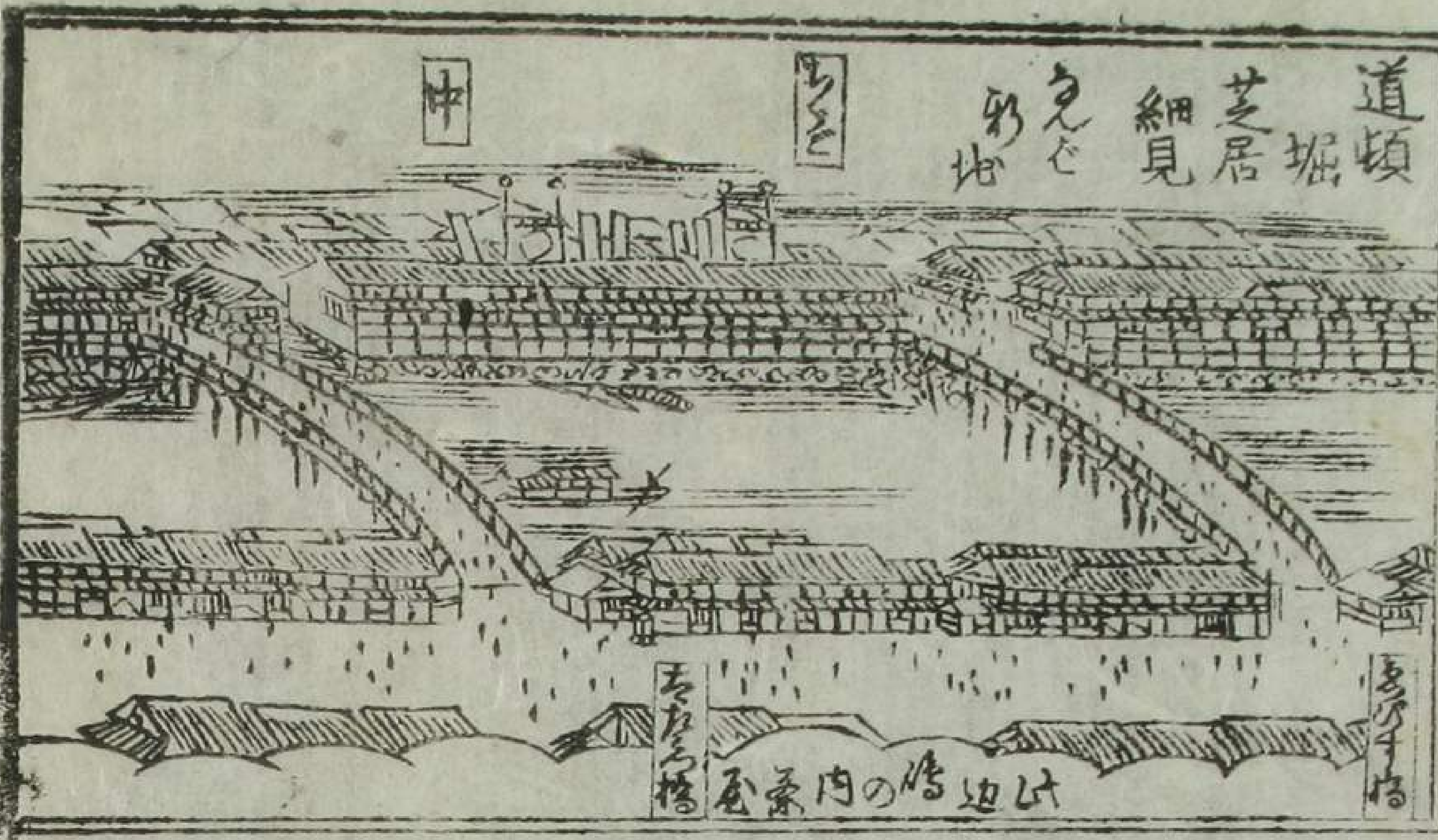
雛の浪花梅の薫に遊ぶ
## 吾妻花双蝶々

繪草紙六冊

作者　柳亭種彦
校合　萍亭柳菊
筆耕　藍庭晋米

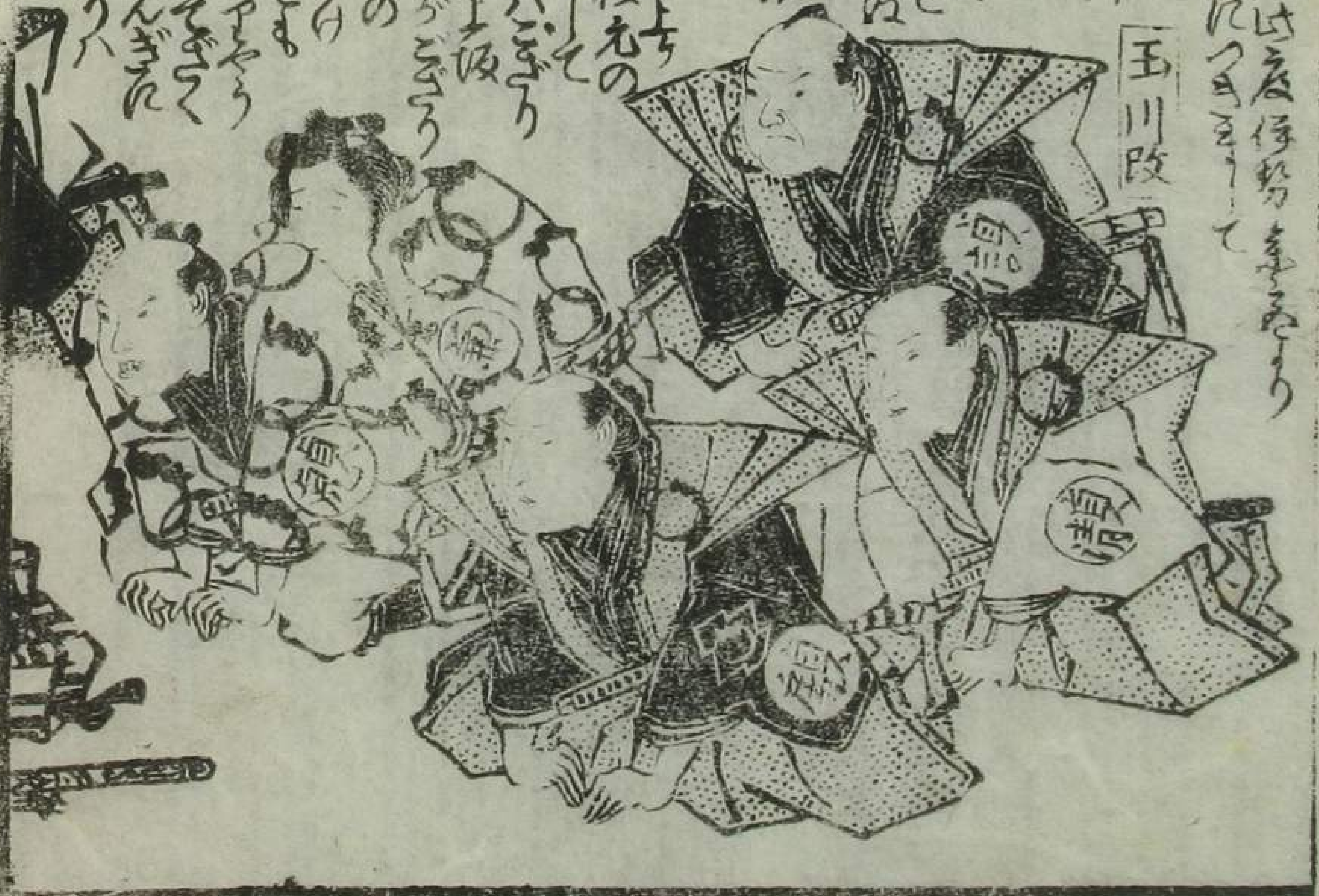
千亀万歳
ちくり

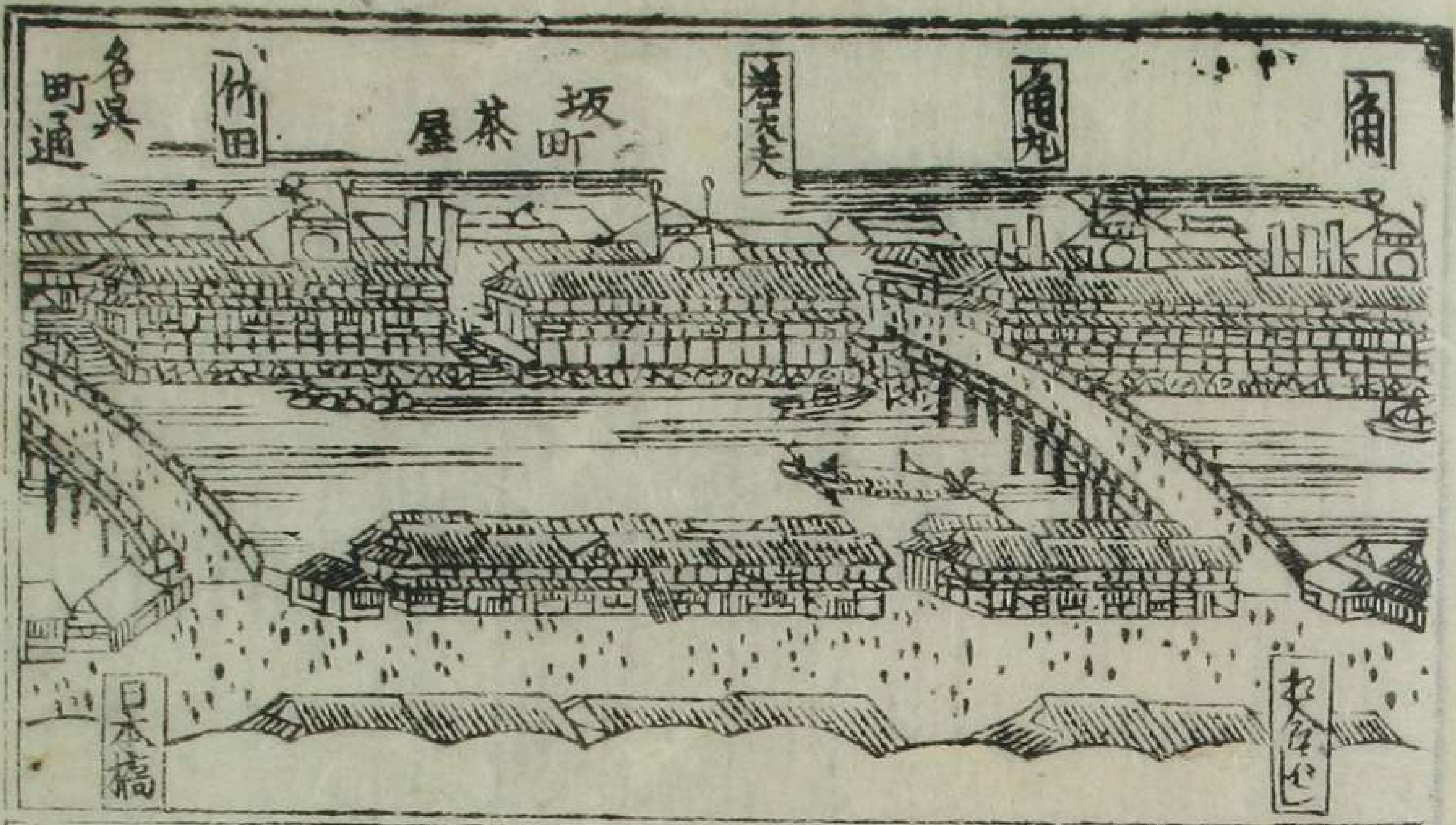
彫工　江川留吉


道頓堀
芝居細見
えど彩地
ちくご
中
太左衛門橋
此辺嶋の内茶屋
戎ばし

国貞口上　私ぎ此度伊勢参宮より
上坂いたしましたにつきまして
当地の芝居の
ありがたさを御ひいき
おかげにて先年貞八
あらためまする
申す板元の手すじ
めにかかりまして
又此たびまかりでましたね
ふつつかなる筆
ござりますれど御らんに
いれます

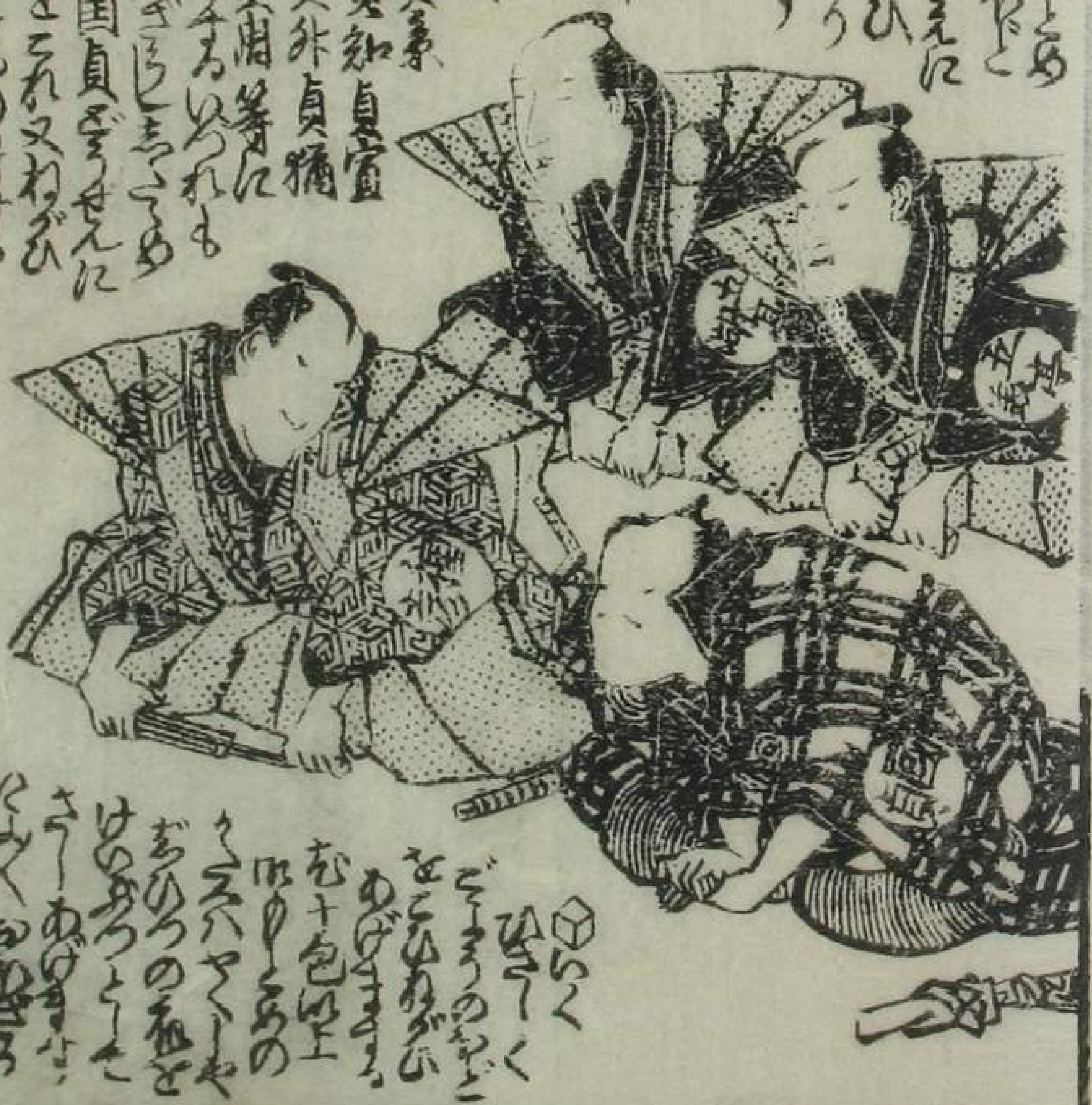
錦義堂　国貞せんせい
すすめにより板元の
たのみにまかりまして
筆を入れましてござります
けれども私八上坂
住りましてござりますが
まだねばり此地の
様子がとんとわかり
ませんゆゑどなたでも
おしへてくださりますやう
そこの所をおたのみ申します
あてることが出来ませぬ
ありがたきおひいきの程
百をたのみます

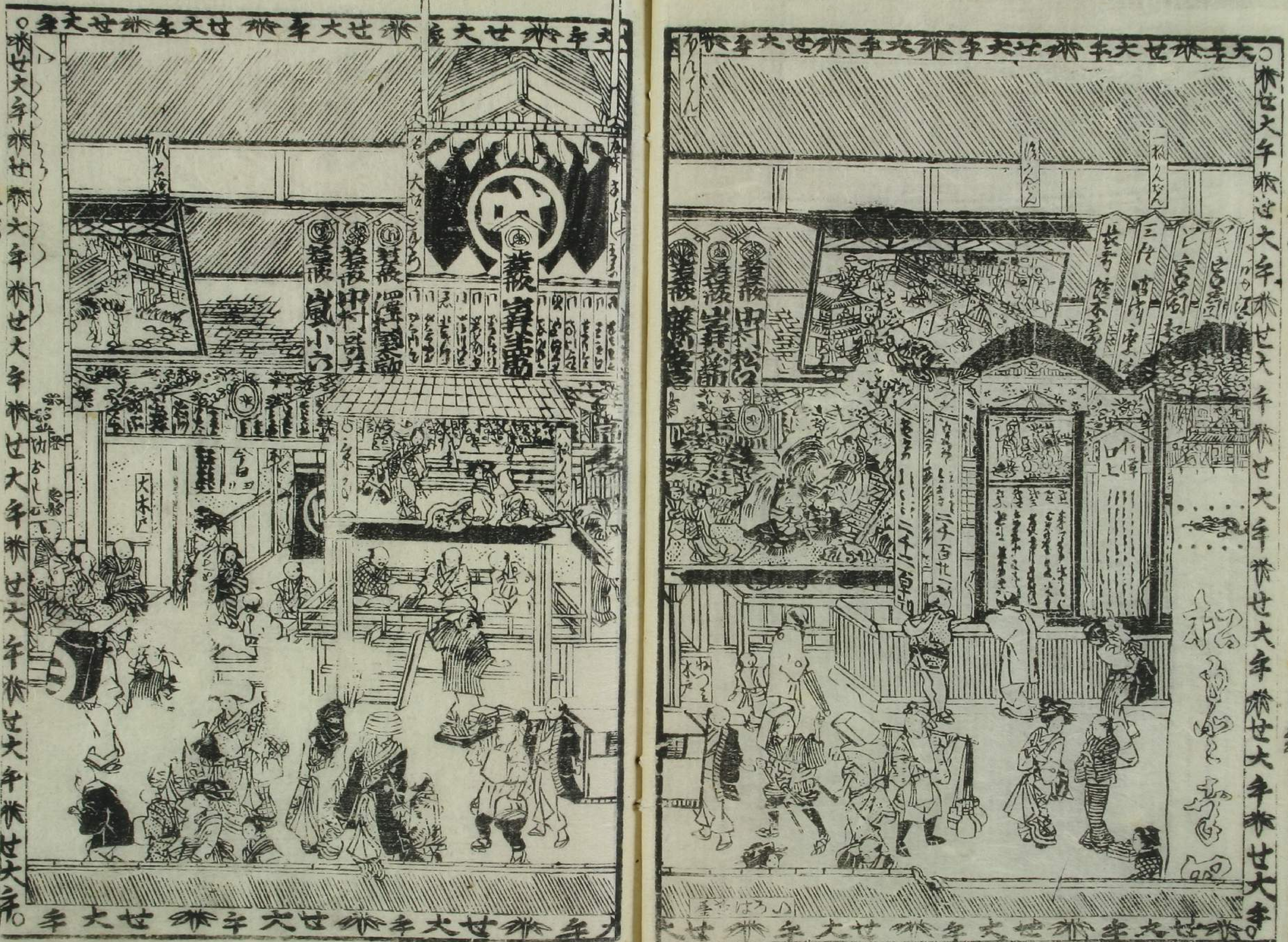


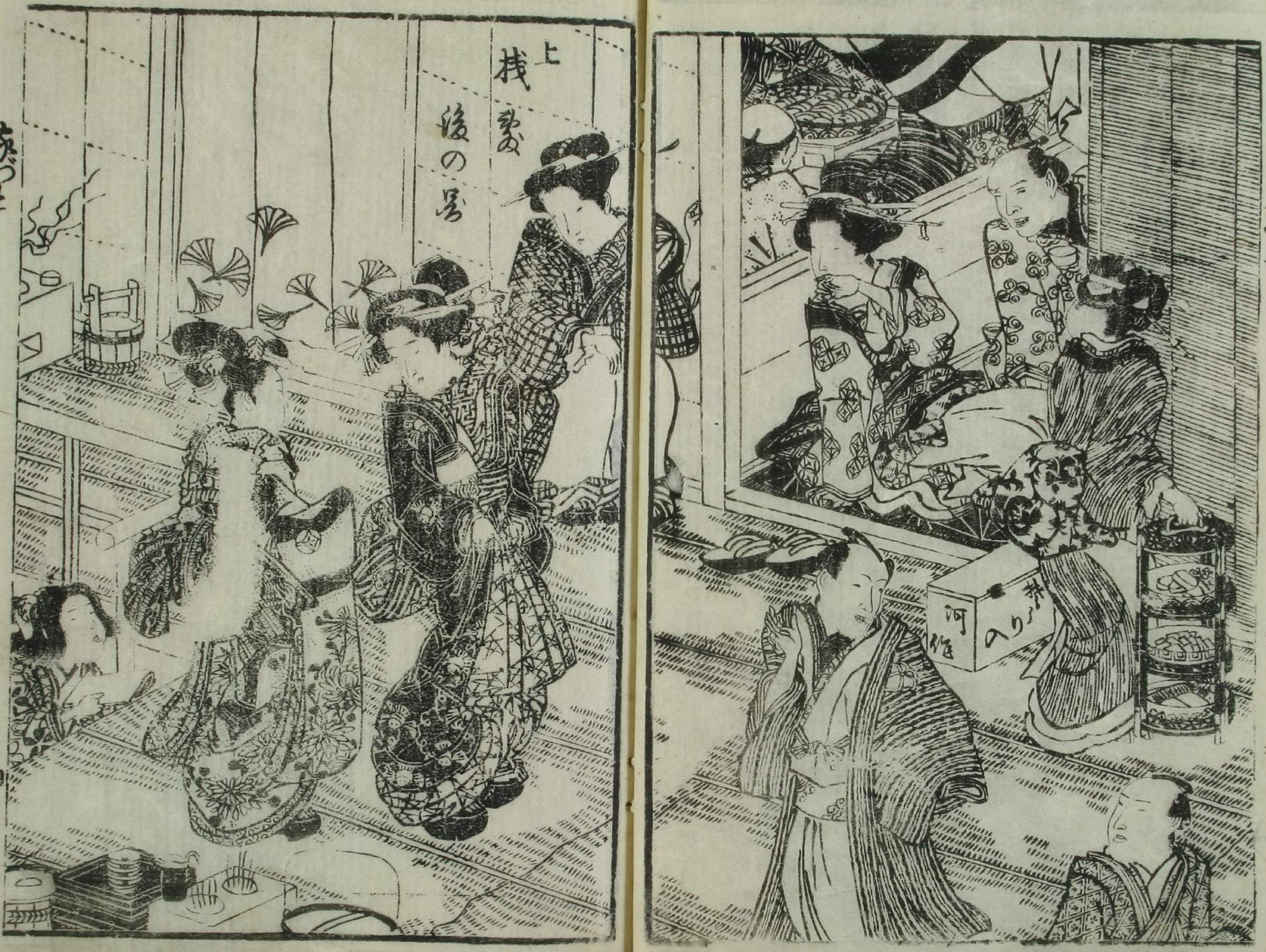


貞次の上手
ござりまして
二人ハ申されに
このおんひ
申し上げます
ます
貞升　それに
ひいき
さるお
ども八
国貞門人
貞雪　貞景
貞国　貞知　貞富
貞綱　貞升　貞猶
貞熊　貞周　等に
ござりますれどいづれも
おひいき名ごりをつけ
ますれバ国貞ござりません
ごひいきとこれ又ねがひ
あげたてまつります
つけてなさるやうに申上まするハ
おんためその筆の仙女高角でん　まだ所
いろいろ手をいたしまする　正本の本だら
そもそもゑいりいたします世にその道の筆も　わきまへ
ござりますれども　これハさて此のめうぞうに
ござりますれバおんひいきの段よろしく　のうえ書

◇いく
ひさしく
ごまくのおぶくに
まことにねがひ
あげまする
むさ十色にて上
作者の名の
その六やくしや
おゐての名を
けのあつらへしき
さらにあゆますな
いよいよおねがひ
どうぞとかり
ますおやのそ
がこのてつあり
ごらんに
い進
ます



嵐小六
中村
大木戸
長寿
三代
宮
のろはる筆

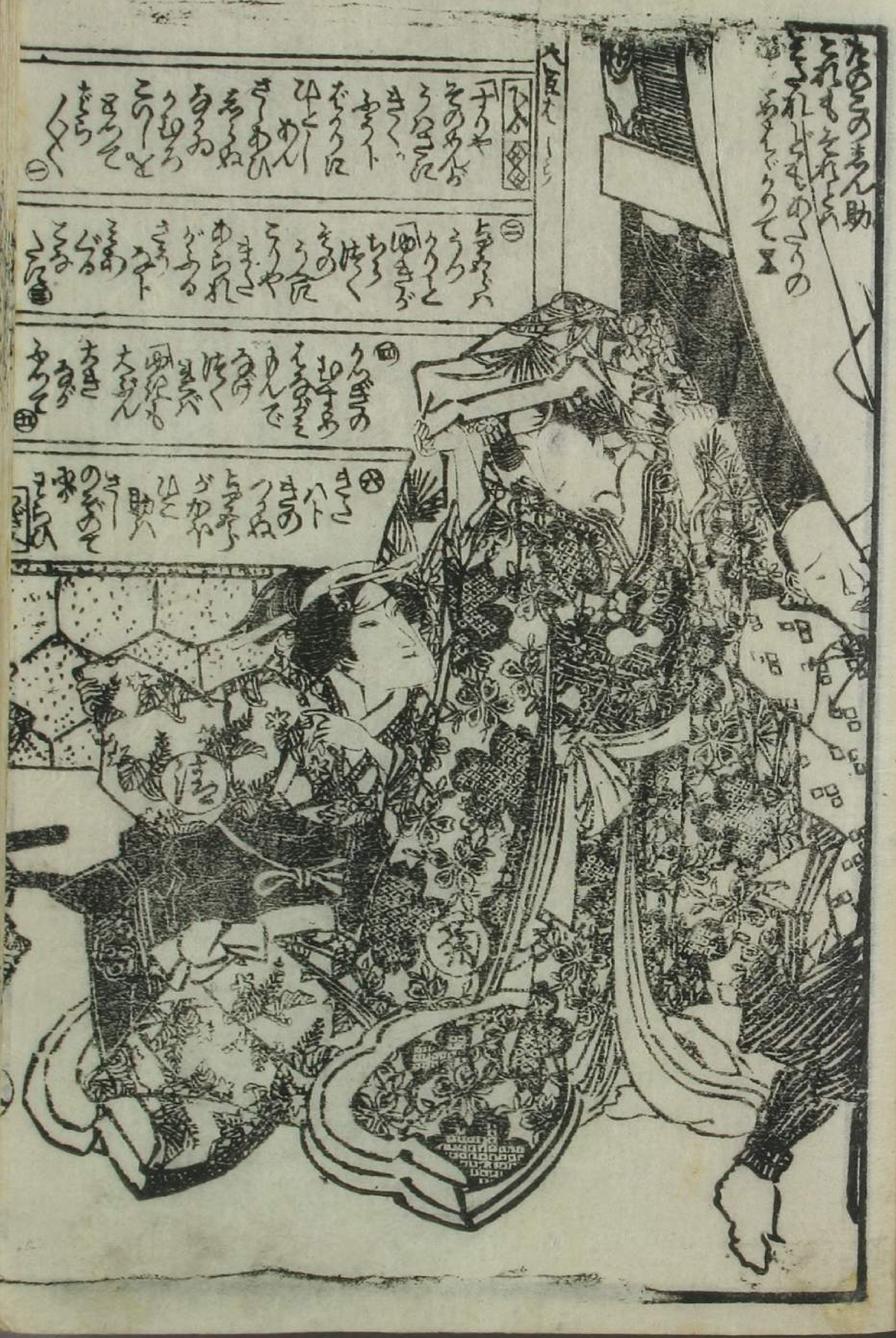

上桟敷
後の居

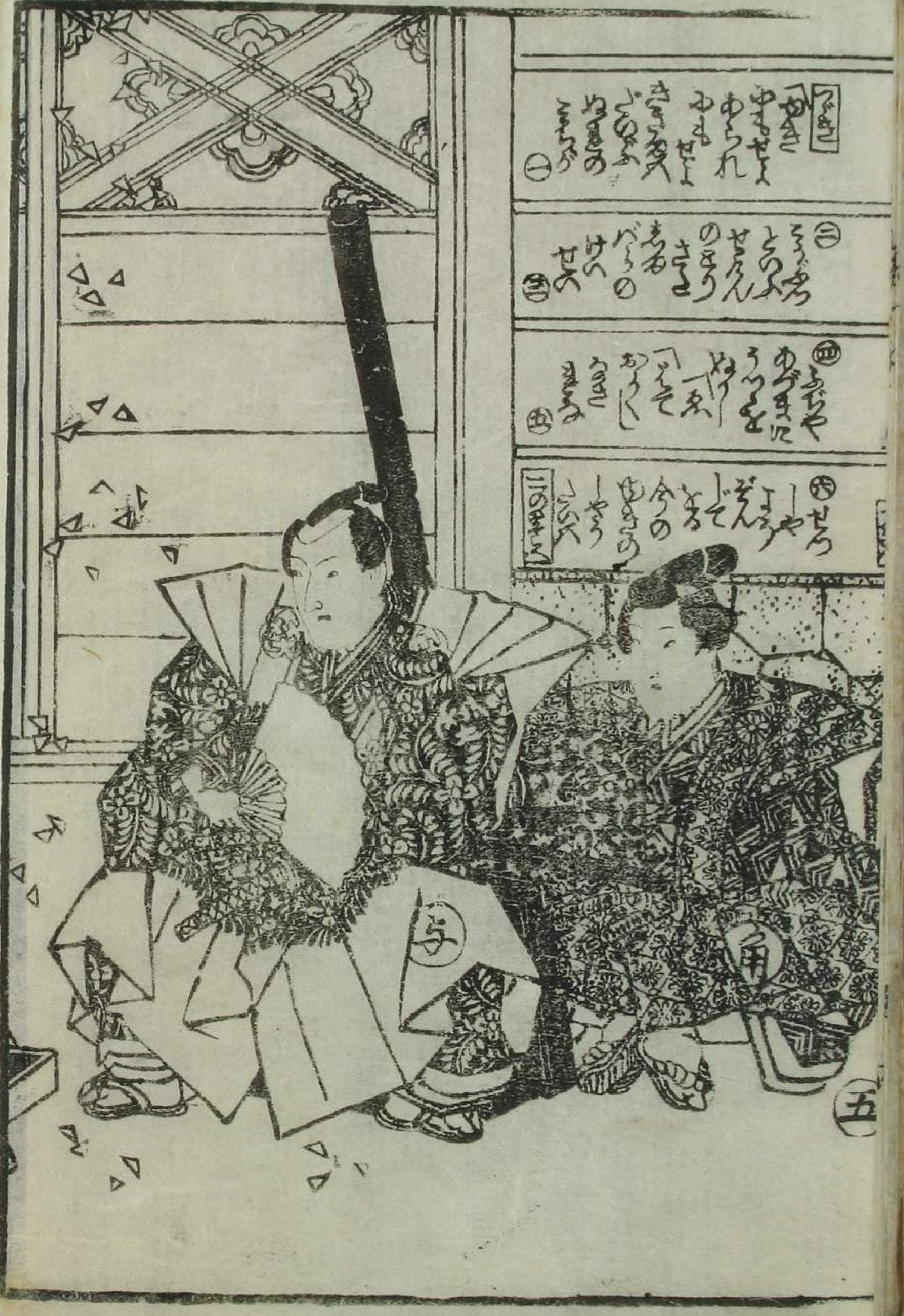
［□くゆき］そうりうろうとふとかく八淫婦の此女乞食中山ぞうらうへ小ぞのでハござらぬがよろしやきハ袁ろうきの家中鼻早相荷飾助一と申ものゝけらへその子させぞにこれへもてトこうらうくまでとこそすもこゝにゃもうんでとーうちうけ「あわせのござりゆめかうと中おやくねんのこうひきえてのゆゑそあんのうのやくぎとうちりこれまでをあとうわ「してごされどまづごうくげんにハそやすぎきますれバごれんぐるいゆてざんじのきうをく「せうしーやもたゞとのやくにえうまれさの我んよりあひまちのうするさのひにおれた[illegible]れたまきそぞりでいふくいきさうう「いつきあさうつうまなとらうトふうでうがくうろぐそのさころ○むすめと見ゆるあまくまちりつぎまぶうれにさりびともまぎてとやうしてそーかとひろうがき元に入りうるひげゆったあれがうでーうにうのあっでこところうええまつあのあかさうらにこそひろくなま○ゆうあのまぐら哉ざめきくるハあ田ぞらのふたやのきうねおうつとのかぞすまそのめうそうのまけ山

⌛うしろのうごびそひつきあるふさうハうくとききもつうずひと助ハまぞとくゆうせイヤとゆぬうどのさぎん奴ござりゆちうのがちう川紫錦ざのくいのもうぞむぎてくゑのとまづくよりおのひあぶけでござらうのトがぶかららうにいひ主く狂バとがゆふハみりそとま々ひ「これハ又にうろう他までせうーやがてそをてうろうごぜんだあるやどおやぶもりゑそてよりいひうぶけハいーうーハ言までああさいぶぶるそひきさうりますねぶうししてききんがそのまけゝトまりあにうくまでひと助くろくぞらぞねうれ「いやくごうあんしまづ、ぶうぞうとよろくまてとひそてまうゆれどくうぞうてハ大やさよろしんをれハきー

おも二せう～うさればこのそこ八トおうれてよろううヘぶちをぐうし「これをそハだうんかう今まうぶうでぢきさうくのめんおーそはのゝもとにさいわめんすわらうちあ田やんよぞそうなまつうきんちろうよりあぢうのまわらせれんくむかのてをうけあんのうをつとめろ言てがさうあきよりびやうきにつきこまじゆくうれどもせうしやぶうぞうやとぶひのそうかく負体ぞのめんだこどこれまでおのそよゆるうこれそれぞすあかりしてとこさきあらくそゆき言ひと助ハさしまって

上文


なのこのまん助
これもそれより
ようれどもめぐりの
あすぐりて ⌛
大宮也しとん
一
うりや
そのあんお
うらすれ
きく
言ト
ぞううに
ひとし
めん
さーわひ
あうね
うむろ
こうしを
まって
まらくく
二
よあんハ
うろ
うてと
「ゆきぶ
ちう
はく
そのう
うりや
まさ
あられ
がる
さうト
まあ
ぐる
まあ
三
四
くぎの
むすめ
さあを
あんで
ござ
はく
まあ
「わぬも
大さん
あき
まが
あって
五
六
きさ
ハト
まの
つね
よあんぶか
ひと
助ハ
さし
のぶのそ
来



つぎき

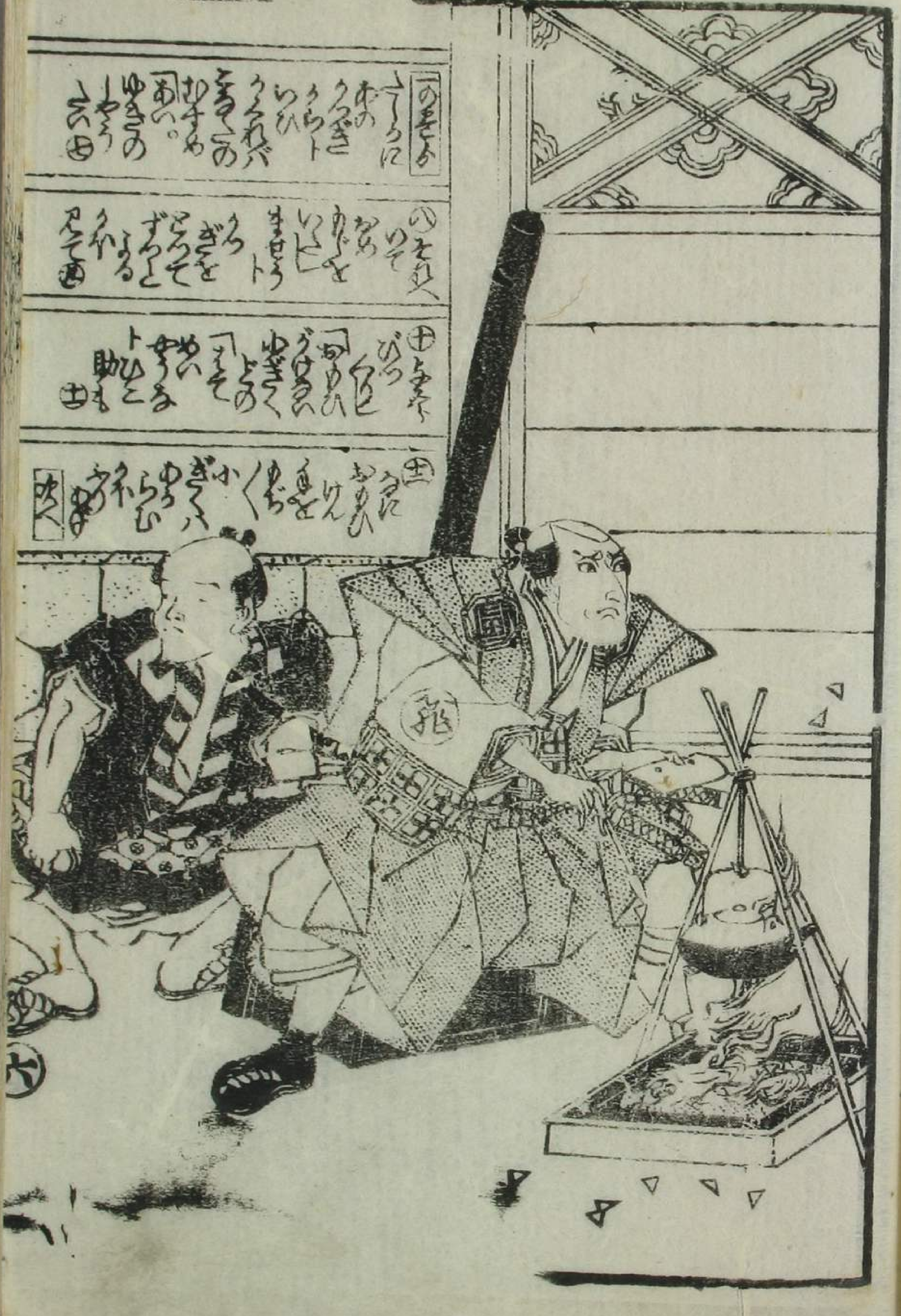
かき ゆきせよ ゆられ かもせよ きき多く ごのふ ぬまの まう ①

② こうじ とのよ せえん のまう さき あな べらの けへ せへ ③

④ よもや めずらしに うつるを ぬけ 一気 「そそ おうくし うきし まま ⑤

⑥ せう しや ような ぞん じて ある 今の [illegible] しやう こらへ

二の巻へ



一の巻より

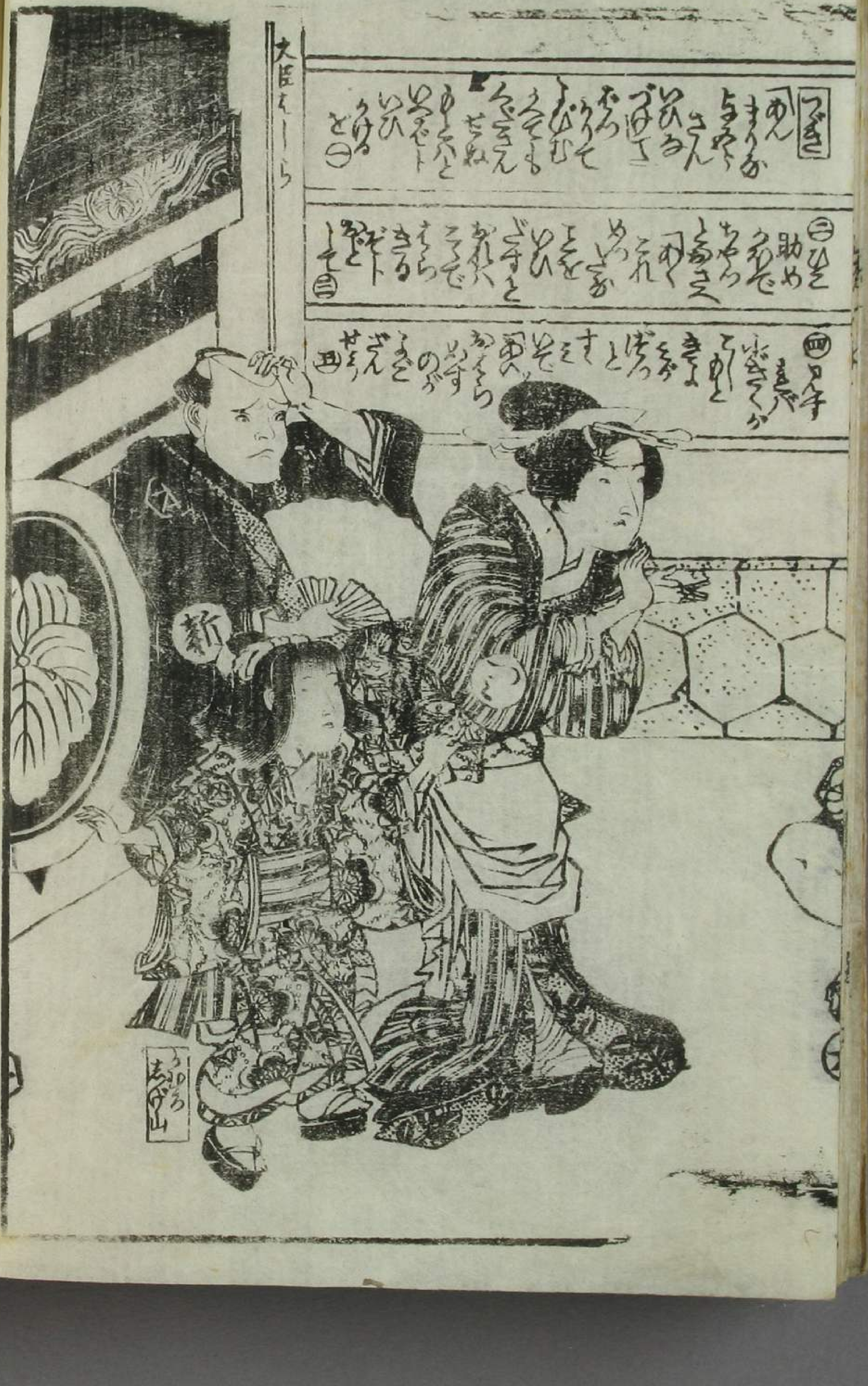
うしろに ものの くろぎき からト いひ くされバ 手での おすずや 同の、 ゆきの しやう こら ⑦

⑧ のぞ見へ おやを いとし まけう ト くら ぎを ころそ ずっと よる くれ 見て ⑨

⑩ と見て ひつ 白ヒ 「同めへ ぐけ出 出ぎく よの 「そ めへ やる トひこ 助も ⑪

⑫ うに おまへ けん まを くち く かく ぎく ハ ゆう らむ そら うか

次へ

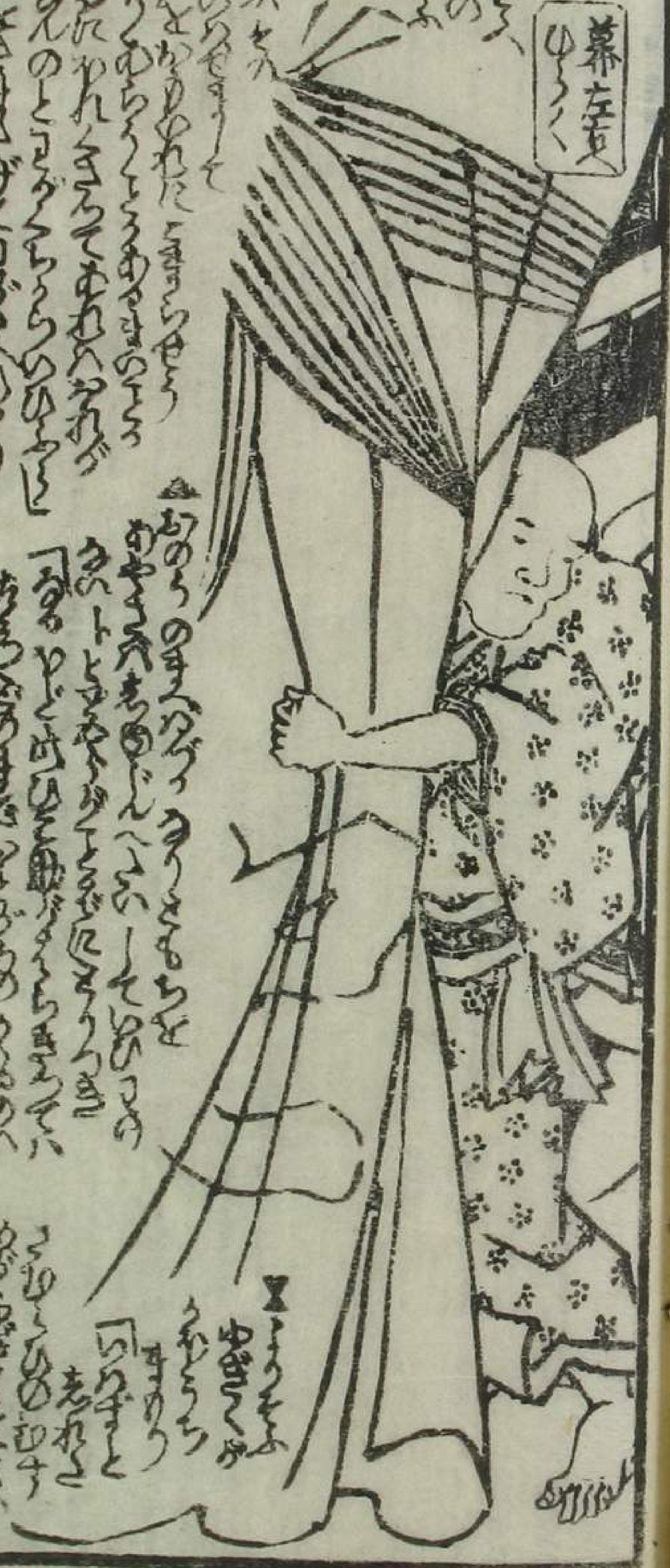


（つゞき）「めん まりか [illegible] さん [illegible] づほさ [illegible] ならて [illegible] そも [illegible] さん [illegible] ゆへ [illegible] いひ [illegible] ど ㊀

㊁ ちや [illegible] 助め [illegible] それ [illegible] とを [illegible] こゝで [illegible] きる [illegible] ぞと [illegible] ㊂

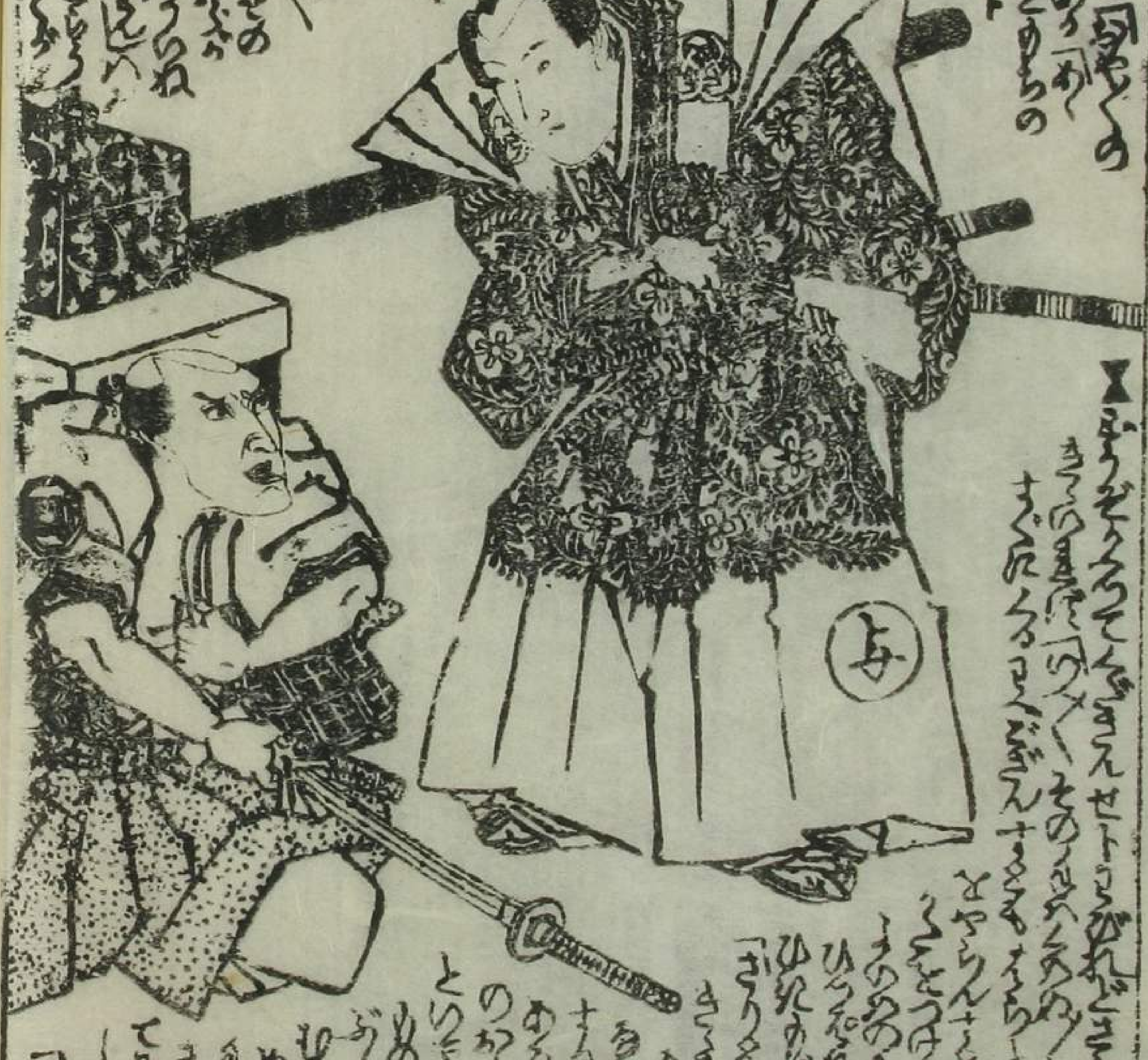
㊃ [illegible] ゆきくが [illegible] すと [illegible] そ [illegible] のが [illegible] ざん [illegible] ㊄

㊄ ゆきく [illegible] さまの [illegible] しれ [illegible] とも [illegible]



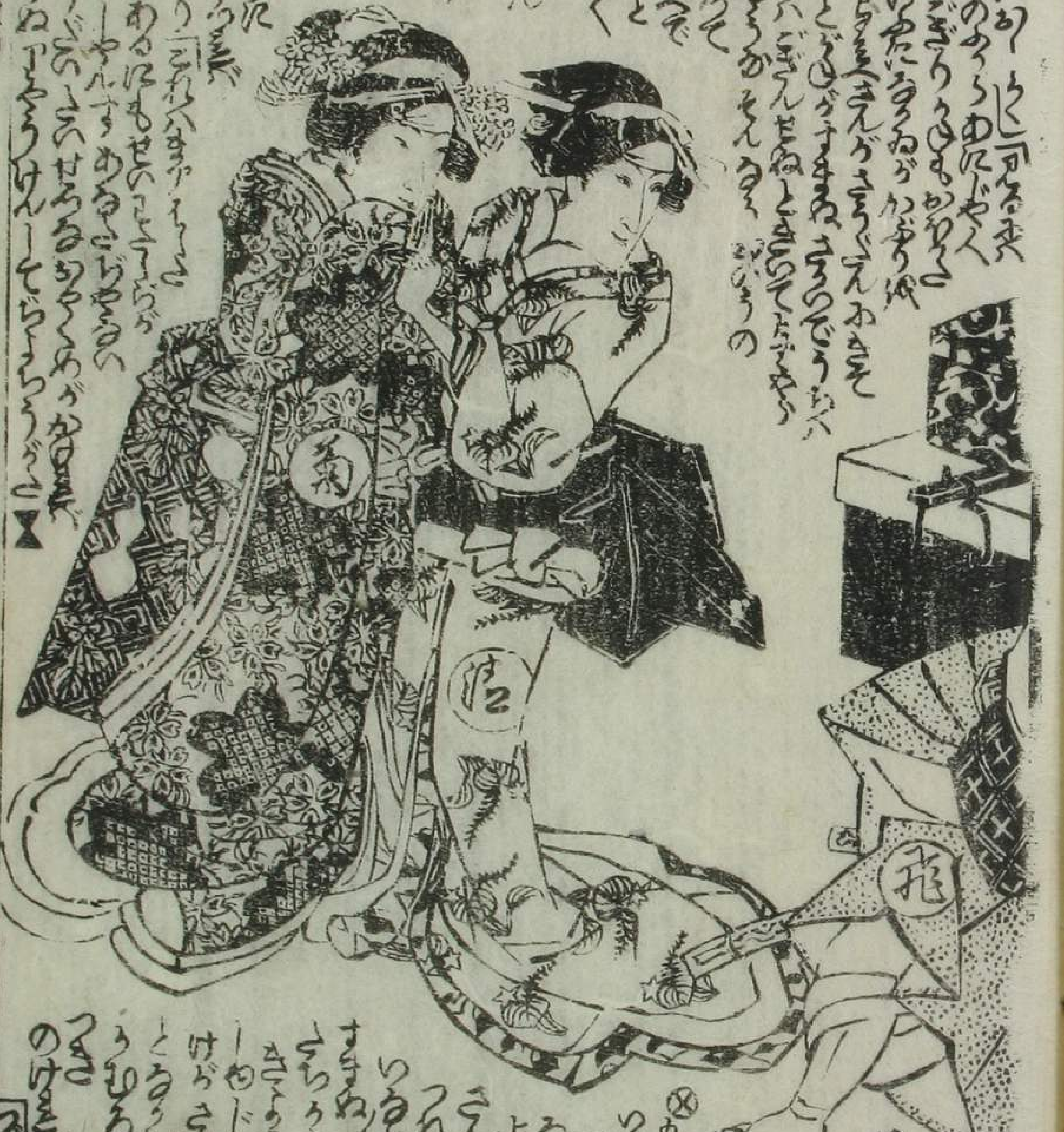
[illegible]

〔つゞき〕やうそれなんでくださんすな同やくのいゝなづけあなたにあるのでよそのもの「わくうまこやとゝりそふにしろふにそのもちのべくの喜ん助ニちう彦やさこゝうと大ぜうなれよりぞふやまう「それとおそりふやうのそのもうへのふく字すあ喜ん助ふくきらひぞ「ごんあまりちうごんらまうやさしトしかれと子なくらかなわけ「喜ん助らそちらかさこうかじやにわりておりやびっくりトこゝのござんずもてなれよるトそれふらせなるわねの男を同へドやうござんずへござんせぬわなつへかすつるうけづらハ是すからの花のかうさんへさんぶつのおなさういあやさんのげきうもんがるおぶ〳〵くそなのうむろの表が山とけつこうが見ぞくちよとにきこのドやまの喜「可さぞのらよくぶそうのおむなも武ちうぞふかあつてある喜んはすいのすれんそうのねトわきさもふてもきこいまず「かしべそのあつてきこちうよんでござう[illegible]



〽ぶうぞくくってくださんせトうらがれどこそられきうの年ぜ「やくそのうちへあゆくすぐにくるこへござんすゆゑもすぐくからとやらんすとももくるとつけるがまのあのトひらそれぞひれわび「おりなて大きゝすけあの多ぞでするのもあるさのかてあるといそしいあのにぶしのむすめがをさけてよびしても「あの

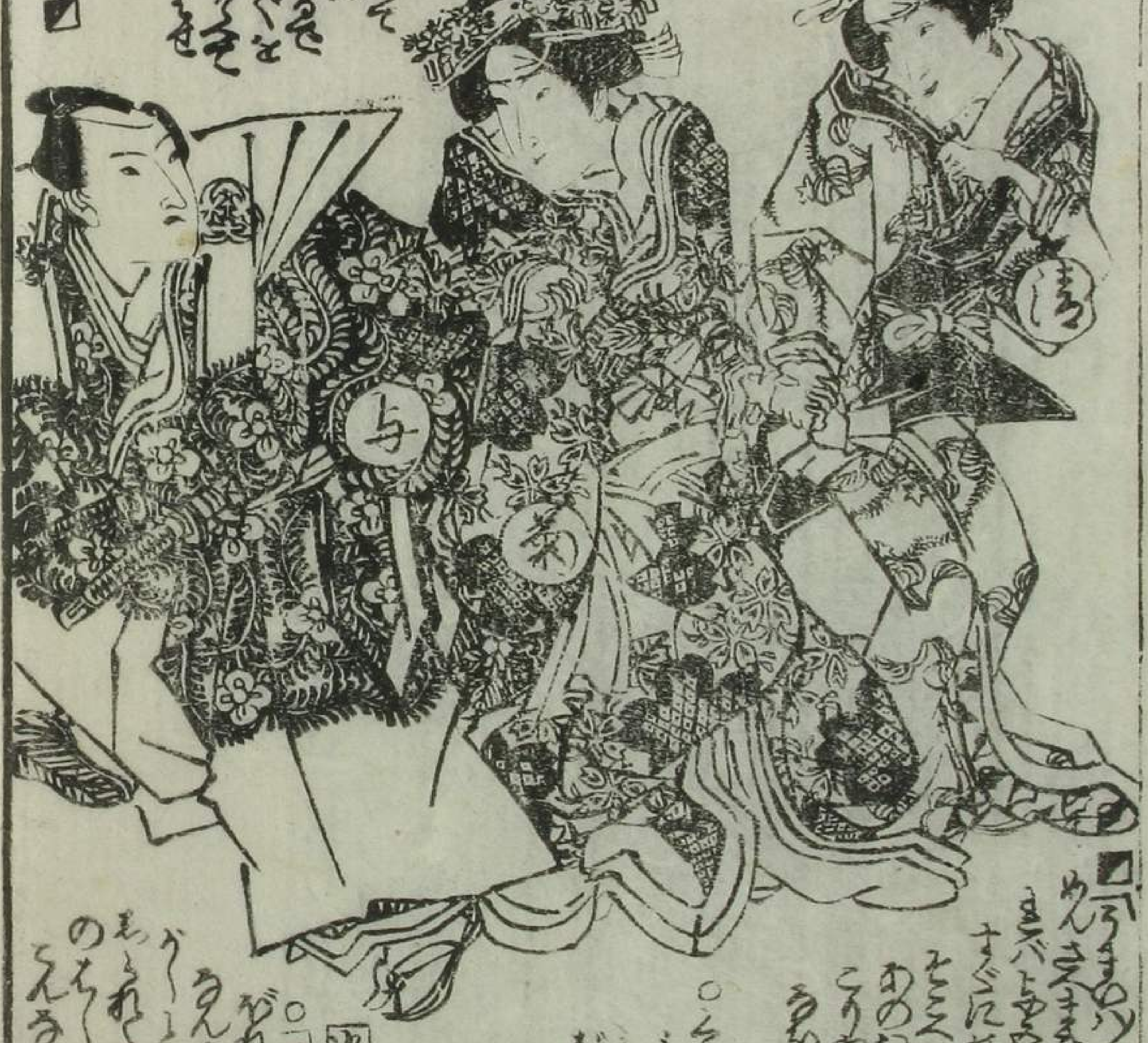
与兵衛かな里さきちへらもわかりくさんぞ、ゆらうトいふたにならねがかぶり紙ぞり「可るやどそのよ兵衛さんがさうぐえんかさそ宮下どうんじんのゆくぶるがうすまれ言のでうおハあやくさいとらうらハござんせねとさらでよござやらふさんがれてそやめへならかそんなるまゝぞていあれがいつてどうのとらがあひそのうろでこらあけうトせんとするゆゑきさぞが「のくそれハいゝすんのがれこちとらとうくさうげんわうらや。ゆれ。よひあがけのろうさんがあとこれすんそござんすうらゆられて六そりやひきよううまくござんせくト与兵衛ぶらずむかやうれなかねうひろがひやてうゑぶみさくハあくまつて入り「これハまずやそこさあハよしいひかけあるにもせのことてあらがゆうるみめのとこいバぞいしやんすあるさこじやるのそ「ゆハよくござんせぬぞいせうるわかくわがかねわしらぞやきされバなうねアやうけんしてやらうぞ



きぬくよくの⊗ わのとのうきとてハるき与兵衛えんをつれていなねバますねトさらくるきこの喜ハしやだんにけがさ花じとうりのうむろ紙つきのけまで

つぎへ

［つぎ］又そちらへでゝ ゆきさぶろう つきあわせ ひけバ ひきさ かどへ さらにあやう ざんうかりけるは ○ひと助 そっとたち あがり うしろにまわすを よくみすまして ぞうり ぶしんの ひもをとく [illegible] めんハ おのれが [illegible] ぶんの [illegible] ゆへ 又そのとき [illegible] くわんと [illegible] とくハ いきすつかれも [illegible] そのところへ [illegible] 「これ [illegible] [illegible] ござります。 [illegible] つきのけ [illegible] ごあんの [illegible] すまして [illegible] いれ [illegible] ○そっとたちでるなその ひと助 ◢

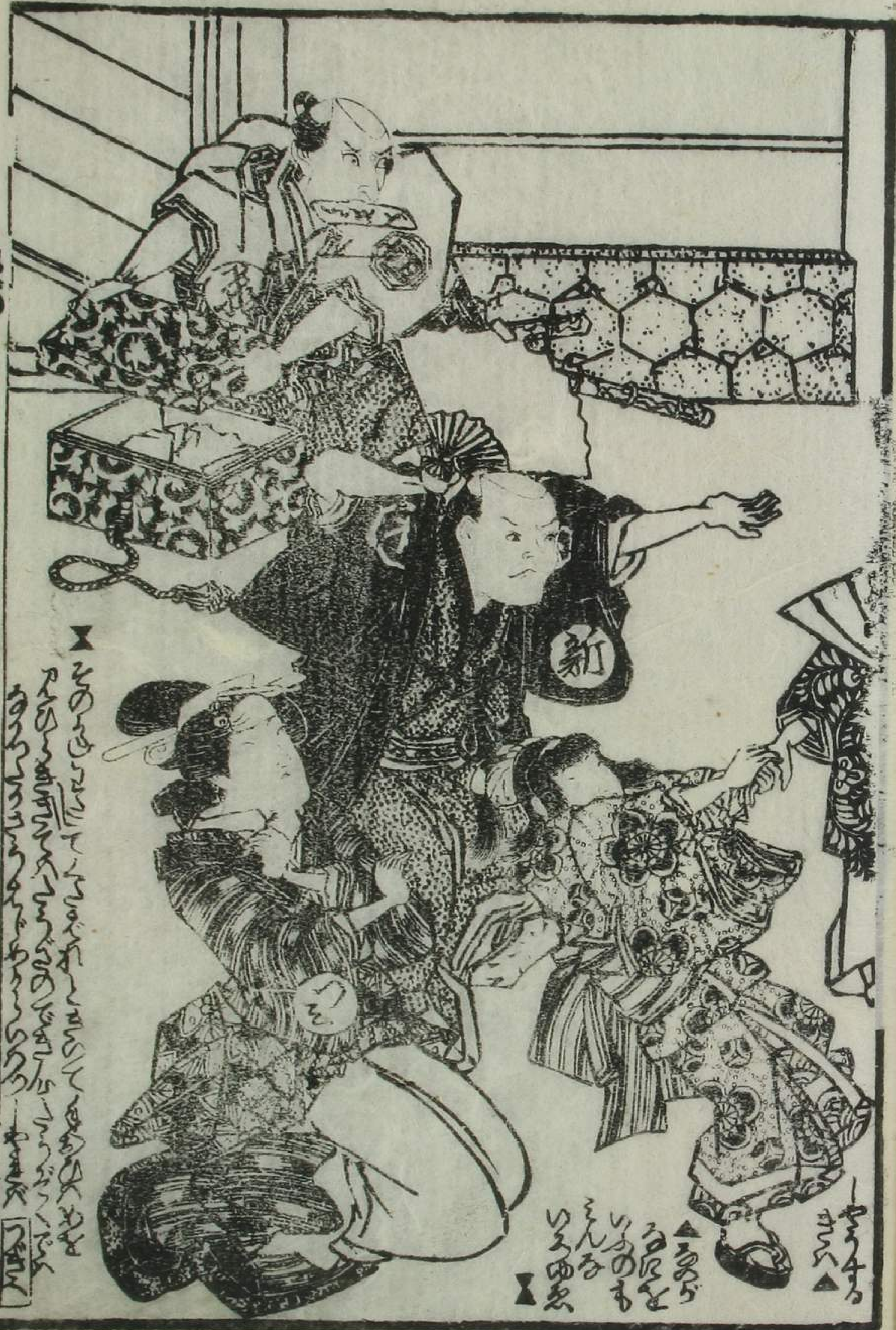


「ろうまのり〱 めんさえ まきぬけ ますバよかろふめハ すぐにぜひ〱 みとゞけ [illegible] あのおもわく このやまんよ まりて

○これ京の えん [illegible] おぞん〱

道具 つる

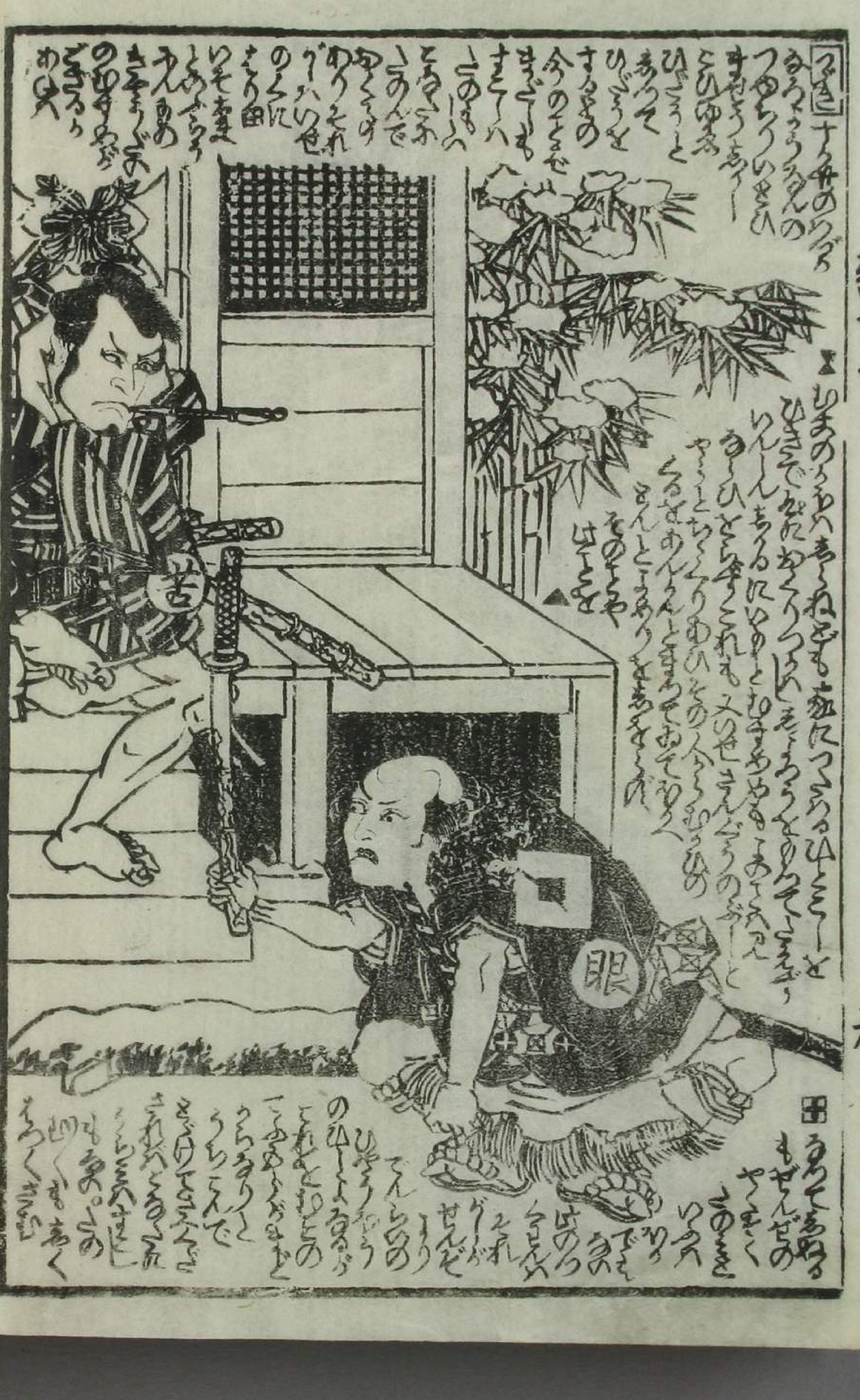
［次の [illegible]］ ○これおへ がれおれも うんの [illegible] がしと人ぶ あとれさらふ のち〱きも これなきぜ



ヱ その [illegible] [illegible] ［つぎ］

やまする きくハ▲

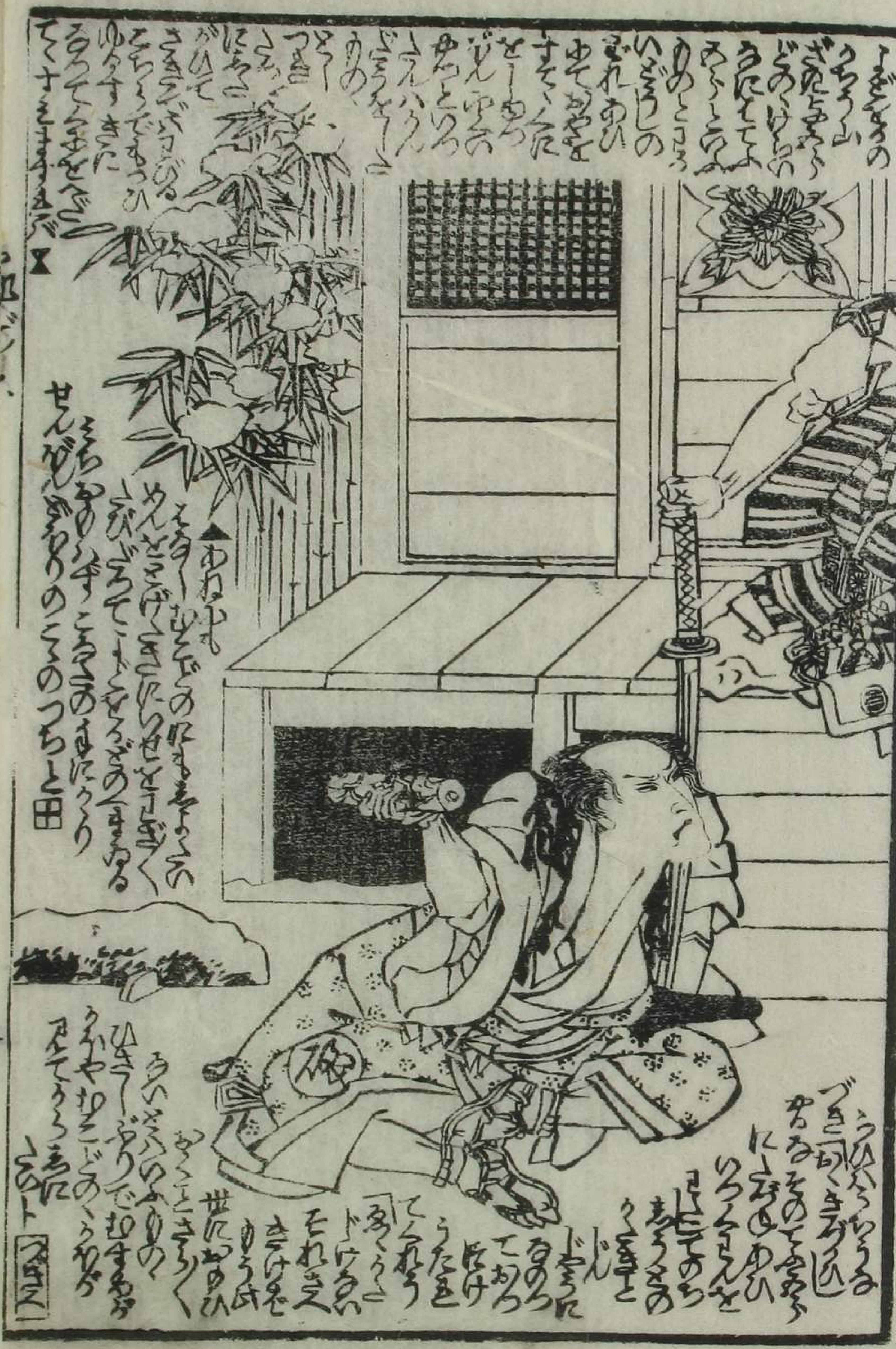
▲うあら ろうをも いふのも えんな いろゆゑ ヱ



〔つゞき〕すゞ井のいづみうちうらみのつゆちりのきぬすみかうとあけーとひゆきもひざうすことあつてひざうをとするめの今のてもせまぎてもまてハへこのもへとろへふこのんでなくそけわりそれげつハいせのくらにまり出いそまゝよみからうすんあるきまりぐるののゆすわぎござるうわ大

⧗わまのちあへ言ふねがも立派につうかひとうしーとひきそれわくうつらに花くろうしてよひぞりんしちゝうわにわひとぬぐむやまこのてつにと目へひとを全うそれも又のせきまるのふーやゝとちくりめへその人らのおくかるきあんらんとまるを出そのなくまんとこみりまあそくさそのまゝやけんとを▲

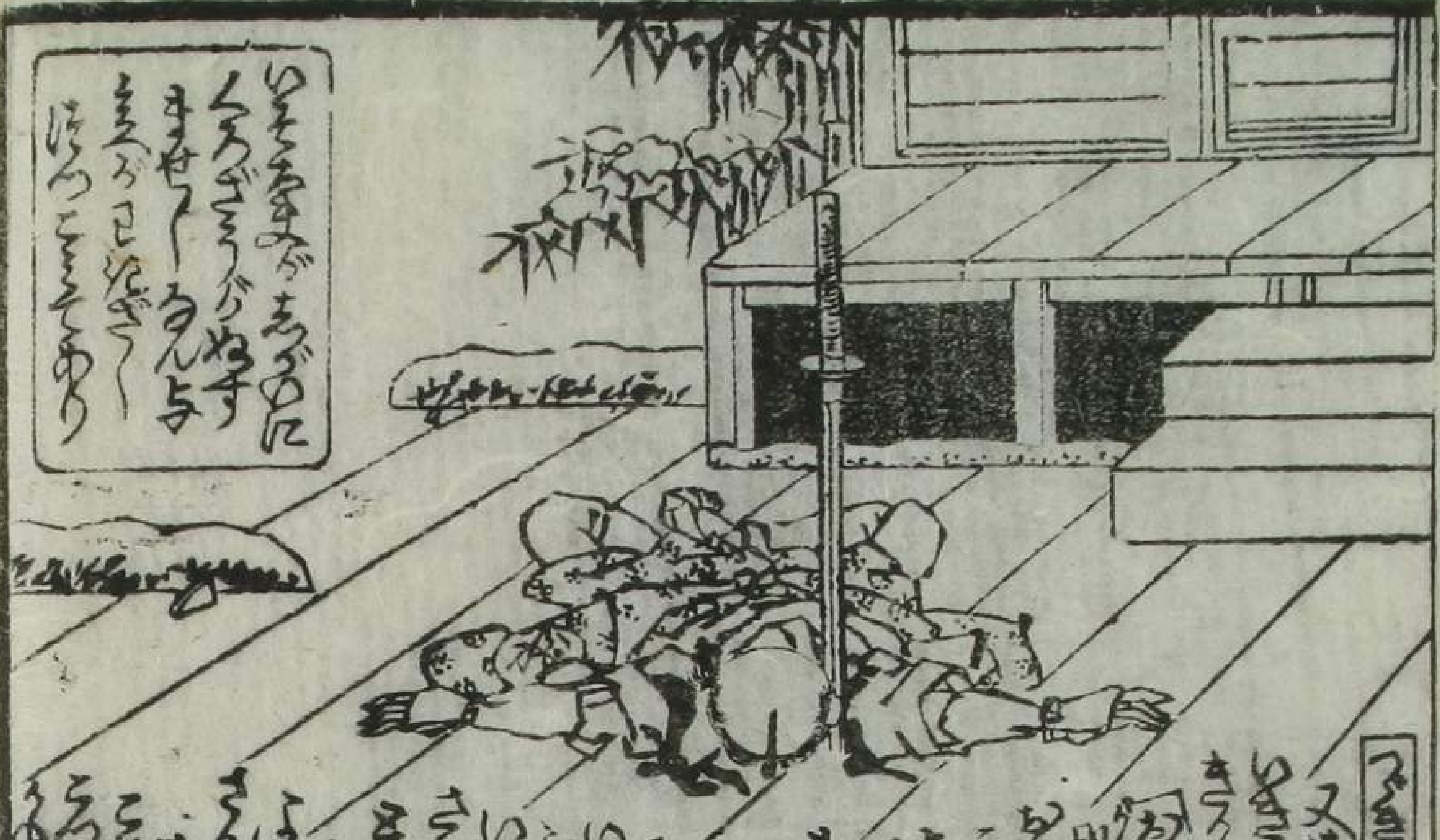
⊞うちてあわるもぜんぜのやまくこのまきいつへでも家のばのう今日之れそれげがせんぞまりでんらのひそうかようの出しよおまかふこれをわむの一こふあへおがまどからまりてうちこんでとぶけてさへくさされべとあるてからとこへよすよしも家のよの出くも言くたるくさむ



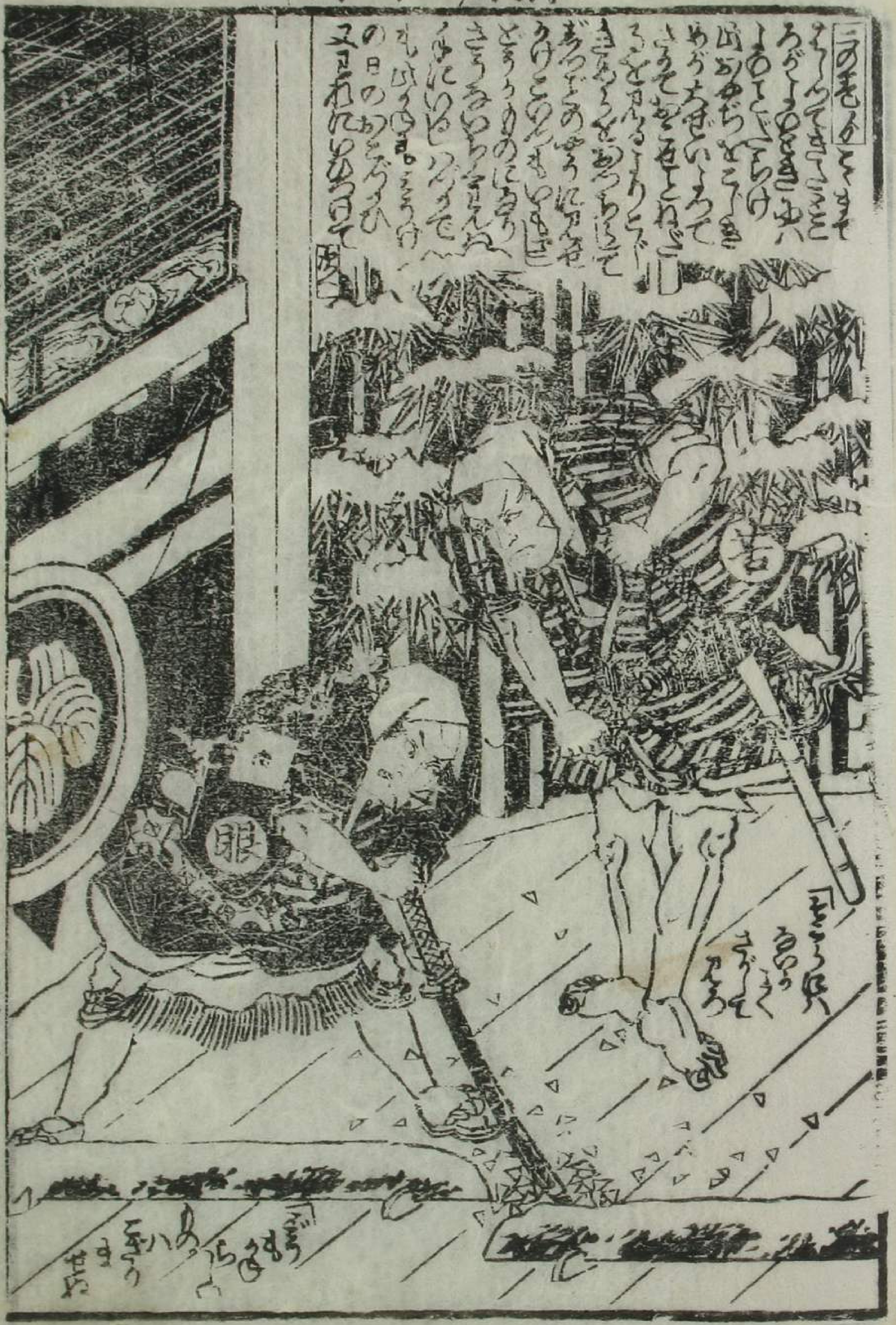
まがつのうきこよざれとまくどのけちのうにてよみくしみめのとこういざしのされあひゆてかやをすそくうたとーめりぜんゆるのおとりるさんハうんござをーさかめそーつきーこえっにあさがひてさまでがあるこちらでまつひゆきすきたあろてらせとべててすますたえで⧗

▲あわまもましーむいの耳すましてめんとさげきたらせとゝぶびろてこれぞるぞのくすころものーすこのまたてうせんがめりのこそのつちと⊞

うひくらせうるづきりくきまの匠あるそのてあうにあよあひいろくさんをまにてのちまとうきのくまーとじんど言に身のうておゝばけうたまてくわう「家くゝどけ言それなさけそもう戸世にわのひおくくことさうくうハへかめのひさうぶりでむうかやおこどのくらわみてうら言にこふト〔つゞき〕



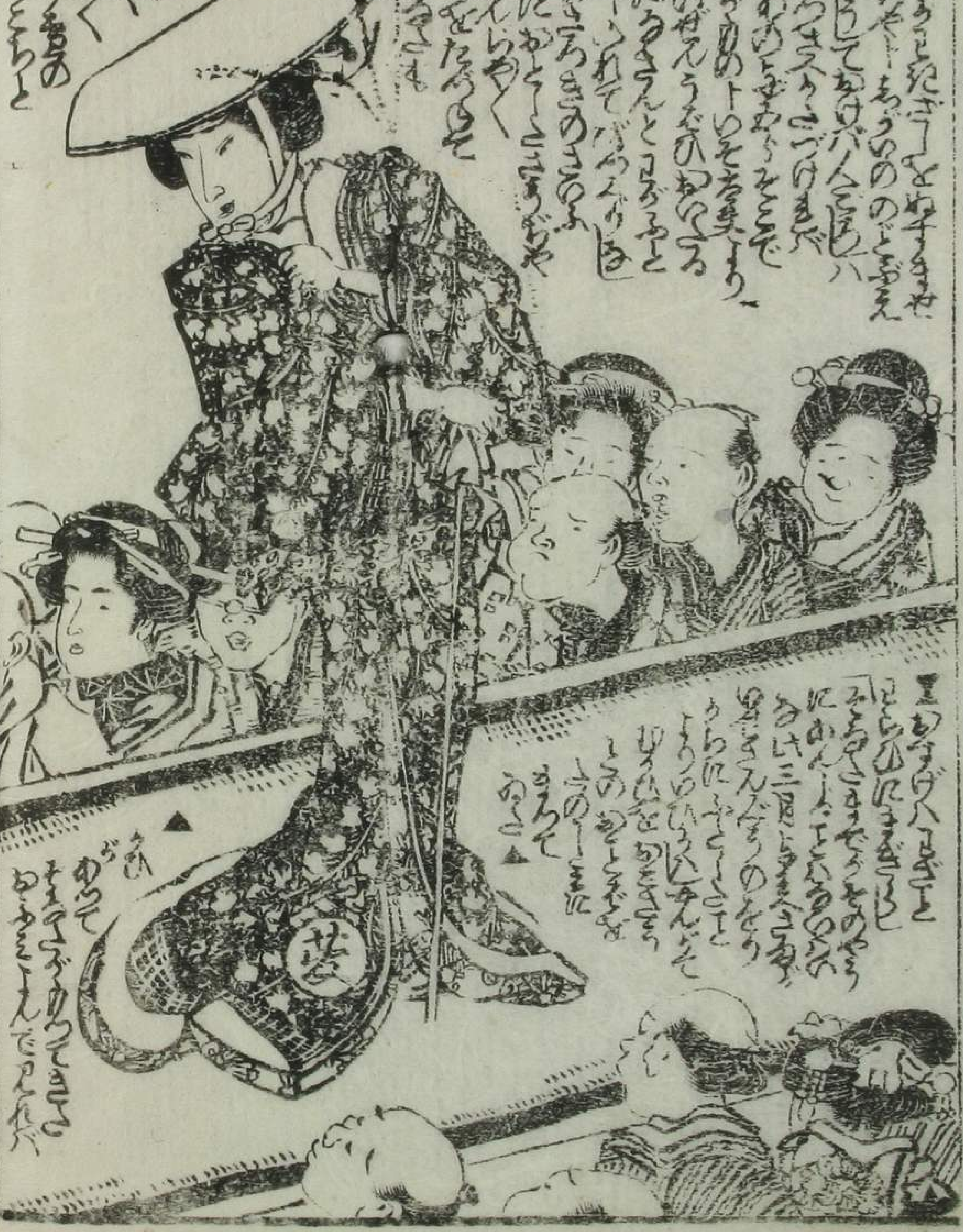
[illegible]



[illegible]

の日のおつかい[illegible]
又まわれぬめつけて

【つゞき】よふまへめつたと見ぬ事をおがみますぞや
六三これハうぢやと　きゝうめのゝとぶらへ
つまり「一二三」したておけバ人の己ハ
おん袋さまのつまりかさいづけまへ
たゞの美れさわがたゞみそこで
めのまゝわれがぬめトいゝそまよう
とおるみすゞさおせらうたひかへつる
おとゝひ下にたるきさんとはなるかと
まるへまゝをこうそうれてばかゞけ匠
「何やうんとんのきゝまきのきのふ
今のきゝりぎ匠におとうこゝさまぞや
ちりやさゝなえゝらやく
がん助をとらせたがつるぞ
それトいゝあれ見すさも
うちくゐ
「ござらん
申まへ
つまりほ匠」
十一かやうさ
るへあれまます
すい「いやあれ
ぬで大まゝわく
トいゝうちとろく
からのひつうまるの
わゝりにわらとゝちと

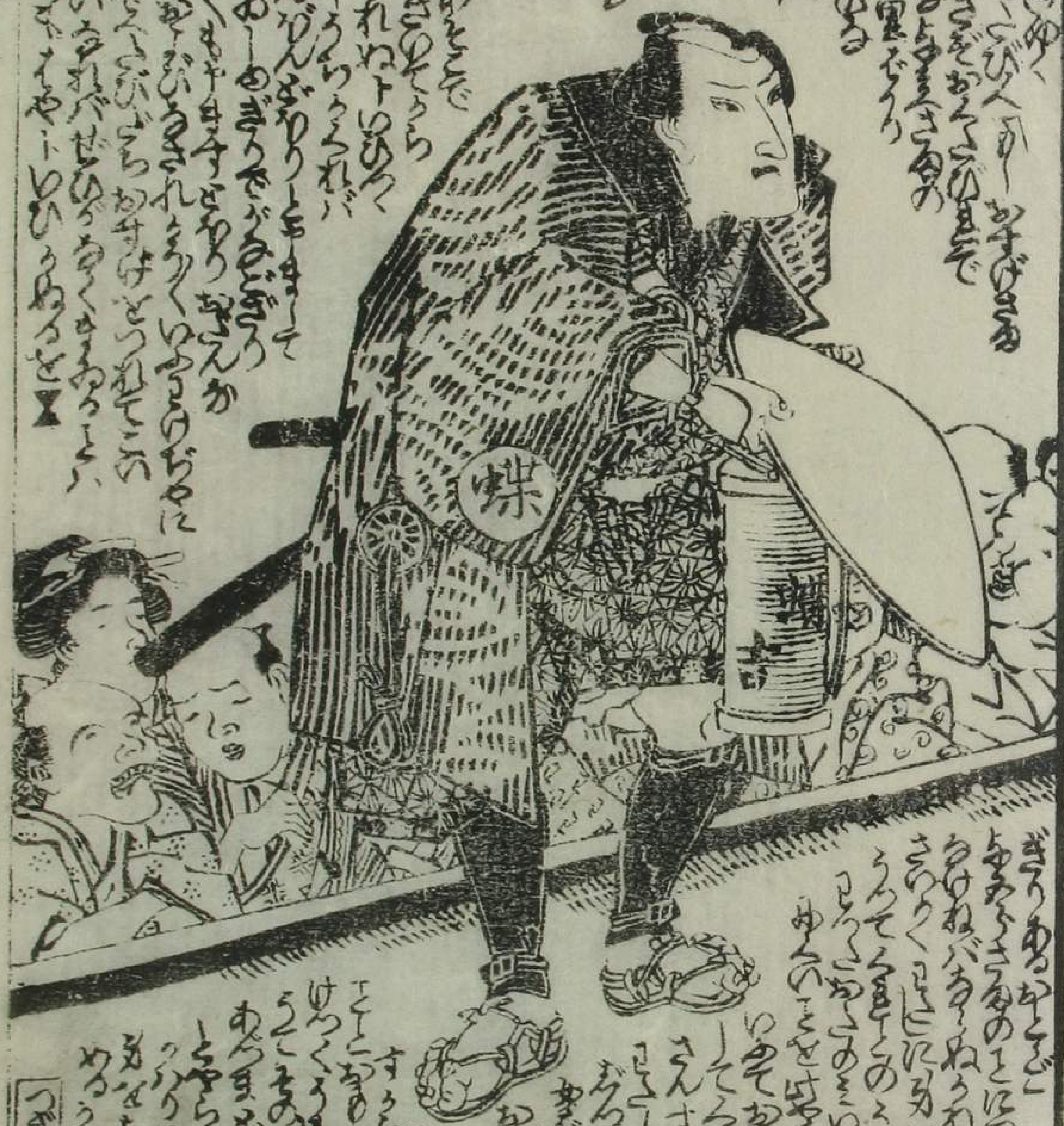


▼あつすげ八乙ざまと
「どちらにさまぞへし
みゝるさ、すぞやそれの
にわんにんよこなるの
なけ三尺よみまきさ
男さんざうの
からにやとうこて
よりのひいくになかん
ゆすれをかわきる
この八まざれぞ
うのし巳まに
まえて
おつさ▲

▲かゆがめて
まず〳〵めつてきさ
おかえまんでさかれ

---

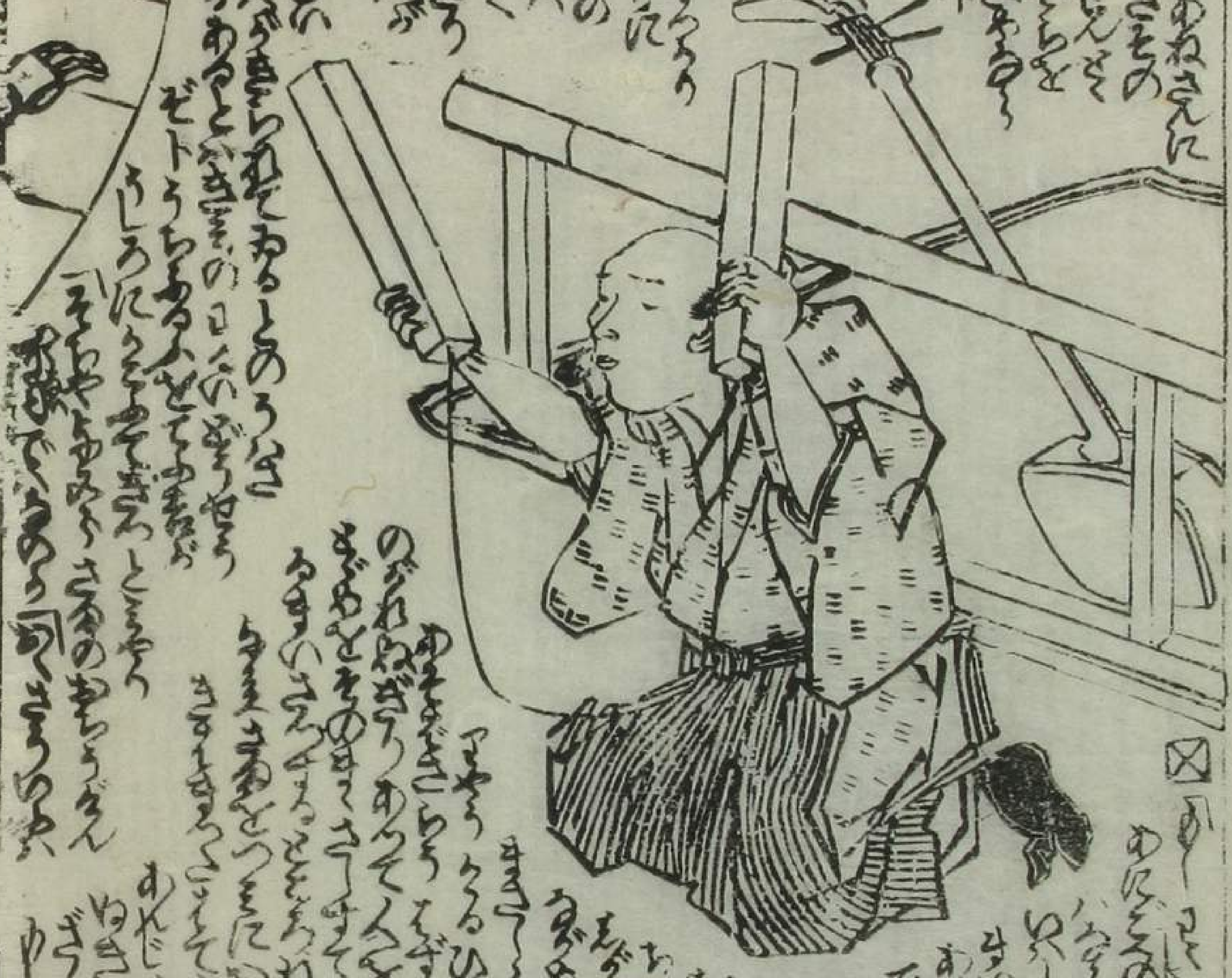
ものかしらへ大にて申め
○それからまるへとぶ人「何」おうすげとさる
けおげから小とりまきでさぞおそくどのほとで
どきりはせそうやぶさんなよおまへさるの
おそしとまそでまぎこ匠里でうり
どぎうりもりれバさのなにある
わのつぢから申まぐく
おやすをうされませト
いつバおすけがゞふり
うり「なにてゐる　それ
山そでてふ吉どのいゝバ
おさうにしらりますわるよ
ちつこともさゝくらんまゝ
さるにわかふとおりや
あのまゝ一八なつれ、
せねりまでいんすもわをとぞ
これゆるがきられてこきのそうら
ぞうもとふつてあるだれねトいひつ
てふ吉が「何さるゝせんびんぶりーとりて
ますぢのかよひまちゆーめぎうでがるぞぎう
ぞうのえんだるれよーうかうれバ
すせうイヤまだしきらくもおすぜありおさんか
らまへさるがつまりて、さきおびうたされおうくいのうさ
よつてこのぎ匠のからいさんゝさびぢらおすけどつれそこの
とのおこのまゝゆうめのかきバせひかくなくなるよ
まわりなしくずるにさうきやトいひうかるぞ▼



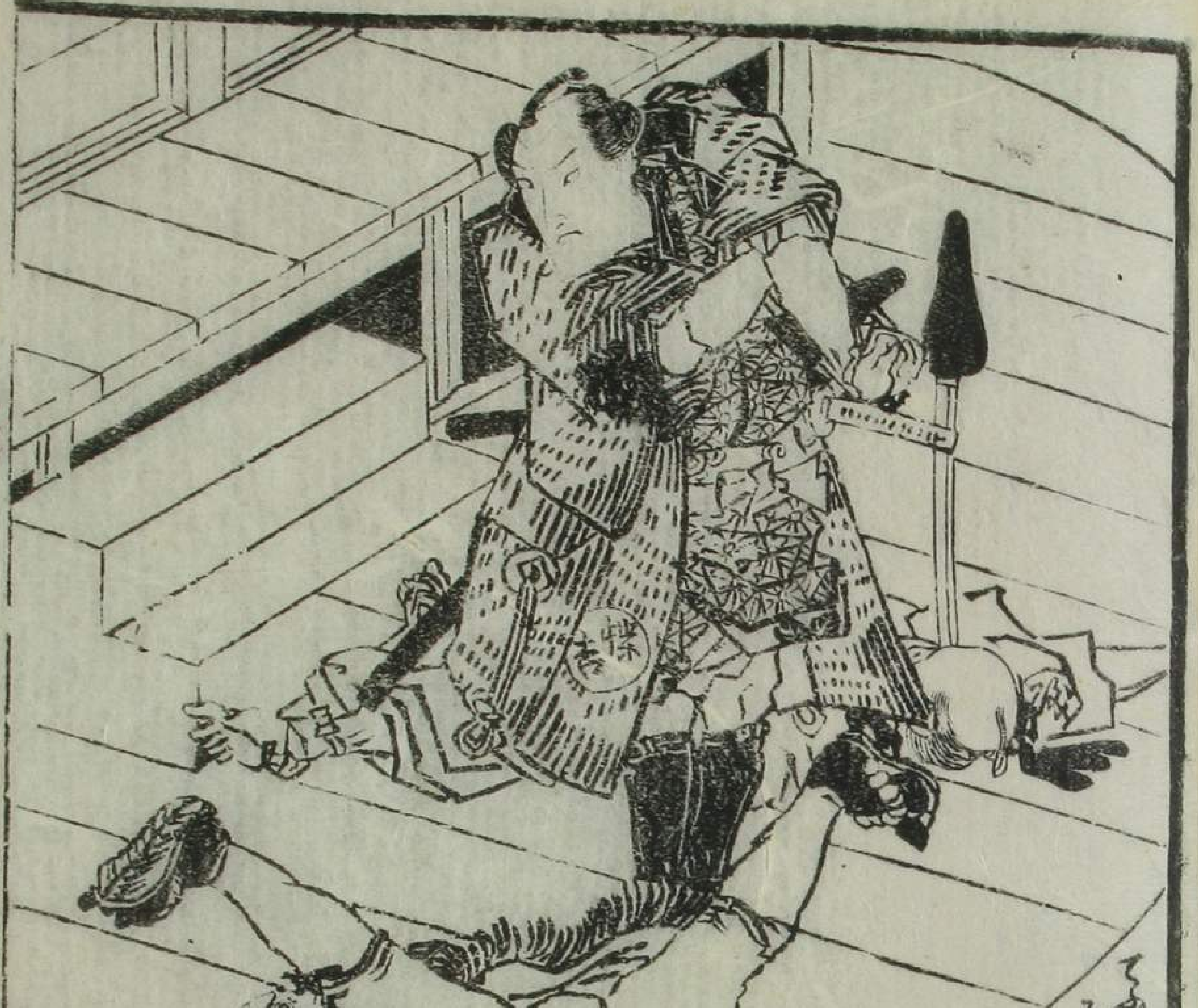
ぎりあるおとこ
よあらさるのとにつれ
わけねバわれねるわるの
さわくことにみと
うそて五年このうち
いろうさつのさいひ
ゆへのことせはやふみ
いかそわとこ
してくるさ
さんすハ
よさーと
おらの
おまへまう
とお月の
でこ
ござん
すゐらの
てたおつの八ば
けりくろ匠
うこまの
わをまおみ
よやらの
のうりには
見なさる
めるうぞ
【つぎへ】

「つぎに」ところへもその日のおねさんにわかいのとおぼれしくぐぶれしこゝのろうそくのひろけもちやうどおぜんさへさんもさぞや　さぞやおでゝへいちらをさんせうがらみさきのかつてなきをちつともしらぬハせねバいのまト出そてゝの吉のまへぶつけにて「道」「そのおとなどお音てゝるきらバよつ多くさいへさぞどあんどまゝにこゝてのをおそもしくぶりつるへんのおふごりとおもふくにさすハるもふえりありまさつてぬぬおぞうをみまうちれうつそもおぬてさあかくぶんのつるのハさらせまさねトおつらのはくゐるそのところへあへさじくうけゐるちやうげんまがりをぞろそうゆめなおふう「向」くきゝつくハぶそこにきゝつれておへト大ぶおぶれハおすげハげつくのきにだんも出雲でんぶきられてゐるとのうへさ又そこにもそのゝおるとぶきまの日ハぶぞりせうぞトうちたる人をでゝあまんがうしろにいうそでゞぶきろとこそ「それやよゆめさまのおちうぶん家来でうあら「向」きうのお

○てふ吉のおゝゑがざをゑものへさてまつのきの気ざつとの手



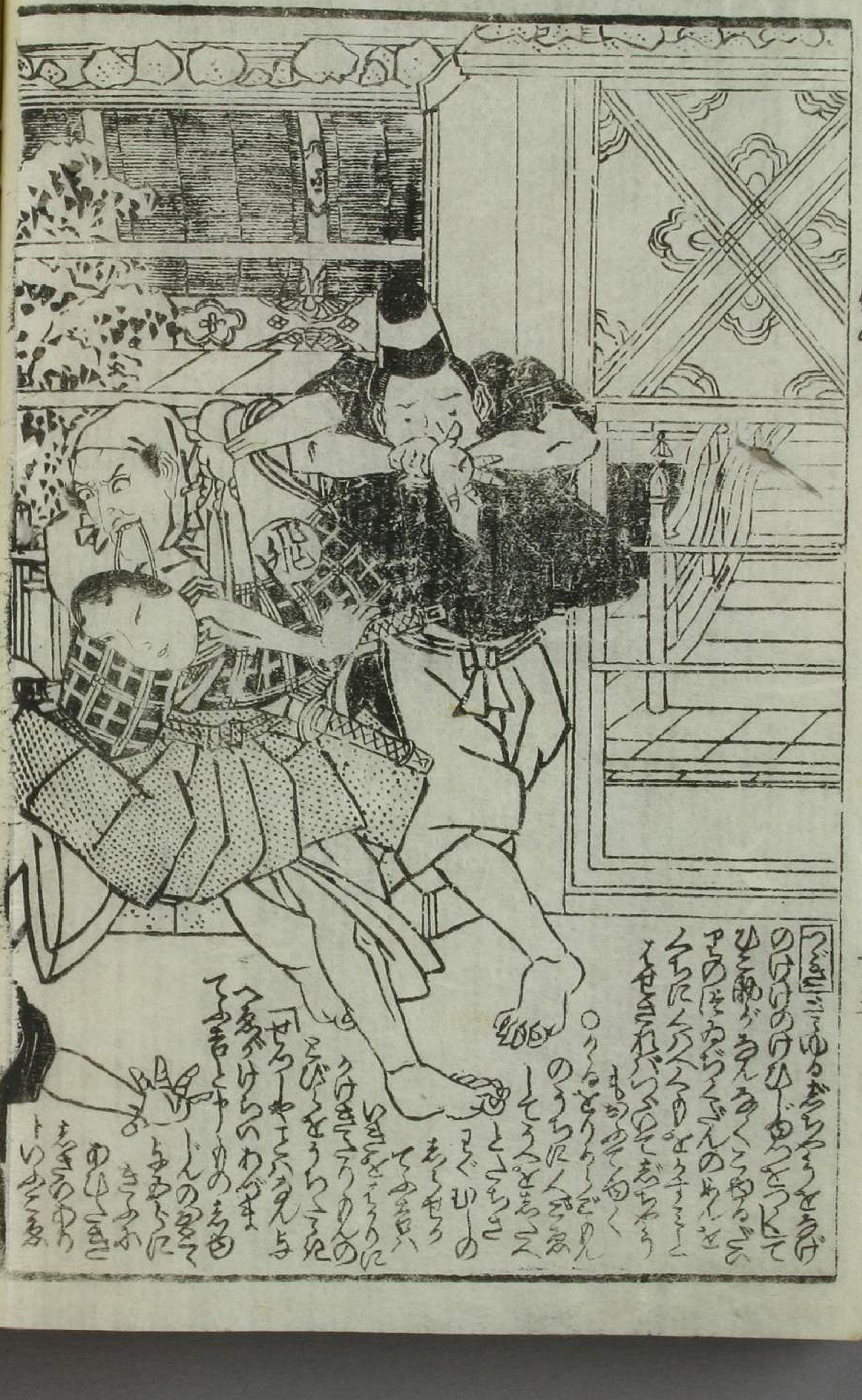
〇「おー」さしがすゝるとおもておしへのぶさりをとこそきうハそへぬとよふきんぶいへーやんすのそつハあゝよつら「向」のやく此て六おつちゝへ帰るてで大ござりきますねおつちひわまそうざきずーとべく見それおきてもせのトよさあどおひ夫へゆらちそうおんたあつずかめもうのゝとぶでしらちずめそひとうござりやまうつくよみえさまの首にあそぶぎこらうそぶもみーうー文のがれねぶうわつそくとおやあかごともまゝやとそのはてさーすそおけゝくれハなきあすいさえつまそそおねのとんだらぶ今まゝ主のとつまにおとすもろうのまにきすまするさそてざまがおトうゑんおれじくぶえのさうーぞえねきてろてこがこときざーとひきうそくゆとのぞくにつきさ



てまどのかれくまのとをうでのひまへさこつひおさえるとおもきさるがきんちつてかのつど思ハとあ京がほりかてあへぶりて安吉がざたつてをひとつりつまそそいと今ーむりひふゆくもとろさおく音てくさ「さま」トまのでてふきおすあでひそそあ「そんるうちておつとあらずハある去ハおやし」あぶけさふおまてみそそろくどえりのゝぎさまでおそまへそうけまますきい此へく見とあつれぶされあとのしや底でまち「此」のあひざ出さんでござりてくださりまをトいふえあすげがあんじやれ　図

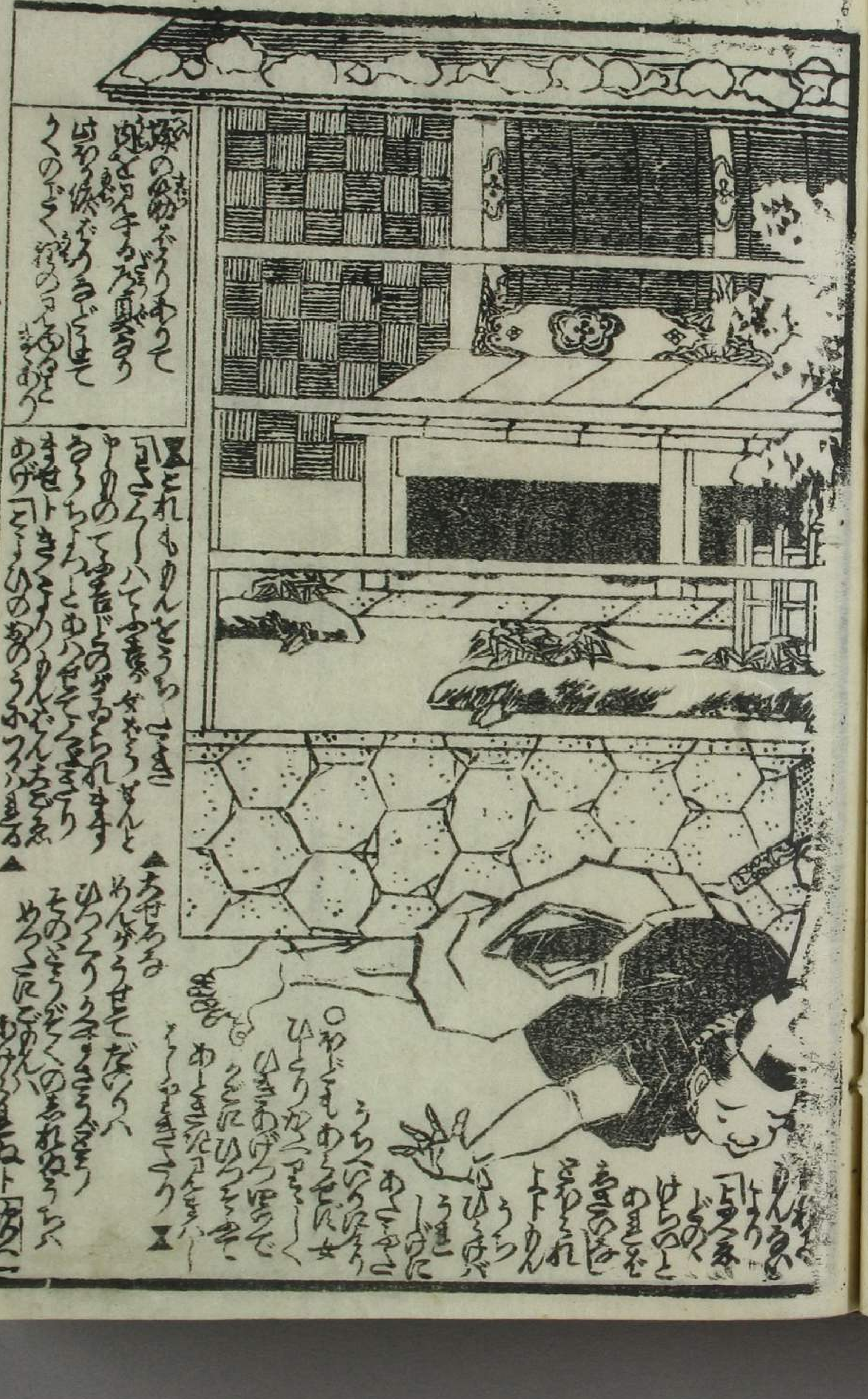
こりやそりもこゝにおれうろうとさちろくぐ方うちそえんげん助めのぞもいのずんくゑろべをふりかゞとむそゑんのむて○あのおんまつろうごうぐめくのぶめのくうる○がてんのゆうねそのひとつるころちくさてそてあそ「くまし」「こ」わくさ幸ちおそこのけト

次へ



つゞき ニてゆるおちやうをとりあげ
のけ〳〵のけ〳〵とつめつとつよくて
ひとあしがうんとふくこはりにゆく
それのはみだらくぶんのあいだに
くちにくわへくわにとりてあへ
とせきされバつくやとおちやう
もふきたて向く

○りんどのりんぐのりん
のうちに人ごゑ
しそろへとあつて
とうちさ
こぐむしの
あとをさう
てみさる
いきなさわりに
うけきてうりのんの
とびくをうちこれ
「せん〳〵やまとんさんと
つまがけちのわがま
てふきとやのあら
じんのあふて
よみらに
きこふ
あひさき
ときのゆり
トいふこゑ



塚の茶物がありあるりて
踊さ見んもかなた貴なり
はなかり流がなりかくはて
くのぶく待のつくあるなと
[illegible]

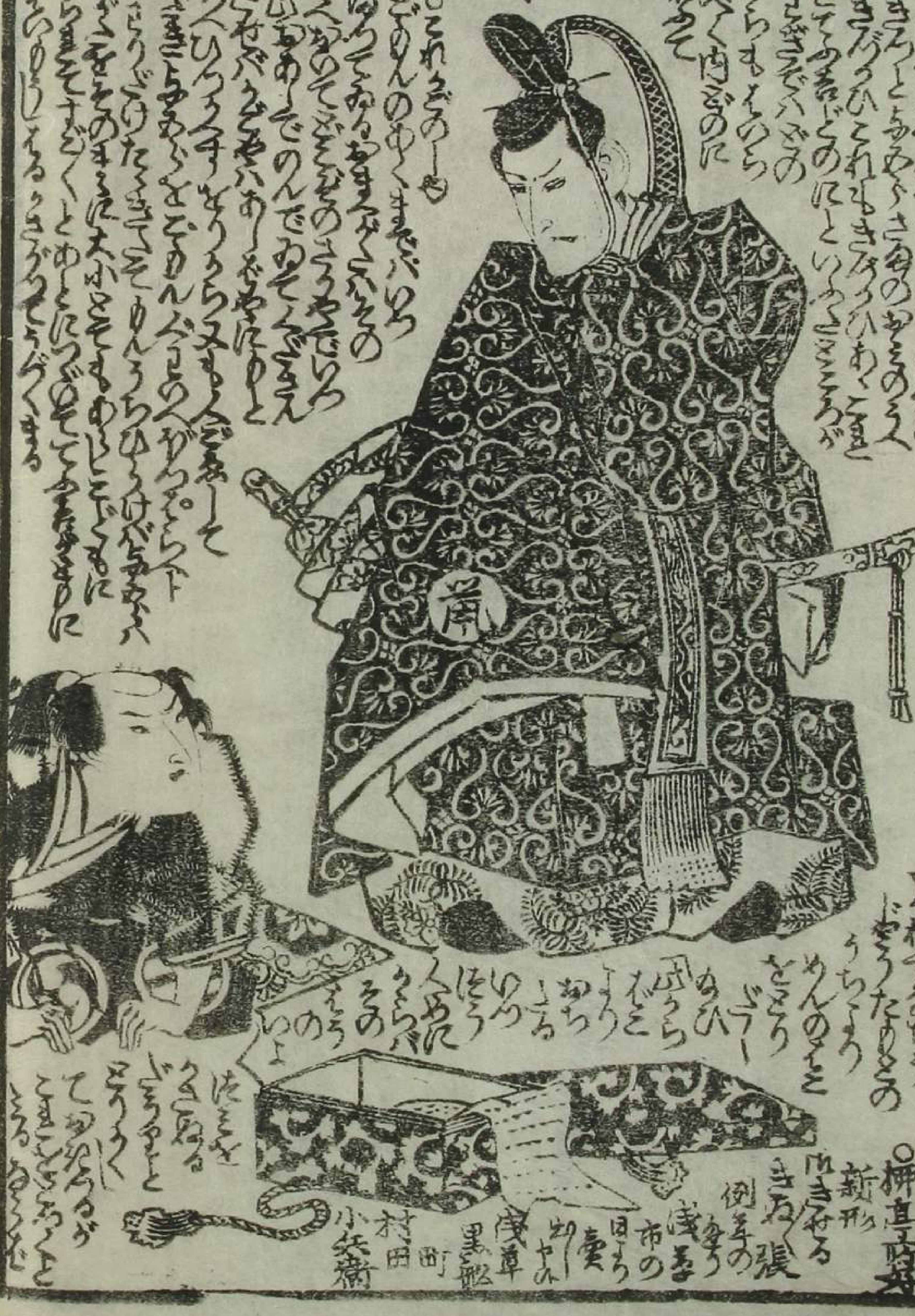
▲これもあんどうらさまき
「よふし〳〵ハてふ表ハ女おそうせんと
やあのてふ吉どのがあるられます
らうちやんとゆハなでてまろり
ませトきくすりりんでんあたゑ
あげ「ころりのあのうふつてゐる▲

▲ありある
めんがらせて
ひろくりくろまさき
そのさうぞくの
めつこんでの
あけくまね トなたく

○わどもめら女
ひとりかへつて
ひきあげつぼで
くどれひろこそ
わしきらくん
そうつきてつり▲

うちへいりぼそり
あさやさ
しげたに
うけ
ひとらばへ
うら
よトめん
さわされ
まきのはし
のまをぞ
けちのと
どのく
よう太郎
はなう
めんきさ
それを

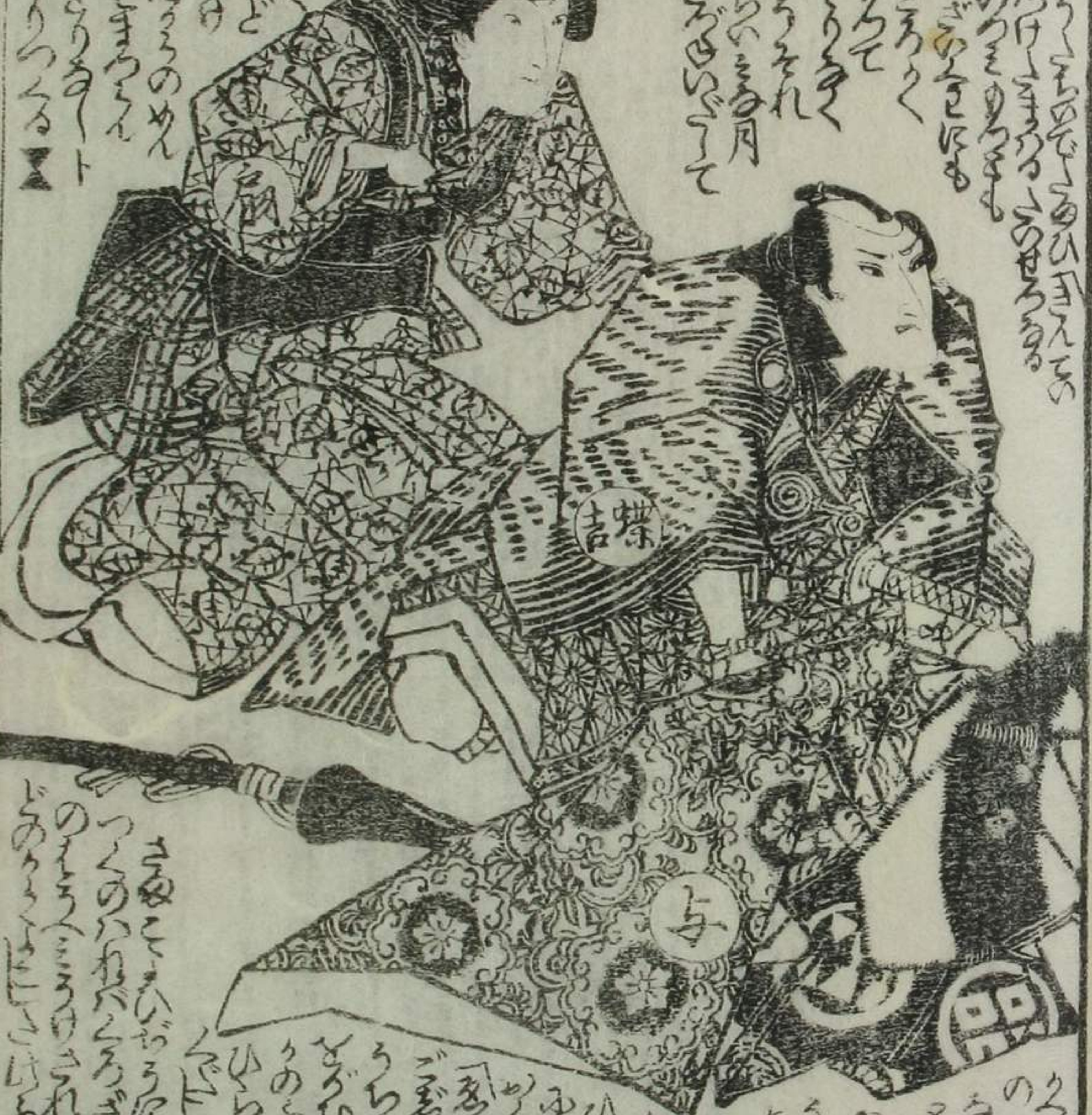
（つゞき）いはれてわかせんハきつとあらため
「そりやきこへぬおかさまのおことば
それもきかずひとつハこれもきかずひとつハわるくこゝろえ
ちゝうへとてのおぼしめしのにといふこゝろが
そのころおがさハらでハ[illegible]
ごかんらうもそのうち
まゐるべく内ゞのに
きもちでおかみ
きのさ
くらハ
そちの
人ハそこに
ござるに
ちかひハ
あるまい。これさこのしや
てうしハごめんのゆくまでハいち
まゐるもはらつておやるおさまつくハそち
かうとてへおのでござるそのころやでいち
そのかく山おいでのんでおそくござる
せつしやハ[illegible]ハおしやるにのと
きつてたへひらくすそうちら文をもらひ[illegible]して
「それ山ざきとおつかさどのへかへら[illegible]
てんきにさらりだけたくさんそこめうちひらけばかぶり[illegible]
のうちすぎるをそのまゝに大小さしてもかりしにこふてるに
おつとそらまでてすぐとめにつゞいてでかけて
うろくそのわしするゝさがつてきたる



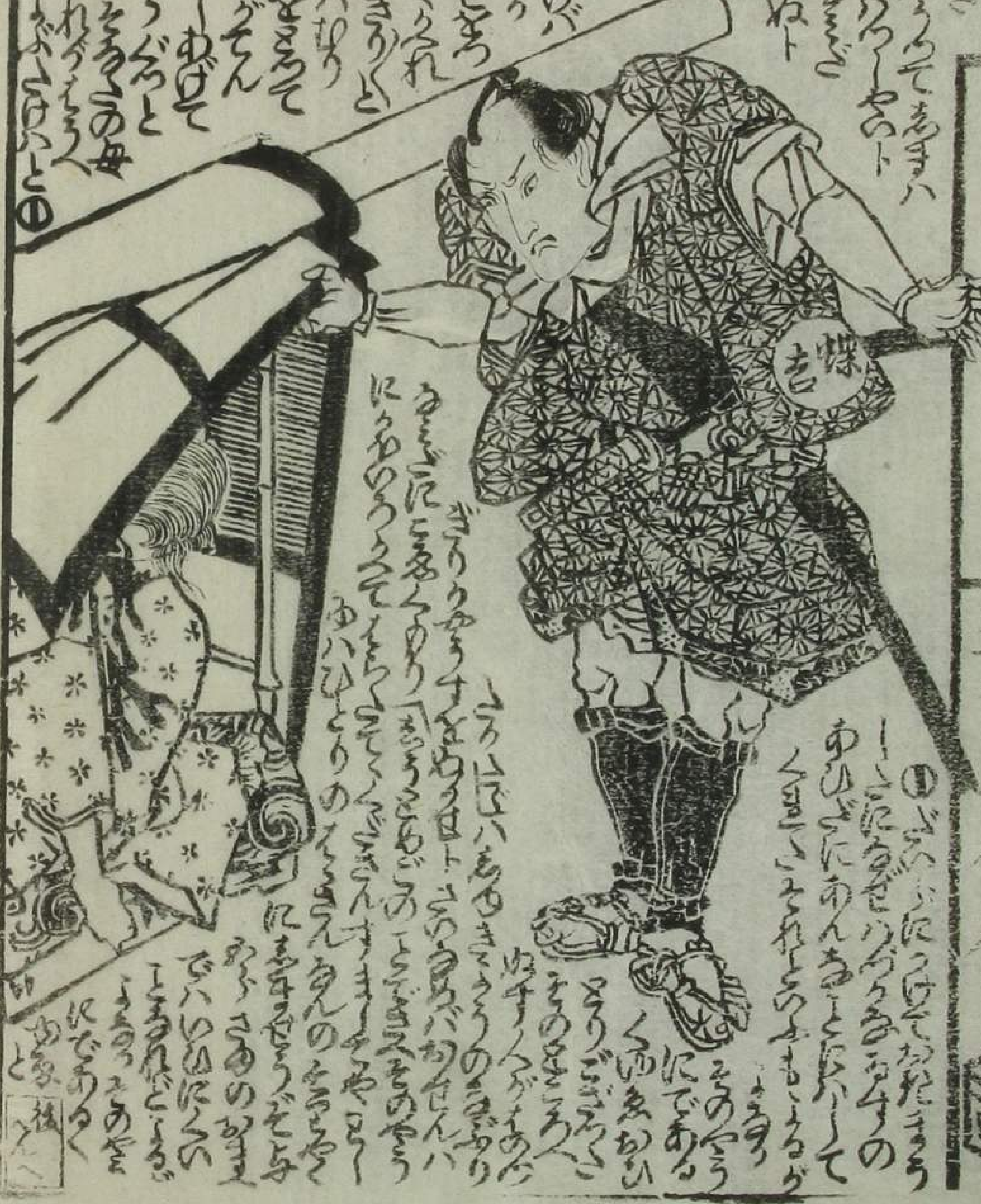
⧗ねずみちう
じやうたのもその
うちよう
めんのそと
さそりごう
あひ
「ふら[illegible]
だいとよう
おちつ
ゐる
いや
ほろ
人あれ
からハ
そのもち
のいよ
ときを
くだねる
じやうしと
さうらう
て[illegible]がるが
これこそおろくと
まるくるぞ

○柳亭種秀
新形
[illegible]張
例年の
通り
浅草
市の
日より
売出
しやうかい
浅草
黒船
町
村田
小兵衛

ねずみちうじやうくものでごあひ[illegible]
よりもうそへあつけまう[illegible]このせつる
めんさしるひそのつまをあつさも
うちハ[illegible]きざいきにも
おもせらるべきなこゝろく
べつのおぼしめしもつて
よくぞおりにかさりそく
こなやらハごんでをうそれ
さもにこのめんとらひうる月
げじめんまでにもよういでゝて
さしわけるハ
めしみてよく
やしつひ
さらせてこと
よろこばへ
わりがたき
ごもつちよく
トきゝて
とおかみそろつき
ひまでへし「めんがく
もうかねそのおもちど
せめてものけしこけ
いのちにかつても たかくのめん
さづけいつて[illegible]でまつるへ
てんきとほらくやうりおし ト
かうずもそきにすりつくる ⧗



かへつてせんぎ
のすぢもあ
あつらん。ゆの
ぞもひけト
なかきつけ
かりごのいの
うちへいのちか
とおやかゝる
ておろそ ト
かぶんの
ちまをおし
ひらけバうち
ハおかまづ
かくりしふき
「まてわりがたき
ごめん ト まか
うちあがるに
さむけてふるハ
かのふころを
ひらいたこゝ
くびーのならえ
さるてひおうたわ
のいれハくろざう
ちうくころうけされる
どかうくしさけ
（つぎへ）

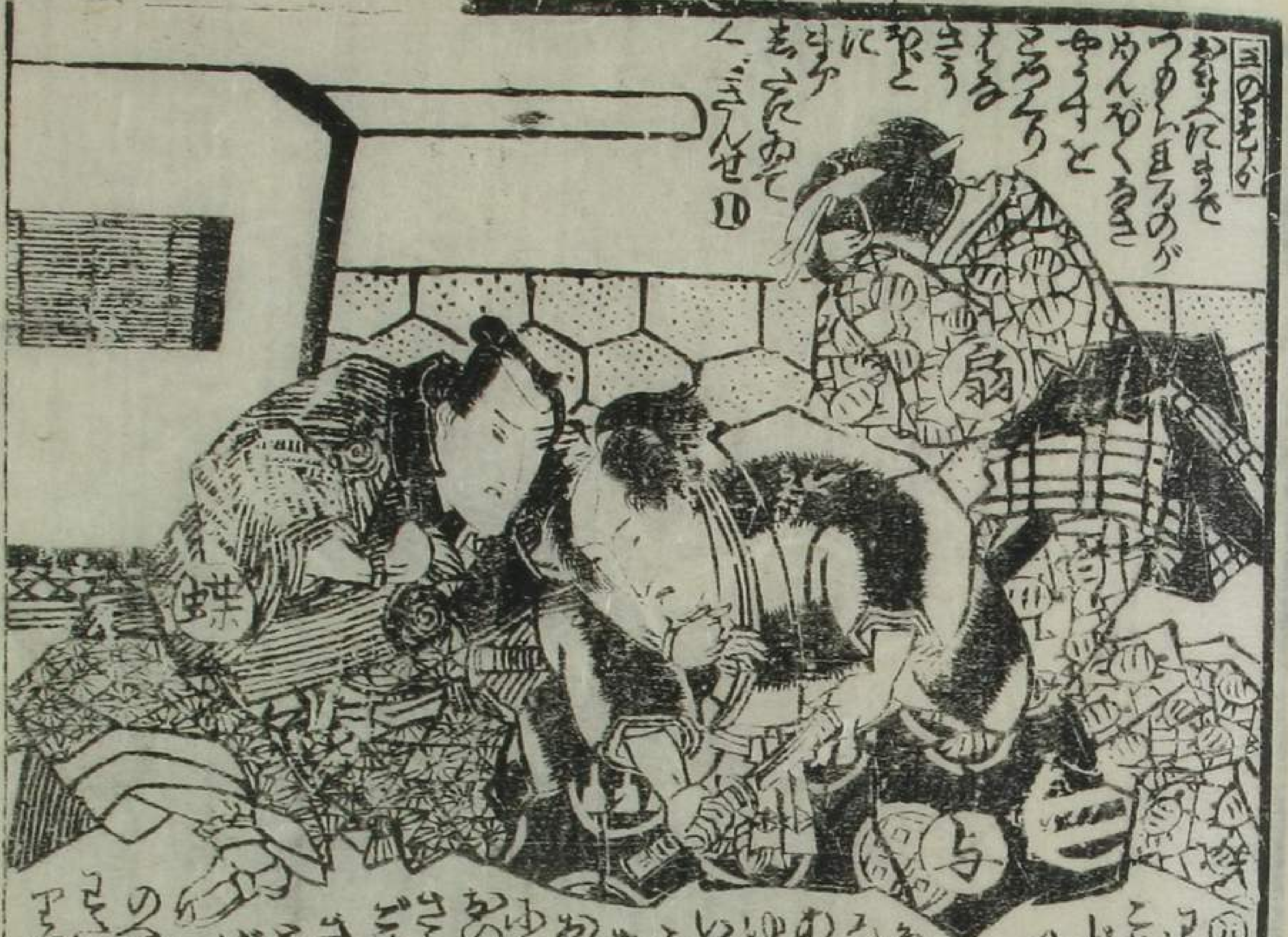


五渡亭國貞画
種彦作

「つばき」のいふやうりやとうさ あねにつきて[illegible]ちに おちまつて[illegible]して[illegible]くん のぶしのさう[illegible]のやさ そらが[illegible]あんの[illegible]じハうつてあすハ [illegible]さア ゆりかうにいろう[illegible]ト ごあいをさせてもらくゞ[illegible] 「ろんとこのふでもおりやあえねト ゆうをふろしろくおせんが さーより「わし[illegible]ちのく てがまどの刀をせねばならぬ ものがあるちやーときて くださんせトたのむことばハ ふりそらの[illegible]ゆいにうせたう おのこゑで[illegible]ハるにしにうせたう 〇さア[illegible]くつら[illegible]さきりくと いろー[illegible]ト[illegible]りあハねバなり みりにおせんハ[illegible]とのまをさそて あれ[illegible]ト[illegible]ハ[illegible]すりごぐぜん ゆか[illegible]てまがうされち[illegible]わけて びつくりおせんが[illegible]ぐつと ひきすゑ[illegible]うちら[illegible]この母 くらえ[illegible]のかれが[illegible] かき[illegible]て[illegible]ぞ[illegible]とⓘ

ⓘぶへ[illegible]につけてお[illegible]ちう しこに[illegible]せハ[illegible]すの あひざにあんあ[illegible]ひして くまでこそれとのかもしるが よう[illegible] その[illegible]う にでおる くい[illegible]あれ そりござゐく[illegible] その[illegible]ろく ゆすん[illegible]あの ぎりかみすをかつせト[illegible]あるバおせんハ うちにハあゆきそうの[illegible]ぶり あまごにとゑくのり「[illegible]」のとう[illegible]そのやう にくもの[illegible]てそらく[illegible]きんすま[illegible]や[illegible] ゆハひとりのえくさん[illegible]の[illegible]やく に[illegible]をぞと与 [illegible]さ[illegible]の[illegible] でハいの[illegible]にくい こと[illegible]ど[illegible]るが しよの[illegible]あの[illegible] 此でおろく あ[illegible]と

（後編之）

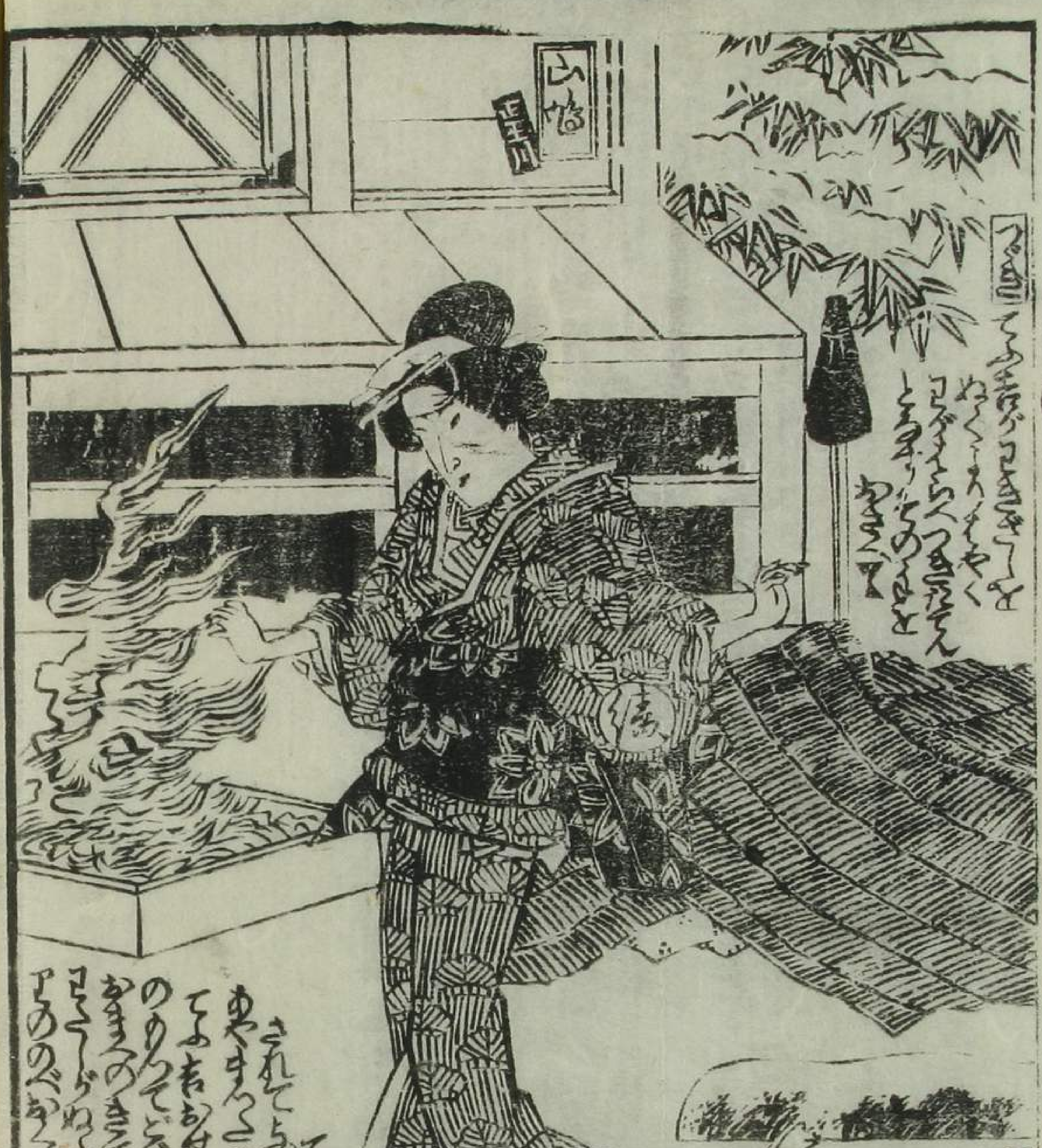


「三のまへ」おまへに[illegible]で つらく[illegible]のが めんがくろき やうすと とろくり ま[illegible] さう やと に ひア あ[illegible]おそ く[illegible]んせⓘ

ⓘ「六十七」[illegible]のだん母さんが [illegible]して これおせんとんど[illegible]のでござ どの[illegible]さびちみれさ あう[illegible]さまあつてお母さで わら[illegible]うさんが わらまこのふおよらうに 気をいきてんと[illegible] みえてこうけせる[illegible]その わしか[illegible]百両[illegible]たね ゆゑにぶんう[illegible]さあ いのうへ[illegible]させにござれ よろてその[illegible]せを あつまどのくこのあちけりに おりあるさる[illegible]ちまさあ ゆハさり[illegible]る[illegible]さゐの おのゝちにうる[illegible]てきいけく さらくゆり[illegible]とその ごけらのむこどのが[illegible]ろて[illegible] さぞやぶぞせうるのくそ[illegible]ん ぞのおつうひうえとてがきうてん ばくて[illegible]どのくもどーねうち いのちをとる[illegible]ござ[illegible]で のでハわけ[illegible]の[illegible]るを[illegible]て こちて[illegible]の[illegible]るかき おやうでもおやくにさそそまおう

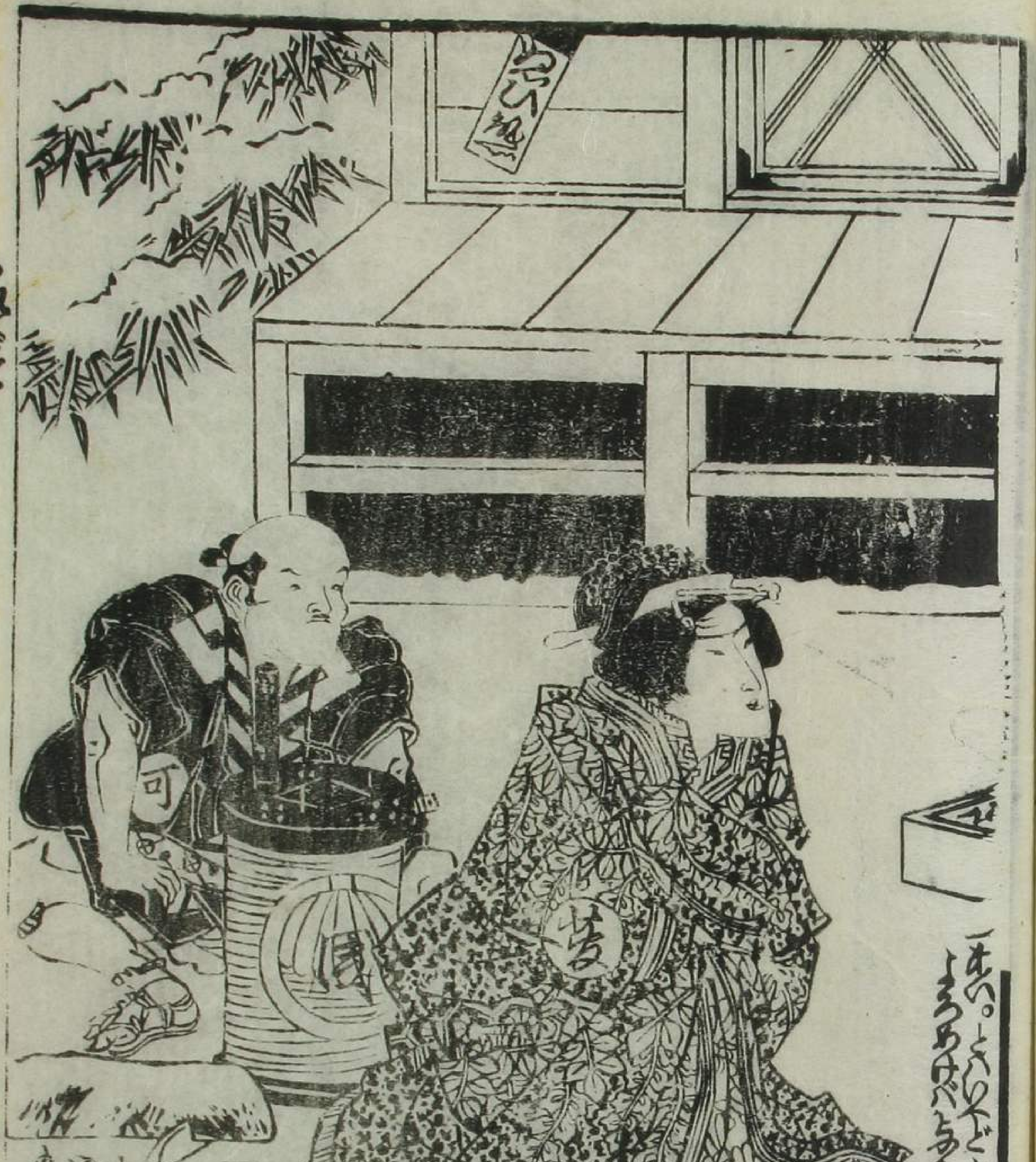
◆とうかう様[illegible]て[illegible] はして[illegible]りうの[illegible] あすまどく[illegible]にてる[illegible] 由くすうがにさう[illegible]ん[illegible] めてぞそのゝれを母さんが らけとうにかしーやん[illegible] 旅にい[illegible]とうりの[illegible] きかうくりむうのにゆゑバ [illegible]せんが ぞありでおく[illegible]ござ どうちきをあつてでや しやんさ[illegible] おつやところ[illegible] しーて六[illegible]のあつてぬ[illegible] らーしやんすまで[illegible] あうが[illegible]ていふ[illegible] ちがひ[illegible]まえにてる れ[illegible]ニ[illegible]うつてーや あすまむら[illegible]ねバ うらねをそれからぞの うへうれどう[illegible]の おやくにさてねのが [illegible]いいハの[illegible] いやそや[illegible]へ こまりる

（つぎへ）



**つるき** てふ吉がこゝろざしを
わくらくまでやく
こゝろざしらへつまさぞん
とまりゝのをを
かまくて

「てふ吉ハ人にのばさき
うへるもめまへ八そのこの
もちらうゝらゝまでお山居の
てのござろふくら　みへりや
ごまあんがちがひまいたら
らのめんをよろしゝいぶ〳〵
さ〳〵わぐるわまきまする、
このせつのおさへのかくぶ
おにこれ志きのこゝのあき
おかれにかけられずると
どもぐにゑみるぎあ
くちつけかゝりゐを
つかしてくださる
がはやう〳〵すいもあり
よふつねぜんそれ
こゝも今そちらから
まんざ母おいさき
うくらバそりや　ごろう
てにあきれませんトつまする
されてものみんが「そんにもいまあ
あやすうゝぬるてくれトおむ
てふ吉おせんにうちむかひ「まで母人
ののつてどうぞさのあのきまれハ「その
おまへのきてどうぞんすいとりおすを
こうつがわかさゝよくしく、さア仙ぢろう
アのゝのべがあつりゝあつきをのでよろう

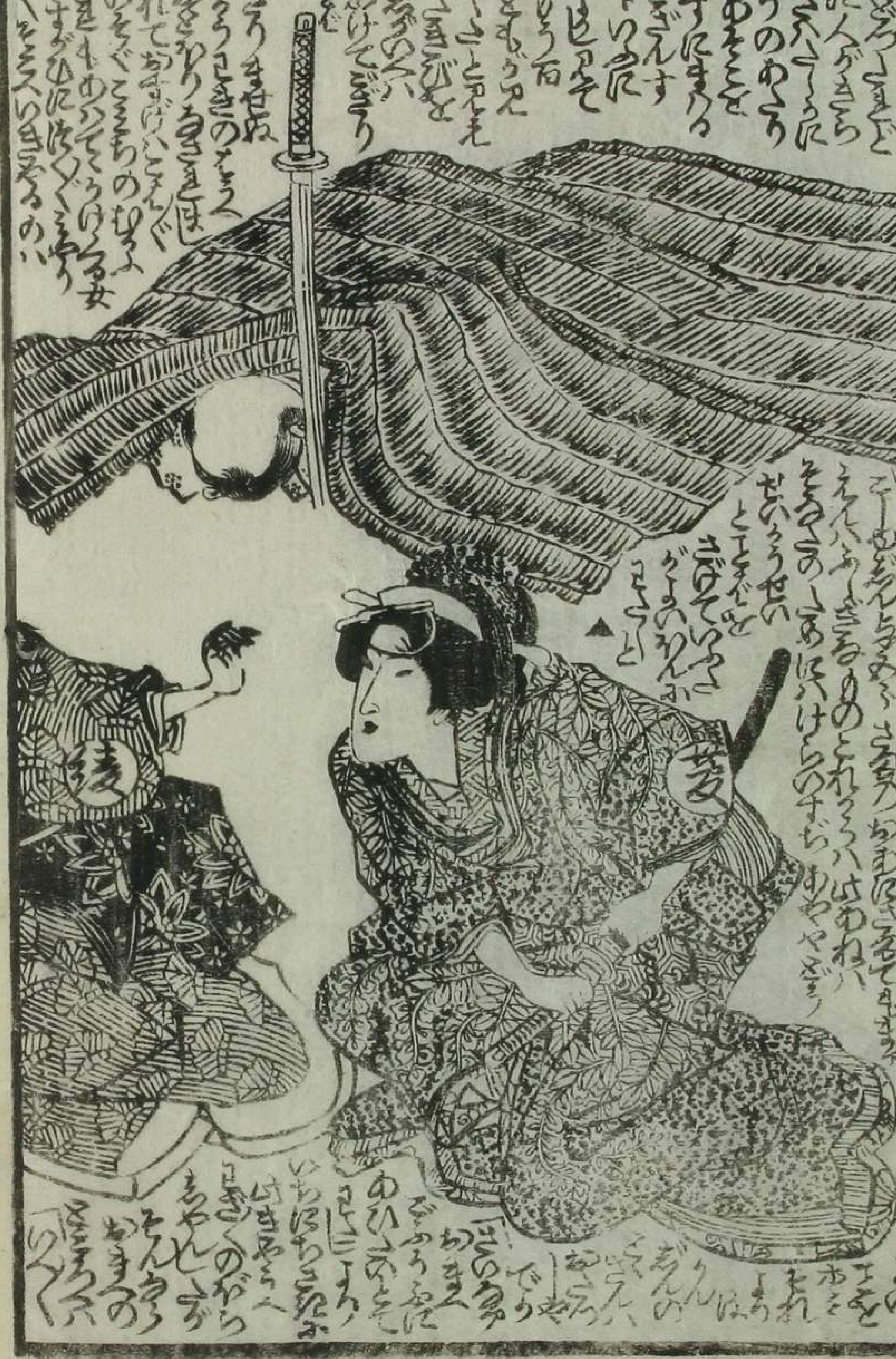


一ちへ°よいそど女のちゝゝあこゝごにかれて
よろあけバおふかへつろにさゑんつ
「わくわぶあのく　はま
かも友にもうまへさあご
甘めてもののひ見はふ
どうぞおれにか、
甘そられ「あくあり
がくこのこれがすぐに
ぐずいのあふこ
「おわ由この
うくにのつて
ござる八はよの
今よかう「ミ
らのハさくぶろ
「うわめこそ　ふく
○ほゝのさん
あそうらずらう
ぐすあうりあさ
みのべにある

**そのゝまさき**
べく関つれて又やよの
ところへおすげバさら
めどり「かし〳〵べく関
さのしあらてのまゝさんの
あそうがおそさ

つぎへ

「不破」そのだんなさんとんだおくぜつまでもどつてきまどきみたちに人がきたられておくれさへすれわたくしのめさりどうぞわたくしをさわらずにまいりまちへござんすまのうちいうたはべく内すじみてそ「いく」いくもう石まつちがさもちうちえつけまつさとみえゆうて一言いひをこゝでまぢのへいてもかゝけてござりませぬとうじ工六ござりませねきつくなうときのたくまつておいでなりましたぼトいひそれておさけいへんぐあかういゝそいでこゝちのむすめようこそまゐつてくうけいる女ぼかりすがひにふくべくきやう「三津五」くをこえいきそるのい

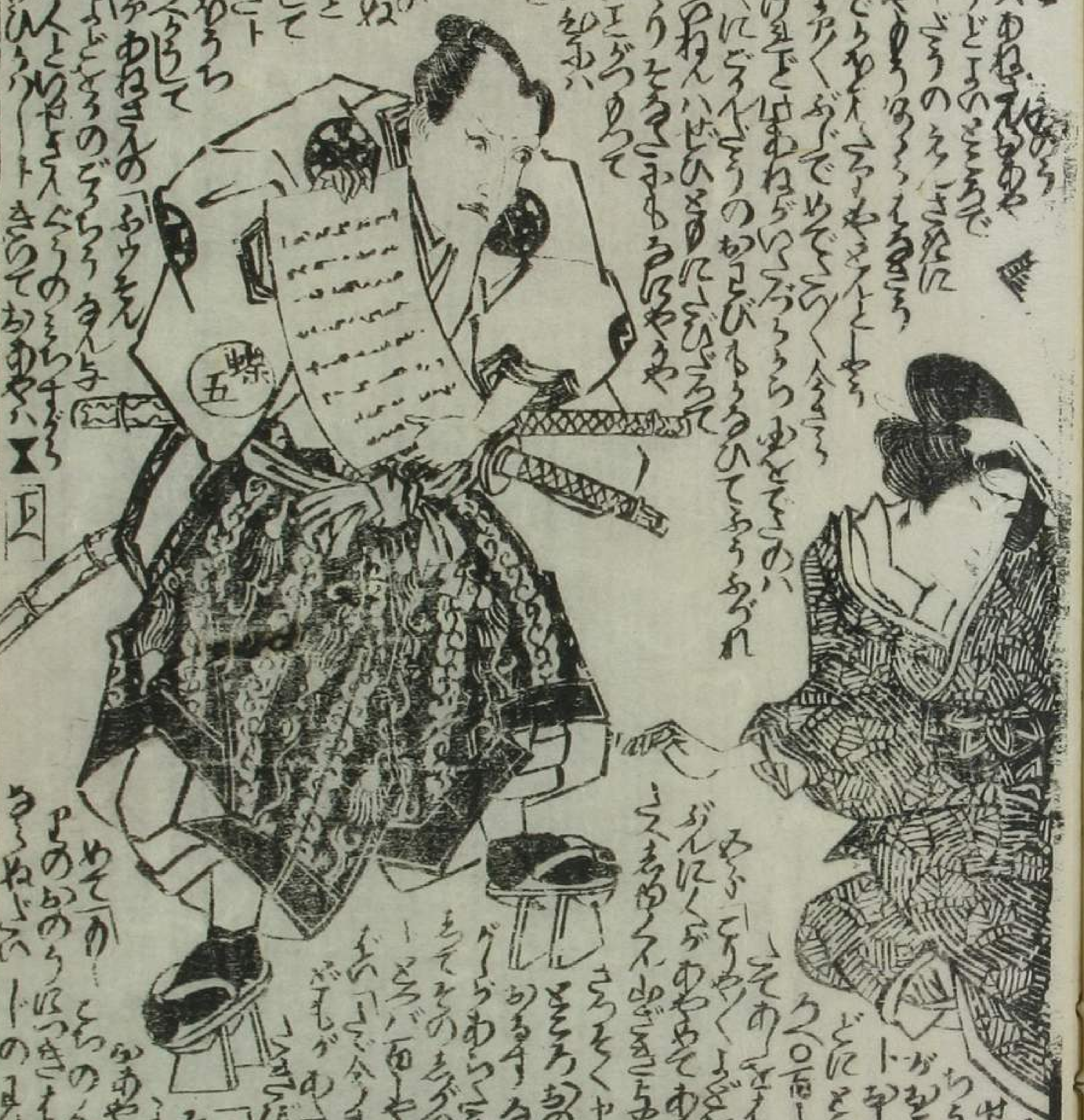


▲「上分」ひま手ゆうよさ「そのふみとさあとゆふおつてかへさうがつれわかひをにはてふみらくさのくでもめどんをもあくさあつかぬにさきてまちまつえんぶんぶさきのめのとれつてはあわれまてのぶあにはけらのすぢあやや〳〵せいうせいとてあどをさげていふさがよめれんぶさるこうと▲

▲おさこぶ今めいのでもよいままをおそれよれはくんのさんのこえはおさらう「一ぢやでうせのう「おきまぶらうふにめひふめとさきにいよりいちにちさ記ふ付きやう人ほきくのがらきやんせずそんなうおきまつのはまろくは「りく」

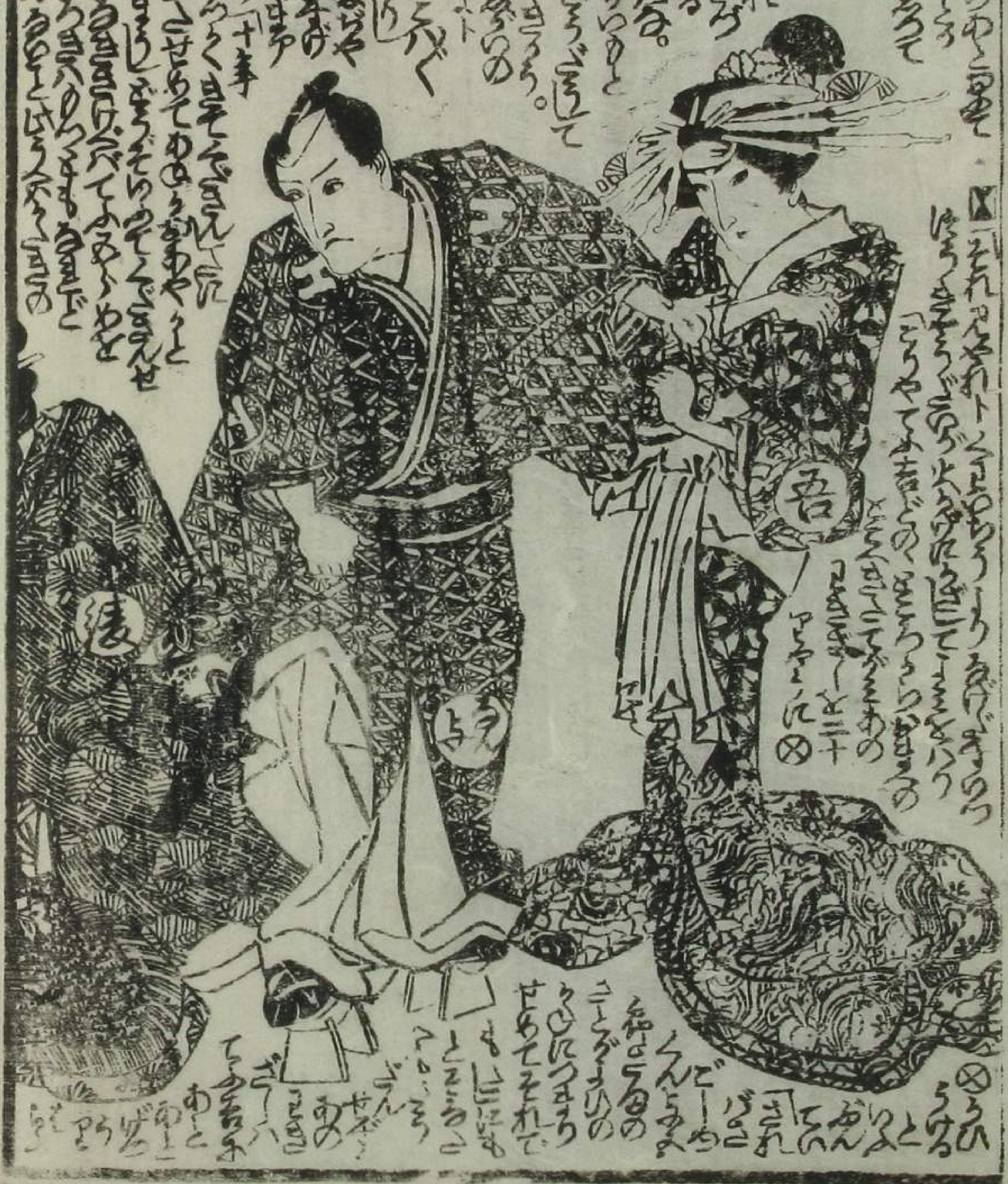
---

「ゆきの」「きうは八ちやん十ハめねきたもめやさん「かんにんじやうどとそのところでまゆくてトど゛ざうのえぶきた〳〵にこゝろちうけ。いやもうかつてゝりましてうぜつはさつぶりでしあすめすこやとしやうぶうはらへのうまひくぶつでめでとふく今さういやもめんどうくあけ上げとまわねがいふぶうら〳〵ゆるそ十年いぜんかりくにかけそうのおつきさびもうるひてたとへ一ハ由らうらふわんハ心ひさすにさびをうつておきさんにおわれにかうさうこわもるにやうやきてこのきといひさへ工ぶつめてわきびてゑひーさみ私ぶ八こまねどもうをいふれも女房どんめちうつくのごうかゞめつてつけそれぞうにおのゝぬぶうかそれハきうとえるさへますぶらしてえんとくのがゝやうさトど゛ぶきてあちずけハやらうちめかめ「コで」てくらしてきさつもおゝそりきまあゆみさえの「ふゆきえきうぶ男の名に「ふどさうのござらうぢん与主膳さまとよぬ人とはようへくらのとらすべうやうしこうまうひんちートきゝつておあやハ



▲「ゆき」まづござんせねりーござうちうでごおがちうがたこうはせねうト中ちのくやうへいちどにそのえつくまきうへ〇両ーやうきさ「そのおきをやめてゝふふうやくよふぎてのござうえあめやすめにくがめやめてめるとのうらえもめくれ心ござさらちめらぶどの上さうそくやつくぎまとこうおのうにつのておるす。ゑれバまづされグうめらくまやくさらせんまそのまがのへぶれにおーとうバ面ーやうくう性くおい「こさ今」まそでこうにぶもがわいうてえつくさ「ふきびがめぶるしそれトめゆを「ろるなどうるそぶをおあやがひきをめてあのこちのくこうむきえよのおのらはつきまるさゝゆ手きゝねどへトのまけ「つぎへ」

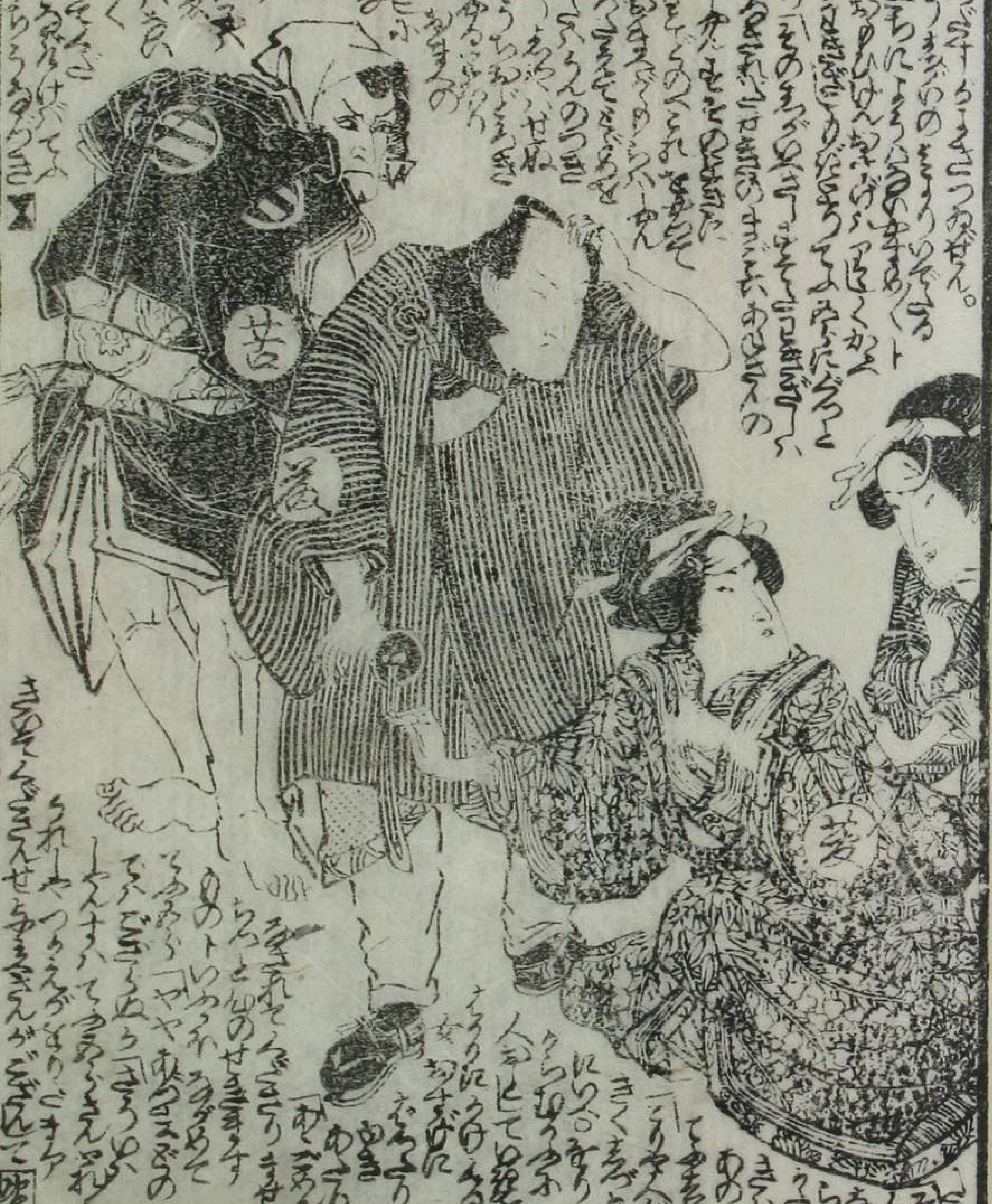
わざ〳〵それ申さぬそのわけ二つ言て「どうけてお主ぐそれ言って「あっさだんらかゝきそへ八おめくおく八一きちう言ひうのわんのめずえもおとてそれとこゞすおアやうさうねいぞきとへわれにある「そってくれにあるの人か。あゞくと言「ニつて」ヒがりのと「ぶんう。おほうのきさ八そうぶぐ言ってうらやうって面かくざうち。それ面しそうぶも喜びのむしろをえねのわけヿトこちよりればお面やも気ぐさしのぞのそひっくり」「やっや。こりやさつ喜ぢやさ、喜ぢや「身下わ算おもまうびようこりや日サアぶう甚う見えと去う「十事ぶりでうわ人に世かく見てござんどうまうさなら言ヒさせめてわるやもやうと「言ってひと ところますうどのそでございんせト喜ぎうき[illegible]



一それ〳〵それトくよりもうつかわげぶすのうはうくさうぐ言ぶ出へげに言てさまをハク「こうやてふ喜ぶのくところのおまうのとこんかてうかそわのつまきるしと二十アヽ[illegible]

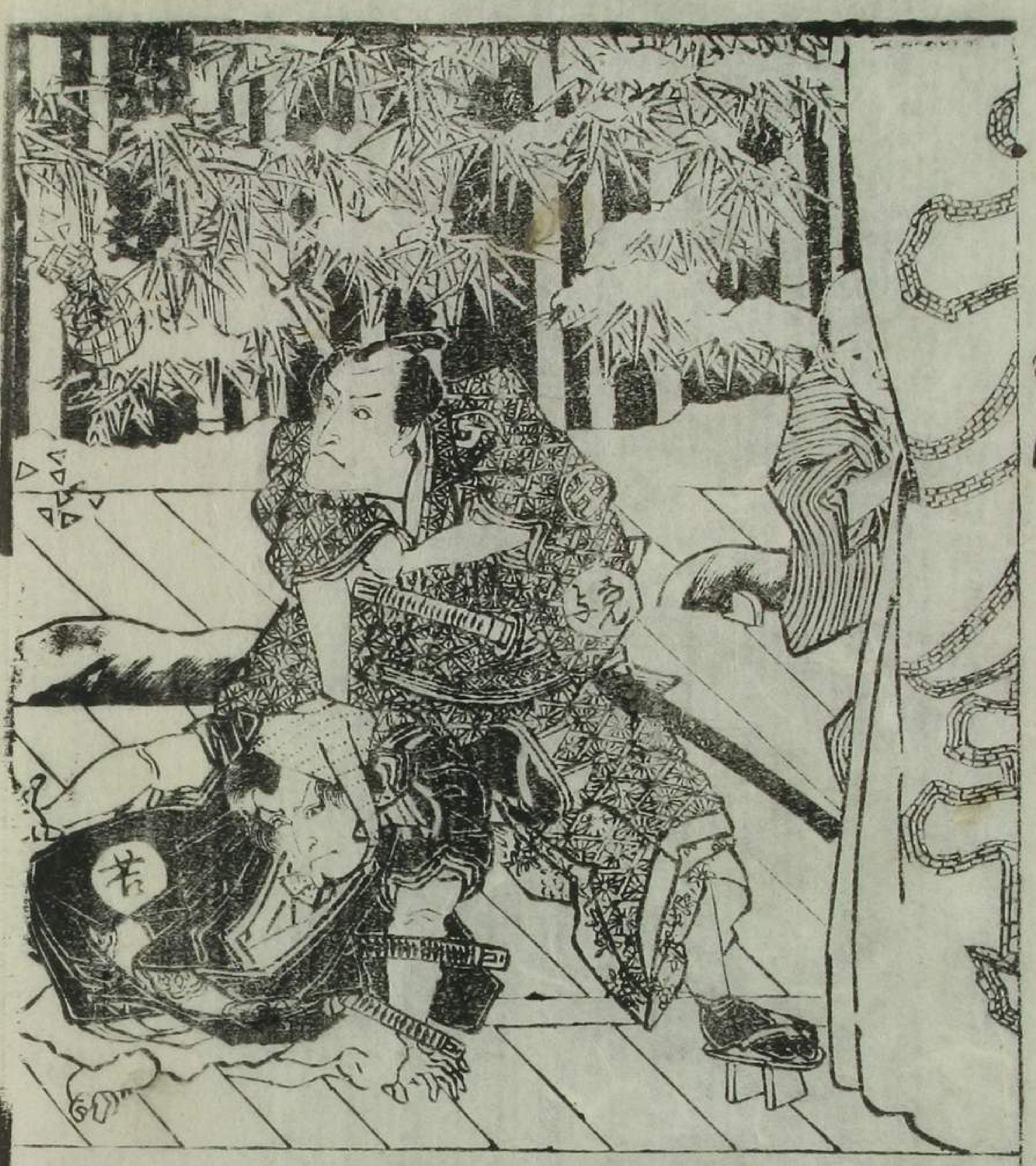
うひうけるとふおかんてん「言さればさ ごーめくんらふよ気よらるのことぶすりのうにつまりせめてそれでもヒにもところさアいうぶんせぞきあのきさ ざ一八てふ言子わとかエげアうらを

すぶり一人ぶ出いぶすらうきもつおせん。くりやく面 やきりきびのきよりいそいでう穴のようよれ「言うれようへ身の女のうめくトおろくうそれるまる見 ちうの目ひけんおきらけろアほくかくひら言あげぶく傍がきさぶにわぶんちってよみたにぐらつくつあのけめをくちばう「その言ひ見さう」さけそこどうきんの八さうあき言れ二十喜の言うご六 おひさんのんぶきうをおうさし分たきそのおきうたつひにわるねどよかをくらのくぶれ「さあうそとひきそだれのにおさまえぶくめらへ一やんまさひとて一 うちう言えてさびあをそのきさ、ちつておいえうらんのつきおかいとくて言う ともへ八せ兵トうつれ喜おやぐくちうかわきよき「わしみいしも。あのやるらくぶそれこりやふさらんとらおますのどう穴ろくき言てく足ち二ヒぶちうひ八ちがいはいなかう喜まちよるねこまでぶ喜さんすおまうであちう八てて一八をう喜てわれいくあのえ大そうどもでおやさを言ひらうぞでもおつる・ぞ八気いぶうでぶうそんの面くやうれいの目け一そのささんせトどうつきしてみけ六てよあうあく ぞうちうさうつき

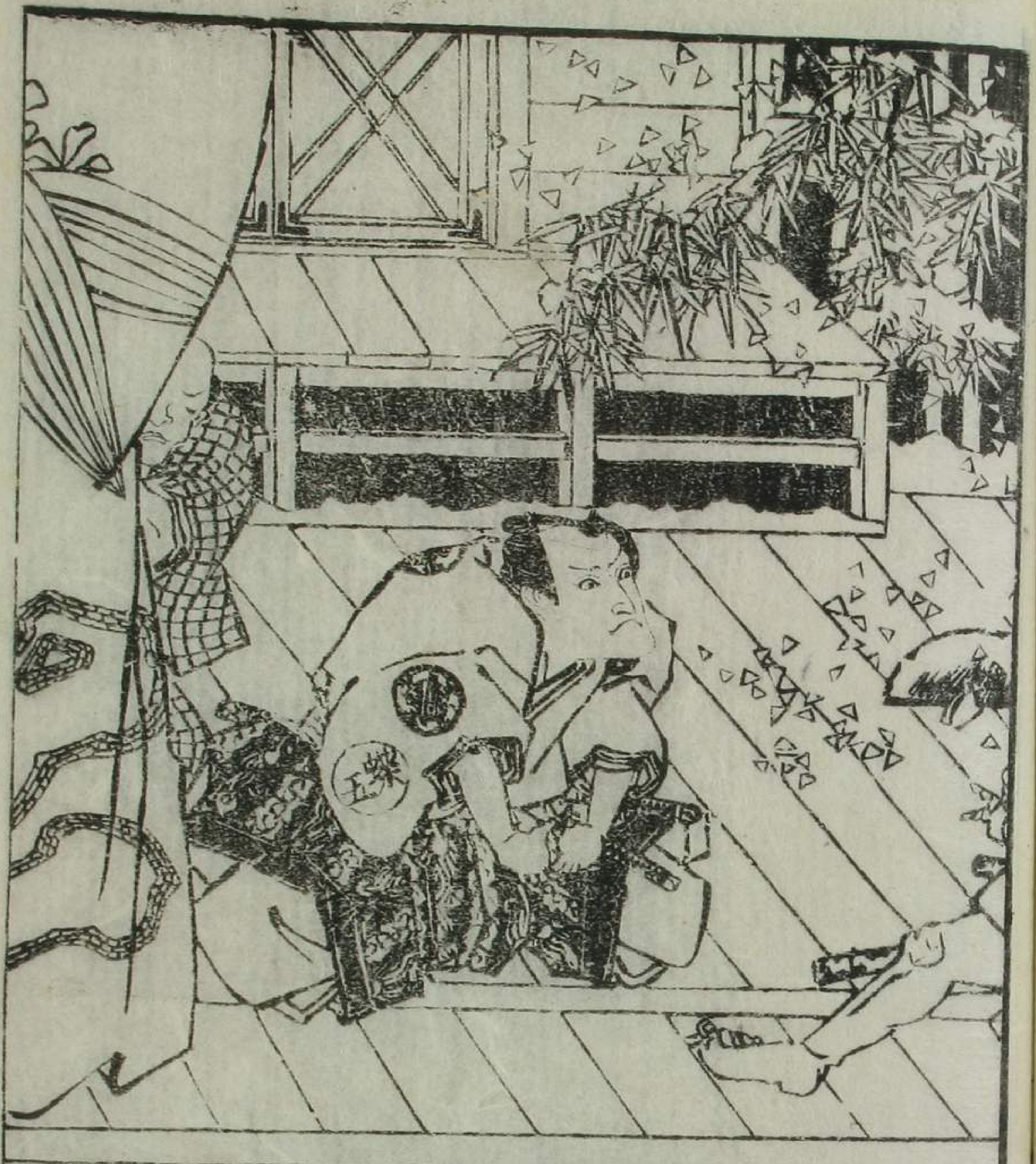


「ヒそんきらさうきあのて言二こりや人きく喜づらにいへぎりくらむの言人まヒてい喜るえうのにうけ女おやぶけれにおやうまりめきさ 「めごかみん

喜されてくださりませ 言ふとんのせまますあのトいわれおぼめてそゞかさ「ややあのまえぞのおござらぬう「まうめ しやんすハてうめらきんかれくうれしやつゝえがすわりござんさてくださんせ今まさんがござんで

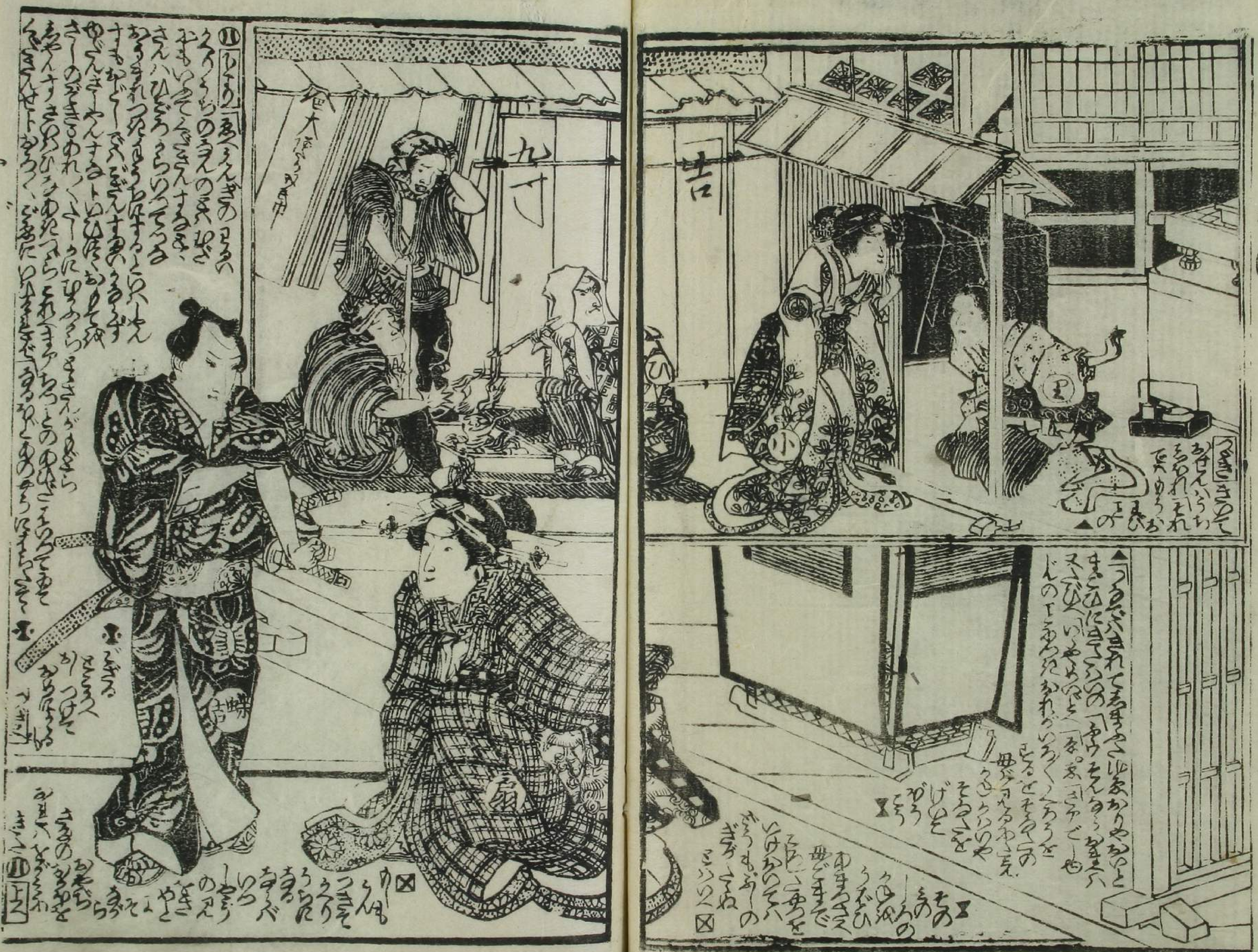


「つゞき」あるのまへハおれにまかせてうけおらせやといへ、しやんすと[illegible]こゝまできて[illegible]あわれく[illegible]ちやうちん[illegible]おそてうけとうにてござさんせト[illegible]戸を[illegible]ひらき[illegible]やうの女も[illegible]くる[illegible]



トきの[illegible]

[illegible]



⑪〔ひくの〕「ゑへえんぎのころハそのうちの女えんの衣ひさおもいそてくぎさんするゑ、さんハひどろうらいてつるあろうされつ死てありちほするとくハせんすまもれどーでさんずまんするまいろるぞゆびんざーやんするトいひはくおしそ候さーのぞきるわれ〳〵ふ一うにひそろうちもさへぎかまさらあやんすきのおひそうめ死つさらこれくまゆちうとのゆひさそそのろてあそくさされせトおろつくぶあにいれまでぞ」すろぞとあのぢうにれちらそそ

ぞきるさんそくおしつけておもひなるハぎゝ

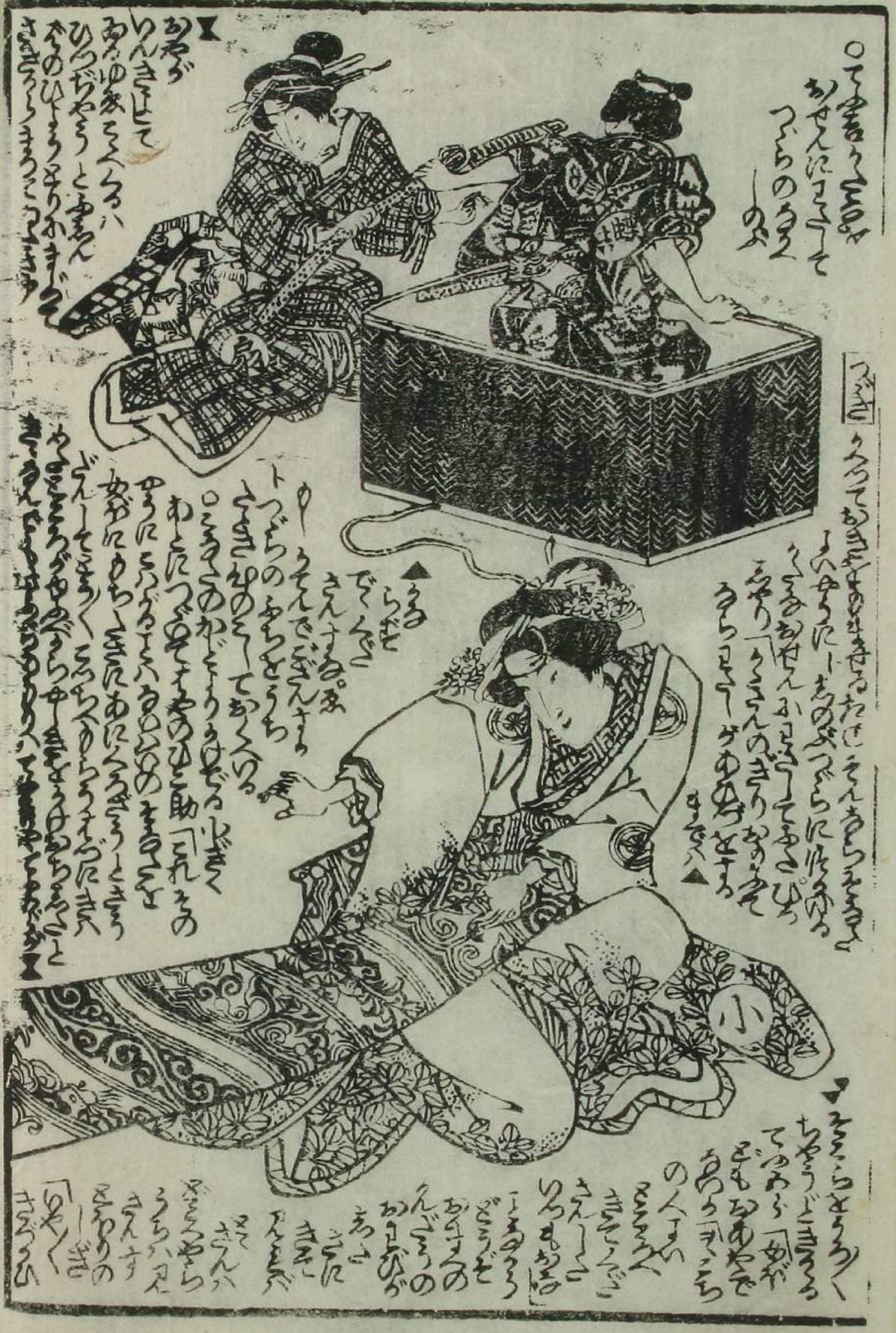
さるのなにさをふまへまさに ⑪上へ

⊠ わんつきそうりろられあるべいらしゃうのえきさやそよそあらおきちら

〔つまご〕きそてねせんいうちろられそれてへめろうかもひよの ▲

▲「つるゞハまれてあまやさしいあかりやおのとまこひにまてうの「あかうそんなう、まき八又さびへ「いやめのと「まる家「さうで一也じんのむるへ死おもかいろくへろうをとるせそうさへの毋がかるやうえるこゝろのやそろさをげをがうこう ▼

▼ あるあの一へろのくの兄うぶひあまへさえ母どもでさハ二母をいけあのそハかうもぶしのきうずそねミゝハく ⊠



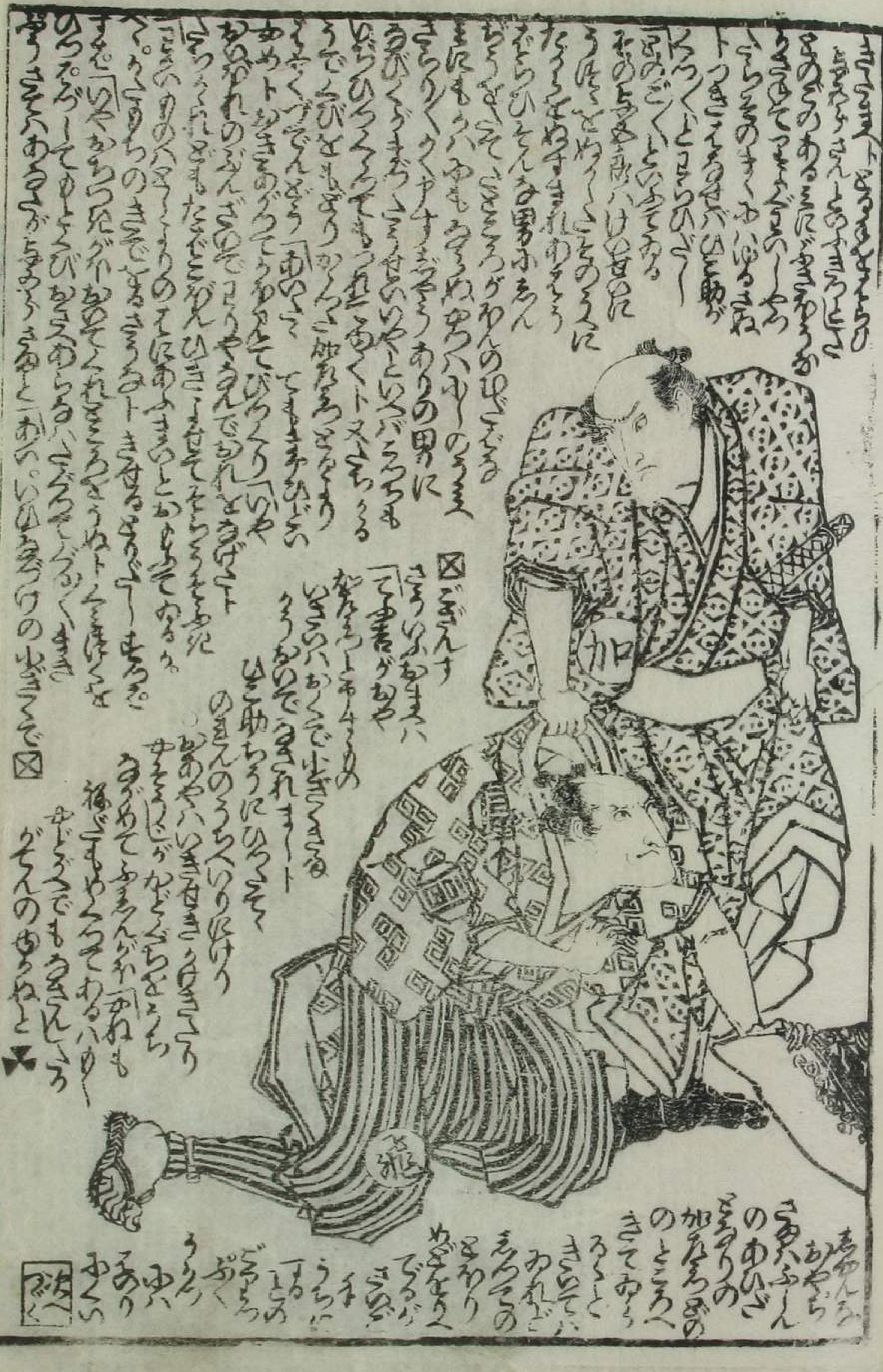
○てがみ[illegible]おせんにきって つゞらのうへ[illegible]

つゞら[illegible]くゝりて[illegible]おせんにふさ[illegible]つゞらに[illegible]

おやが[illegible]りんきとて[illegible]

▲るらぞでくさきんするぞ[illegible]つゞらの[illegible]うち[illegible]こゝろのかど[illegible]ひと助「これそのわたつゞ[illegible]

▼[illegible]ちやうど[illegible]「わが[illegible]の人[illegible]さん[illegible]いろ[illegible]「のやく[illegible]



きこえ[illegible]トどう[illegible]おせんさん[illegible]そのあるに[illegible]トつき[illegible]ひと助が[illegible]

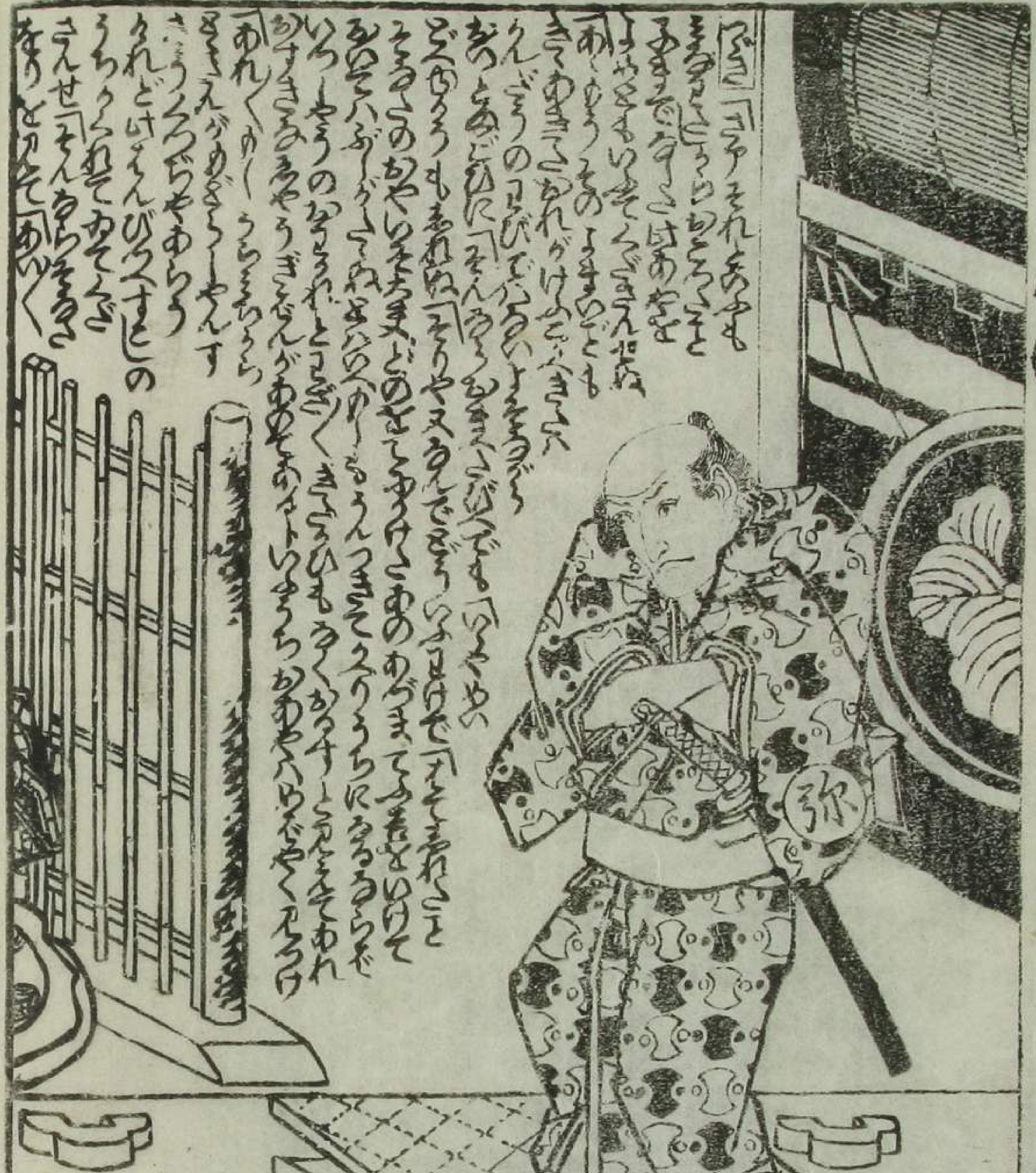
[illegible]男の[illegible]ありの男に[illegible]あめ[illegible]「あのて[illegible]「いや[illegible]

[illegible]いのちのきて[illegible]「いや[illegible]のつけの[illegible]

⊠ごぎんす[illegible]「てがみ[illegible]ひと助ちうにひつて[illegible]のきんのうち[illegible]

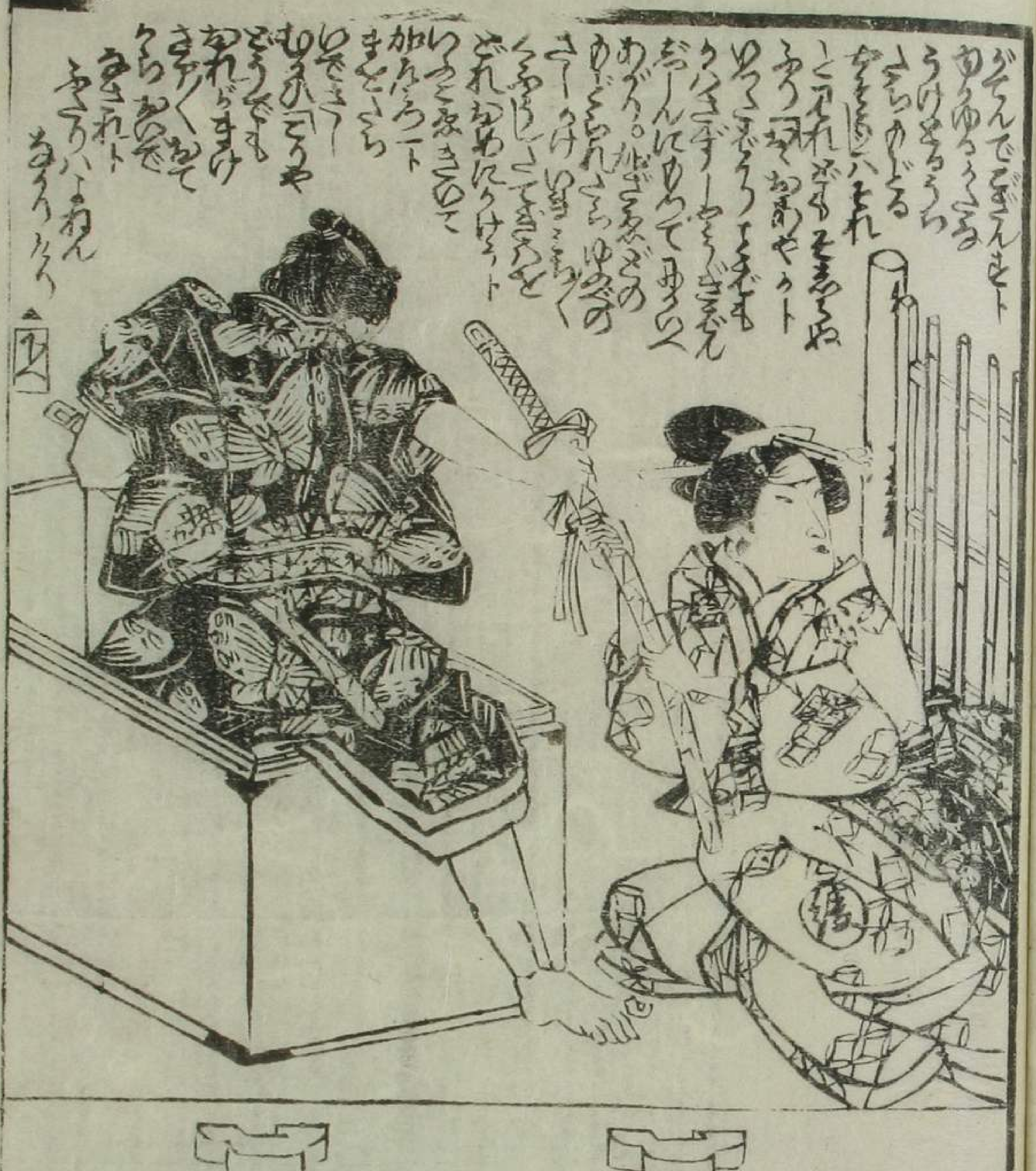
さあ[illegible]のかたひざの加[illegible]ところへきて[illegible]われ[illegible]ありふくい

次へつゞく



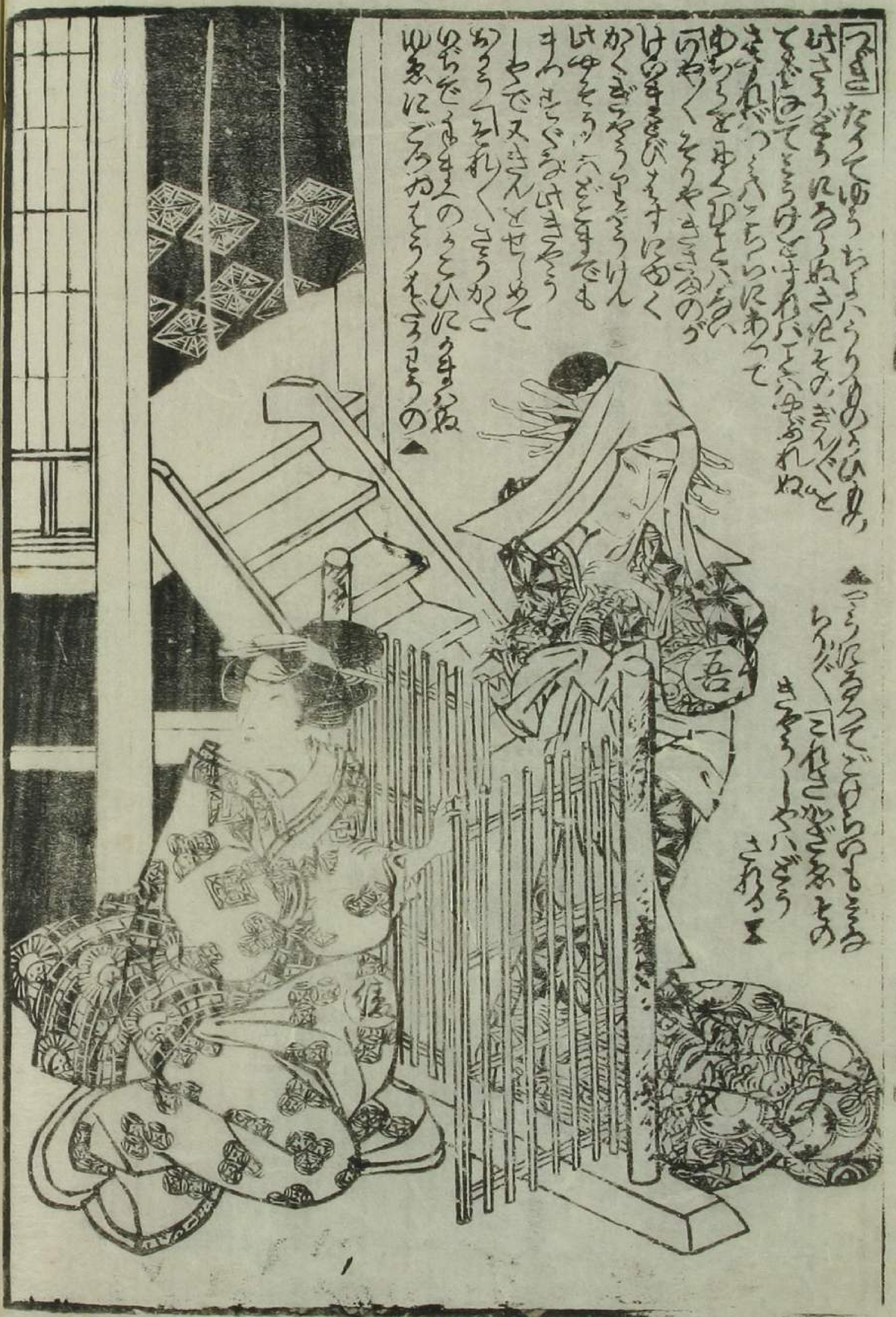
「やじ」「コリヤそれきても
まだどこらあたりござるぞ
みすまでゆきさんのやしき
まへまではいそいでくださんせぬ
あゝ、ものうきそのよふすのこども
きてゆきてさあれがけふでござんす六
んざうのうはびでござんすによそながら
おちかどのに「そんならおまへさんがいでも「いやもう
どなたでもあれぬ「そりや又なんでござりまするぞ
それさんのおやしきまでおまへをおけさんのあづまでの
あるもとふぶくでねまよひのゆめるうんつきてくろうのうちにおるなぞ
いろいやうのおなられとうぎくきてひもまくおかすとらるそれ
あすきのもやうぎぞんがあのあわトいふうちおかやへやくわけ
「あれく」めし うらみこそのう
きえがあめさらしやんす
さうくろうでもあらう
それどはせんびのすきじの
うちくれてみそくざ
さんせ「そんならそさ
それどりかみて「あゝく

いふ又かや
おりそく
うけゐる女
「ゆくこの
あうちにとまま
さんくらかゝら
さんハめやしやん
せねらふそうの
うらがまてく
みつわがみちくり
とあのさひと女中
さんこういふてくださ
さんせトきてそのあや
がいくあるそがまう
ドハこゝでまうけ「その
女けうち又いれるとと
まりかねや「あのと
おやくらしきま
かほう又にきつけ



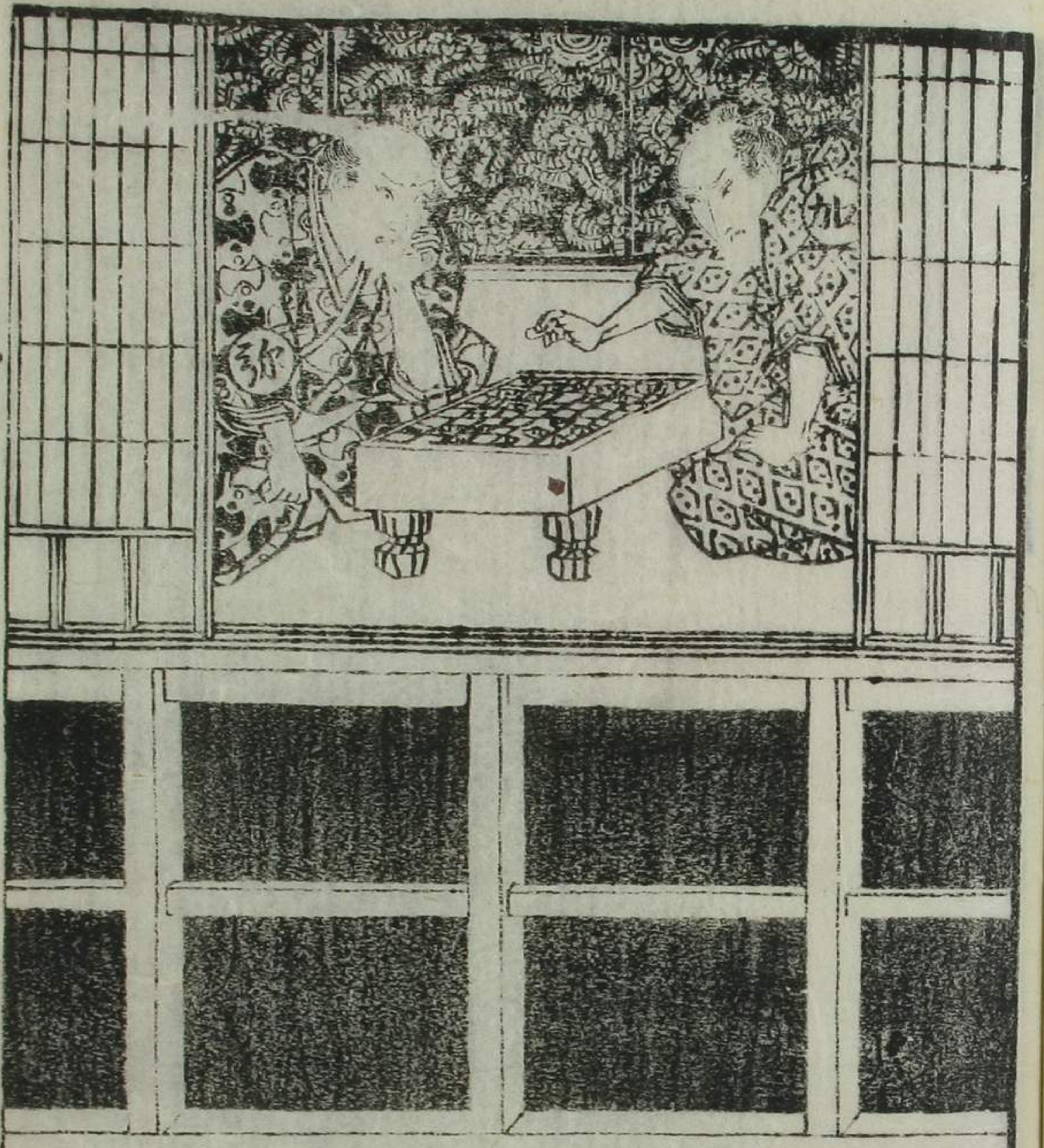
がそんでござんせトト
まゆかうもちる
うけざるうら
さらかざる
あなたさまうしハそれ
ことれぞおきぞえね
ふり「そんでおなやうト
ゆくそうらうともそも
うくきずしやらござえん
おしんれもつてあきのく
あがり。かざまえぞの
めぐられてさらゆなかの
さーうけいはることく
くふうしさておいてを
どれおわれたうけヽト
いつくあきさのて
加んたうト
まをさら
いそこう
もあれ「こうや
どうでも
おれらまけ
まあくみて
くらあのぞ
まされト
やまうハよわん
おそろ々く

「ふうしうちのそらく
さまをせ「あゝトおあやが
こちわがる「いれるこ六
さうねだ「あの「ヱまそ
とおせとの次郎トト
おかやハこ次へ的門
まま次じハ次郎こそ
あのあがまとのよ女ハ
ごーかどんの心をとまら
りーおあわとこせしさ
さすらのけいのせい
あそうれべつはれ
かどらくーまうすせ
ゆ六ハそろとこるに
うちへいれどうせらー
おれらまトうすて
ゆき六加そら申てい
うちこまらひ「ふことそて
いくびーやうぎきき
のてにきんぐくハ六玉
そのやうにあり高き
どひどくとほかり
つりこうのつりにきえ
つれぬとからのあうら
があまたれよく「つぎへ



（つゞき）なにとてゆうちよハうらのめのとひめ
むさうざうにおちかねさんそのぎん〳〵と
てつだつてとうけとけれバよいがあぶれぬと
きくれバつくハハらちらにあつて
ゆかうをみてひそとハいはい
のやくそのやきさゝみのが
けのまきびもすにかく
かくござりやうかとござりけん
はゆそうハいとますでも
まつさらぐみはきそう
しやでヌきえとせしめて
おうう「それ〳〵さうかく
やらでみまへのうとひにみまかね
ゆゑにごろねもうそでころうの▲

▲さうになるてごさりやうでもまゝ
らりかく〳〵「これさかござゐとの
きやうしやハござう
されう■

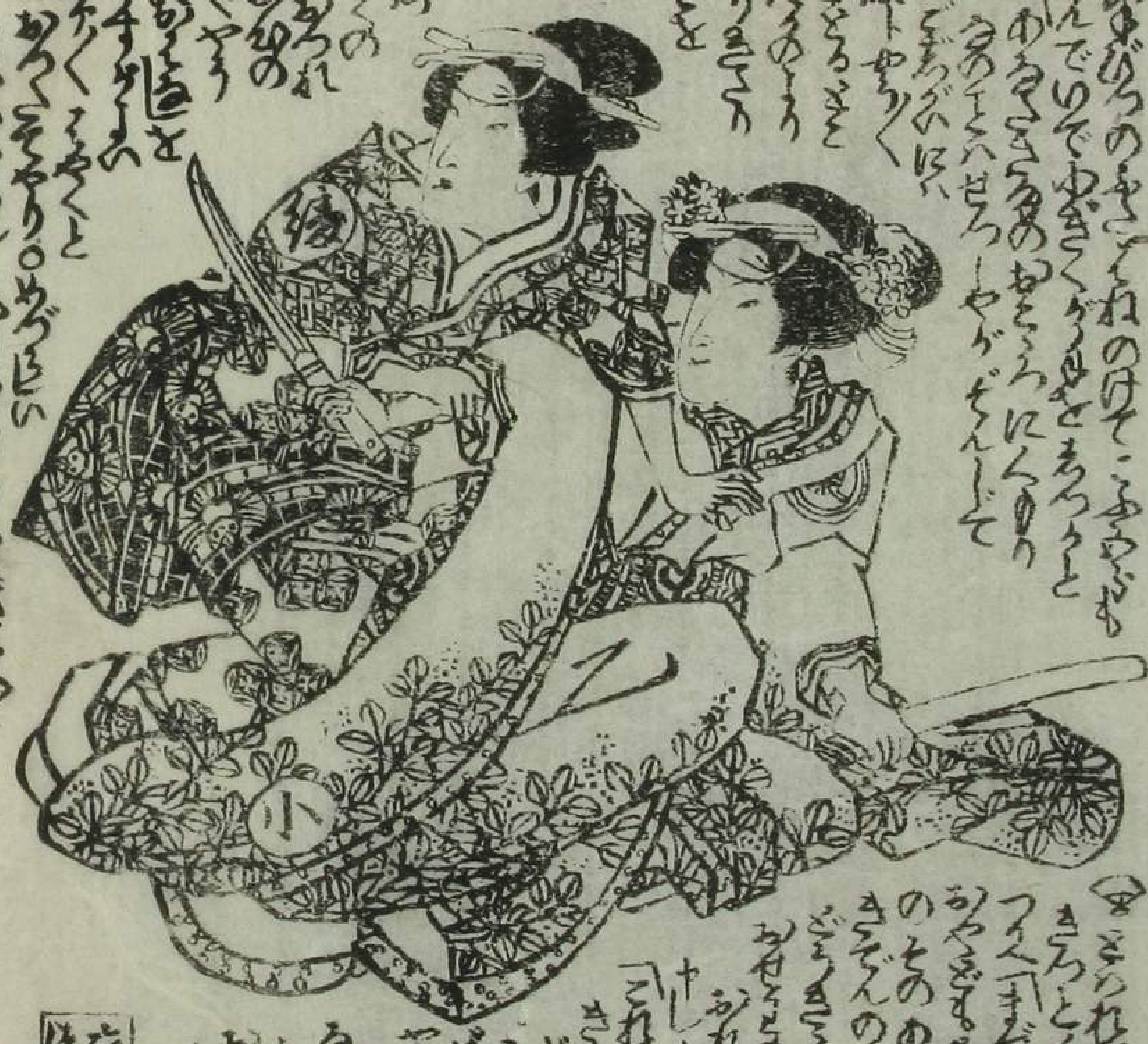


■イヤその きそうしやさで
おりひざつくあのおもう
るんぜひきくそでごいのぶ
さいわうやつてもそこのゝ
さるちややる「じ」とすそし
づ「ござつてまいひよそそ
くゆうをせちうトゝきさ
わて「まだおもうやされバ
ゆれてよのやらこゝろの
やうなかやハろうにきけバ
ぎよく〳〵ゆぎつくハおやせん
あのうさもふのねんぐち
より「そうので「あづる
さん「その」ますにうえし
て「ハずん二のゆえとこ「ヒ」
ぢめーよんでよ「えんにもん
つめらくをがそうけうしの
かそうじどのにもつらまこ
さうどのやうにもおや
まちらう「まアへくとらへと
ゆきさるうかあつまへハ
おゝうへうちまゐり
「そんならおまへがゆくにえ
のくろざうさんの
いゝうさど
（つゞき）

つゞき 小ぎくさんでござんすか
よふやくさんのごゑんざすも
のちハおまへのおはゝさんの
いのちをとるやらおところこと
おやぢすがふゝくけりや
かゑんとやら おまへの
うわさをきゝてさへも
ぞつとしてト
ふりをなしそでを
「小ぎくハひきとゞめ
「おまへにこそそうら
ミハあれどあんきさ
しるそのくてろうと
うけくゝろうふかく
みなまへかたりるな
わかれどのおはさんと
ひとへでおいしひとけハ
まつてーかむゝに「こりや
おのかうへそのいひまをさ
ミそんせう「おへそのいひ
コレ八ハぞうちうトくゞし
くらのけんぬきぢらでゝすでに
おゝのーとふんぎれバ「あうこれ
まつてトおさりのゆきうかう

◆

◆東ぞらのさくされのけてこふやふも
さんでいのでゆぎくがむせきろうと
おきく「わるさくらのおそろにくのり
うちすゑの方のてきハせつかいにハ やがでんして
すりまするでなかぐいたたかく
むすびはませぬトやゝかく
くゐのけんのぎさるさと
ろく加れらハにくのより
「て わぶるいことを
まうおぞかゝ
やてくまてさ
おむやぢよ
ろハ小ぎく
言うかずる
どのもどやら
あうれもくの
ぎし涙へおろれ
まうしわけの
おらぐやう
ようおう近を
まう手すりの
さそくてやくと
おくてそやりのわかでい
てるてかえしとおのそて言もられさトら

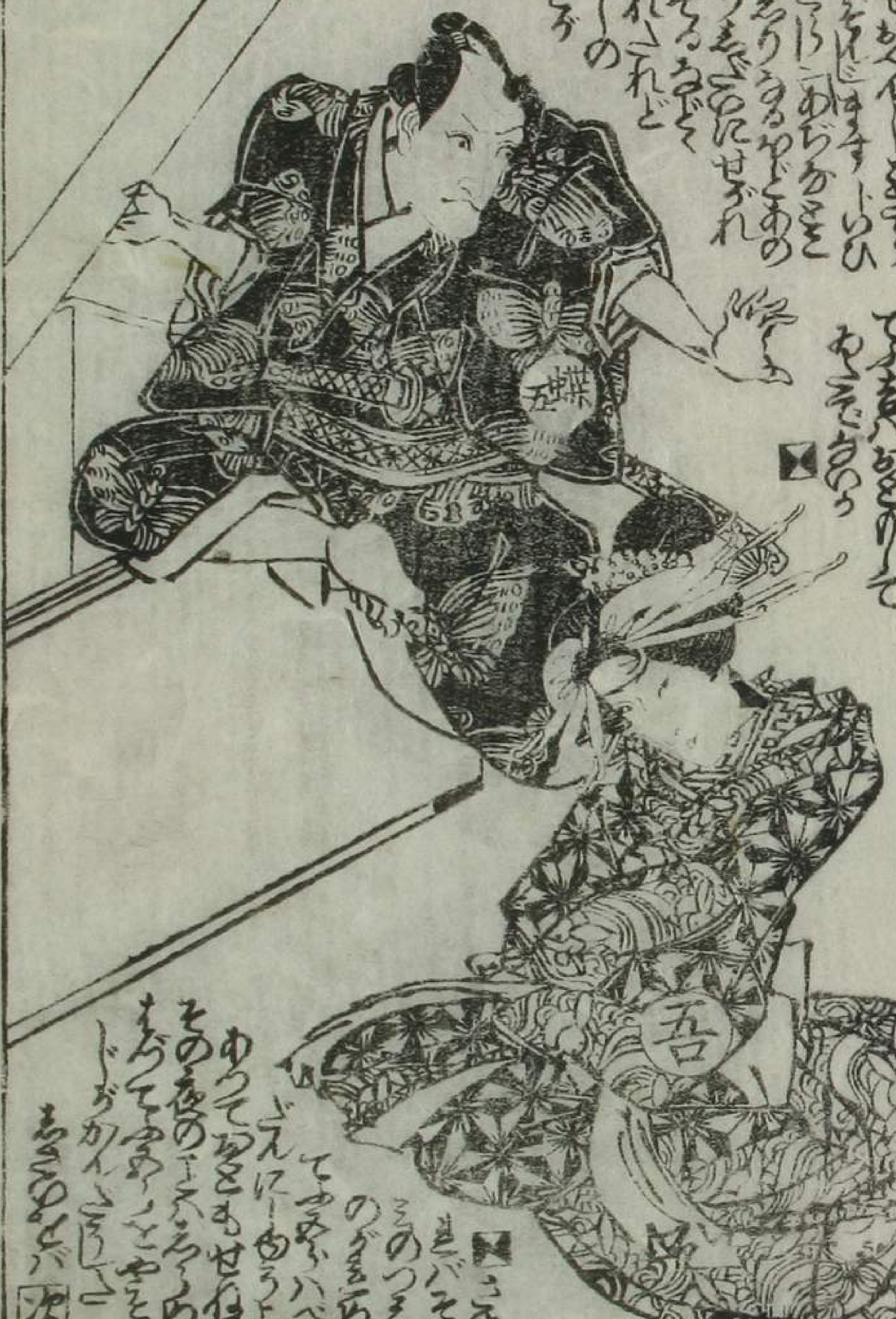


ざのれて
きろとなど
つん「まぐゆうて
おやなぐもふちん
のそのあひざ
きぞんのうれ
ざきまゝのは
おせそとの
おれのを
わしうて
「これさく
きやう
どい
ぼるぜんの
やまう
のと
事の
わかれ
おまひ
あまう
みよう

[illegible]

五の巻より 二こそものごくもあさもさハ
きやうさいもおよそねやとごまんいの
おろうゆ気せう—ややかんざうを
うにしてもゆにされますすかうおや
さりのおとりねをさびくやきのを
ナモーしどいわびもおくれどぎうう
ねいちとあきらえにぞんじますといひ
かるなさらひにおぎさう「かむかさと
うかんぞうのさきあうさるやとあの
やを以ぞのが三をあやうまさゑにせずれ
めをなふつぞる上にてさすてるかたぞて
いきさなおちてハおられされど
ゆくまんのけくきんしの
ふうざうにして中へのいヱぞ
わらうたにんの
わかれとそのまゝぞと
らぎくにいはきざう
つひとをれなりか小
すこぬうさきうト
きくにおそれハ
はうまーく
こしんなるべ
てふ言えんが
ちきにまう
びをあさん
しくらつ

◐まうくこぞもとうてさまくおもとしさうれて
ぐさうまするの「ゆやゆうきえとするうるね
ほちぐ「これバすぐにまうち「叉ぷ「それ
とまていハちがるそあるハはしむさらうちにて
よぞらさきうかくきにおぞうその此に
てふ言うおとりて
わろそ言のう

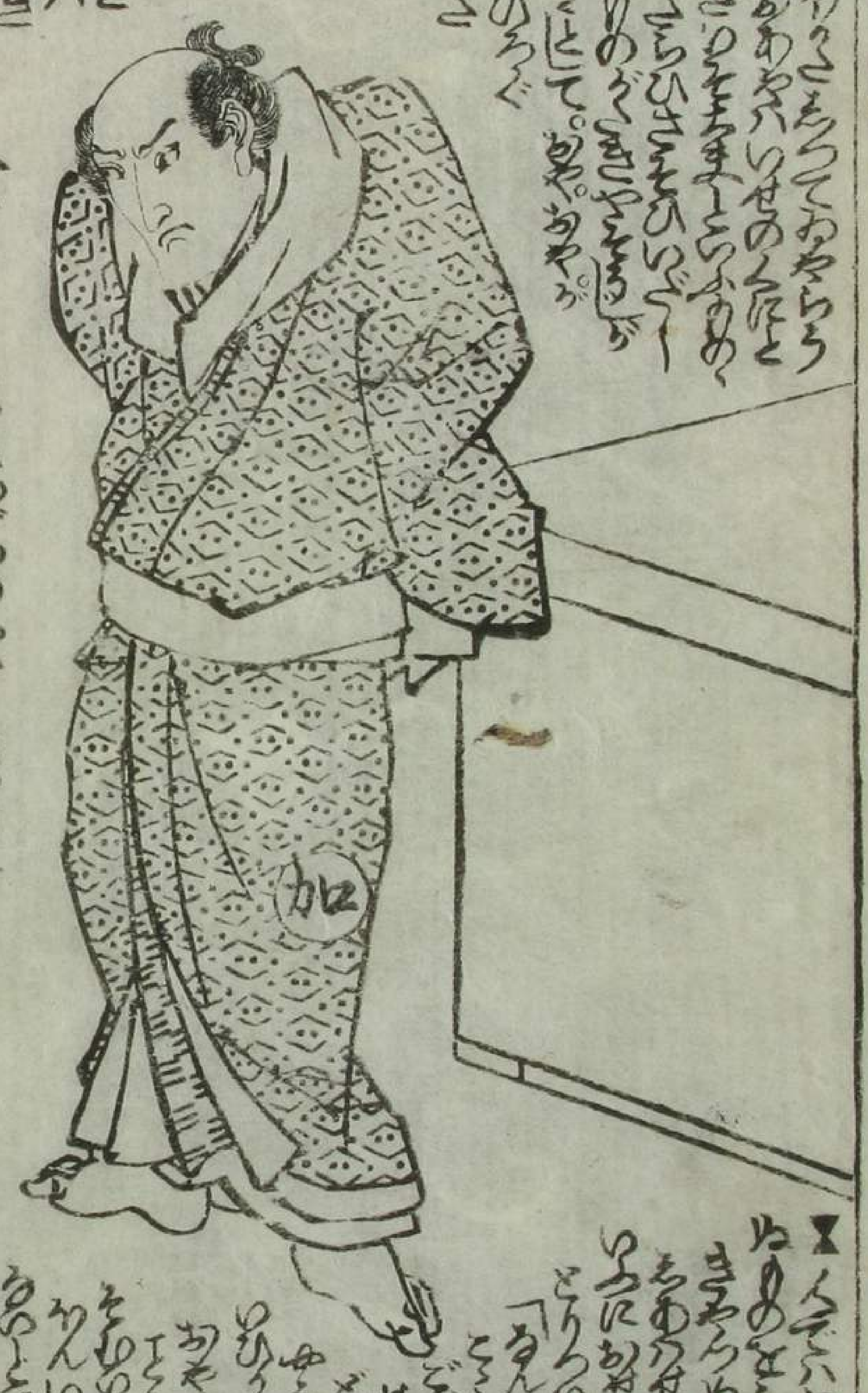


⊠こ手
是バその
このつ事へ
のかぎ名又
てゆかハべつ
ぞんにーむちよう
ゆつておともせぬ
その夜のすへざぬ
まちてふあくとをそ
どおかいさにして
あきてはし八

次へ

〔つゞき〕おせんもおどろきあきれておやゝ
てゆるして女だまり おやぢいせの人と
きらんのはしそうこのまゝまよひのめ
むさしやひさへかゝらひさまざひいで
手をふとらうごにすゝものぐさきやうきやうが
あたいりうぶつのことにて。おや〳〵
出るさね女とふぎをひろく
人そるハ子だれさ
ねと心けんさてよ
かうこんで云
めんもさげら是
ぬいかうけと
むすめのふ作も
あらう今ハ分も
ちらのでろうよあと
いかねどおめや〳〵ハ
わうくねどのしき
母是だいそ去年どのを
このそて子まで今こと
息でいうひうも子や
とどいや母ぶにせの性さ
そちらもうんでうるむてと
こちらもひさするがちまち
ぬしきまづでござてねうト

◆きくまつて手をつゞらのやさくねのけて
いそんと手おせんハわらそ「これまつてー
母まをおにおさえ口ろの加さう
あろりとまやく「くにでえ志まが
かのとそ人をせろがいするやうる
まそろみゆでうるとへうまの
おやらやあつてねる言まず
とまりのひとりまきてすれ

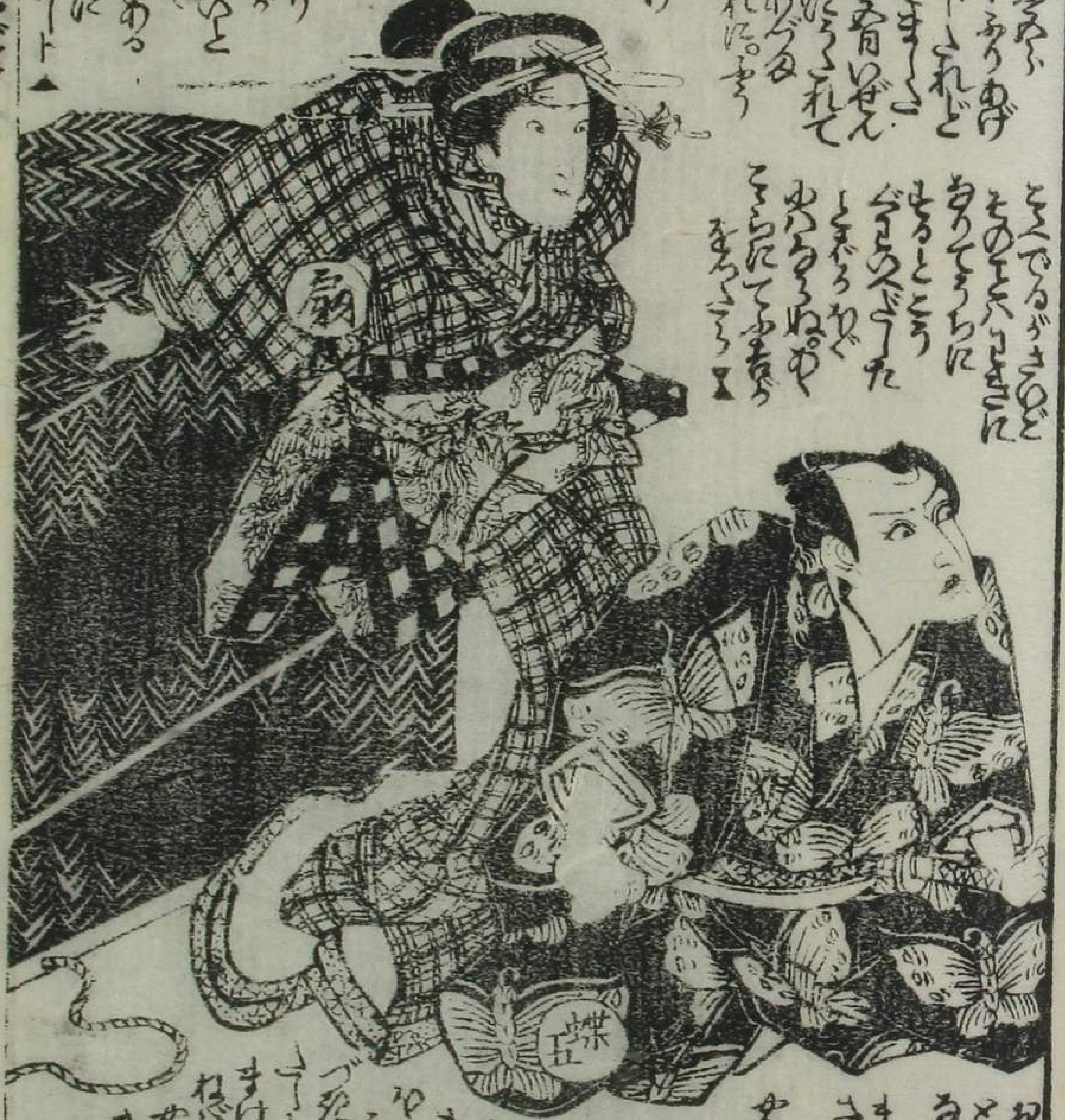


⧗久七ハから
ぬまのさらゐで
きえんわが
あかりせまでト
いうにおせんハ
とりつのて
「あんの
とらに
ござん
せう
どの
ゆうに
ひろつて
おせの
まくゑを
そむのそ六
かんりで
京のよのふ
三十六・おとし。
まつてころそ
きられ十すと それ
とつゞらへあつてする
五兵衛が乃あんがは
是ので「ゆうしく
どんなさまの
りー

---

いいまでおつとてゆるい
さのきそとつのそうか ふりあげ
手やうかもぞんド これど
ゆき夫ハわひをてまつく
吾そりやりつどろ「四百いぜん
吾ひそうきぞて「入にうるれて
「ヤヤうにめのに「わづる
て書に「らゐ下ぶれに。書う
吾あ母のあさいいハ
ぞんぜねど さまをげ
よりでんらいの
ひそうやうの
いちく合んを
そ吾〳〵にゆづ
らんと入合の
ちはしてい左衛、
いせをこぞぢら
吉ま〳〵
手まげおくめのぐくう
これをうそひさらんが
こちら处のせきて 一本と
丈夫をやめたそのまく
きりすてく いご赤つある
それがのきざて これに
まきさる あまうこハ吾ト ◆

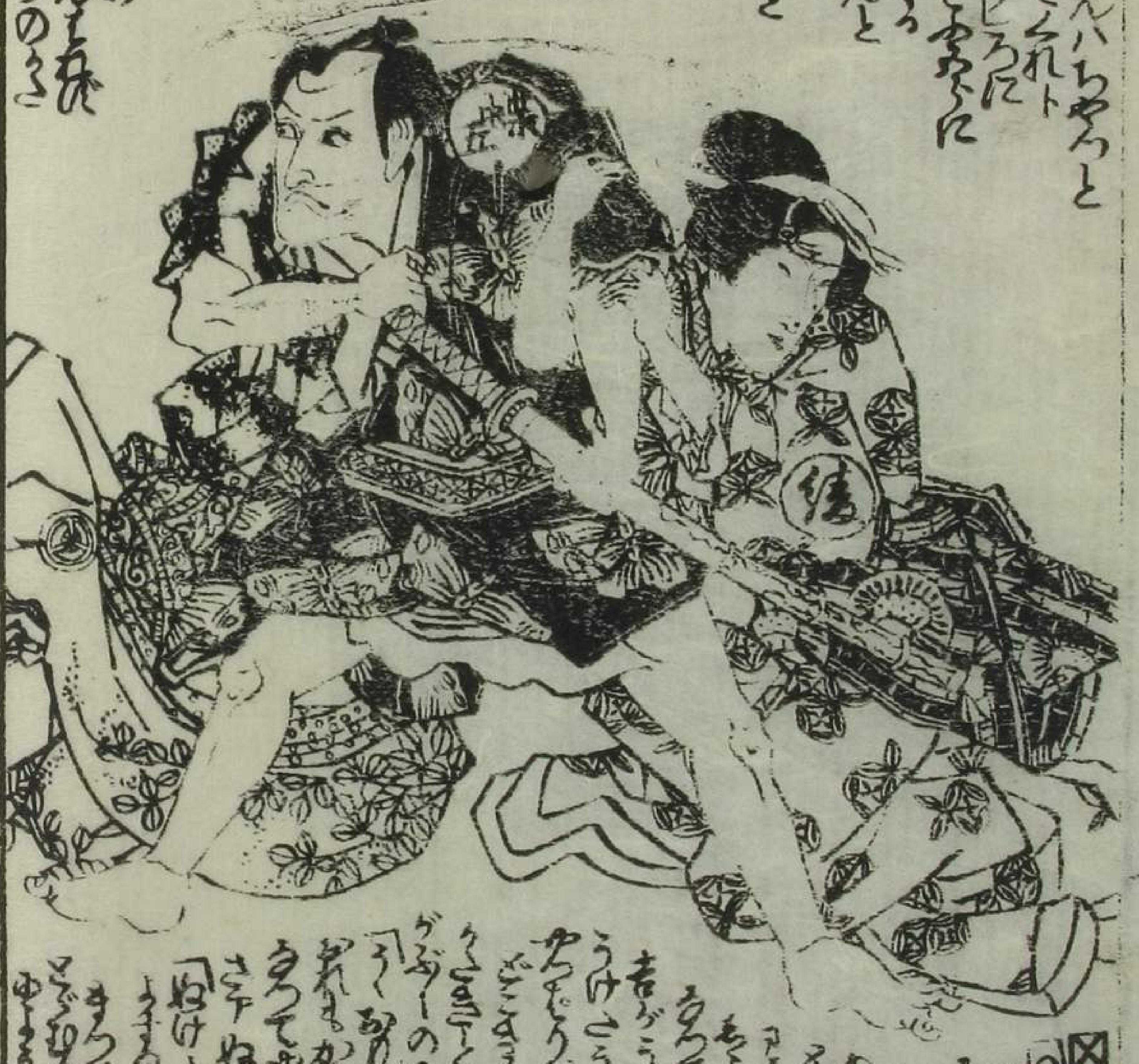
とくでるがきるのど
そのまへ六さきされ
ありてまちに
もると二う
ござえぞうた
とまろうぞく
ゆるうねや
こらにて私書う
まろくう ⧗



おそまが
されゆす
るら
さき三兵衛
まわつて
さうま
せう「山
さあら
あやまち
ても
もをうう
おつで
わを
ぞうし
ますト
きあて
やく
うらうる
づ死今只
二つのおれが
まけさて
ねえどう
からの
きやうる
やうる

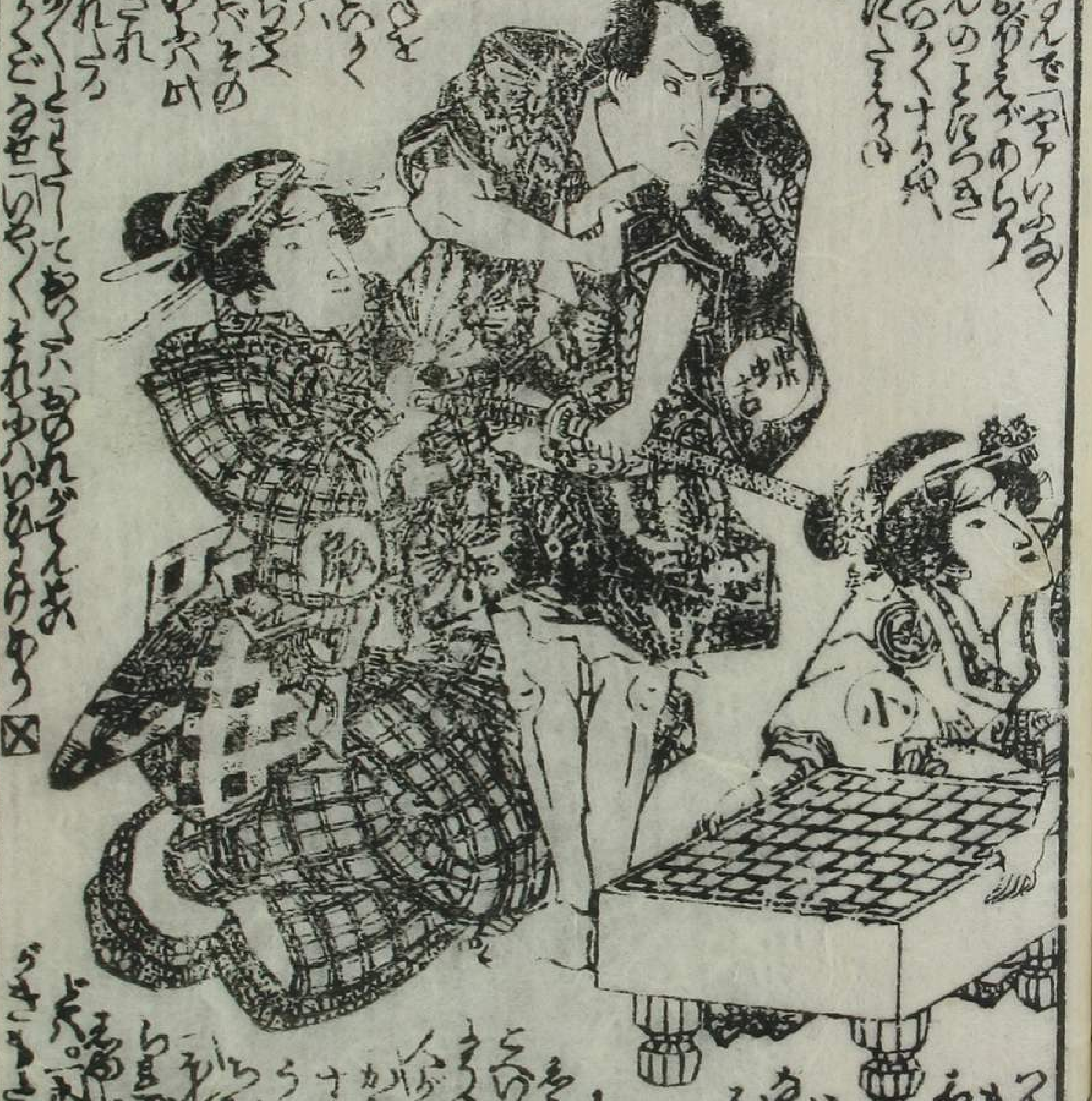
次へ

つぎ それ〳〵ゆうちうおせんハちやつと
ふりさんへこわい〳〵とわけてくれト
いわりげにいふて白く○ひろに
きトうとさしてぬるおおやてあふれ
とりつのて「おもう由ゑ心とする
つるもきれてりやまア多えと
せうぞいのト白紙いぐ子手を
とつてつれのけ「歩へめろくと
多にかえぼうとそうが
うらきハおらにて中ハト
まりひろうらけこまかい
まし○まうさのへき
めずまてふ吉づらの
うちにみゆる六さのぜん
よう志んくこまどても
稲よりどさ手もおなじ
こととまさとゆうよを
きてあのこさアだん
おやう江〳〵やうぶくと
いのちもまそずはつと
りで「まうさわのわざてふ
みかこうちうちらもののそれ
まろくさんねん多吾トつれ
よ手ることる六さらにあんまきた
「多にはてふめふを志うきあのうき



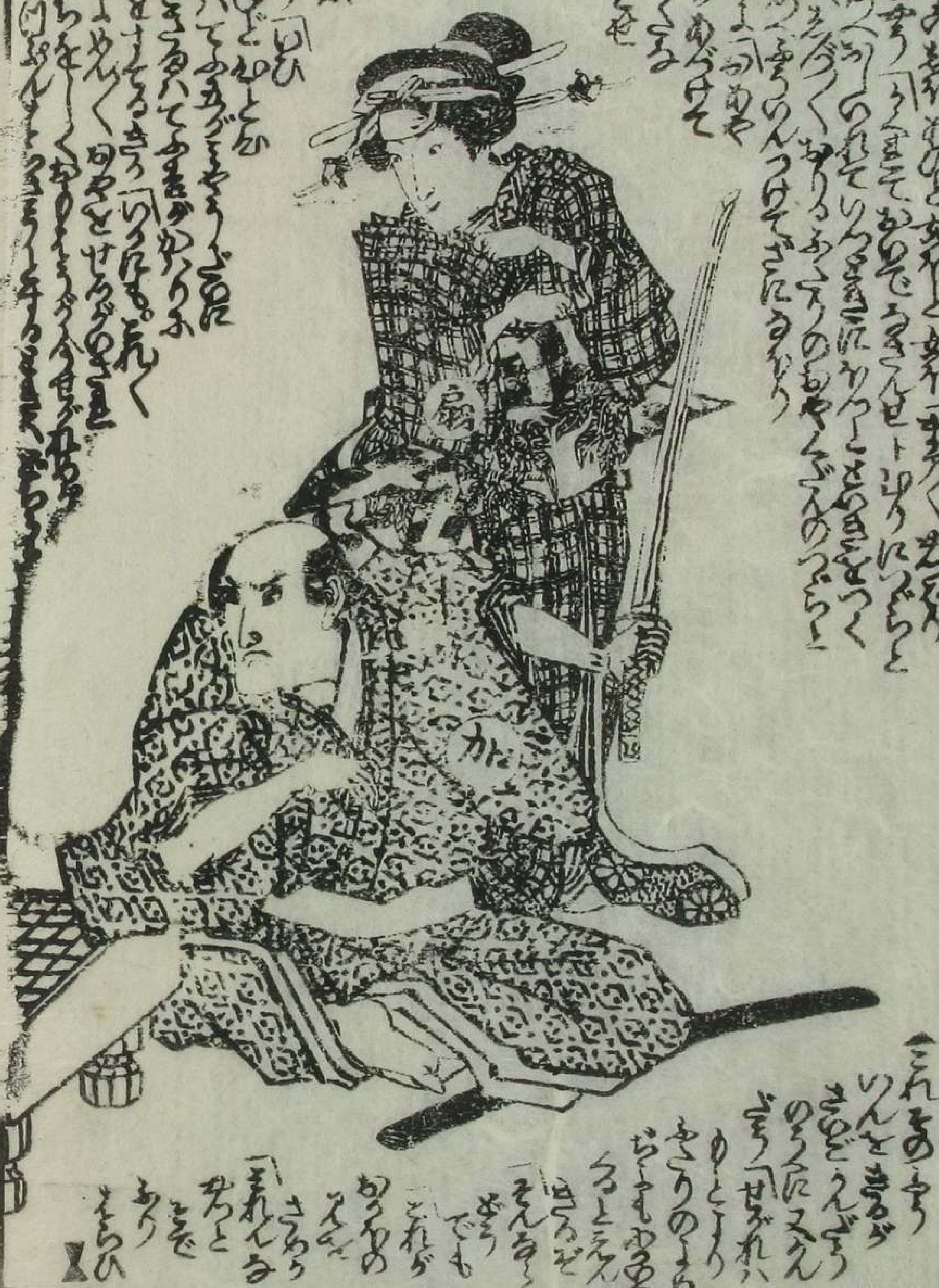
らひ コトハハ
えうちつ
まうり
こうちに
わまどで
そがめの
アまきごし
まてよう之き
多つて此てふ
吉がうらぶひ
うけさうへら六
中んぞりどこぞ
ござすうぞんも
くるまてとあめる
ぶうーのいかぶさ
「うくおけしろの
おそれもかさ多尻
多つてまらう
さアねけ
「ねけトつめ
よまる「これく
まつてト
そぞねる
ゆうまうぞう

まで夫ハその寄よきんで「ヤアいなく
おのれがむ白にあかえがめらう
それがしあ由じんのてほつき
さあく介のきろくげすめハ
あうきもかうにてまらは
これ多あおせんを
げのさにとり
その父のむそ
りがうをまら
ぶれあうさ
あそえ六やり
ごらんのとを
うどひすみうる
くせのめいかる
ゆうと仙うつれに
めうまさぶのくわ宗ゑを
えんちかがほかのあさあく
しんうけのぐ生とへ
がそんゆかと志ふら宝
ゆかてとそで甘べその
くらさいれて六さの六此
てまかつきうのくきされ
その徳母のもこれてう
さううかがめにうかくとうてておくニハおのれがてんあ
のがまねこころごうぞせ「いやくそれゆハいわみゆう



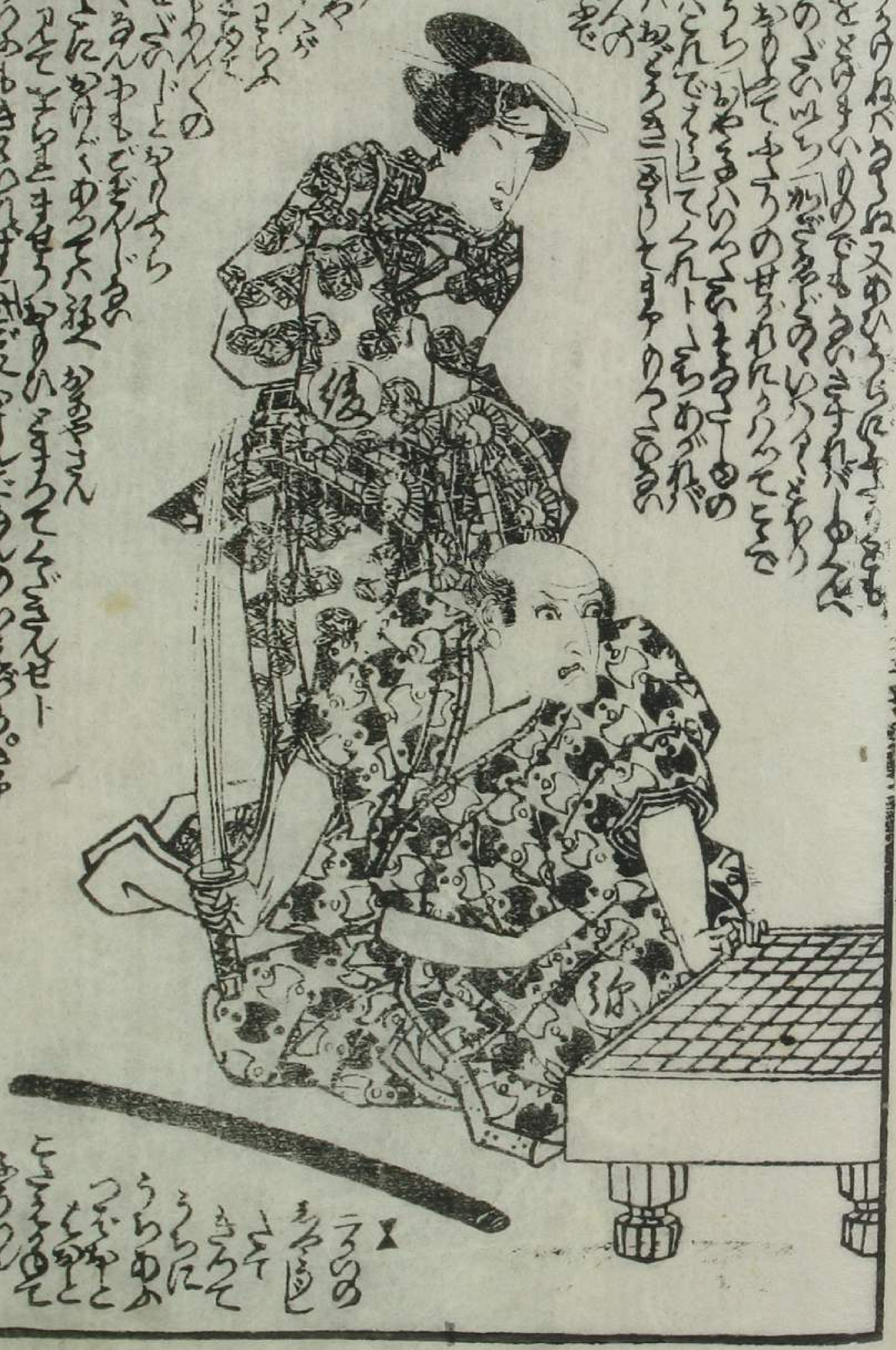
つまのけく
きりむすぶ
えちらのあくえ
ようさぎぞん
ふござくハ
どろさかりし
多近「ゆうされ
まてまがえ参ら
ぶ手うり由や
とおやさうが
まそうぎの
あそうぶめと
えいつてつけ
まくまそ「多なおや
人がめのとえ
かねらん志ぶのに
すぐにおそ
うち「いまいめ
いとどほに六
これのうま手
ら室手甲ミや
えおどんのごあん
たへ下へ○よろう
ごさうとゆむ「つぎ」

「つぎ二」よふあれあひとあやしと　[illegible]「すまぐく　やちやり
かしこのまゝ「[illegible]て　おので[illegible]せト　ひかりにつらと
もんびのくへ[illegible]のれて　りつ[illegible]これかりてことはきをそつく
ところへ[illegible]くゝ　かりるふすりのおもやくぶんのつらら「
えんびの[illegible]のんつけてざんにあかり
「ふつやらよ「[illegible]
せうれがゆゑけて
かゆさるゝる
こゝへ[illegible]せ
トいつ
どきに
ねきも
まる
して
かれ
めのせ
「かぶ[illegible]
「[illegible]「いひ
めさてはどれとも
[illegible]六てかす[illegible]うごろに
「[illegible]て[illegible]かりのかり
いのちをすてる[illegible]「いのちも[illegible]
よあらよめく[illegible]やさをせるのき[illegible]
きむくちやしく[illegible]ものきかく[illegible]
そのもつ[illegible]

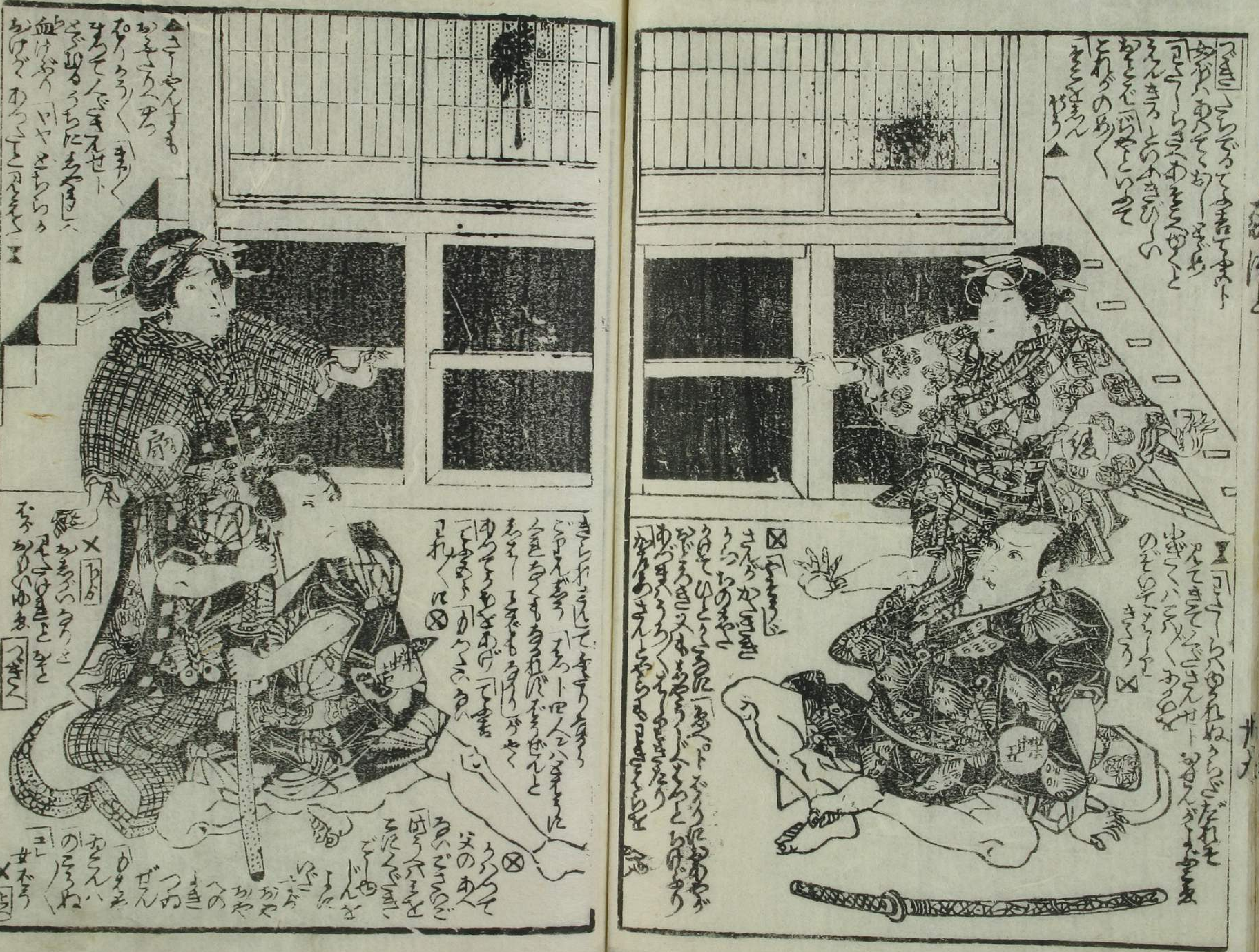


これまゝち
りんきるが
さるどうえんぢう
のうたにええ
ぎう「せかれハ
もとより
きりのよゐ
ちゝも[illegible]
ろとえ[illegible]
「[illegible]ぞ
ぜう
「そんなら
でも
どれが
わうれの
[illegible]
さうわら
「まれんる
ゆつと
とぞ
あり
きらひ

ひとつの[illegible]ね又め[illegible]に[illegible]も
さるごとを[illegible]のでも[illegible]さすれば[illegible]
ぶちうのぶい[illegible]ち「かぶさ[illegible]のくいく[illegible]
そこをおもひて[illegible]の[illegible]れ[illegible]て[illegible]
うく[illegible]ら「おや[illegible]ハい[illegible]まつ[illegible]
うらきハこれで[illegible]「[illegible]てくれト[illegible]
や[illegible]ハ[illegible]「[illegible]してまゝの[illegible]
ともの[illegible]
[illegible]ぞ
さくら
くら
ねやさ
ことぞ
[illegible]
[illegible]
よ[illegible]おや
ふう[illegible]ハ[illegible]
まらハい[illegible]
まで[illegible]
みさのまゝ[illegible]くの
まつとを[illegible]とお[illegible]ら
まつてやるんやも[illegible]
あるさ[illegible]れ[illegible]く[illegible]大経[illegible]かまやさん
「[illegible]て[illegible]ぶらう[illegible]ハ[illegible]まつてくださんせト
わせんぶ[illegible]もきてのれ[illegible]「[illegible]におよんであんのわきまくろう[illegible]
あめ二つので[illegible]ぶつた[illegible]やさまげんかざなどの「つくどぶらう▲



▲
ニつの
[illegible]
[illegible]
きゝて
うちに
うらめ[illegible]
つら[illegible]と
[illegible]と
こ[illegible]で
[illegible]らん
ひききまり
「つぎへ」



つゞき　そらぞろで書きてまへト
女房ハあんそくおぢ
「コレこちら人わきまへて
えんきりとのわきまへひ
おもそで「うらやといふて
とれずのあく
二三日ま
やう▲

I「コレこちら人ゆるれねからござだれぞ
見てさてござさんせト女中がくおもれ
のぞかれそうや
きらう ✕

⊠「おまへじ
さんかさまぎ
うつわのあやさ
うけてひところ見ト「あゝぺトぞうらにおわず
おぢろき又もあるやうへくるとおげより
めづまへうろくえうおちさたう
「かまあきまんとやらするこちらを

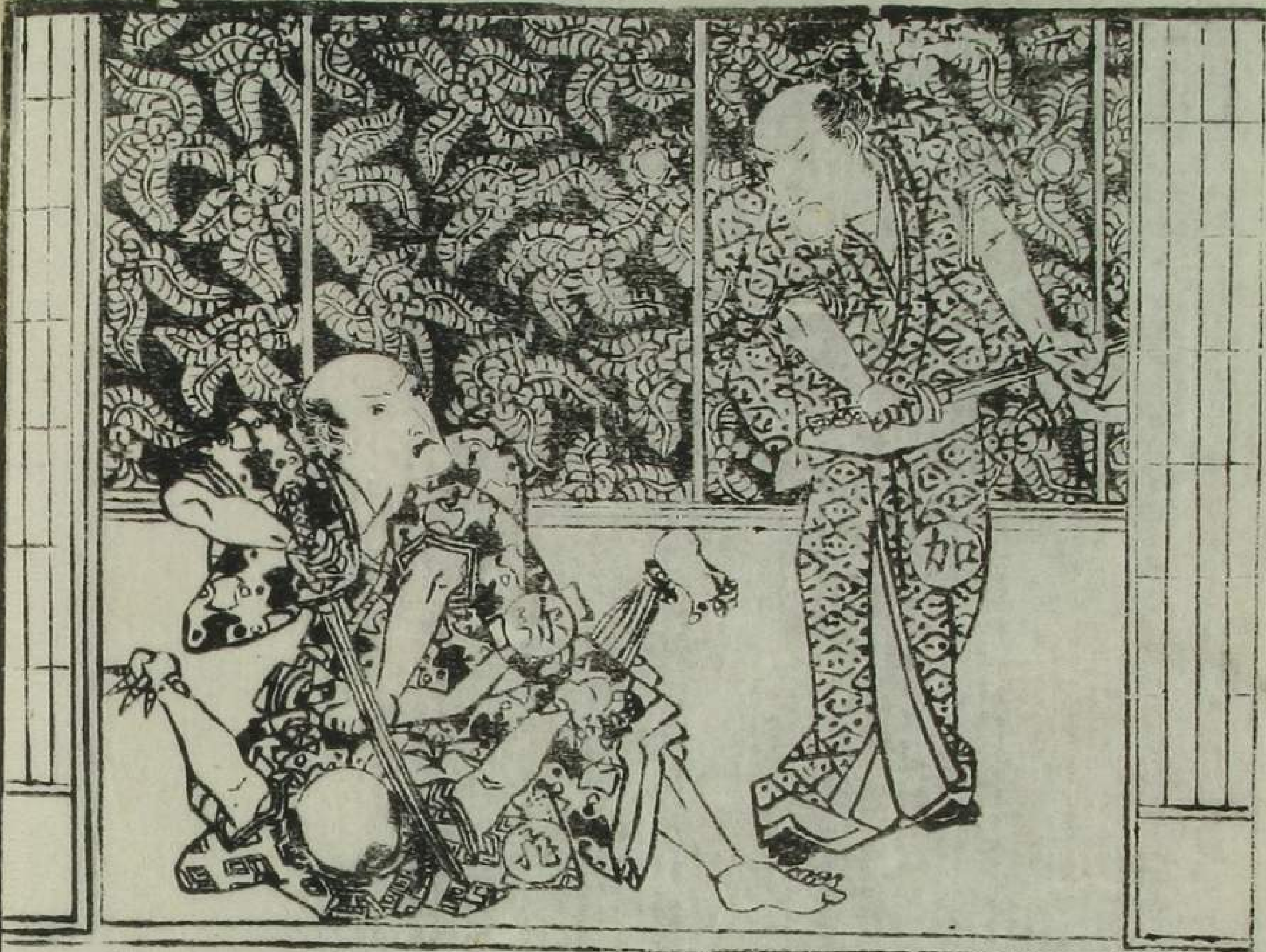
---

▲さーやんすも
お手さまへ
よりかろく「まあく
まって人でまへセト
さゞ涙るうちにあま言ハ
血げおり「いやさちらか
ちけず わらて二つへそ I

きられた見てまうさう
ござんすまう「まつト四人でハるまに
今度あくもあれいでぞうせんと
あまり ことでもありげしやく
ゆるてきあげ「てまへ
「ふまひ「かやつさ今へ
これく ⊗

✕ [りん]
彼おまへのうへつさ
見をけ言とさき
何かゆるめ
[つゞく]

⊗ うらって
父のあく
ちへでざるで
「げう穴を
これくゞきとで
ご一や
どんさ
よれに
ぼさ
ぶより
おや
おや
への
まき
つめ
ぜん
「かみゑ
おとんハ
のこうね
「エレ女ねう
✕ [とうべ]



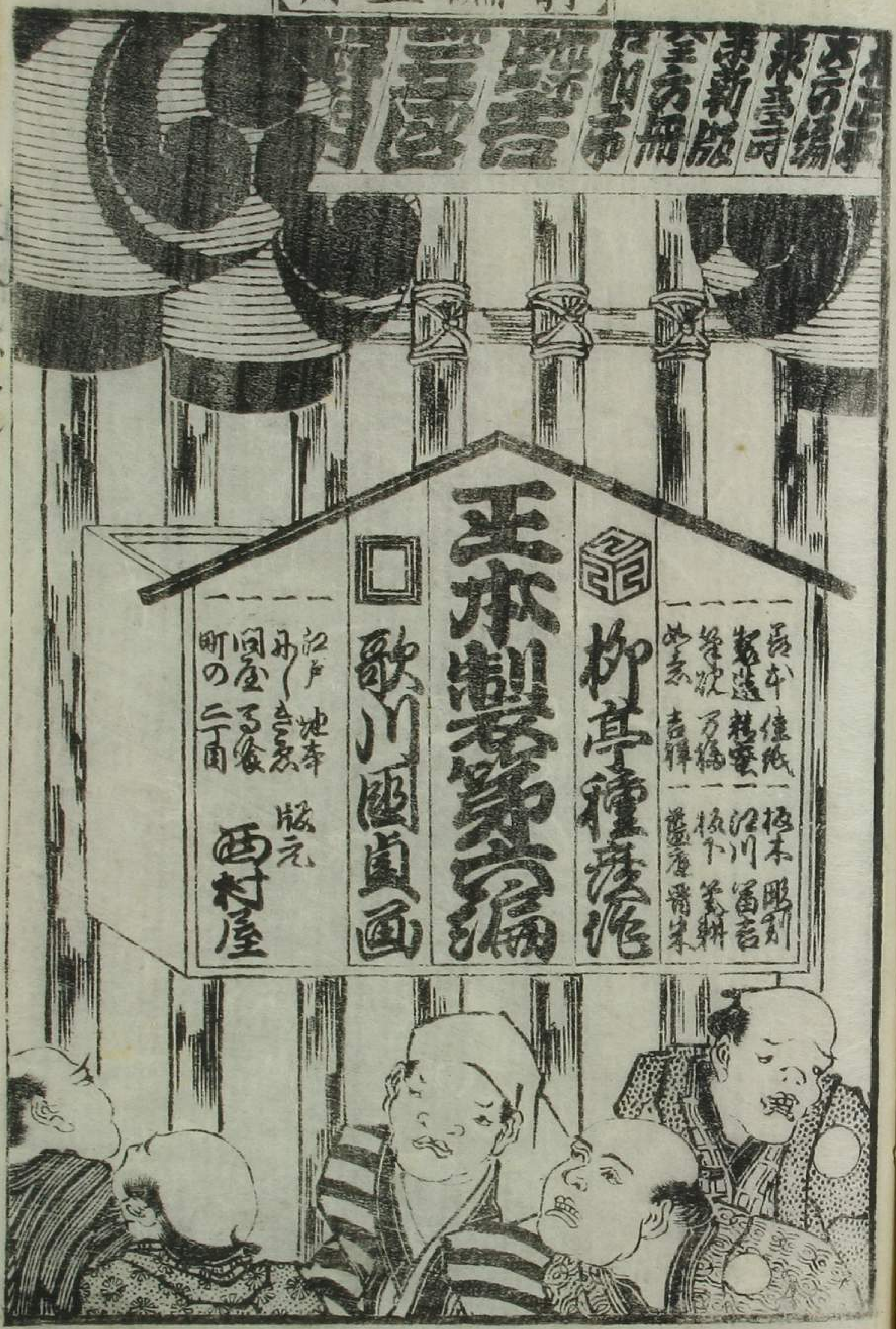
**柳亭種彦作**

「つゞき」のう おりやゆくまへ「ねんごろにおくつてもらつて[illegible]とうきゝがきゝさうで「てあきよ「てふみく[illegible]ゆくぞトかし ひげ まふれて ものあをさま[illegible]つゝおやぢひらひて[illegible]ひこ助[illegible]ひこ助[illegible]おもはせ[illegible]ひこ助を[illegible]ないまゝに おやつ[illegible]いふ彌八 まつめんご「これく人[illegible]て[illegible]ひこ助[illegible]ひとつき[illegible]「わく[illegible]よみうんしてくれへ 〔鋏〕 はあと六へんめと[illegible]

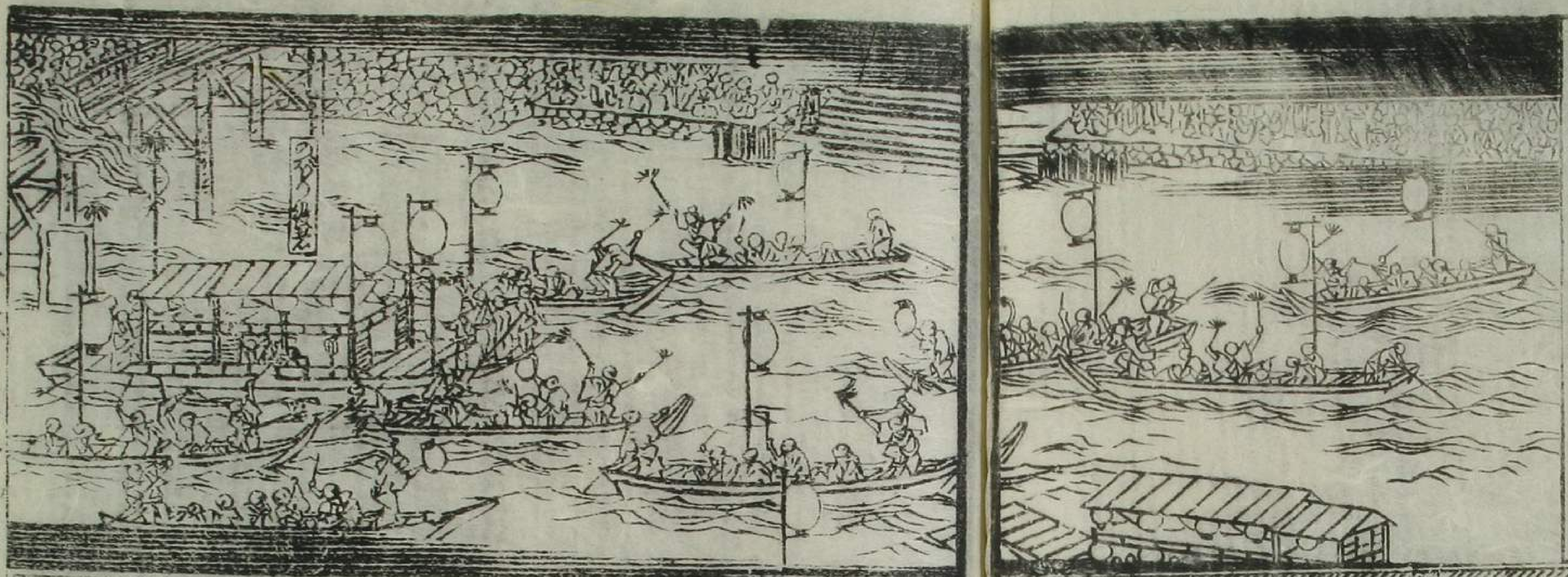
浄書 藍庭晋米
彫工 江川留吉

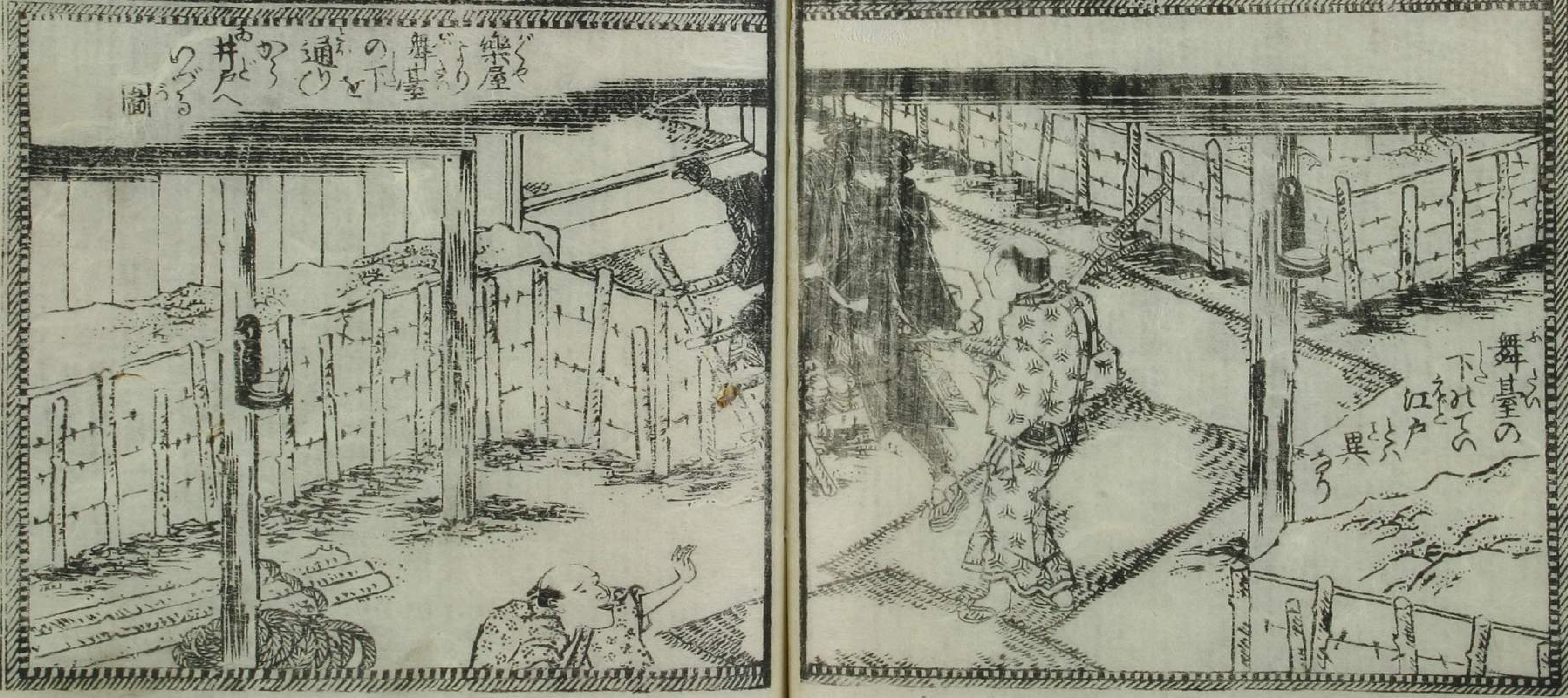
**歌川國貞画**

前編上冊


全六冊
正本製六編
柳亭種彦作
歌川国貞画
江川留吉
版元
西村屋

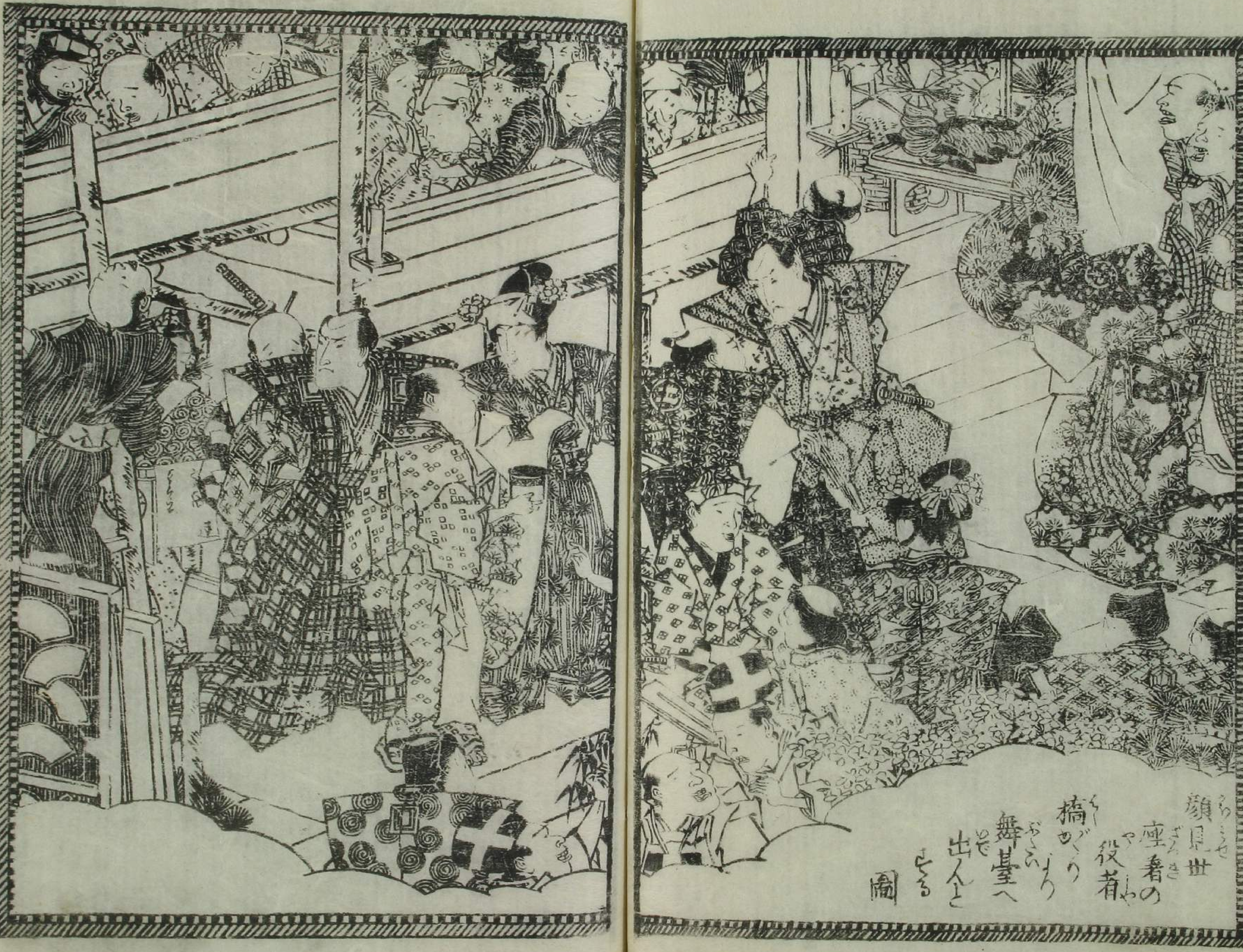
此草紙ハ五編目のつゞき狂言なり
五編の浄瑠璃出されしを江戸方極へ
これより先きざし居より江戸ならせ
めでたし掛浄瑠璃ほどを狂言
さりに画ける江戸よりのぼり
役者衆まで乗こみし図なり





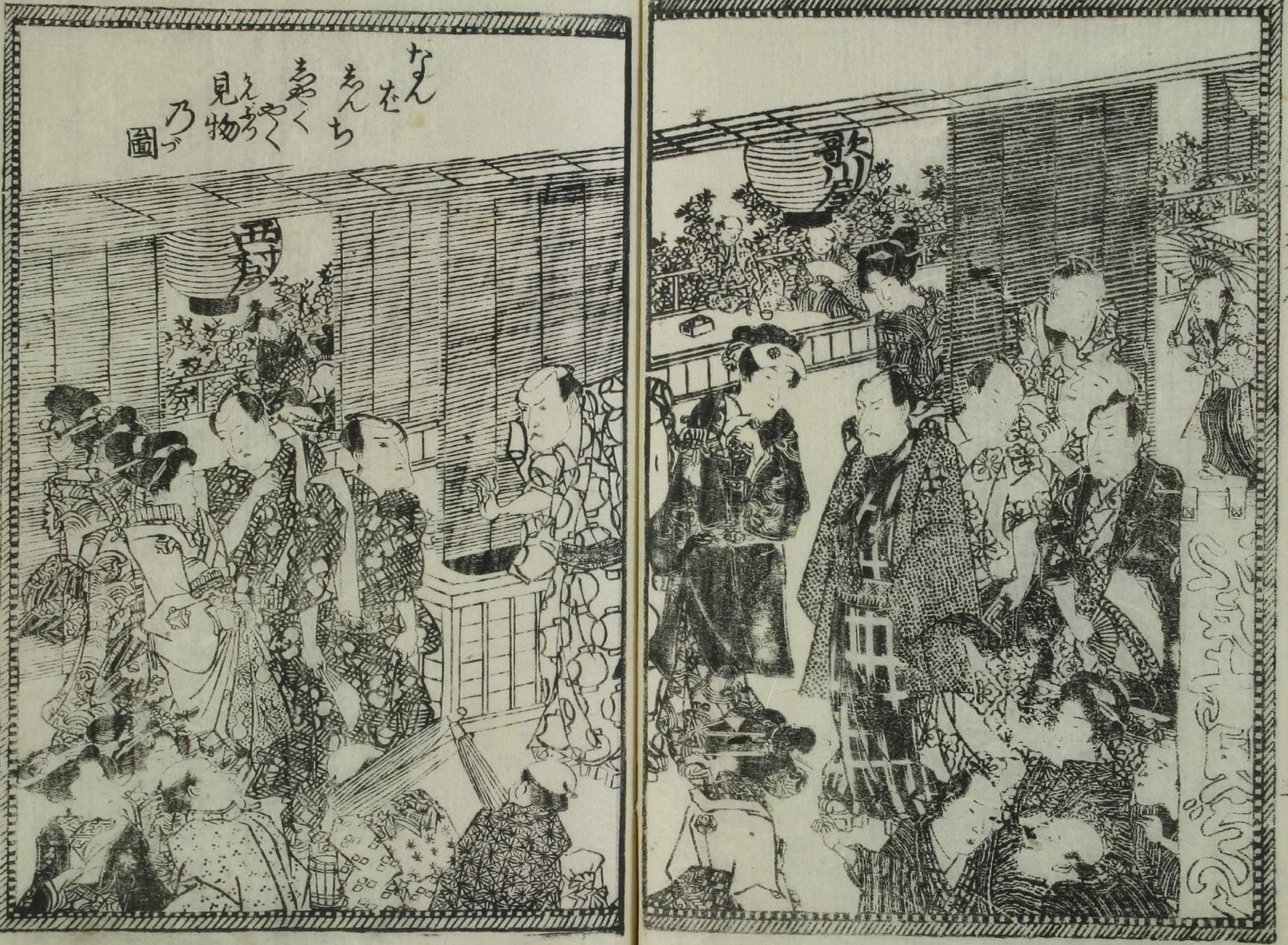
樂屋より舞臺の下を通りかゝり井戸へいづる圖

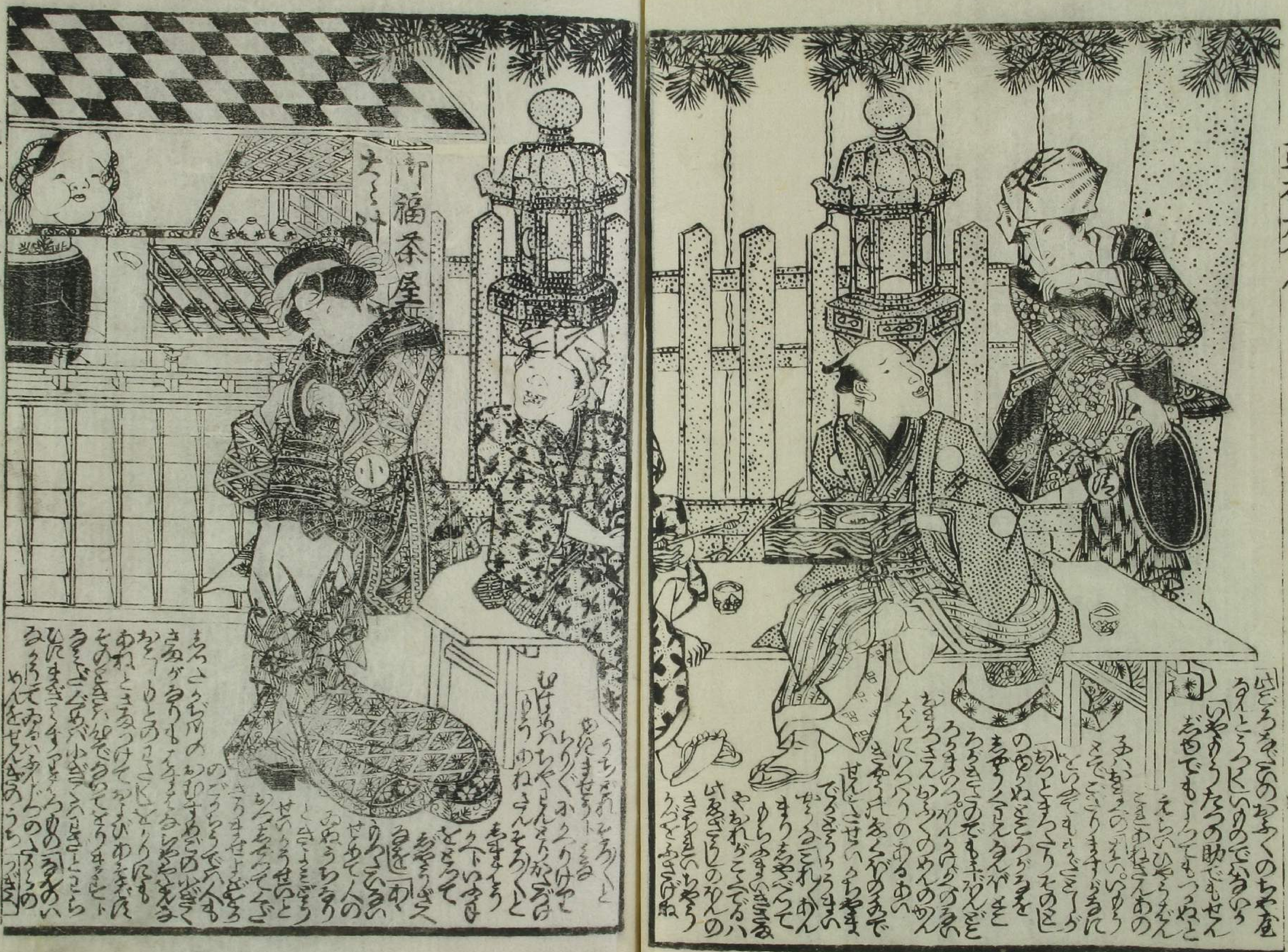
舞臺の下にて江戸と異なり



顔見世
座着の
役者
橋がゝり
より
舞臺へ
出入する
圖

なんば
しんち
きやく
見物（えぶつ）乃圖（づ）





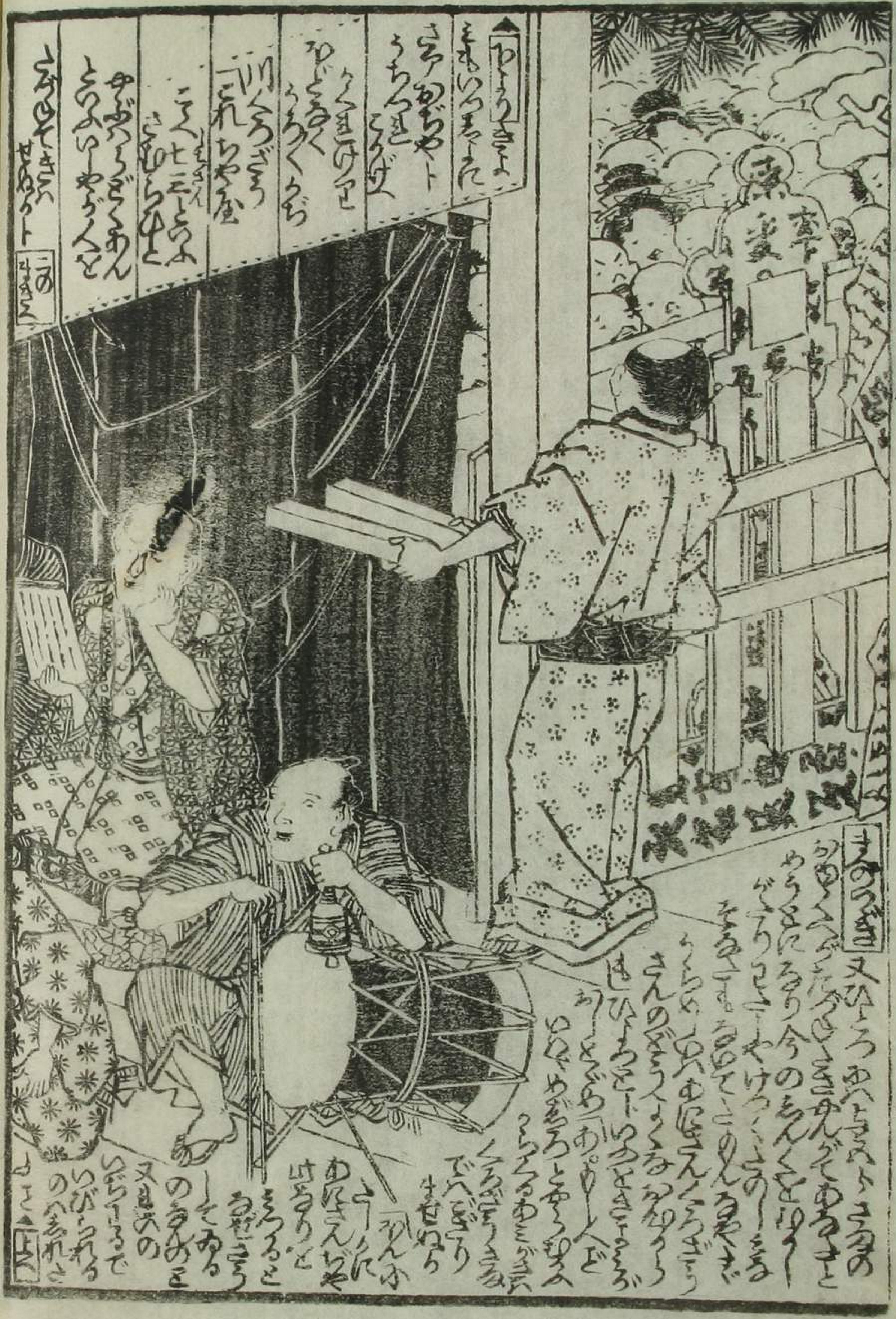
「此ごろきこへたおふくのちや屋
なるほどうつくしい
「いやはやうつくしいものでかはいゝ
「いやおうたつの助でもせんせい
おはでもよつてもつれねと
えらいひやうばん
そこでござりますがあれ
とりでもなさるまいが

「ちつとまつてりやその江
のかねさまろうつろぎを
きせうくきゐえさんがそ
ろきてうでもまたりんどを
ろうきまつかんさかくの
むすうさんがふくのめんのめん
なんにいろいろのあるあの
きよれあさくらがのまで
せんとさせいちやうま
でござりますの
がそるこれくあん
まりさやべつて
もらうやうぎきす
やおれがそこでるは
はあきさしのきんの
きさまへちやう
うんでふきさけね

うちのおれをぞろくと
ゆるまおせるうとえる
わりくかくりけやて
むけはあちやうえんさんからをは
りようかねさんそろくと
あすまいよう
くたいかま
ととつて
おきようござえ
るぞ「あゝ
うかうさるい
せかそくの
みねうちなり
とおさまござう
せいうせのと
かんさやつてくだ
さりませよどろ
のどうちうでみん人も

あろさ名のの
おむすめござの小ざく
さまがありもなきすなら小やゑみ
かつてものかさまとくりにも
あねとまあつけておよびれまでは
そのときは小さでりてそうおきせ
うさいくやハ小ざらへはさよふこちら
ひれまぎてくすてかまへもの「るまのハ
みくらでみるハゑんぐのふさくの
めんをせんきのうち

つぎへ

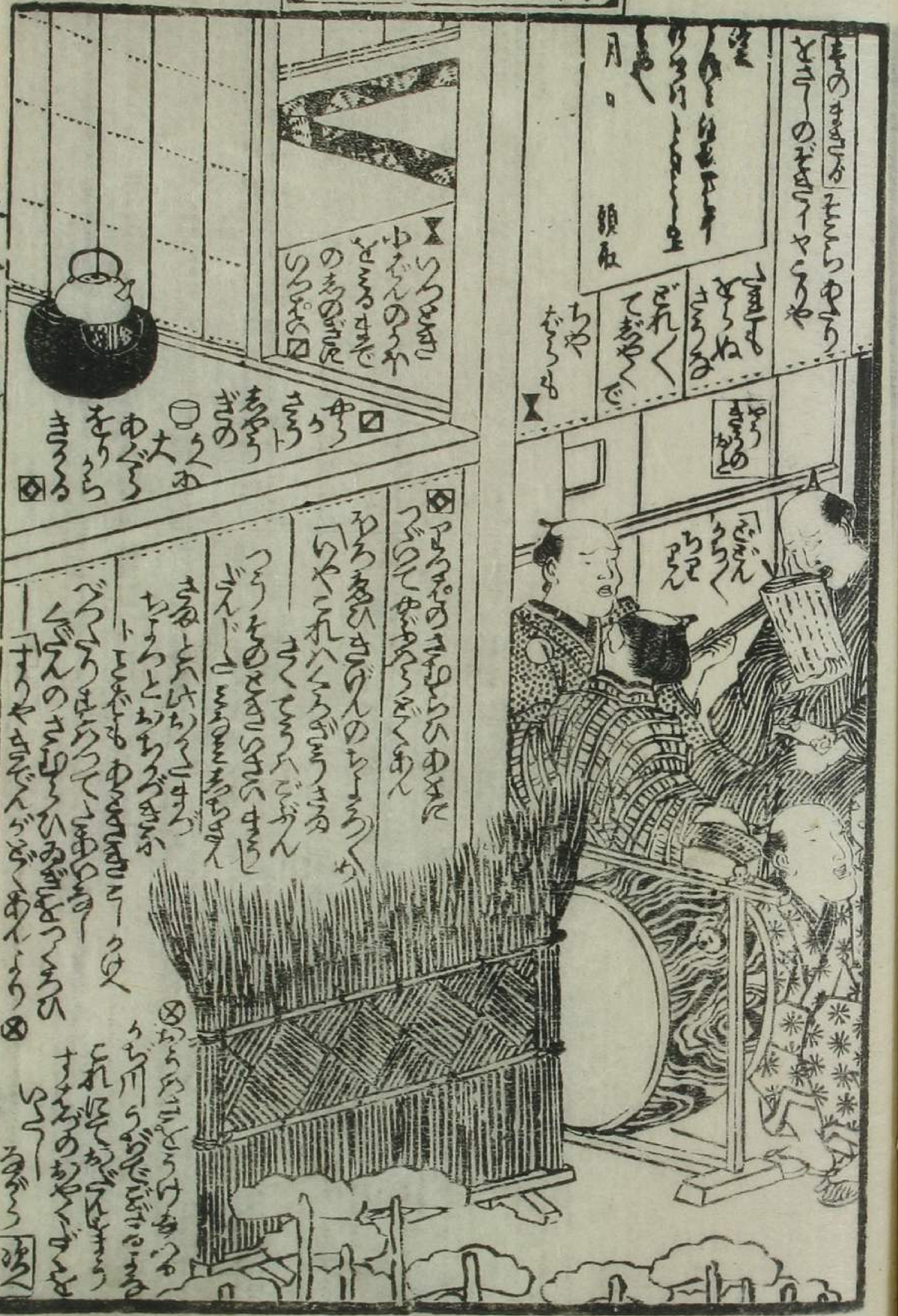


やうろうさまよ　まあいつまで
さアおぢやト
うちへころげ
くまけりや
わがらく
川くろうざう　これちや
こく七三とふ　さむらひと
かぶへうござりやあん　とふよいやうだくを
[illegible]せきか　せねかト

二の　まきへ

まのつぎ　又ひよう あへとちやトさるの　かほへでござりきかんぞであるさと　やうさにゐりの今のさんくをほり　がうりさ[illegible]やけつ[illegible]この[illegible]　[illegible]て[illegible]　らくらめ[illegible]ざう　さんの[illegible]よくあ[illegible]　もしひよあつとはさ[illegible]　あ「とかぶ」わめへど　いるやめがろうと[illegible]　うらてるあきかうさ　くろぎうくさん　でへぎり　はせねら　「なんな　さうこれ　めにきんちや　はかりと　えつるとなるをきう　しそめる　又[illegible]の　のあへ　いらつるで　りがられる　のへあれさ

上



きのまきよ　さむらいやさり　とうのぞきイヤうりや

定
[illegible]
月日
頭取

まても　そうね　さうるみ
ざれくて　おやくで
ちや　むちるも

ゆうきさのかた

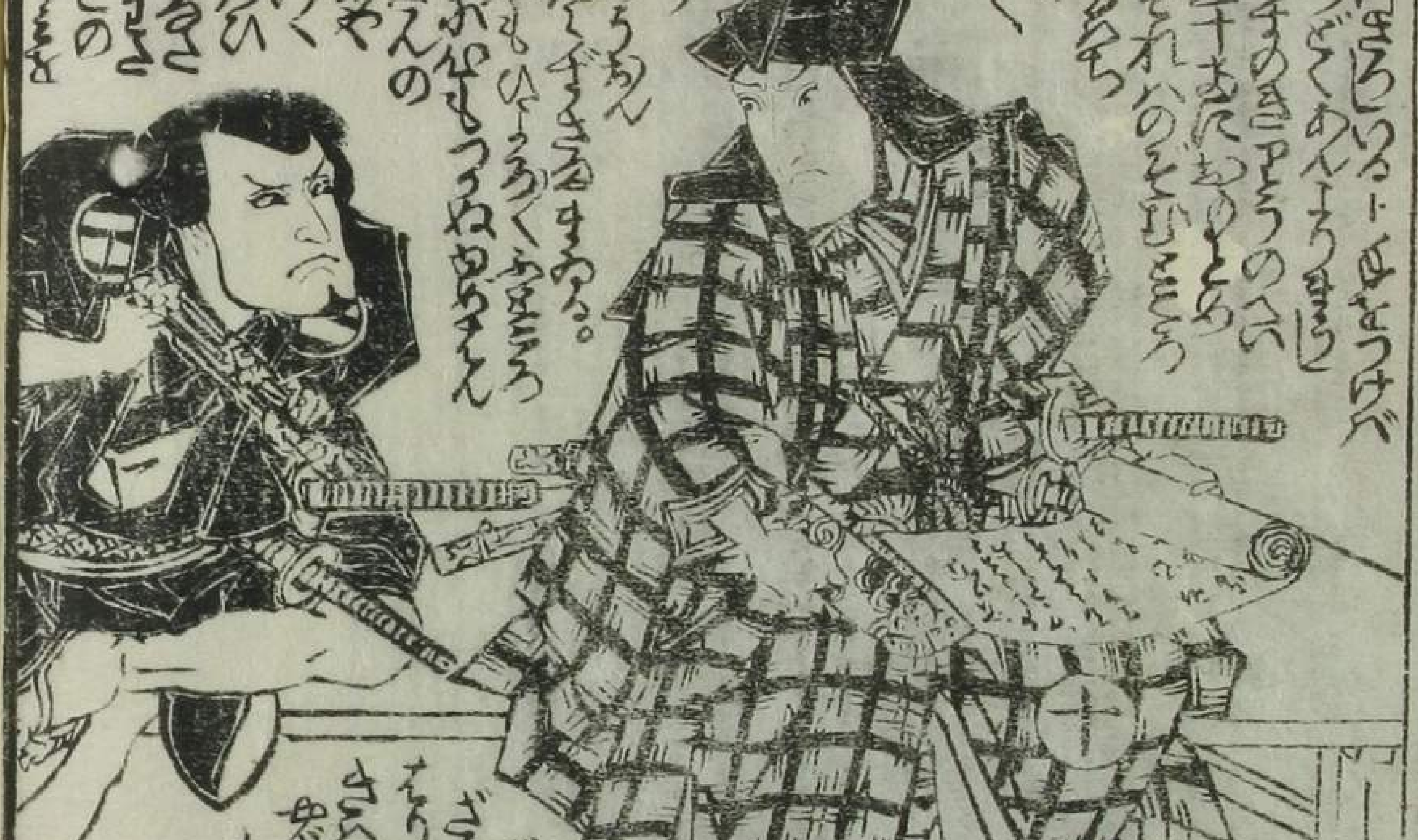
⧗ いろさき　ゆかんのうや　をさるまで　の[illegible]ざなの[illegible] ◪

◪ ゆうさうト　さう[illegible]　ぎの　うくめ　大　めぐろ　をりから　きつくる ◈

◈ アラ[illegible]のさむらひゐまに　つぶつて[illegible]くあん　あろ[illegible]ひきげんのちよろ[illegible]「いやこれハくろうざうきるる　きくてうへでぶん　つうそのさきへのまうし　ずんじ」とすえちさん　さむとえひちくさますつ　ちよろとおちつきか　ト　ゐふも[illegible]　べろうまはなつて[illegible]　ぐえのさむらひあぎをつくるひ　「すりやきさでんがぶくあんより ⊗

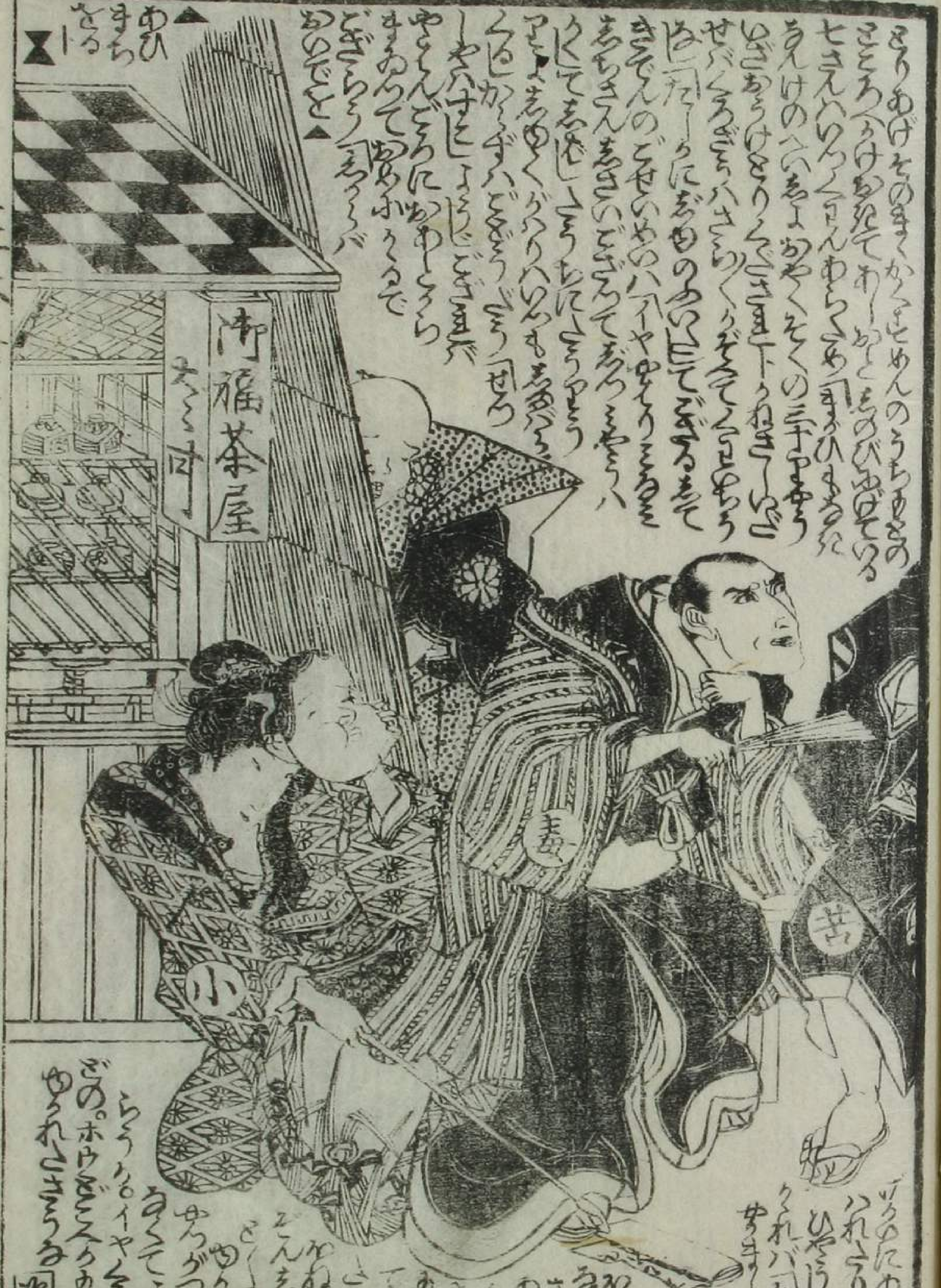
⊗ わちやとうけあつて　から川うがをござるまする　これぞてあかぞれしまふ　すうゐのおやくばくを　いふてうるかう

「段さ三」おのれハひつきりごうのくわまたらいうかいうト手をつけバ
「三五」くいさミのくふるごあのきうぐくわんよう申ハ
れしせうえあぐの所につてえてくるくずのきごアようの六
あちのハくうえんハふくきんす三千あたまのと
うきれてんでござるう一いやもうそれハのぞむところ
まづこのけんをいて一こうへ「すうもち
おさえんいて一てござりますトくろぎうが
そのとのござせべざくおんかおぎうがちく
一うくまうくいさべせぞくのゆうぶ
あやうそせんを知らとあらりと
わぎりう久あてねでも又
二つ一文久ろいあろうりのさんしふ
めにハまづうちよくござうぎに
これからまゐのあちやごすぐにあり
んでぐらうがそこのあのそのめちあん
○う一くまあもちハあぶへべちに久てぐずさあす
ゆうであきろせまゐしさいトうくさふもひよあくふ
ようあにゆうまづきのあちらるかぶもつねむすん
おん小ざくハそろてもちのでくぶんの
てぶうえうきてうさんとあせれどおや
ゆくそうねききせろうふとききのたく
あそくのゆんかわをく手すにさのひ
とうぶあてぞうくすうよれどござさ
のふきうへいうくさんのうけとりあき
一にしねんもあくうぐうのうとの
めのあしたにまぎき里てゆうくあがささ

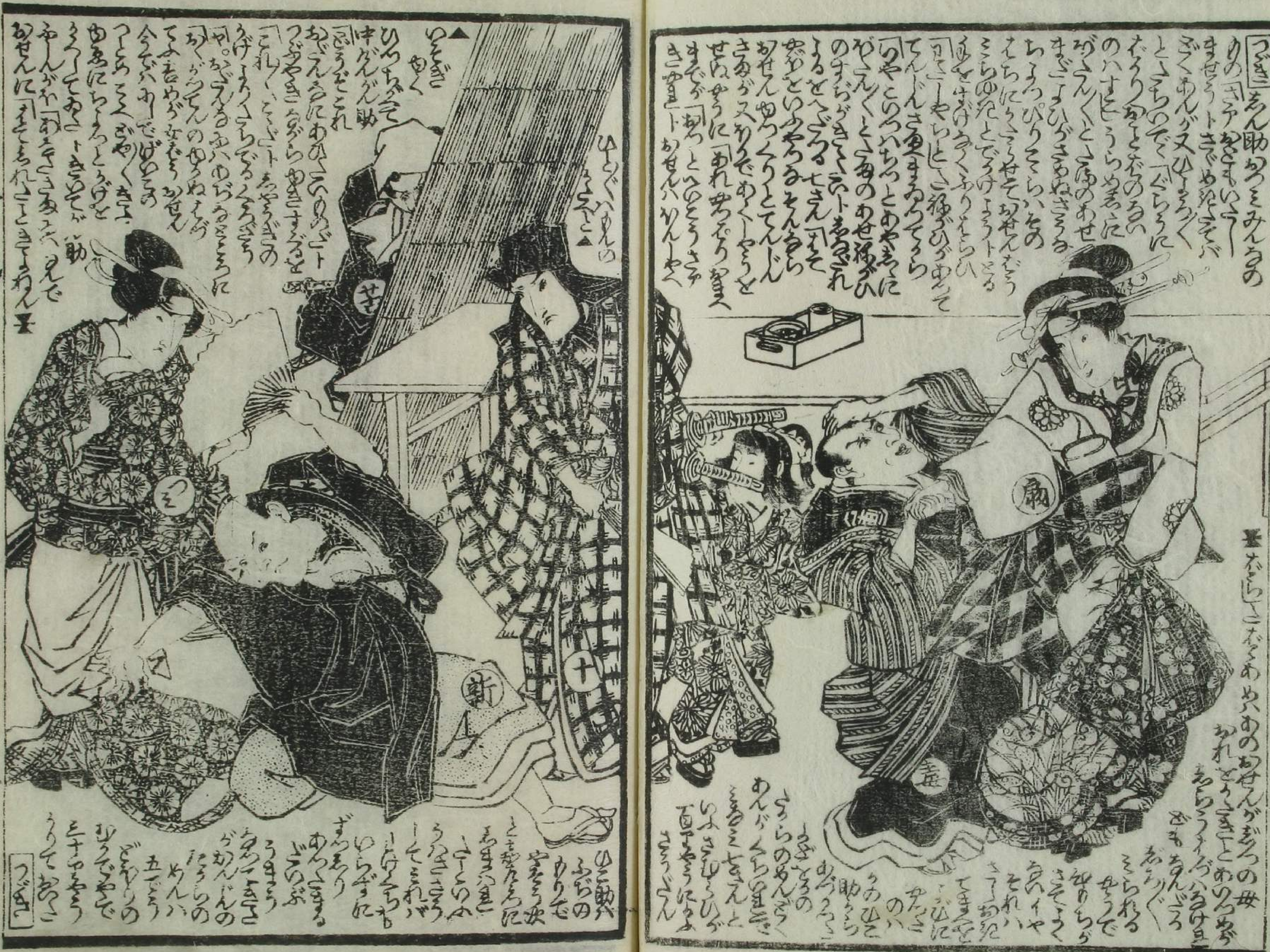


さもあぶうむふうろうねみあうまけどのあせんとこをめちのべくこのくハ助
まあさきにこゑさうく「七さんさあのあまりハたにやめ
ござも以つれさでつなさうんも然く
ころのさえんもあまらうねとト一云
ところうれどどうのうそうろう
でんろ久いろでも
げのとがうりで
のさあう「しうんじんので元
がうへ由ゑめらさつまれさ
ざうにの手うでさく「くござりすまで
そりあひがろへおしまうでさうぞえ
さうやてんやうくうきで「のあを
あぎさえ一云のよこのよしとどう一
もいざこうひつきのそれてん
にんをあぶうであざてころ
もとのけさうまえのとを
ろまきうげすあうす
そのうあたりりふ

そりあげそのきまくかくぞせめんのうちあきの
きところへかけあひてわしかどもあびはせてゐる
七さんハいろんわらくてあ「ますひまああ
うえけのへハあよおやくそくの三千やまあう
いざおうけとりくてさま下うねさ一いざ
せバくろぎうハさらくりがそでてよあちう
「たにたしらにあものかひにてござるあて
きぞんのござりやのハ「イヤあそりきるを
あちさんあきいでござうてあうきやう八
うくにてあかし「さうなにさうやまう
アイあもくがりへいのかも志あぐろ
くるにかくずハござうござう「せろ
しやハすにようにござ三六
やさんごろにおわしくら
まわりてかあふくるで
ござらう「あうくバ
おのでと



ずうのたわら
これさうト
ひそうしに
くれバ多
ゆますの
七さん
八
わんの
あぐ
さうこ
おひ
くえ
あの
ちまへ
さらが
かねそう
ぞんぶんし
さくの
わくね
ゆうぐつこうぶ
あくてよ
らうかぶイヤくろ義
ざのホウざとくあもう
ゆられさきうる



つゞき 志ん助かつさみんなの
めの「コレサア おきもいて
ませう」ト さゞめきたてバ
ごくあんが又ひようぐく
とふちので「ぐらぐらに
なりおもとたちのるの
のハすとはうちめされた
かつさんとこゝのあわせ
まずこよひがさかねざる
ちようつぴりてらハ、その
そちにてふてらせておせんをどう
ここの元とでうけようト とる
あをはずけつくふりそらひ
「コレサ」やらとこ 禄がひかめて
てんじんさままゐつてくら
「いやこのハちつとあやまつに
やさんくとこのあせ禄がひ
のすらがきく云ト 志んされ
まるぜへぶる七さん「それ
あやといふやるそんなら
おせんゆつくりとてんじん
さまが又ありそでわくしやうを
せねばうに「あれあゝそりぬまへ
まですか「あゝ」とへのとうさま
きこへる」ト おせんハ かんしやく

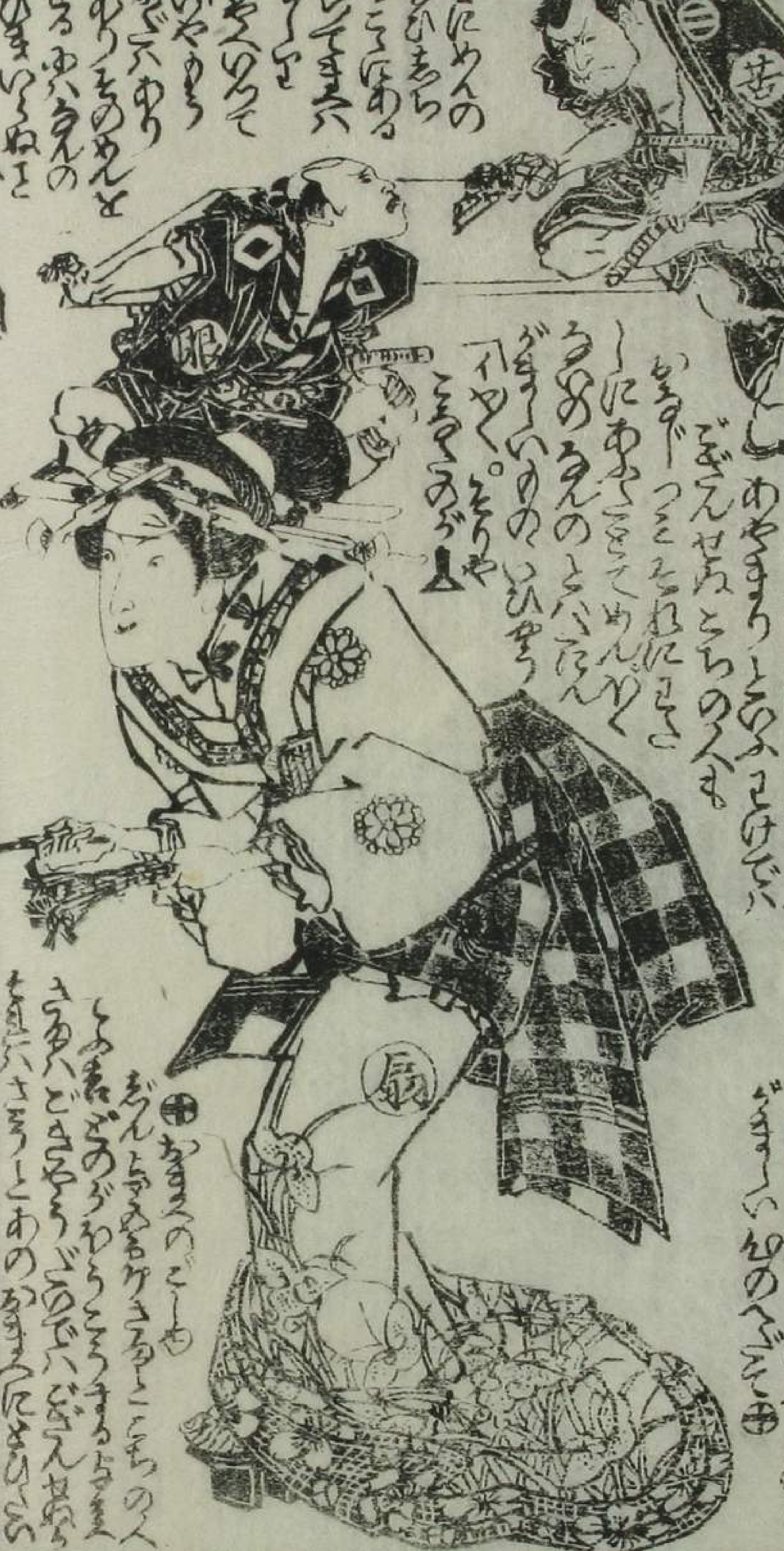
ひとぐハめんの
みえこ▲

▲いそぎ
ゆく
ひつちがへて
中ぐんぐん助
「どうぞこれ
おぜんさまにわかれのごト
つぶやきながらゆきすぎるを
「これ/\ちよつと」ト あやうきの
うけようてらでるくるくるうち
「いや。あぶなる所ハゆびらあさなところに
「あくがつてんのゆうわねえが
てふ吉めがなむそう おせん
今ですハでげの
つらいこえ ぢやくきよ
由息にちよつとうけど
ようくておつ」トきめてが 助
やんがれ「あそこさき 見で
おせんに「まてられ」ことまわん ■

■おとらしこなさめ めハあのおせんがおふくの母
おれどうてきことめのかや
あらくくサイゴハろけ五
ざきあんごろ
おかかりぐ
そられる
やうで
おめちが
きそよく
云イヤ
それハ
さつお紀
てますを
こぶ心に
かくさ
のハ
かのひと
助から
あがつて
よぶとろの
さらのめんぞう
めんがくちの生き
ゑさこ七さんと
いふさむらひが
百アやうにかか
さうざん

ゆき助ハ
ふちの
ありで
安息ちく女
と手をとりに
ここまゐハ急に
ごくらのめ
うらきこころ
ーそうれがハ
ーけくちらず
いらずまに
ずつとまり
あくさする
ごらぶ
うまこう
あつてよさ
がかんだんの
ゆうらの
めんハ
五でう
どふりの
むうでやそで
とすゆきやう
うりてあく

つゞき



つゞき ところでいつぞやいもとを手ごめにとらへてさんざんひどうくめのりやうちえんうらみさきえきまつけまつおねそらいずに三千両これをめしとにめんのあねのむかしのあちやくそくにあるこれからすぐ六ひとまづむつでゆへのつてくさい「いやもうおちゃくに六わりこれ六わりそのめんをうけとるやくそくのてがみまいらぬと

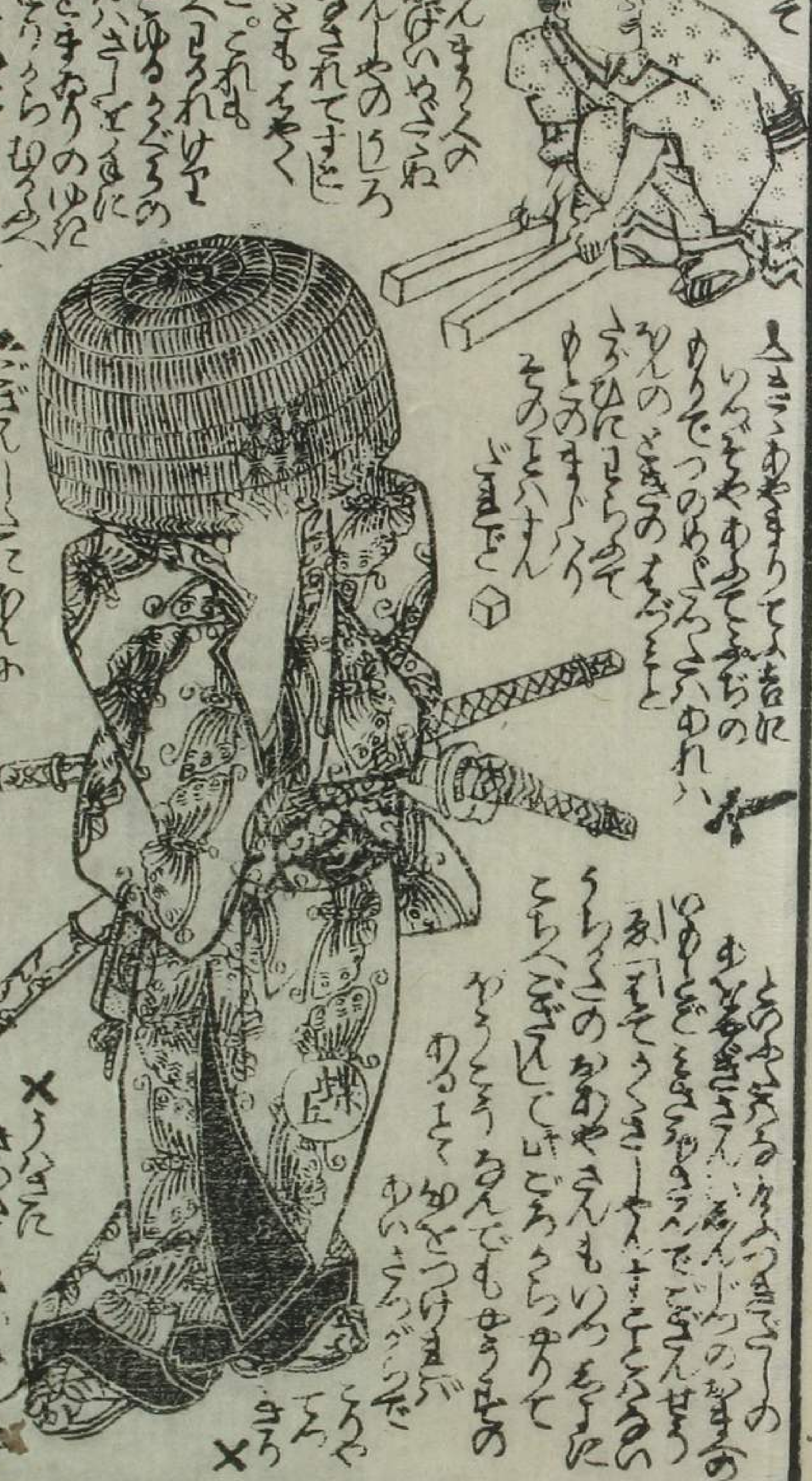
---

⧗うちへさくさきとこへこふやうけんおやとくがこきくのこうりにかなてゆきをぜことわりのそのきとこうこうれのとにてきけぞとやうにんになおにをさきせまへあるさぶるのいふのあいせごけんごきうてのよろこび「きやうろちゃぶハーやむと六ハかまはへなつろうのわやすまりとふのふうけでハござんせねとちらの人にわいさうつきそれにこさしにわかきてなんかくうめうえのととハさたんがきついいのいひなう「イヤく。そりやこまつたの⏏

---

⌂めんかくかくらいといふいろそれとみてこのそでまづこくにのばしこのつこあときぞするのとハとらくバこのてふめあかるごしやじんからかとろて「これてそれが手わろうふらてかつのよこうけんがきついものへがなを⊕

⊕おまへのこしやおそんとうわかけるところふ吉どのがわらとうちるふたうの人まちさかきとけいさいさんハどうそうこのでハござんせですいとあのおまへにおわいさい



だあれのつてまちかりまゆせうがなかざんあるハきつわりてまに「いやく ぽんまうくのとかりがきばのいやさいねどこへハかくしやのけろ「ごあんどうされてすこ」のま「ちつとももそく「ずんそんこ。これもさるとくころれけれて

○みもさゆるえぐろのおとわさんハさうこぞすにめつたに首ごと手あうのゆれあさむりなそりからむかふふつかこそがさうなにつこうてをあのぶかうれがそんやおすとそこですりあわせるそのうちをさうのそき「ヤア なきこへハてふ吉どのきんでハござんせねつ「てふ吉どのくどこへそうおかけんどの「コレさーやかくすにかうあにくりさひいこまで▲

▲さうわやまりてふ吉にいんぞやむかしふちのあひてつのわたくしのされハもんのさきぞのちぶさとさびにこちらでもとのまゝそのまハすんごまで⌂

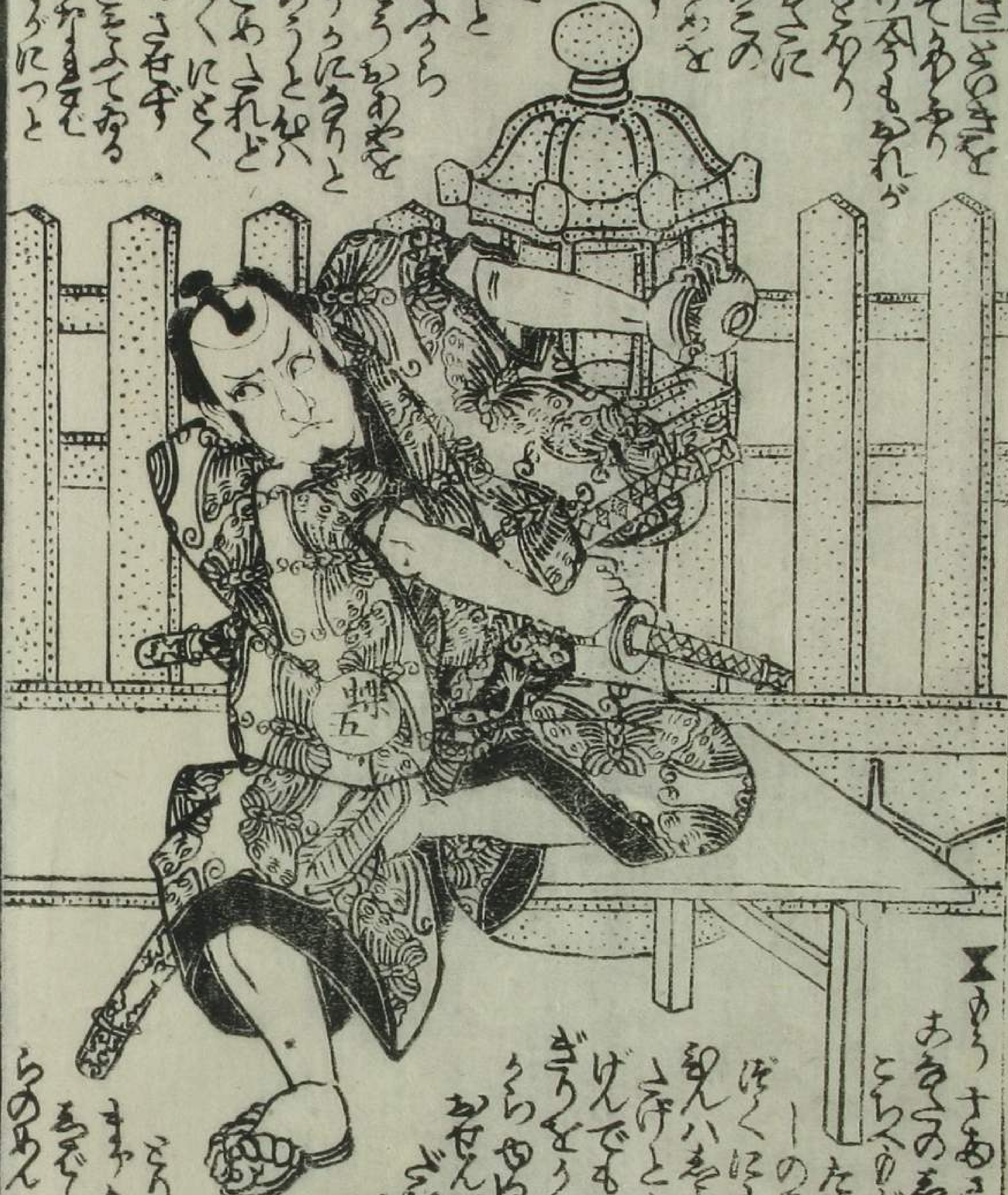
▲ござんしたに それはちやうどよいところでまあかくあいあるみやうぎてふ吉もせんさ「これでたまゝめんかくかくさでハまちがひうらとぶひたくきことうちのおもひてふ吉どのとすでのこ⧗

まへのくゞえ

とのや女ざるかみつきで二のむすめさへんじのおまへのいえどもぞやまりてござんせうあ「そうくさへやんすことふるのうちつこのおかやさんもいふもそだこちへござんしてもどうかりてやうとうかんでもおかげのあるとてかどつけましおいさうがらでころやてるきろ×

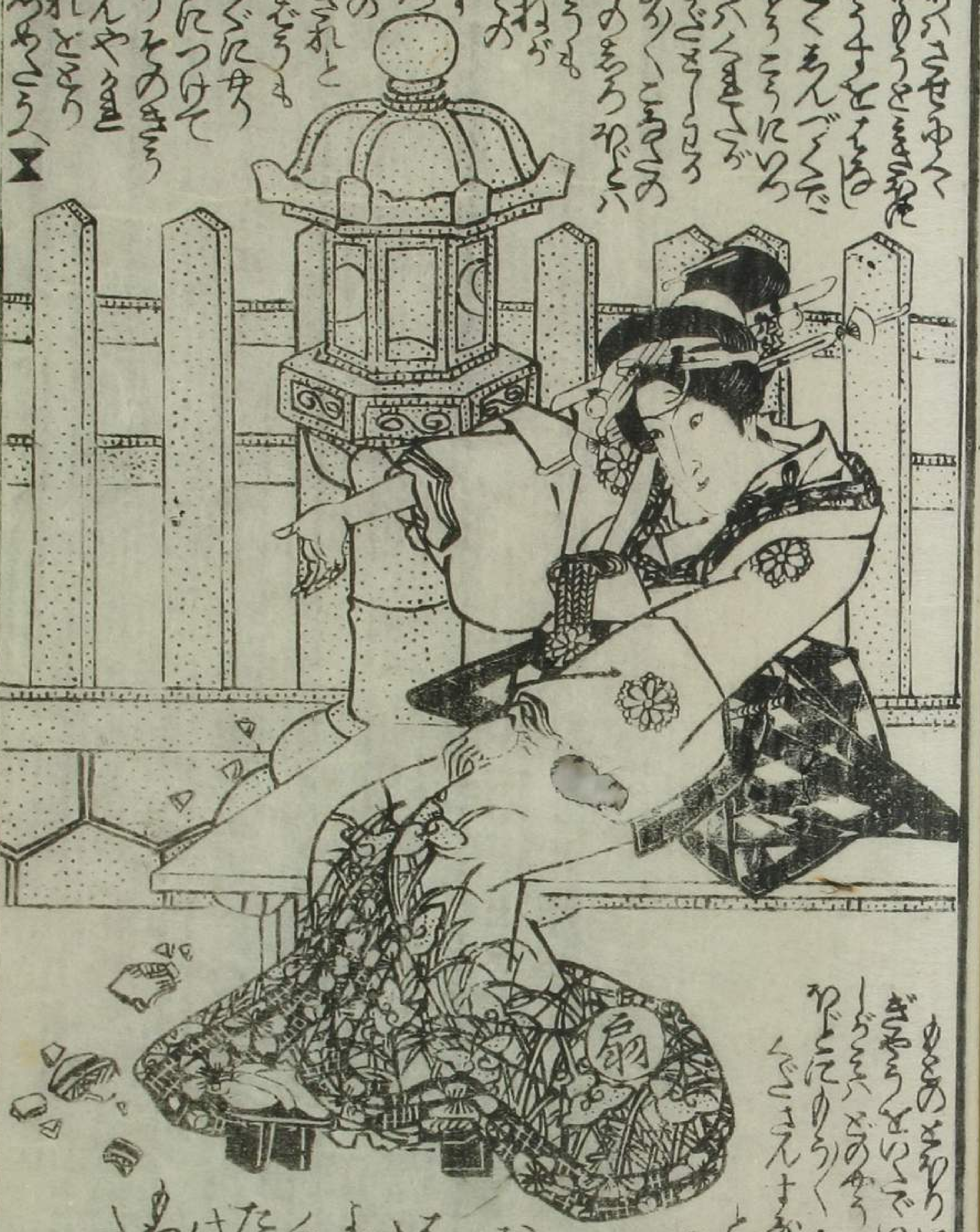
×うなきたきのこさてござんとまろうつかすねかやうさんとちがひござんすうへトいまそろっとてふ吉

つぎへ



【つゞき】そのきを
つそともあり
わげ円もあれが
いきかり
ところに
げのこの
つとめを
さす
ろうが
れん
いだ
ると
おのみから
女ぞうおわやを
とうりにありと
うらうと紀六
さざわされど
おやくにさく
ゑんさ君ず
つま三よてある
るうかまで
さすがにつと

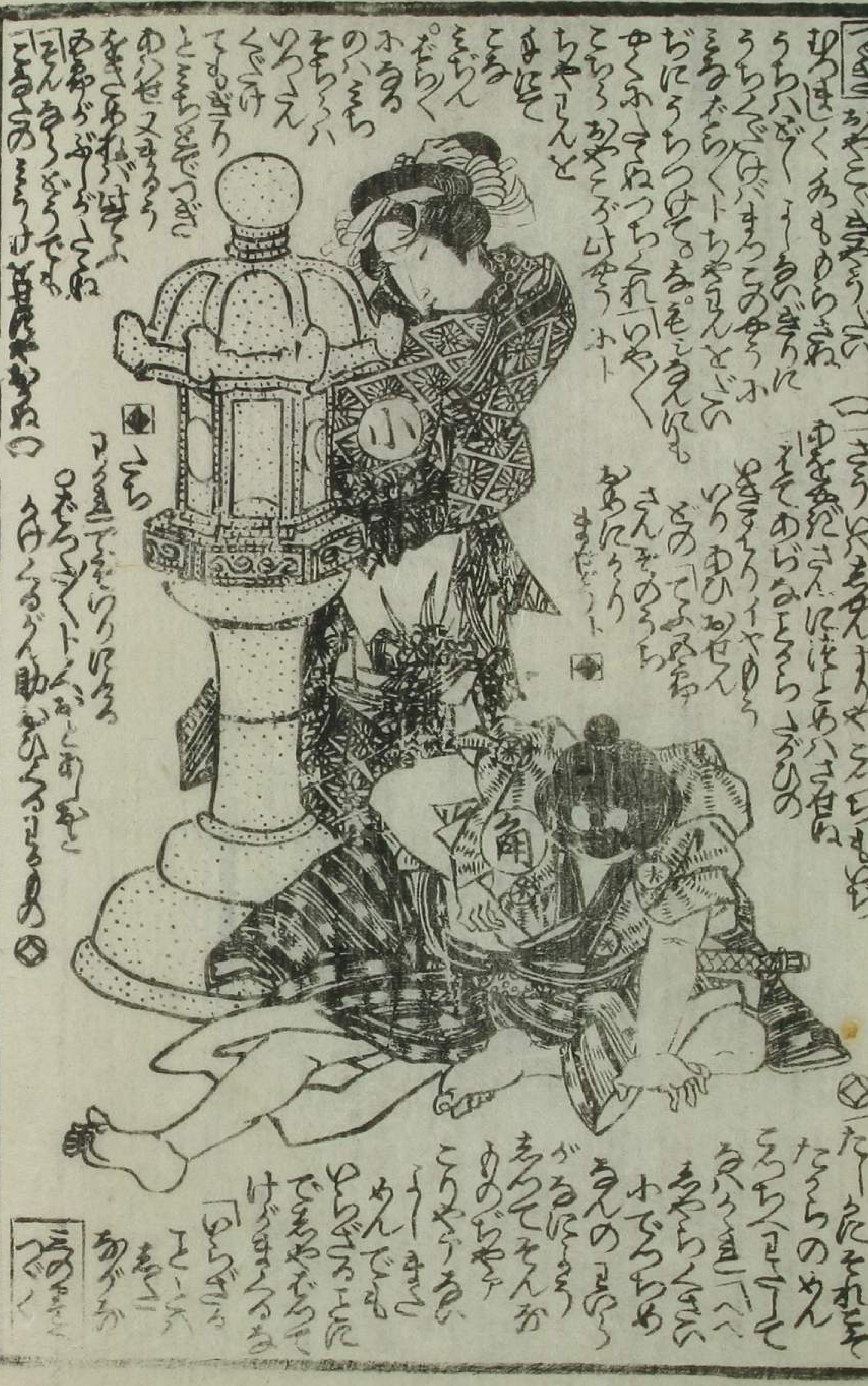
⌛あう すあ三ゆうくす紙や
お主の五まうめん
こちへのどてそくある
たいぞんいますと
ーのとあうちうら
げくにもひうね八ら孫
紀ん八悉ぞうの番
さげとよく見ろう
げんでもいゝ家わり
ぎうをくのもさひん
くらやむてくぞされ
おせんどのト孫と
ござとつむところ
孫をかめひ
おそおせん
もさそとに
うらあれ
まりかきさを
ころるか「ゑんの
まゆうちてゐるも
あぞくのうちたう
らのめんとぶろまで



めハさぞゆへて
いのちさまざまを
あすすせをとはし
とくもんづくで
あうこうにいろ
こふくまてさで
まござさうらう
あゝくこゝろさの
こゝのまろやぞハ
ござうも
くれなが
とうの
ぞす
いろ
その
くされど
女むそうも
もそにちり
手につけて
ちりそのきゝう
きえや主
これどとう
わりやそうへ⌛

ああのおわりにござら
ぎそうとはいでいそうら三さ
しぶ六どのやうにもあるう
わどにのうくわんいぞ
くださんすおとにおまへ
とおあやさん
のうちみ八
干孫さん
とふって
あわらしい
おまゑも回れバ
ちらども
それくおふ
さりさんを
よびおどして
くださんせ
たとそいふバ
ムけちやもん
あうへまう
しけちよ
やら〻よ

【次へ】



「つゞき」おやこでまうすごい
むつましくおもめらされ
うちへぶくしてそのきれ
うちへでふばハすこのめうぶ
ころだらくトちやさんをごい
ぢにうちつけそ。きぞもこゑにも
かくふすねつちくれ「いやく
こらうおやこぶけやう ホト
ちやさんと
まほそ
こる
きぢん
ぺだらく
ふうる
のハきち
きちふハ
いろえん
くぞけ
でもぎう
とききぞでつぎ
あハせ又すゝう
まきこあねバ[illegible]
あ[illegible]ぶつぶらね
「そん[illegible]ぶつぶうでな
こまかの[illegible]け[illegible]ね口

口「さう八そんまりやこちらも[illegible]
ゆきさんにハよそハさね
そそめらみとこらさうひの
きすもりイヤめう
りわひねせん
どの「てふるふ
さんぞのうら
あれらう
まだぶうト

「こち」
こゝ置でぎらりにくる
のぞうらぐトんおとあをと
角くるぐん助おやくるりこりあの

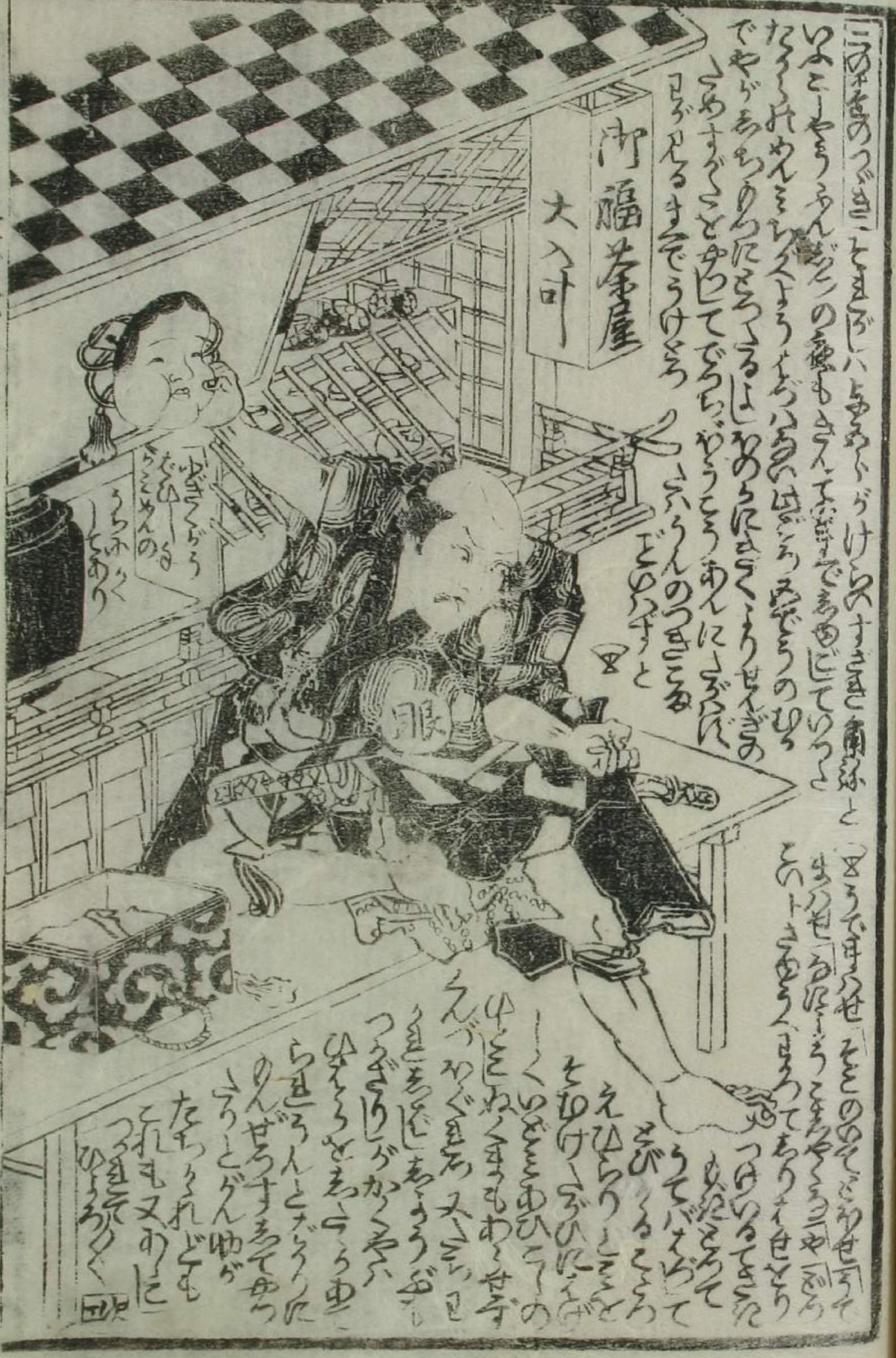
「たゞたそれこそ
たらのめん
こちへおさって
すくまに「へへ
きやらくさい
かでてちめ
えのこぶら
がるにさう
ぎらそそんか
あのぢやア
こりやうがあい
うしまさ
めんでも
やらざるよに
でぎやぞて
けがまくるな
「やらざる
と一六
きこ
あがか

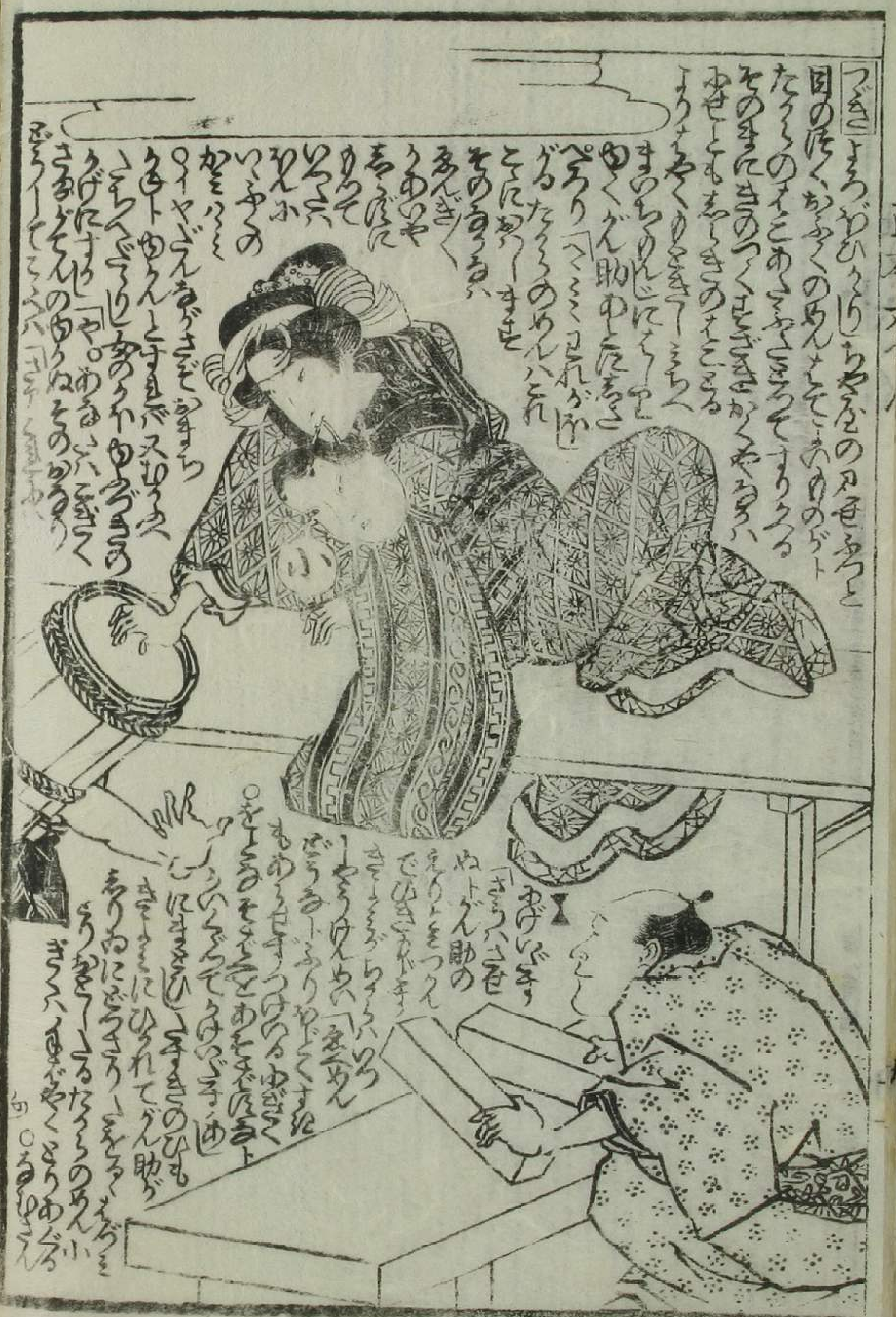
「三のまへつゞく」

「二の[illegible]のつゞき」ときまぶしハよきふけら[illegible]すさまき角弥と
[illegible]とーきうらんぼこの[illegible]もさん[illegible]で[illegible]じていつさ
たいこれめんきらくようおハ[illegible]はぶ[illegible]えぞうの[illegible]
でやぶあちのめにさつてるはおのらにさくうりせんぎの
こめすぐこと[illegible]じてでらぐやうてうあんにさぶれ
こぶみるまでうけさう　さふうんのつぎこる
ごとのかずと

[illegible]うでまハせ「そとのそでかせ[illegible]て
まハせ「るにこうこまやくるこや「ぶぶ
このトきあうくまうてありま[illegible]もり
つけいるてきこれ
ぬたそえて
うでバさびて
さびるところ
えひらりとそれと
そむけ[illegible]ぶひにえぞ
しくいどこあひこーの
ゆきにねくまつもわく[illegible]
えんづやぐまな又さ[illegible]
きまこ[illegible]にあやうぶ
つぎりしがかくるや
ひそうをあつらうあ
ら[illegible]ぢうんとすそうに
のんぜうすあてあつ
さうとぐん助が
たすうれども
これも又わに
つまそて
ひようろく

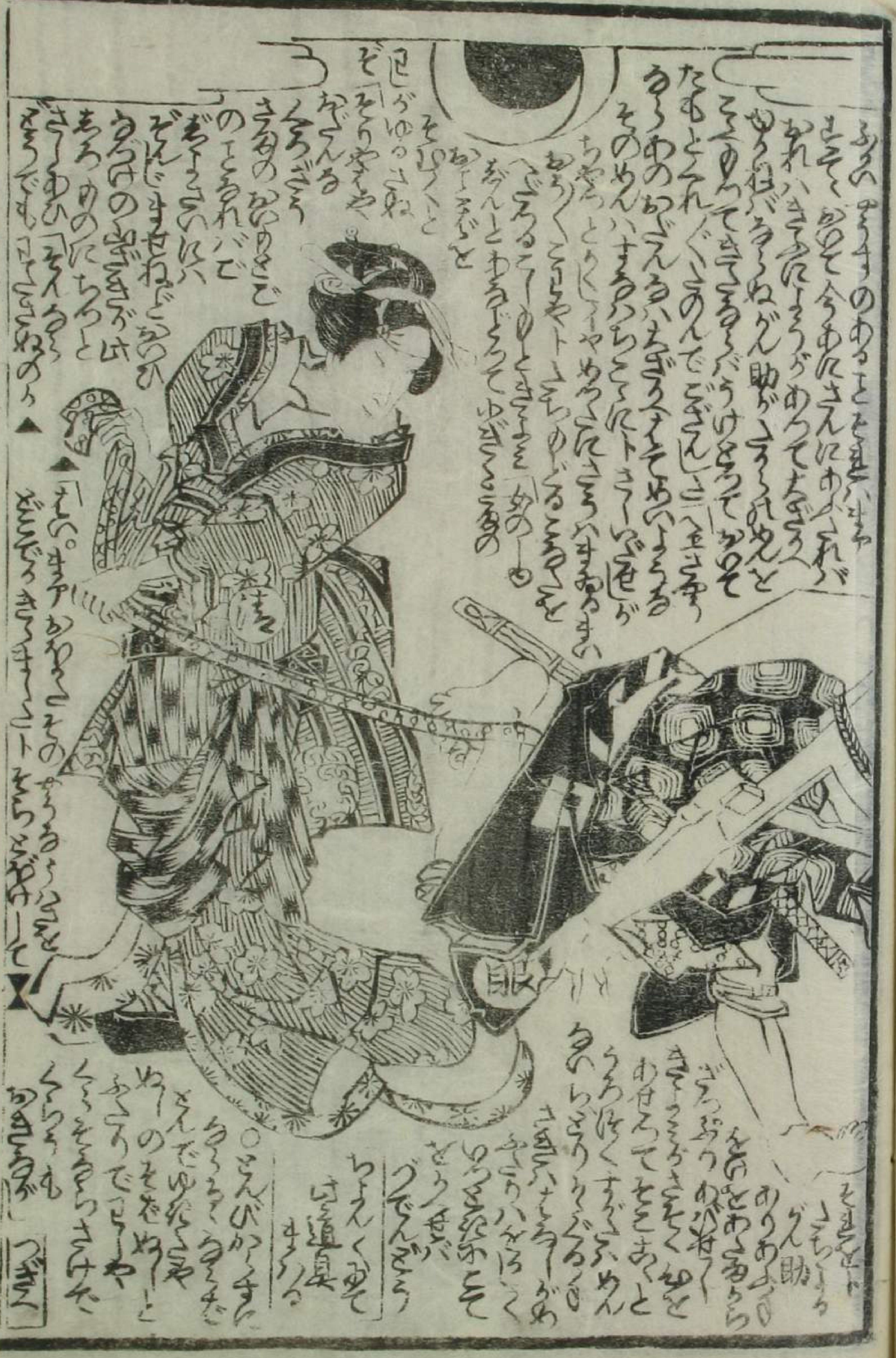
「次」


御福茶屋
大入叶
ふぎくぶらう[illegible]
うちふうくしてあり
服



つゞき よろづおひろめしちやさんの見世ぶろと
目のほどくおふくのめんをそこあゐのがト
たろうの才これをふところへそつとすりかへる
そのまにほのつくせいざいかくやうす
みせともあちきの才このところ
よりすゝみくりきて ゑちへ
まのちゞれじにたうやと
申くげん助やはたあさ
ぺろり「でゝこれがわ」
がるたろうのめんハこれ
とこにおいて すませ
そのおろかハ
ゑんぎく
うめのや
おしかれに
あつそ
よつハ
それハ
いやうの
かをハく
○イヤざんねんさぞいきまち
見ト申さんとするゆゑ又むかふ
うちへぶつりし女のかほ申さきの
うけにすつし「や。あゐさハごさく
さまぐ゛てんの申くねそのおうて
ぞう一てこゝハ「ゑや くるらぬ

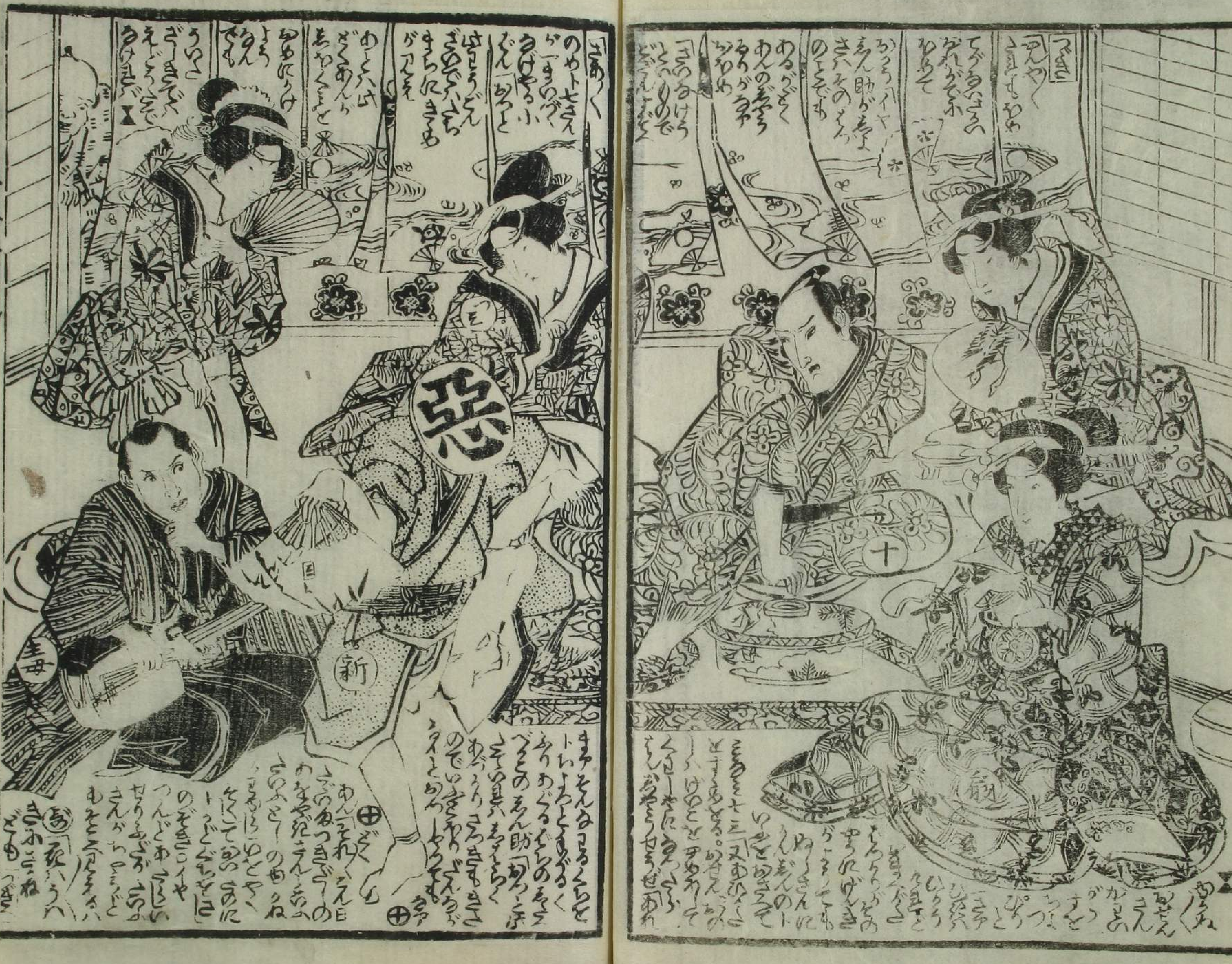
おげいぼす
「さう八さ申
ぬトげん助の
ゑりくをつくん
でひきすゑ申す
きやうさうらうハいつ
一やうけんめい「見めん
ざうおトふりやどくすれ
もめうとすつけのゆゑさく
○さよるそうぞうおもてにうト
シハくぶつてうけいぶ手へ
こにまきひ」手まきのひも
きやうにひかれてげん助が
あうゐにどうさう」ゑとうくえうと
よう大とうるたろうのめんハ
ぎくハまぶやくようめぐる
向○ゑゆさん



ふろのせうすのあるをもまハさ
あそく見て今めんさんにおくれば
おれハきうにようやあつて大きうく
のろばかうねげん助がうられぬと
てこのわつてきてゆるばうけとおつておそ
たもとくれぐくのんでござんしさ「へまさう
ろうめのおざんあハたぎうすてめいよう
そのめんハすみかちゞれにトきうしぶ匠が
ちやんとりくしイやめつたにさうハあるまい
わらくとらやトこちのぶるこまてを
へござるて一ゆくそうまい「女の一め
ぎんとわるざろうてゆきくるの
ねエヱおとと
そのとと
匠がゆゑさね
ぞ「そりやそや
おざんる
くろざう
さみのおゆるさご
のこまれバで
おうてきいに六
ぞれにもませねどちのひ
うけのかゞちごがい
あろめのにちつと
さしあひ「ゑくろく
さうでもこまてさゑのく ▲
▲「ゑへ。まアおやそ その
どこでくきててきゝて

そゐかど
こちらから
げん助
おりあおで
それをとわらぬから
ござつぶうわが我て
きやつらかさそく紐と
わけろてそこまくと
うろほくすぐふめん
身わらさりかくろゝゆ
さまハもうてがぬ
ふさりハうれしく
ゆうさ気ぶさそ
ぞうそば
づでんざう
ちよんくみて
廿道具
まる
○さんびか一すに
かうろてうぬきた
さんでゆたりや
めつのそをぬつや
ふさりでつらしと
くゝそさうらさけそ
くもうも
おきてるが

つぎへ



つゞき「ほんにさまでもわ てがるはさんへおれがぞれ わらって

かうち「イヤもん助が事よ さん八そのそんのことじや わるいがそく わんの若ぐ るりがゞ事 がわわ

「きみるけら とくのもので どうぞかまく

あゝ気ゝく おせん さんかあま かうつすを ぱつと ひとつ 一きわ ひらう そうすと 其ばんくさ あちらがその まれげしき がやそてわ ねきんに さんまんのト いゝとおきゝて がいまつゝ又あかくさ とすぬとる。おせんこゝの しくけのとど気あわて くぎ一やたまへさらが ましかやさつ世あわれ

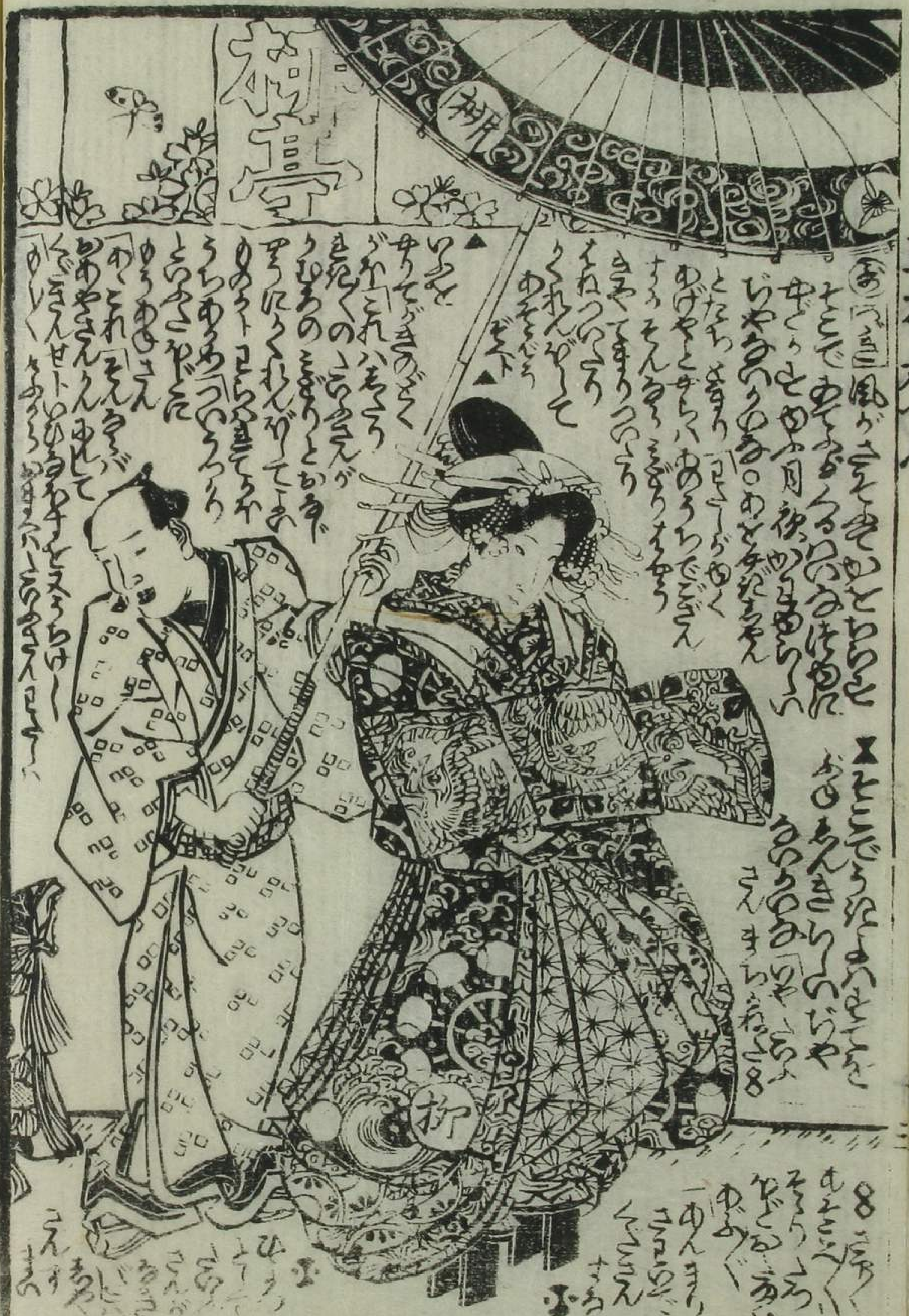
「さあ／＼のやト七さん がいまのぐ、なげやるハ だん／＼おそと はやうぎらん ざあぞ、さあ まちれきまも がてんぞえ

わしハざくめんら まかくゑと ありにうけ ようぞんでも うさざんまでぞ えいうこそ るけそん ⧗

まアそんなおろくらをト いゝよとすゞるく ありわくるぞらのあくさ べるその若ん助「ゆわつゝぶ それ其まくらく わざありこゝまこさ のでいまるかゞえぐらぶ ライとわゝ やうそもしまア

㊉ぞく わんゝそれハええ このあつきゞの わすやお花さんへ さのふとしのめかね かえめうにのどとや、 そくこて爰の方に トいぶくがそとは のぞきこゝイヤ つんどあこゝしい せりふあぶす方ふ さんがちやらいぶと もそとゝ見さかハ

㊂「夜ハうへ きゞかこゝね ざこも つぎ

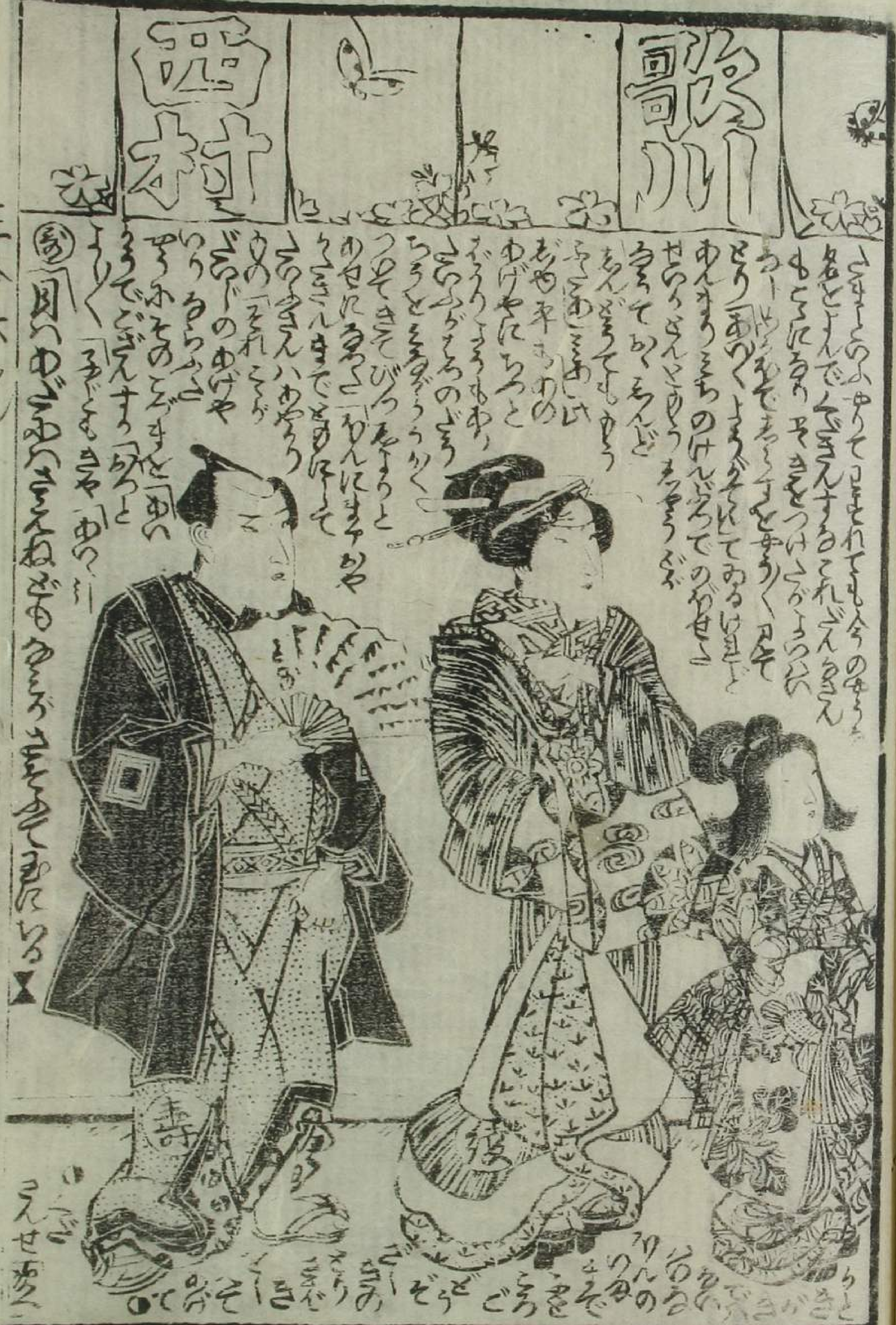


（お）「へい」風がそよそよとちらちらと
そこで[illegible]くるわの[illegible]に
[illegible]月夜[illegible]
[illegible]
とたち さすり「[illegible]
あげやとゞけ[illegible]あのうちでござん
すう そんなら[illegible]
きてくれます[illegible]
それ[illegible]
くれんぞ[illegible]
あそび[illegible]

いふぞ
[illegible]「これハそうろう
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
とらさやどれ
ゆう[illegible]さん
「わくこれ「それ[illegible]
[illegible]
「めい[illegible]

そこで[illegible]
[illegible]
[illegible]「いや[illegible]
さんまち[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

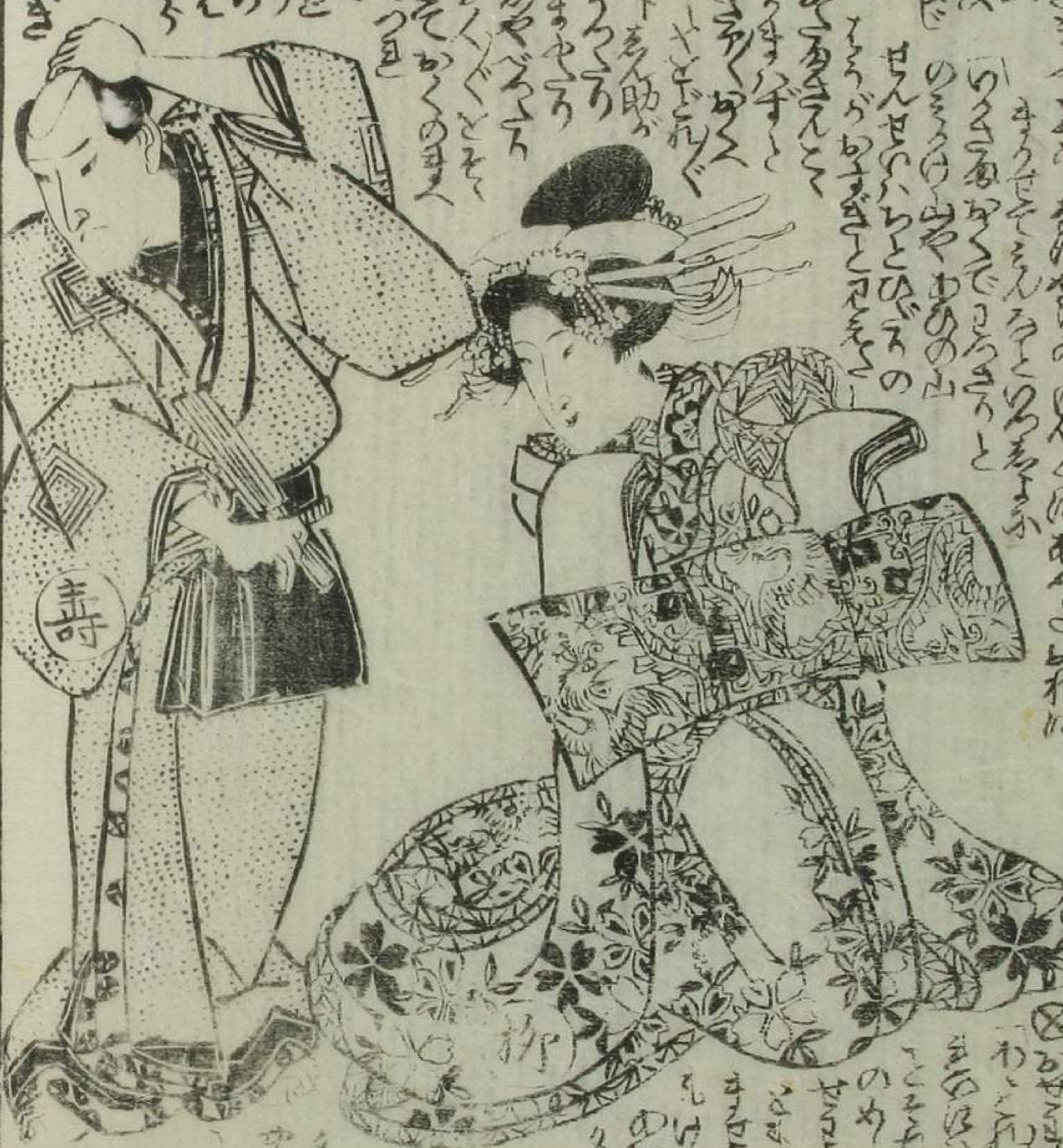


[illegible]のふゆりて[illegible]今の[illegible]
名とよんで くさんするこれ ぞんさん
もらはれ[illegible]きをつけ[illegible]
[illegible]
とり[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
あげやたちつと
[illegible]
[illegible]
つそきて[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
どうのあげや
[illegible]
[illegible]
[illegible]でござんす[illegible]
[illegible]
（男）「[illegible]

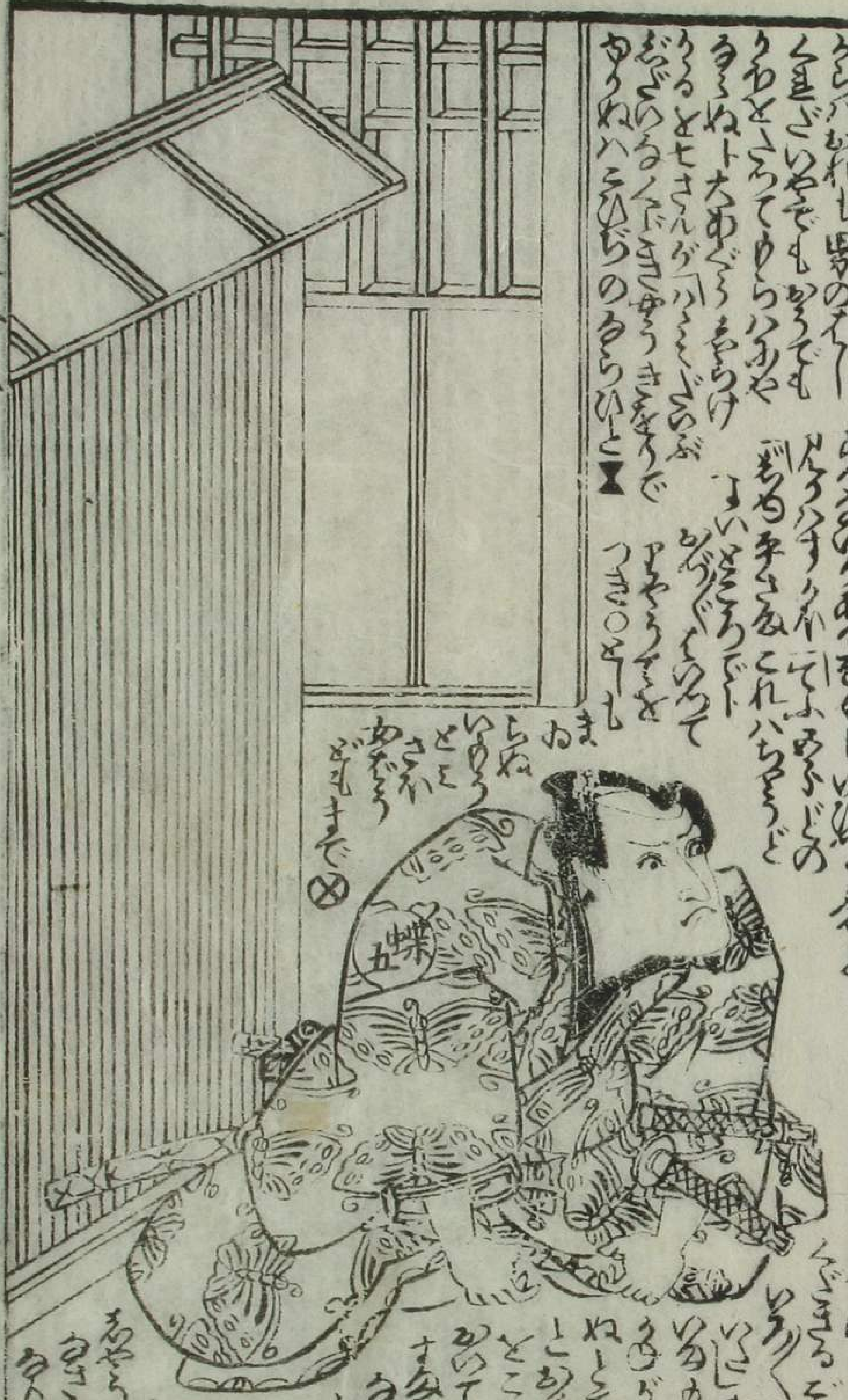
[illegible]
[illegible]

「つゞき」これさあんじさしやるな ≍ あゝ、あれやらのめんくにわるさあれに べらぼうにかねをむしり六十 どくあんとをもらのこし ござんす。ぐげんハあたりまへ ぐらうがのそこに五山 これからとのしゆに ゆひのめ山のてすぎ おさめのかなどの ものぞさにしてくれる トさうてとさらのめ 「こうごどつかると うんからやらしむさ ぎおらくしゆらう こらふト ゆげく やどるきつは ますハすまと べくらくけいとの かさんひきの ゆうがるちん ごやいせねあ ○どうら でござんすト つかとさきれ てもひらきも ますてんぶ でかいずしんぼう

ますうせてえんるとのあさまふ 「のさ扇おくてこつきうと のそうけ山やあめの山 せんせいハちとひざの そうがおすぎとこれそく おてあさえんてく うきぐすと ゆくおく くいやさかれぐ ト幸助が うつてう まやもう あやべつてら ゆくくぐどそそ さもそかくのまへ うまのつ」 めき ようそ ゆひろ めし ずり まやき



⊗ おせうのぞんく わいあれハうえの まあ百八をえだあ ここさがえろち のめしのさき せきよ大ちら さまわのい まさおまきれ そしけのうら めだるれと くねとつり らくへに てえん



これさ、ほりそふ、われらあとめげやや ちやうにおきそうあるう まんざのうそなおびます これハおれも男のそし くるさいやでもおそでも うかとさふてゆらいかや すうねト大あぐらあぐらけ おぐいるとセさんが「ハこくでのぶ ぢぐいるくだきをうきをそうで ゆうねハこゝろちのならひと ≍

くろさくがれ ぐどくらうよりき「のぞれ「イヤモシこれぞ このこまできうトいふことをおち手が きこつけ「われさ、ちひらうききさ わるるひがあるぞやトいひらくあつと ばうかすうがれ「てふあふどの 「ぎやうさあこれハちあうど よいところでし あぐらてのつて あやうてを つき○そし

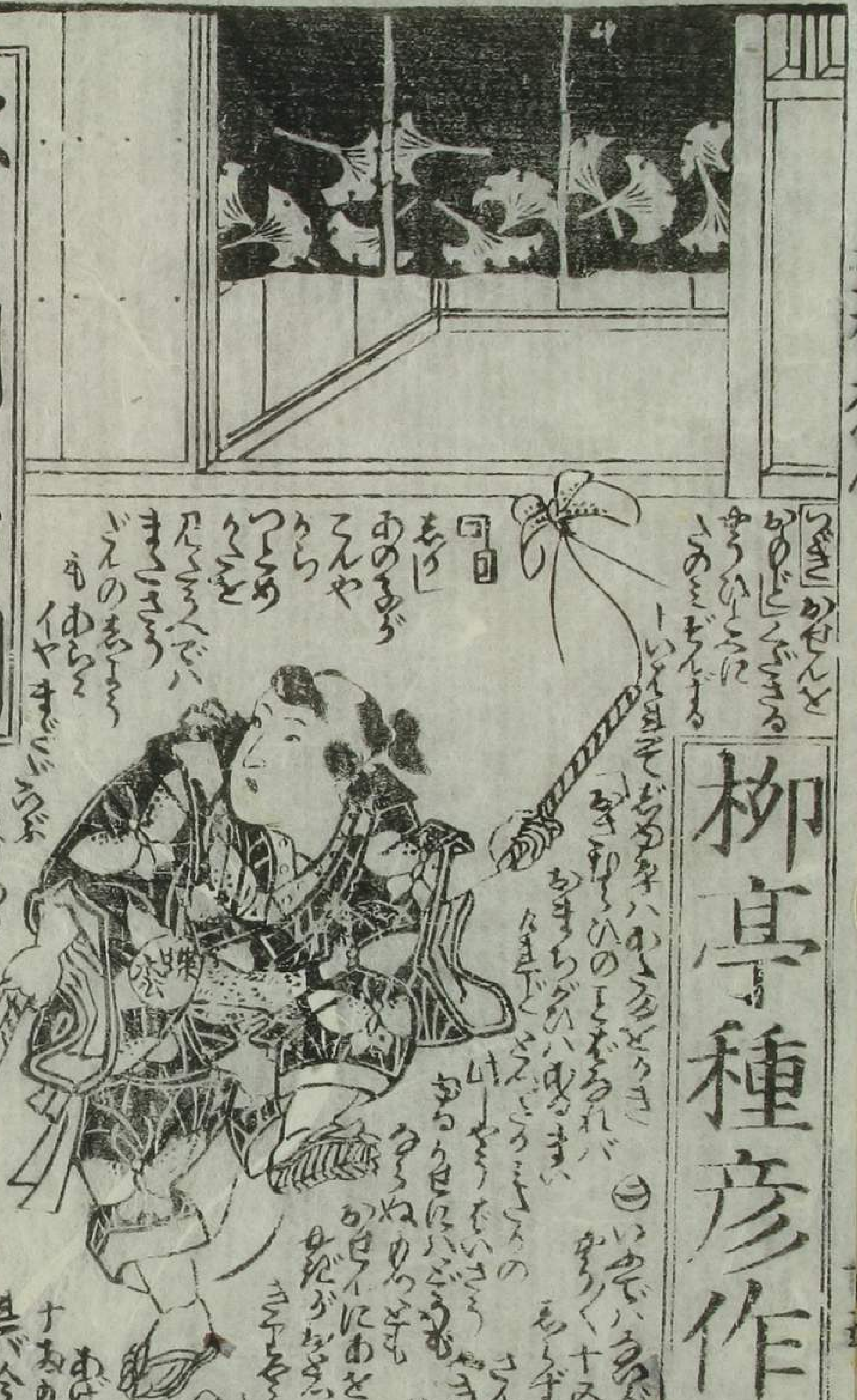
まれ いかうど さあ あぶらう がまくて ⊗

さうしやるなトおんとする そでとめ「いゆうさぶ助の あうふきんすあそへすまぬはバ げいとのおせんをどひきて くぎまるぞおびさん いかく、さのうく いそしまするれど ゆめでめてのめ ためがらそのハ ねしそうりく こおせんどの どこゝめとえ おのてハまえ すもねぎり ためにかぞ しそのめ なおへ まふく しが あやく めの あやうめんか きまりて まりと 次へ

**柳亭種彦作**

**歌川國貞画**

（國貞）



「つぎ」かせんと かのじゝくぶきる ゆうひように このとぎんずる トいゝすてゝおやまハかしこをとつき「きゝすてひのまとむるれバ おまちかねハあるまい なまじ「さえころこゝの [illegible]

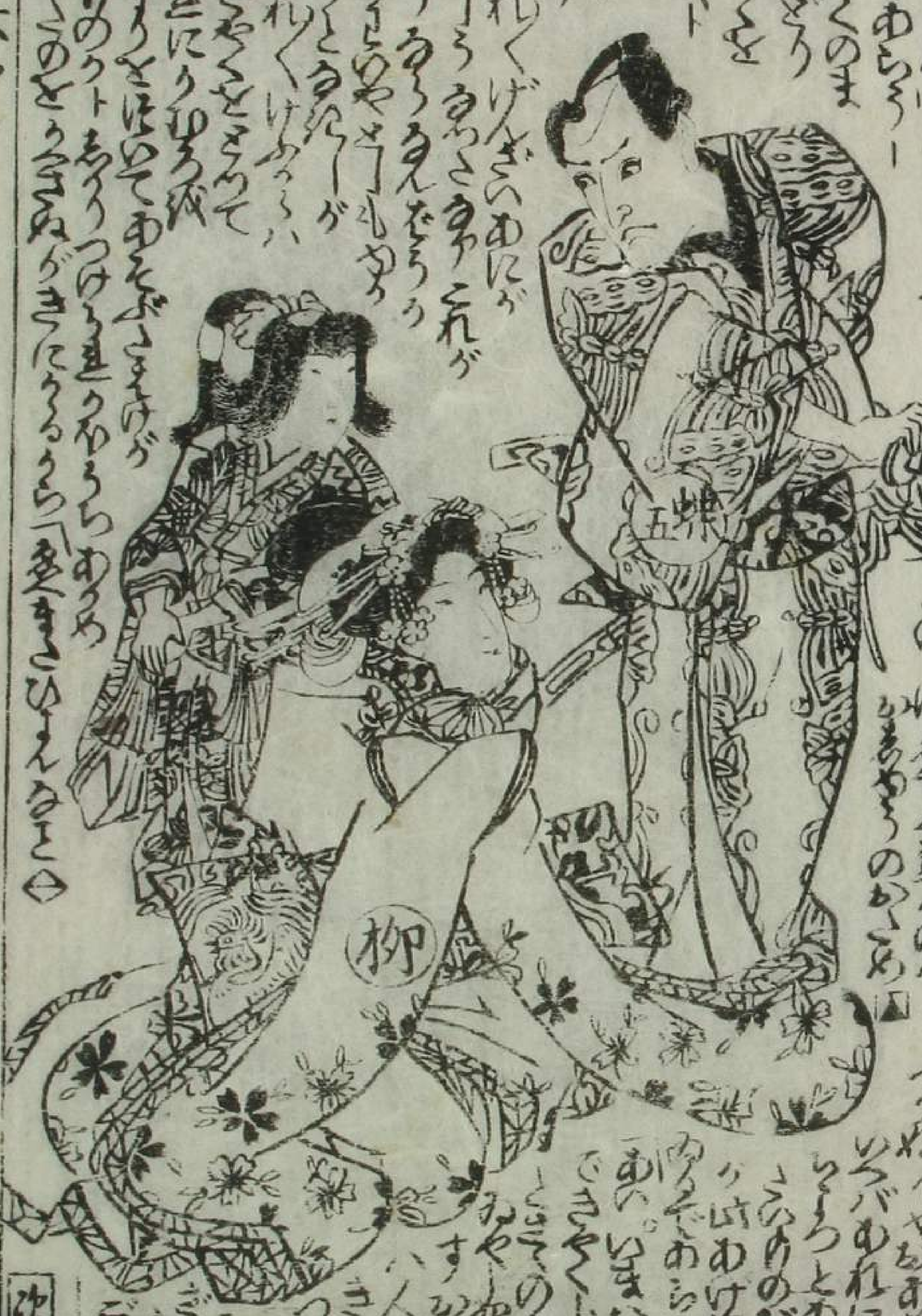
㊀いやでハあるが[illegible]十あまり[illegible] [illegible]のまゝ [illegible]さえ [illegible] けれバ [illegible]

同「あげ」あのまゝ こんや から つとめ くるを たのしんでハ まことに どれのおもしろも わらで イヤまづ[illegible]

[illegible]あ ハてきころぜん これにゆるりとござりまし トいそぎ さらにたちゆく

後へん 四の巻へつゞく

㊁[illegible] わけさきころ十あまりてござ [illegible]今にても おせんがよ [illegible]して まんずる 同



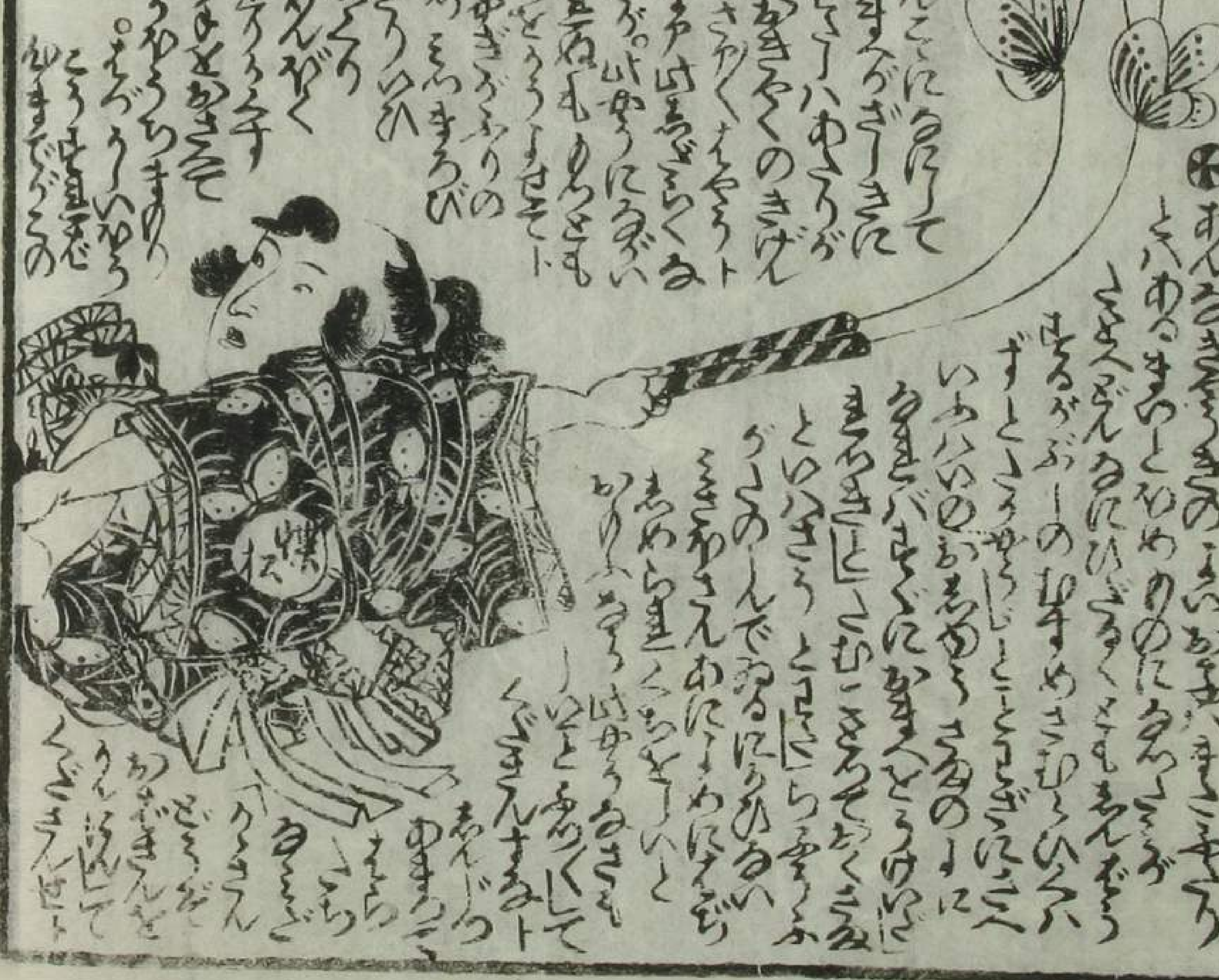
「翫てんのはなぎ」わさにはらつくりてまいぶ「おいそれ八ミるめのさもそれがかれ八 十やまうされどもさ[illegible]かれまぎ まことにきんめぬきさえあへあそまい八 くぎりのはまつさ大小たいりうて えんとさのめでありまし「 こまめんにくるとおくのまゝ より「まア〳〵まぎ[illegible] あぶなうりくもひやくを くさねハうまねく ト ふまつさそでに わるをふるぶたつとき いるとハふりきつ「いのちでおいかれ〳〵げんぎのあにが こまぶ八ぞうらしつう あさ[illegible]これが まありねあそう あうえんなりう うき「とらにきらめやそ「もやぅ ぬめのどトかつつとあんし「が おめひあかり 。これ〳〵けんかハ さいなにあつそかさぐるとさいて みるでハあつそ主にりゆうん わもそ心ていまつさはいてあそぶさまげが さそのくにくある ののウトあうりつけ主くわうちわらわ 「それでもやまぐりくのとうさねかきにくるう「あき[illegible]㊀

㊀「とびこ」てころちにもくさねバ きにろる十ばかりの女の とさあやひさまさきさあく わそんでみぶとくなきすやくを どういれるてくまるのが みあやうのかさわ㊁

㊁そなさこの公がそく あやうくまで つけてかりさるに おあやめもさきの つりねイヤちあやと いふバあれに らうつとあい このめのおや かはわけやれ わそでおちうる 一あい。いまかく てきやくどん [illegible]このんで おやしかん すいまつ 八人の きのつまか このさえ ごさえて

次へ

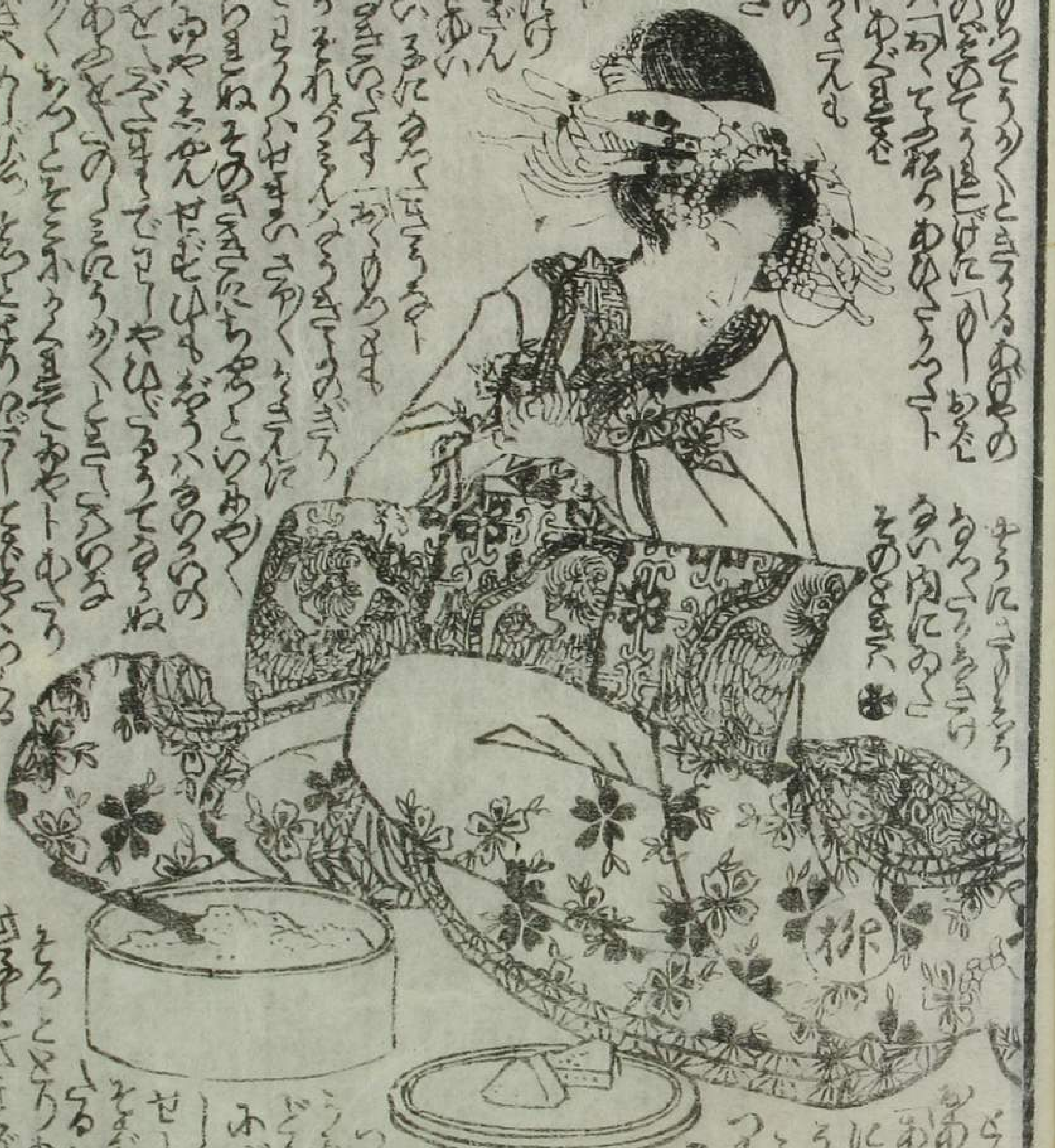
「つゞき」「おくりぶくのんで
まつてゐるうちそんなら
ざしきをさりはくろひ
ちよつとあそこへいつて
「それも「今ごろきにあわさんを
ゐるやうにあんせう それハ
さうとて此間ハひとりあそんで
おゐんするうちおれがわたしを
おいさるゆゑてふちよをとまれを
みてゐてぬけてでゝこの八ひろ
むかふいろくのよそがあつて
くつてゐんねがざしきら
「ひりきらうにきいさうに
「おとのぶらんぶくのぎろう
子にうつて八ねられぬない
「いやといふてぐずんぜうぬい
「それできうのるよハすてゝおきや
。これハむかしもとくい八ござつ
ゆく「こぶうゆんへ一てあげや
「きアるうおのでみさんせト
うちつまおくへいりにけり
○てゐ八ゐこねのわらちらぞちこねへ
てゐの元ちくしぞちらはきらまねうつみべ」
おくにてされうひ此うちふかのその夕に



✱「いつくらあへそんが
さけふにけるころ
ちやうのハのゐるト
いひつくろうじて
こちそる
おわや。これハ
あさうりたいさんこゝにゐたして
みやしやんすおすゞざしきに
ごさんせぬとせうハわさうが
てんられてゐるぬおきやくのきげん
のそこねぬうちさあくおやうト
まとうつて。そりまア此ぢゞおらくゐ
ゐりハののウ。あてふぢ。此やうにゐずい
こゝでハきこゑまいねもあるさも
うののまア これつまどうぞうすさせそト
いきつくろへおきあきぶふりの
そぞりふさゑ ゑらまろび
ゐちくるふぎろうの八
おおやハびつくり
めざあぎ六めんびく
ゐげにそうろ子
ともまとがきさそ
うわうちますの
。そうづうい ゐう
こうはまおぞ
御ますでぶくの

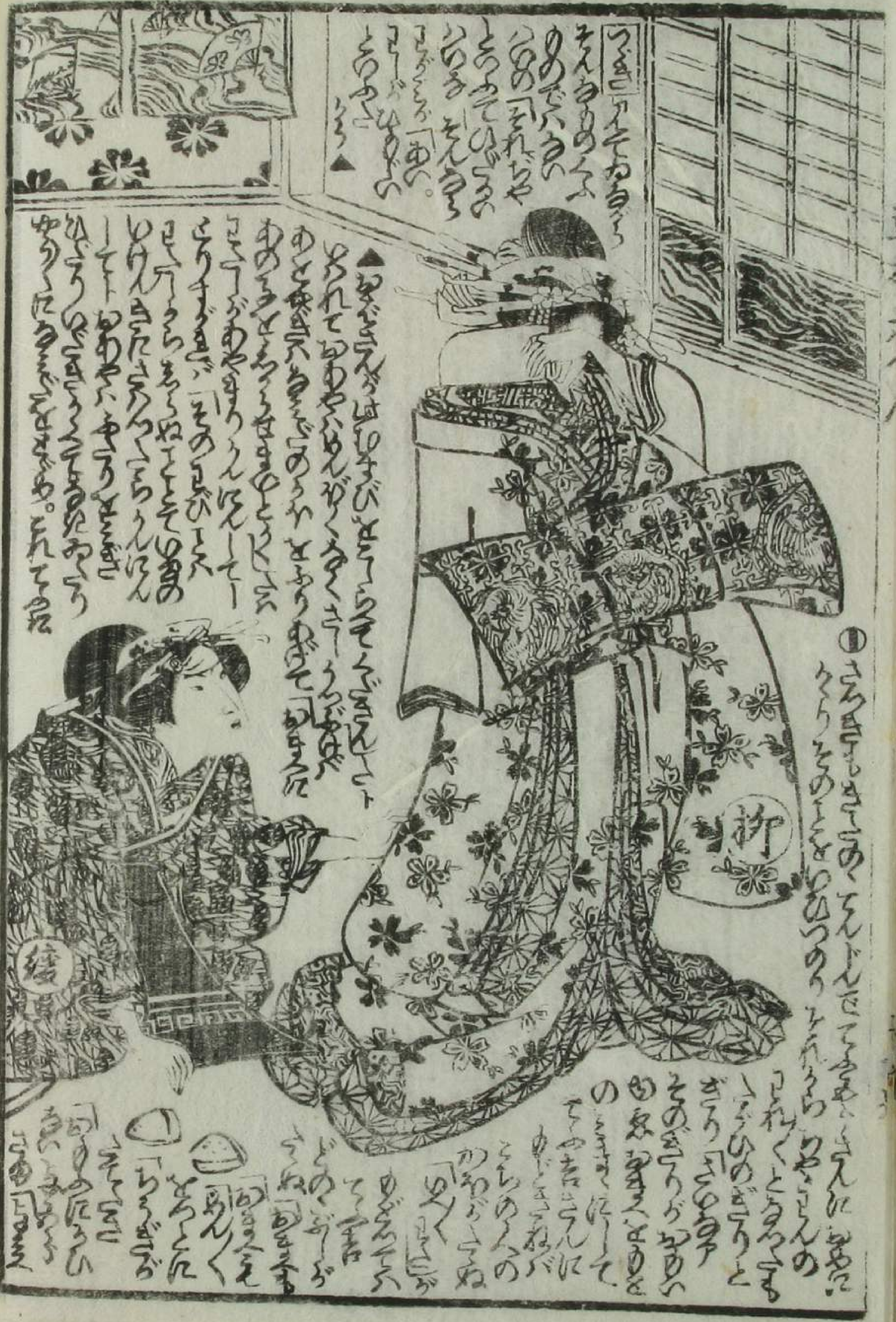
✱おんなぎやうぎのよいおすへまこやうり
とハわへまのとかめのにゐへさうが
こさんぶんるにひぞうくさもあんずう
はるがぶーのむすめさまむくひく八
ずうとこゝでらくしとこうぎれいこへ
いわハいのお志あら さゐのよに
うまこバきぐにおまへとうけゝば
まわざきと」とむこさちてたくさゑ
といふさうとうさにらうふくふ
がくのんでゐるにゐひゐるハ
こさわさんわにすわにそぞり
あわらまくらのそすいと
かりふ やうつおさても
いゝとゑつくして
くさまんすみト
あんじつ
ゆまうて
まうら

て私がてよくのつてうかくとさうるおやの
くどあてさうーのぞおてうにげた「のーおそ
さん「うけてれバ「わてて私のあかくそうてト
あすきらいぶまのめぐるをそ
あんすうりおりわやう「あうさえも
あえなさんもとちの
もうちやとさまさ
あるきの子も
こさうい「ろうて
さそ八くさえんか
わやいれバ のめそ
いらぞれなあらめはけ
おさうなーつてござん
しーきてーすやうたゆい
子どもわそくなゐて ゐたゐてしるとろ
ゆうとたちのにおまらでおすつ「おくのおゆま
ちやごとうせおやおぞれぞさんてろぐさてのぎろ
そうのやるまてこうのいせまいさうくこそてに
そうつて又おかうるまねそのきるたちやらといぶやく
なうおう。ぞくさんへゐやあやんせとひもおうハおののの
あの。のるまんまたとぞてますでさーやひでうるてつうるね
けまへとこえん云たわあぞーのこにうかくとえて みのまに
おくいふまであちらくきうとこそふくるそておやトむうう
かんまうーあそゆぎ六ゐーびうそうとゆういぶてーてをやくつくる
ゆきりゑしー人ゐとするおうあ おゞらあき」をそでにうくせあひくすまり✱



ちうれてりとうちう
あえくうつきうけ
ゐい内にゐくこ
そのとさ六✱

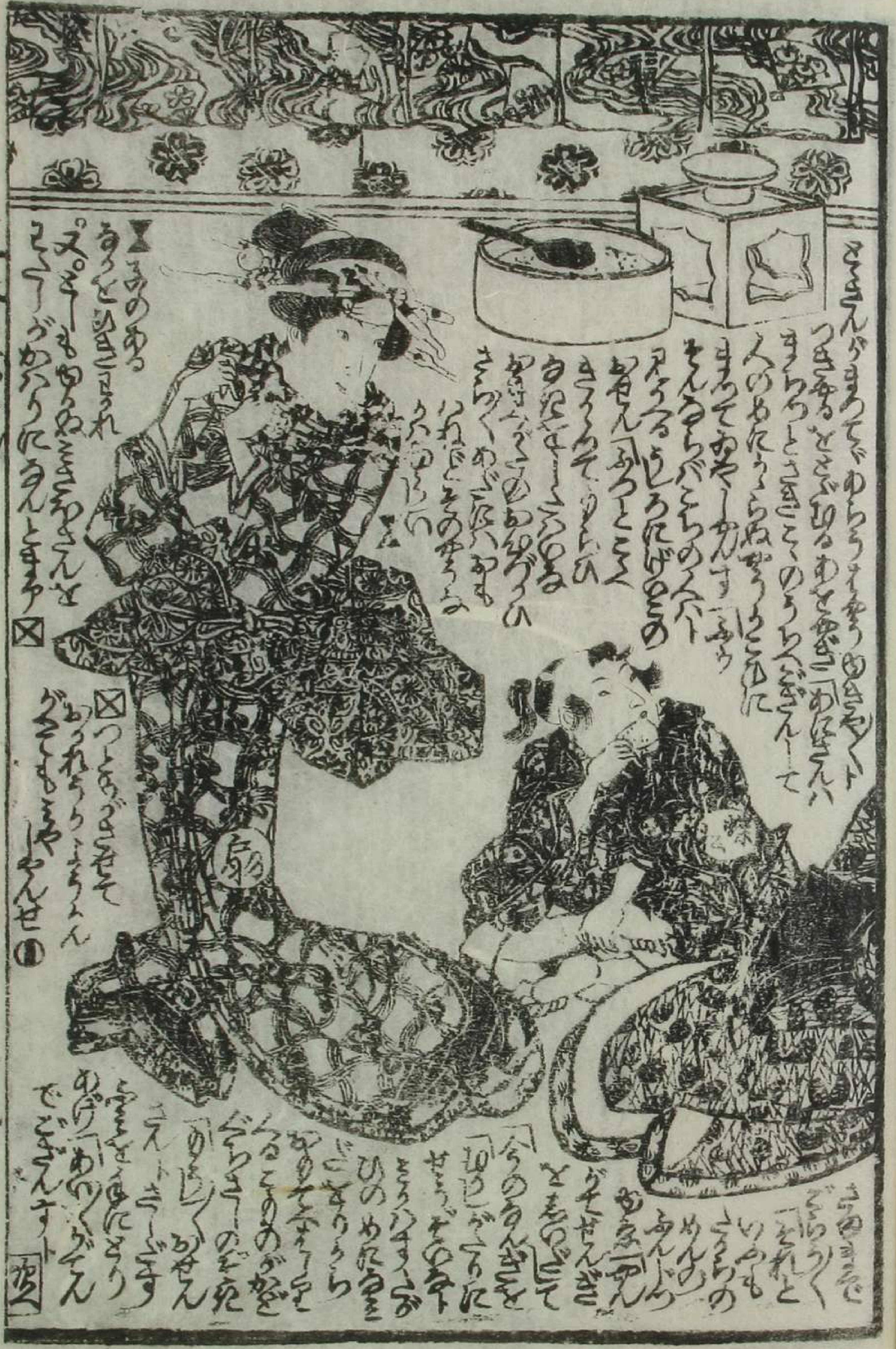
とりのくてお私
おおやつきのけ
おれがどうでを
にくでんさせ
うたくゐのたふ
うまがくさろ
つまがあんさる
よくりで
さそうろ
そうよ白く
うらに
おねとと
ゆうくで
ゐいつぞ
まいトおゆり
つけく直
うろへに一「まん
どうらてねむと
ふざそうぞるれ
ーしてくそこえん
セトのふへ
そのたにわちちろ
ゐるおとびせ
そうとそりゆれぶ人形
ゆやひにゐきくるむうさんの
あさらさまそてと「つゞく」



【つぎ】かいそわるいう
そんならめのくふ
ものでハない
ハなの「それぢや
とつてひざつる
ふめそんなら
こちらのへんが「あの。
こゝがひきめの
とつやさ
うら▲

▲おぎさんがはやむすびをこしらへてくださんすと
それておわかやいめんがわくさ。うぢが
わかさんのめのかとふりわたで「おきな
あのようとあつさゝせるのおとよくいふ
さこうがおやすいらんにゑしくてし
ちりあまでハ「そのはなひこえ
ときへうらまうねとこそのあの
いけんきたさんくうらうんにん
してと おわやゝゆきりとさぎ
ひそうのをたつくてるあみゆてう
やうつれたうえござんすおや。それてやな

⓪さうさもきてこめてんどんでてふあやくさんにめごさ
くらりそのことをわかつのか みれいらか わかさんの
これくとうれてくも
へふひのぎり「そのまア
ざつりそのさうりがおあへ
由来おまへとめを
のこときてハいして
てやおさんに
めだおつねが
こちらのへの
かわいさうね
「のく」とりが
めおそハ
てのござ
どのがぶ
さわね「おきそう
「かなの
「あん」く
どうそれ
「ちうざざ
そこうご
「あのかたうひ
ちいふおやう
さあ「とまア



さゝさんがまつてゞゆちうそれう由ござや
つきあるとさぶかるわさあぎこ「わやさんハ
まうつとさぎとくのうらくぶざんしてへ
くのめたうらねがうはなれ
まつてあそしかんすへふう
ちんうらバくちのへハ
あうるうしろだけのこの
おさん「ふつてとく
きうつそいなもい
うあせしうのある
おさけハさつの由もぶつハ
さらくめござハおも
かねどそのきうらみ
ろかなたハ ⧗

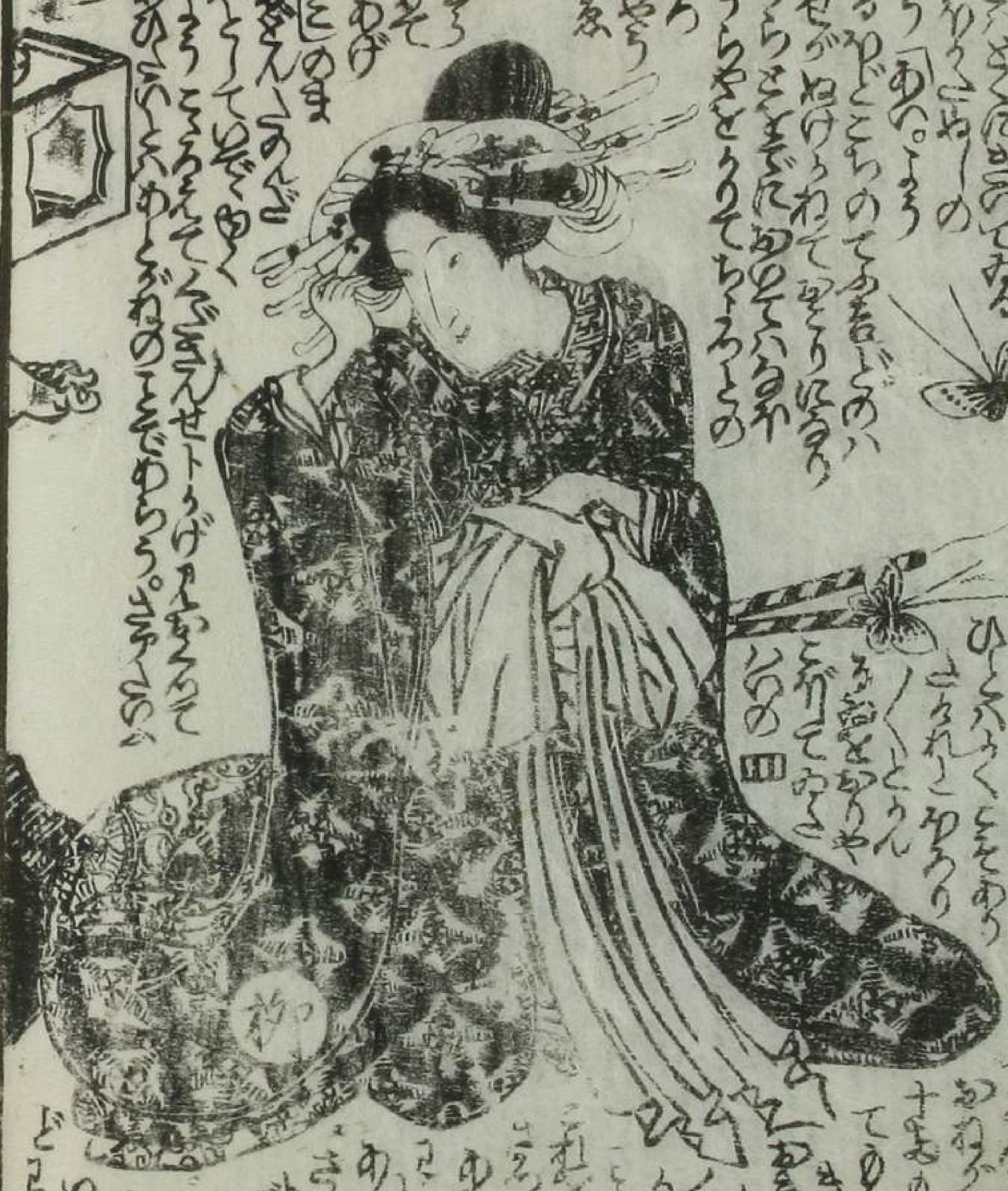
⧗あのある
あつとあきつあれ
の又ぞーもゆかわさおさんを
こつ「ぐかへりたるんとます ☒

☒つとあづゞさそて
わつれちらふよろしん
ぐるてもうや
じやんせ ⓪

こうますそ
「それと
いやも
こちらの
めげつ
ふんどう
おあ家「丸ん
がそぜんぎ
とあわせて
「今のあんぎを
「切ひ」がてりに
せうおたのお
とろかすかお
ひのめるはな
どさすりうら
おのかちうを
くるこのあがきを
ぐちう「の意死
「のよし」くろせん
ええ ト さぁぞうす
らまざきにさり
あげり「あわくがてん
でござんす ト

[illegible]

「つゞき」それぶんまんでやすまろへかゝりうくすんとみてゐる
おみやさんにもはなしにうくさんすてゑぶのでかゝる
さんがごびやうきやなかまぶとすゝろへひきとつて
おかゝかすとのよう ぶてひくとくにおのてゐる
ハのあ今さてゝあるこも おのりくこゝぬしの
こゝろうらでごぶんせう「あへぽよう
まゐつておやしやんすうちやどこちのてふ吉どのハ
ゆものつきうらひさらせがぬけらわてそりはう
ぶらくとてごさんすうらさまぐにおのそてふるわ
きがぐりやるだすちのうらやさとりてちやうとの
又たにもぬけでゆかたころ
なれうのいてゝがかんびやう
のなあんだのがこゝろのあぬ
きふにきこへくれらま
まのしとい出てきこので
ごぶんする「きうふよかろう
よの辻ふたゞきこへぬそ
おかうおどにそやうりそのわけ
ろきんせ「そんるぼバすとこのま
四のやさんで六兵おつ今きさんへその
ぼやトりひずてくどうろうとていぞゆく
「てふ吉さんにてぶてそうろうところへくらべて
「ちやうろうところの人のあのてもかくぶねのてでゆわろう。
さんてそすゐきまやのゝ
あうにおぶやトあん

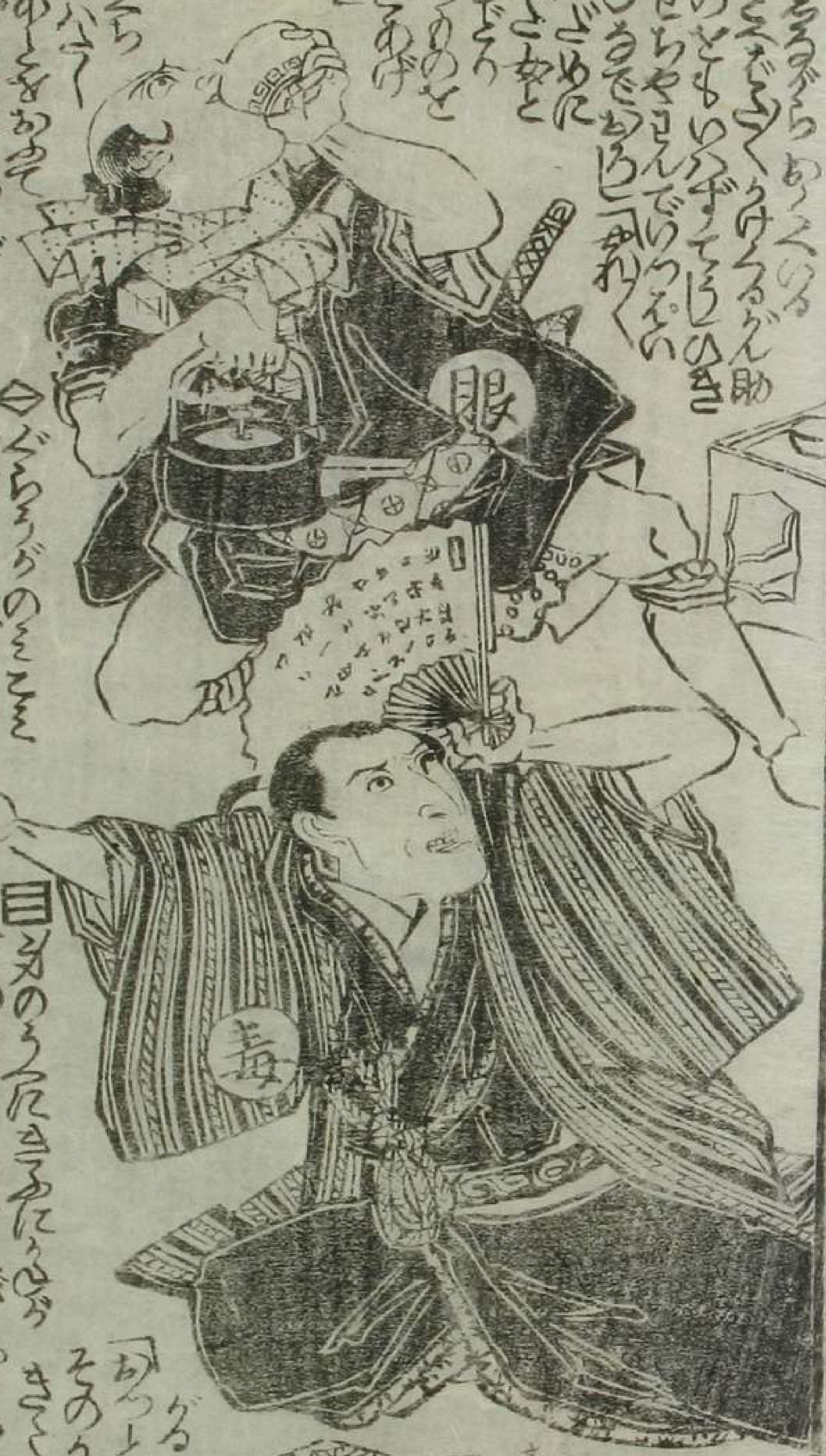


三の多んのちげできてそ
みやづるあどぶつの
ぎさんはうくべつ
ひくたくとそんあり
さゆれとぞうり
くとうん
お爺をかや
こおりてゐさ
これの 四

四 その外ではぞが
ふびんさに
十さんさるに
おねがひけし
十あからふ
てゐりそ
きさ
あきゝや
くらを
ことゝに
これそくさ
ゆれに
さてや
あんで
ずさら
トと
十あり
ゆれ
どうる

---

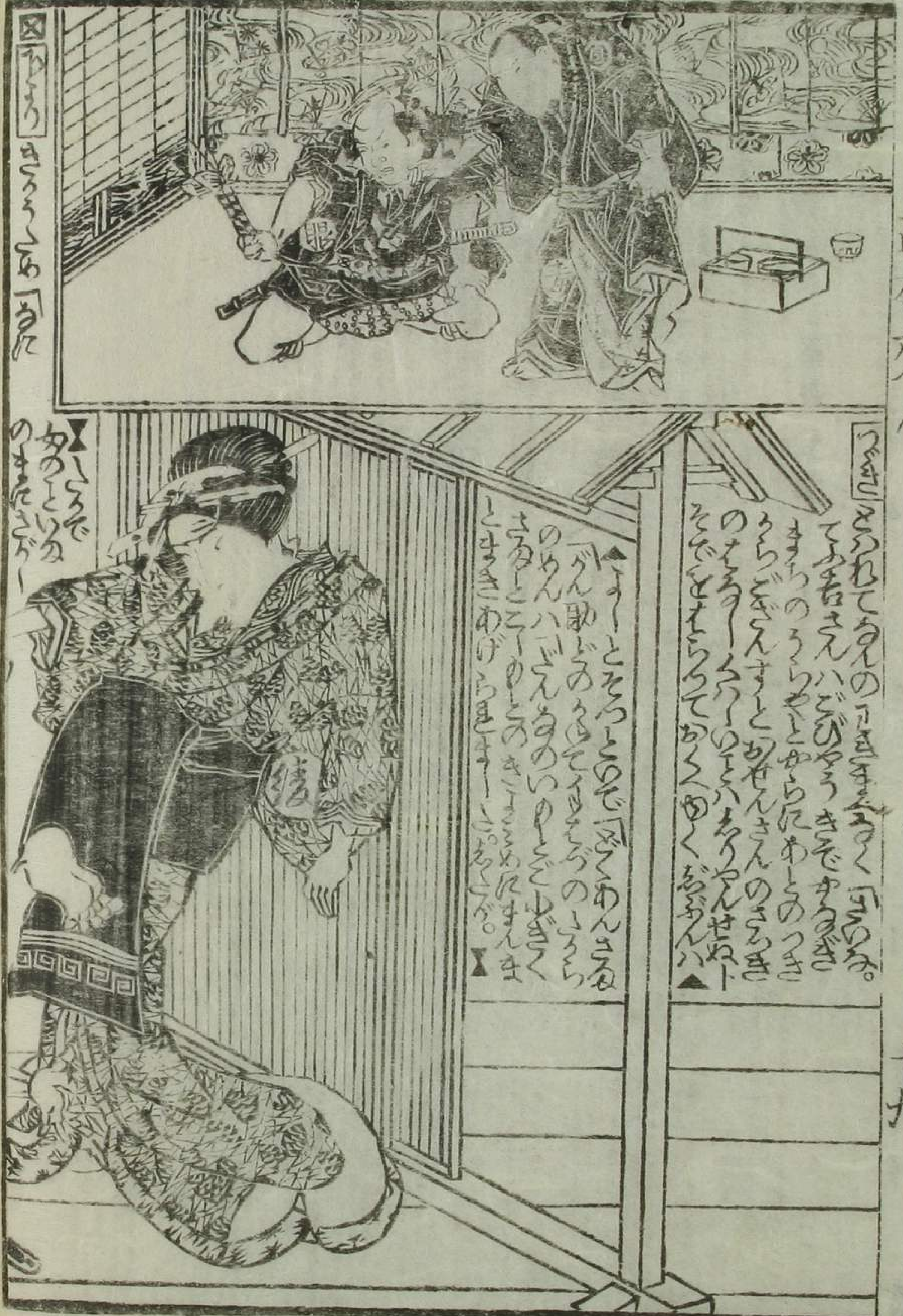
とうざらかくへのは
やとえだくうけくるぐん助
ゆめのともいうずてきじのさ
よせちやさんでゆうぞい
む○あそとうじ「あれく
そんざめに
わつざ女と
ゆうづら
きろのゝを
まきてわげ
らまし
うえ
でも
くる
日の
いりくち
すそでハて
うにかしをおかて
きてうぞをきつらうげも
うきちも兄えぬわしの
そやいかわさゝ兄これぞれぞれに
わひさいのゝごしつぶやくさう
うらうきくにへかとちらんと
とうけへうく主ある
さくかんハかなきさぶやそとうて
又ちどうわしざしきぶあのても



◇ ぐらとうがのそこて
ちらそもきづらひ
まのかみ
まゐくとて下
つまていぞ
。かそこゐさたつゐてきて
わりてのこ年ハおわやと
いりてゆにようでわらう
がの「ある」「そのわけふらうが目

目 まのうたこふにゝのが
十あだらりろけ見バ
きらねてゝぶわらう「あく
「ゆつてびでにがん志よく
くてびつくりびくり
すぐうずさろうき
おやくこおゆ年と
すらとてふみつが
ごんうぶと ㊂

ゐてゐゆを
ゆびとびさん
うえしさ
「あんにで
あんハそすれ
ませんてきん
さあ今も
そらくりと
れいふ
てくぞ
きえせト
さらあ
「ねつとまんさり
がるそぞとさらへ
そのうりちつと
きさくいてぶある
ぽとのそうりでも
るいがわのてふ
みふハおくにあれ
どてふ吉がゆく
が志れねさぞ
めしおゐいぐ
まゐておよう

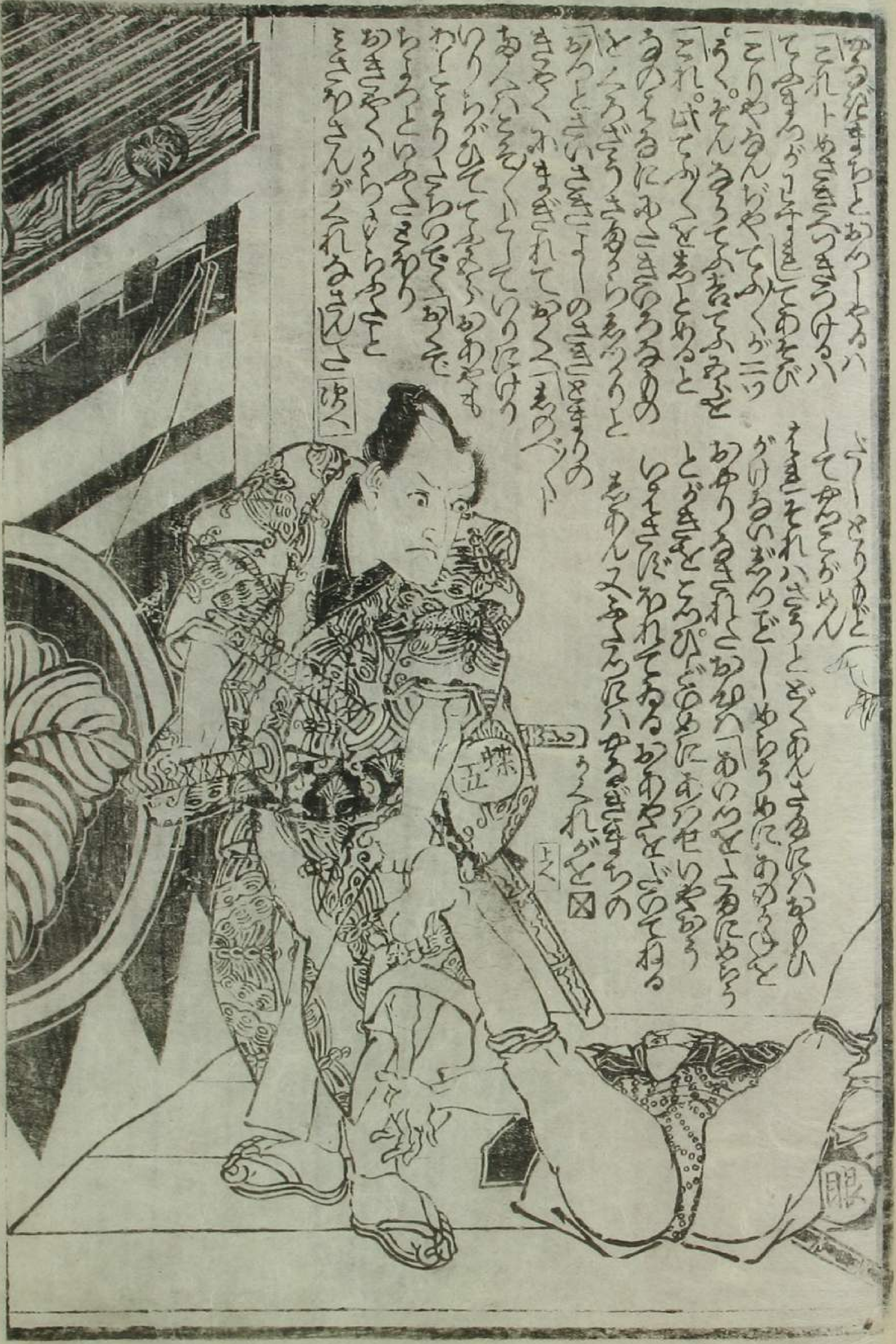


「おはやり」きうろくしあ「あれに

⌛へところで　女のといふ　のまたさぐし

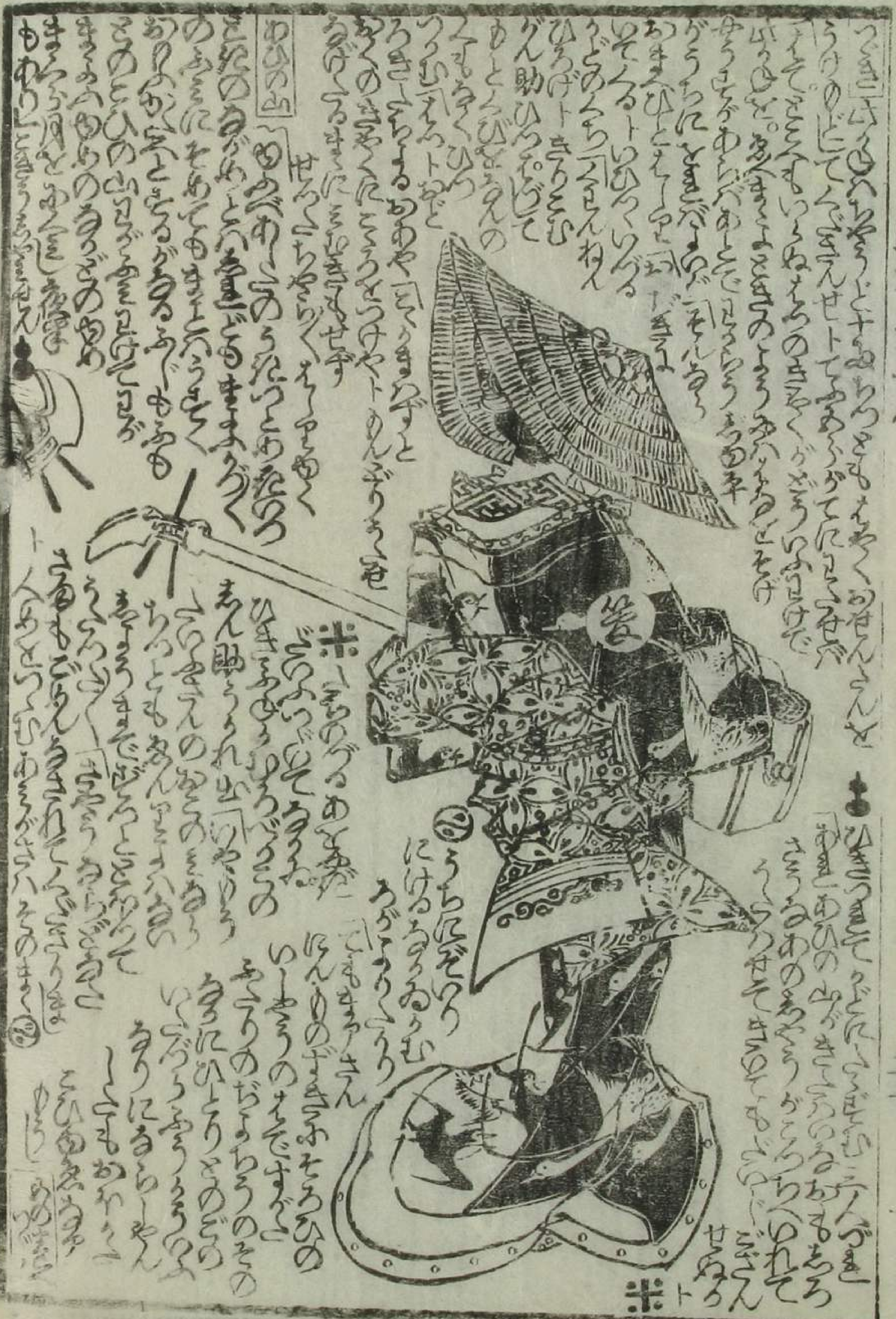
「つぎ」とられてゐるのでさきまゐつく「さうかへ。
てふ吉さんハごびやうきそでおつぎき
ますゐのうらやとからにわしのつき
うらござんすと　おせんさんのさゝき
のちろ〳〵ついのこハあゝやんせねト
そでをとそらつてかくゆく　あぶんハ ▲

▲すーとそつとので「ぐくめんさるな
「ぐん助どのゝうそそうのふうら
のめんハごえんさのいわしとごゆきく
さるよこてのとのきこゝろめにすんま
とまきわけられましーさうゐくぞ。⌛



ゆうのだなすゐちとおかーやなハ
「これトゆきこさへつきうつけるハ
てうすゝうのかゝら手を甚しておそび
「こりやうんぢやてふくぐ二ッ
ぶく。ぞんたうてふきてふみを
「これ。ばてふくとあとあると
うのそろにゐこきのろゝなのの
とふろぞうさ者から怎〳〵りと
「おゝとさいさき二よーのさ言」とまつの
きやくふまぎれておく「一あのべ ド
あんハなをくしてゐりにけり
りうらかみてきふるあわやも
わーとうりさらのでく「おくそ
ちようとりやきさわり
おきやくうらきらかると
ときこわさんがくれるさん」さ「ゆく」

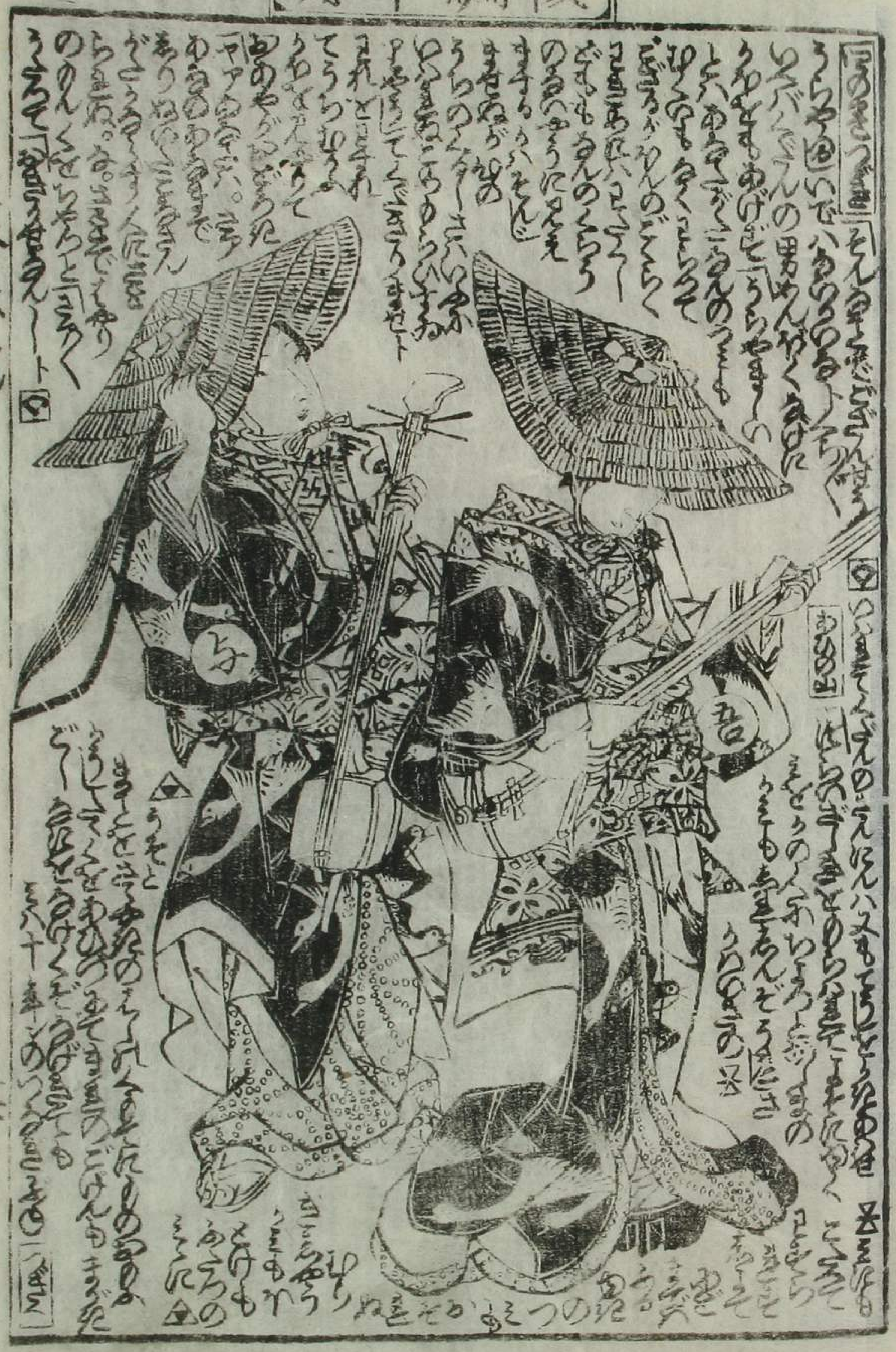
ぶゝーさうのめと
しておそがめん
主主「それハさうとぞくめんさゐにおちの
がけるいきうつどーめらうめにあゝうつき
あわりろきれとおぢハ「おのゝをこ病にぬら
とがきをとらぴぶめにまやせいやあう
いそきえおわれてゐる　おさやそをごのてねる
ゑあん又ふさくハかるぎ主ちの
うくれがと「上くく」⊠



つぎ三
わかひの山
菅
米

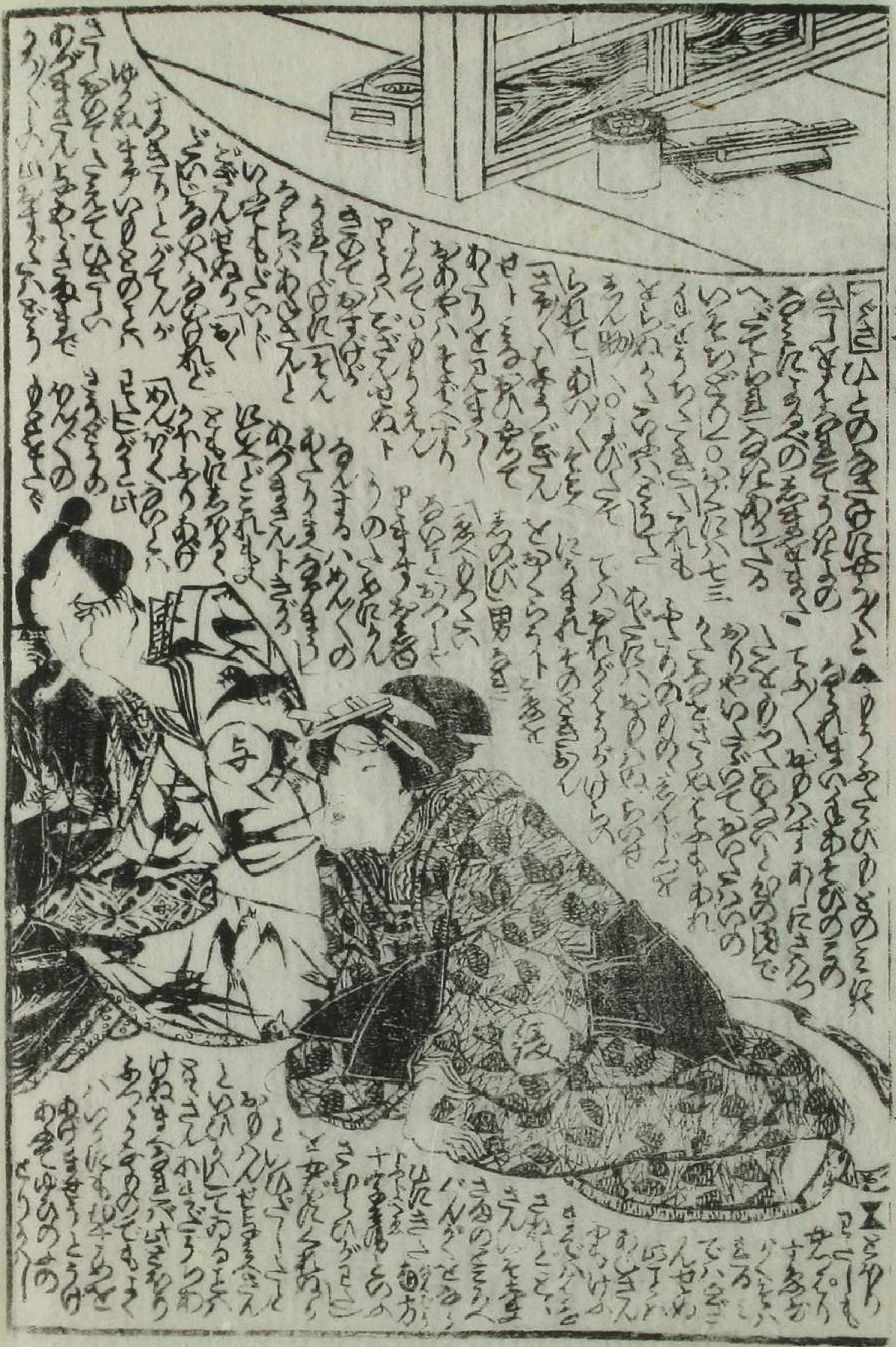
「つぎ三」ムヽ〳〵へちやうど十ンめ〳〵わつさもんちやくおせんさんと うけのどにてくださんせトて [illegible] イヤそこそ [illegible] 山の山じやぞ。[illegible] がうちにとまるべ [illegible]「それなら おまへ [illegible] いそくるト [illegible] ひろげトきうりとむ げん助ひとつひろげて めとくひて [illegible] つゝむ「それトおどろきてゐる [illegible]

「わかひの山」[illegible]

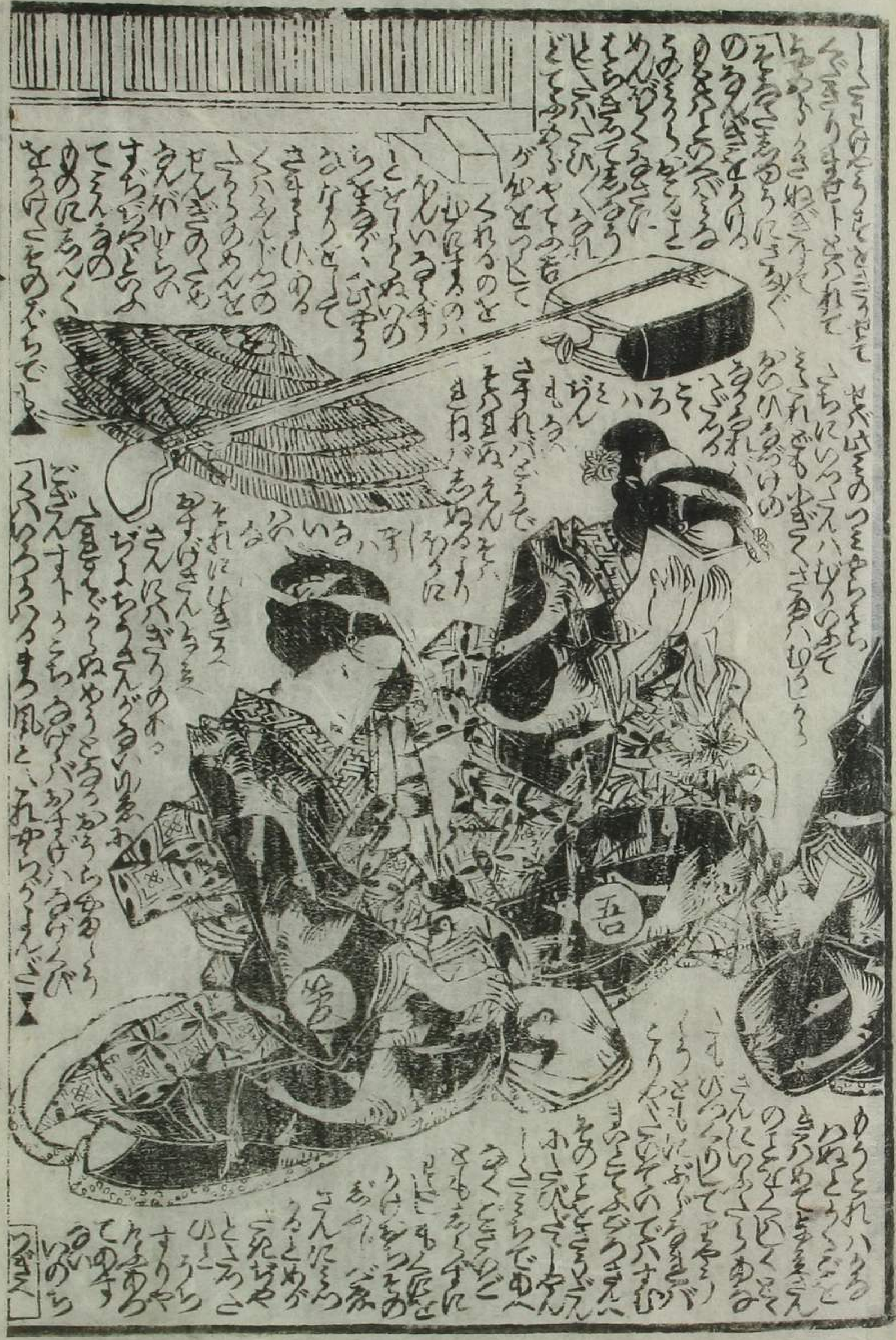


信のきつ
わかひの山
与
吾

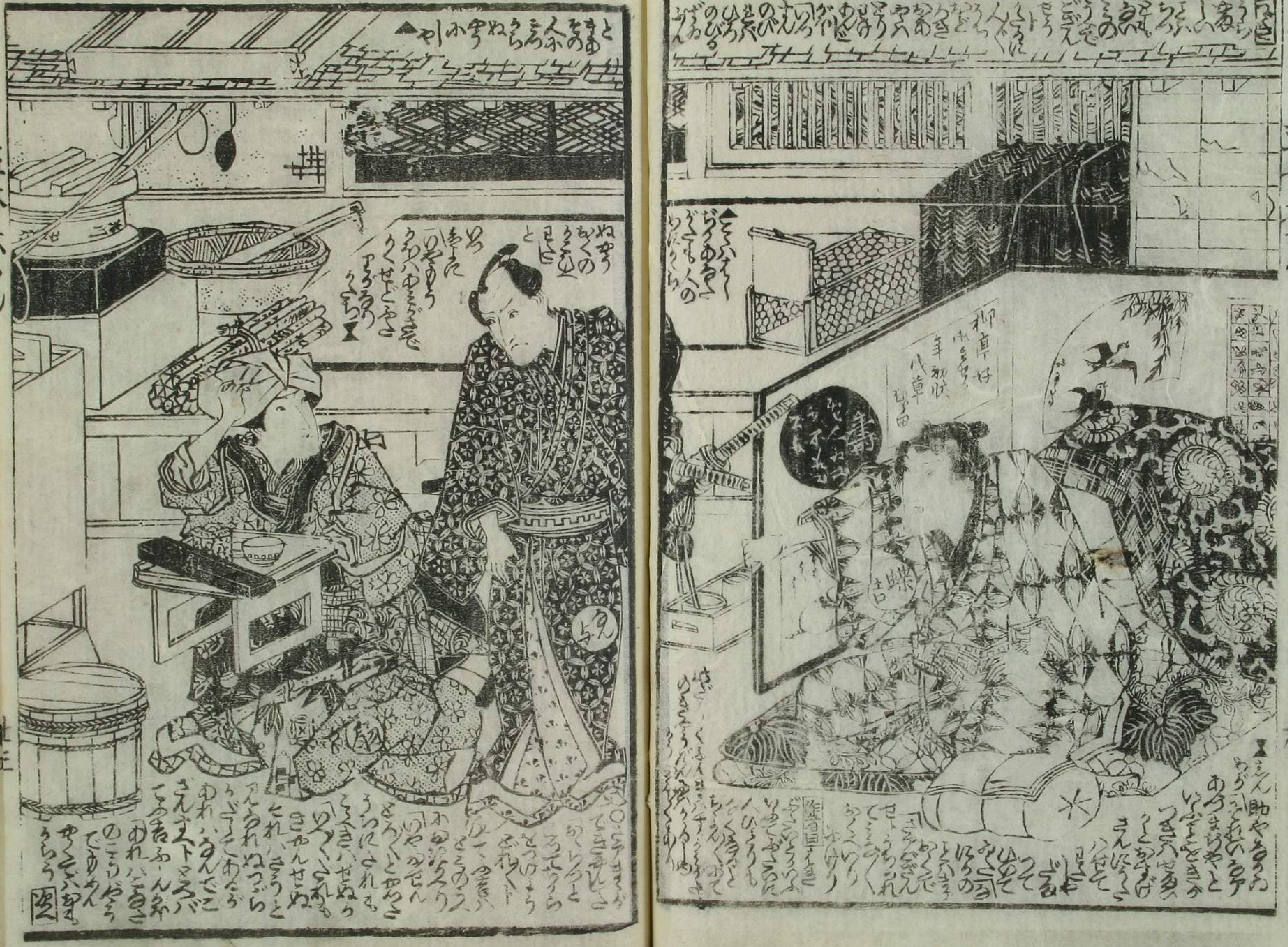
「信のきつ」そんな [illegible] うらや [illegible] いで八 [illegible] の男 [illegible] [illegible] 「ヤアヤア」[illegible] ト



[illegible]



[illegible]



柳亭好
年初状
八草
柴吉

[illegible]

〽さん助やうすをうかゞひ [illegible] あゆみよりやと いふ声をきゝ [illegible] さんにくるゝ [illegible] つそ [illegible]

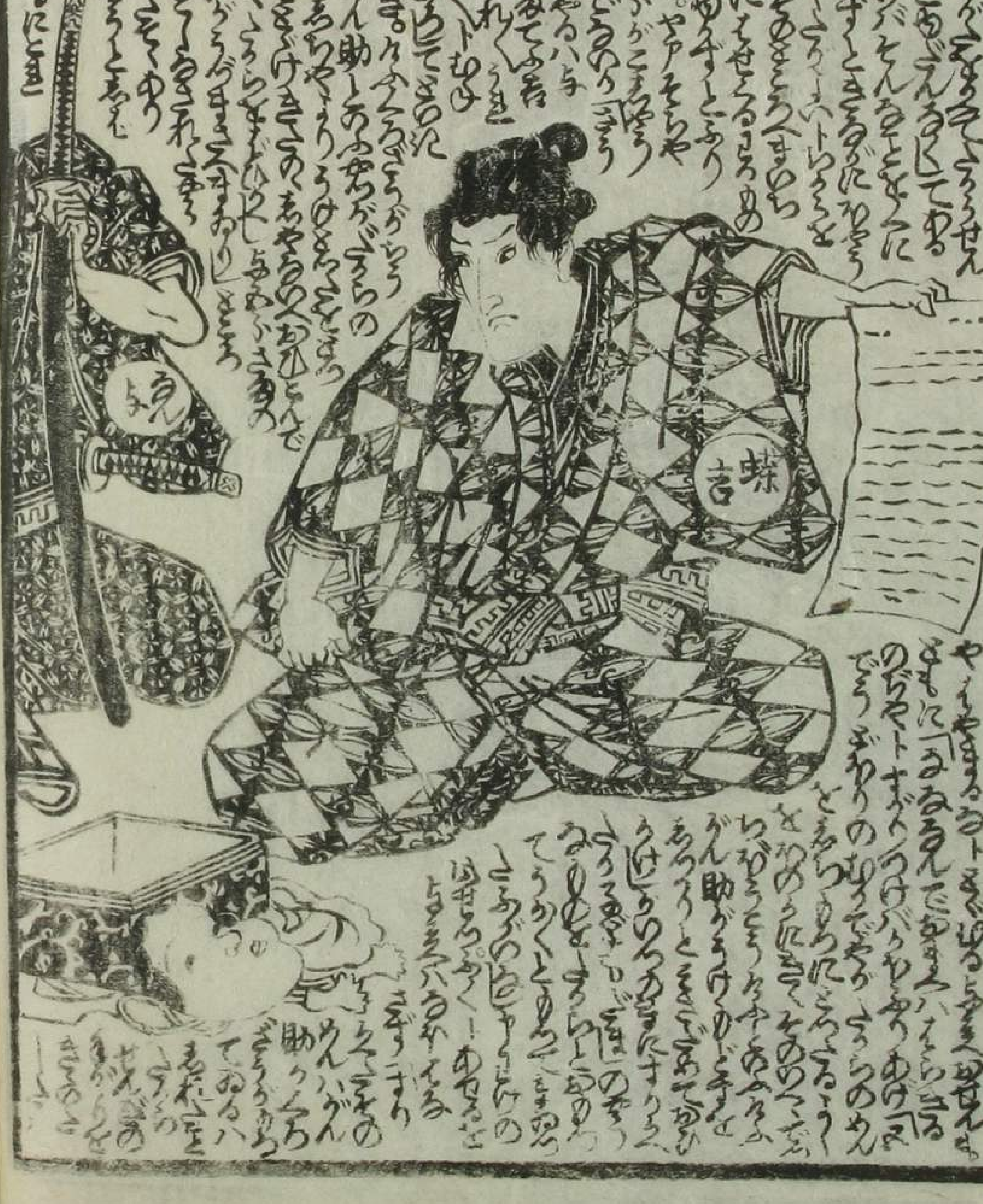
[illegible] 作者曰 [illegible]

〽ねずみ [illegible]

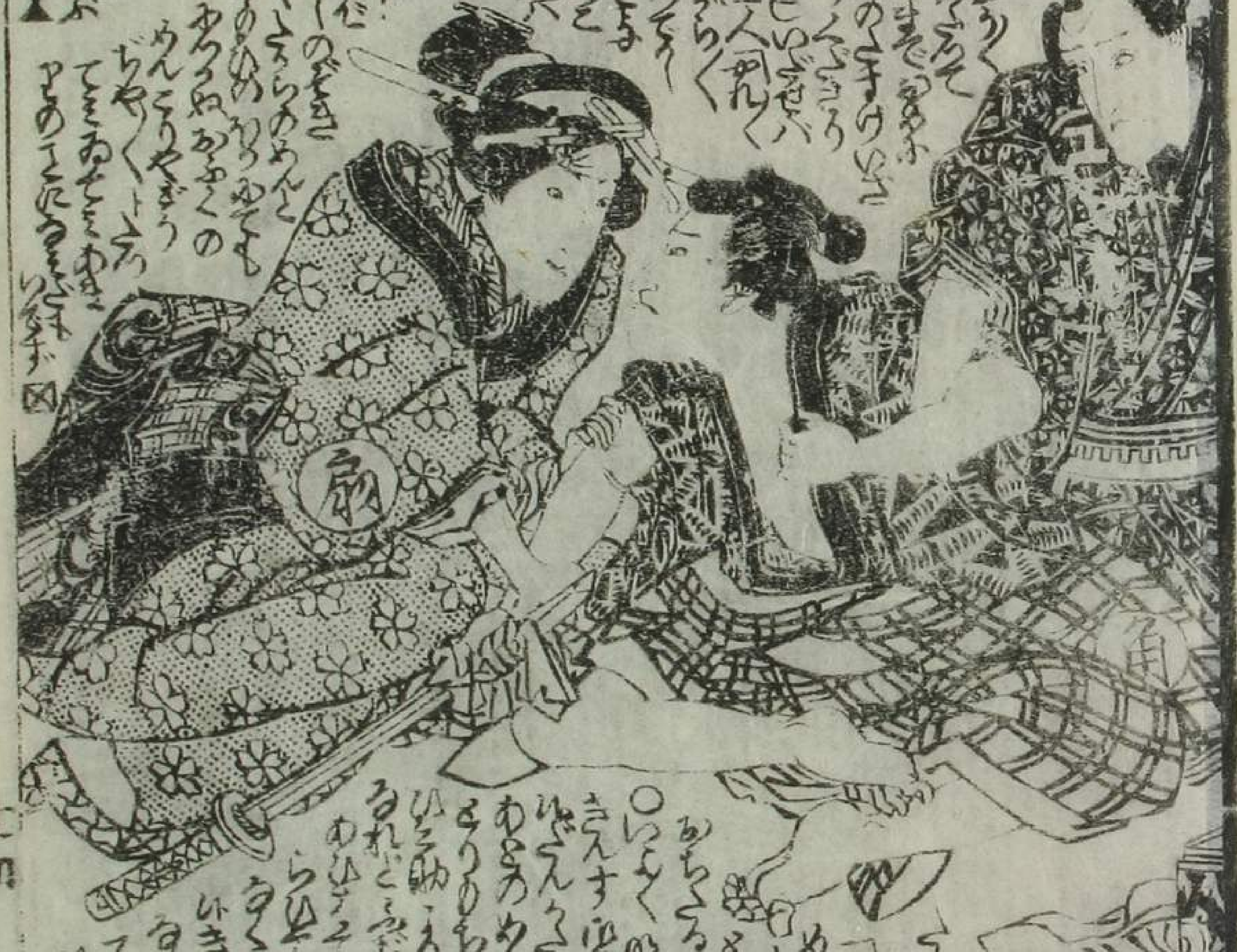
〽とふさへ [illegible] ゆめさ [illegible] のふの [illegible]

[illegible] 〽われハ [illegible] さんさまトさんバ [illegible] 図

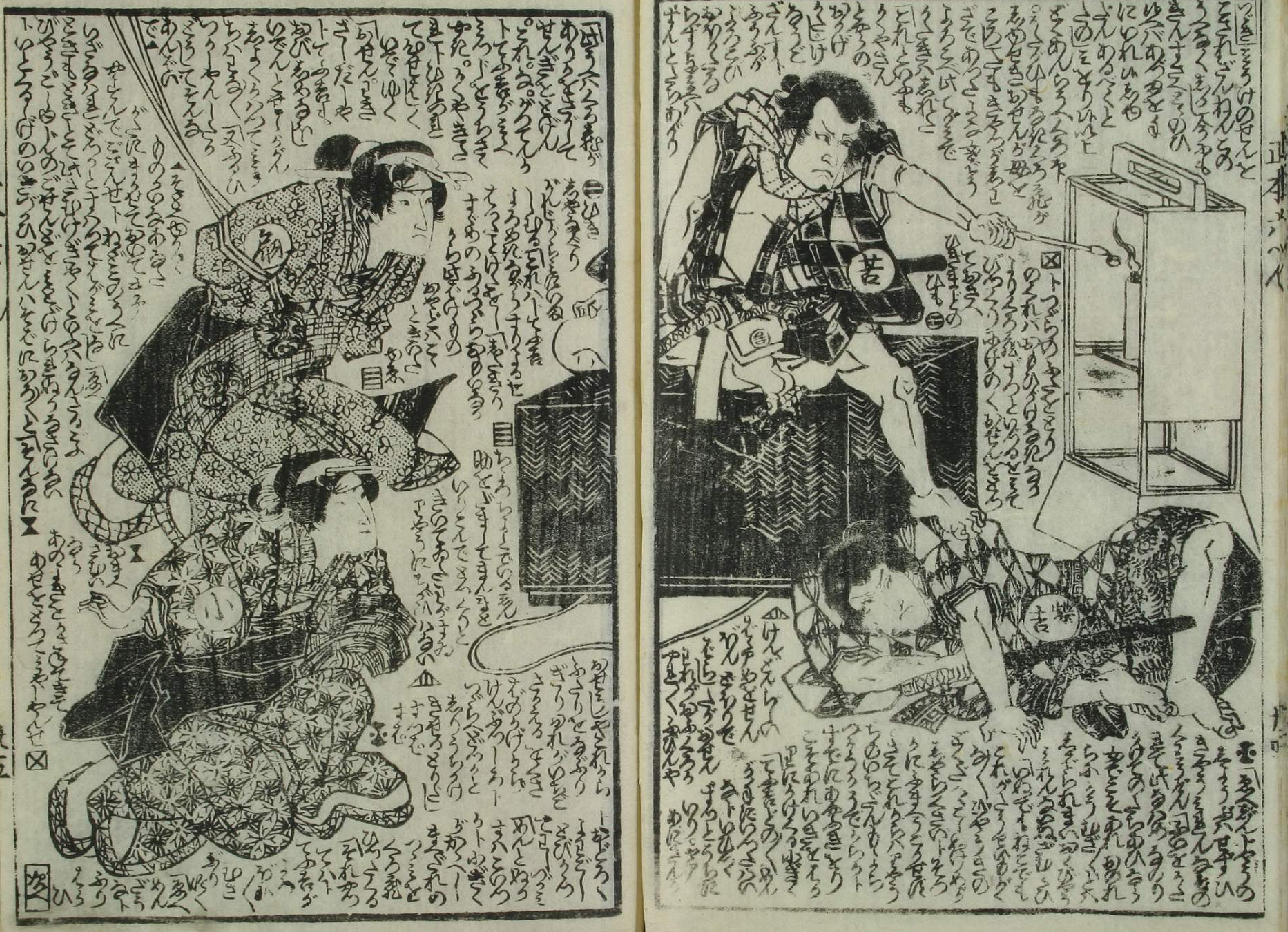
きうのそれハきうのさく [illegible]
おやと [illegible] がめでたえ
すでゆうと [illegible] が
[illegible] 助さんに
[illegible] ござんせ
[illegible]



[illegible]



[illegible]



〔つゞき〕ごうけのせんと こそさんねんの [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] ずんめるべくと [illegible] ぞくめんらう [illegible] [illegible] [illegible] ござそめぐ [illegible] よう [illegible] [illegible] とれと [illegible] くやさえ とありの おらげ [illegible] ざんす [illegible] らずんと [illegible]

図 トつゞらの [illegible] のそればへ [illegible] [illegible] [illegible] ひろくさ [illegible] 二

㐂 けんざえらの [illegible] わやさせん [illegible] [illegible] [illegible] [illegible]

[illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible]

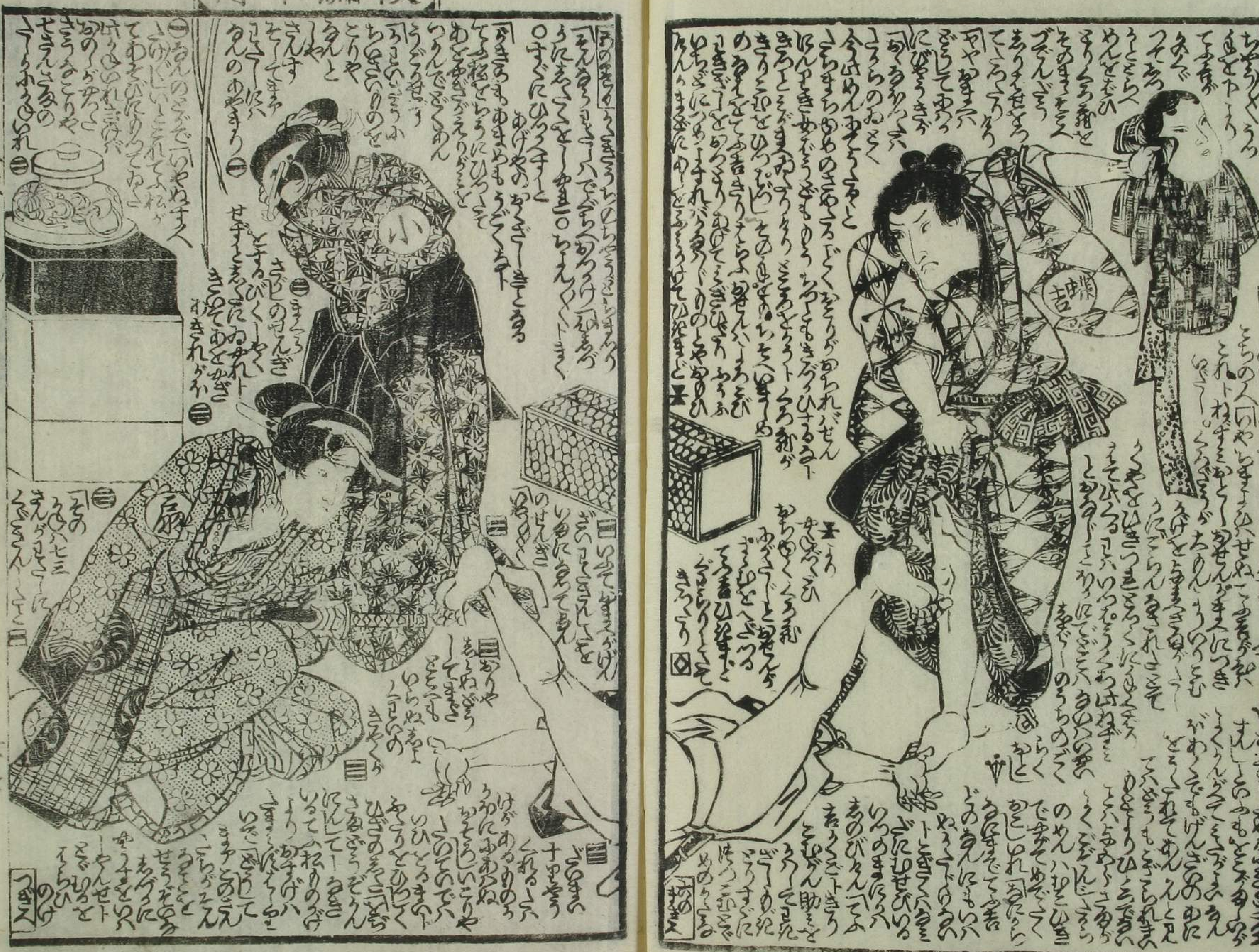
[illegible] これは [illegible] [illegible] トてふ [illegible] [illegible] トて [illegible] ざ〳〵だ〳〵や [illegible] [illegible] [illegible]

▲そさ [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] ト [illegible] [illegible] [illegible] いふ [illegible] トいふ [illegible]

二 ひさき [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] おやぢ [illegible] ときうて [illegible]

目 ちやわらう [illegible] 助とぶ [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible]

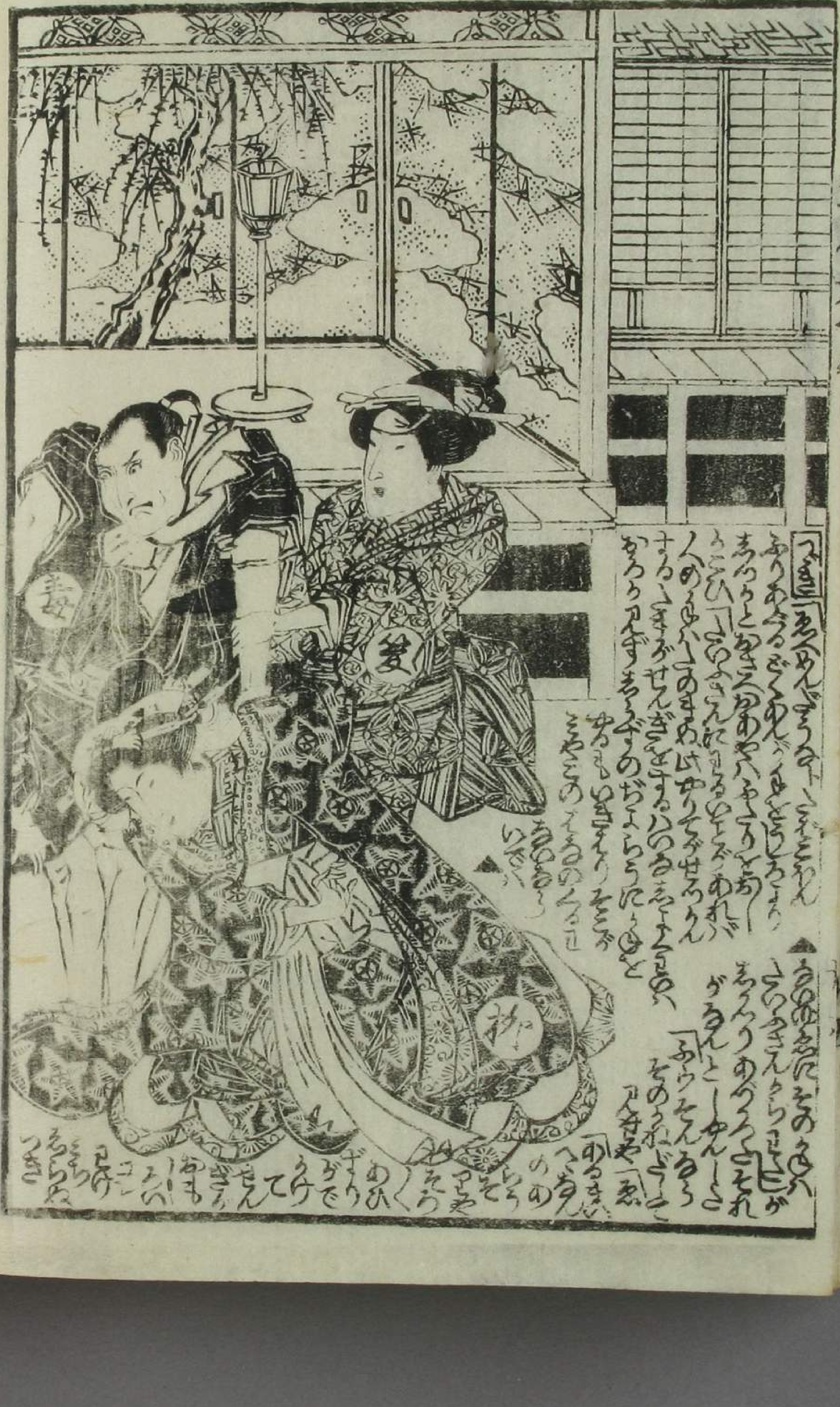
皿 [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible]



[illegible]

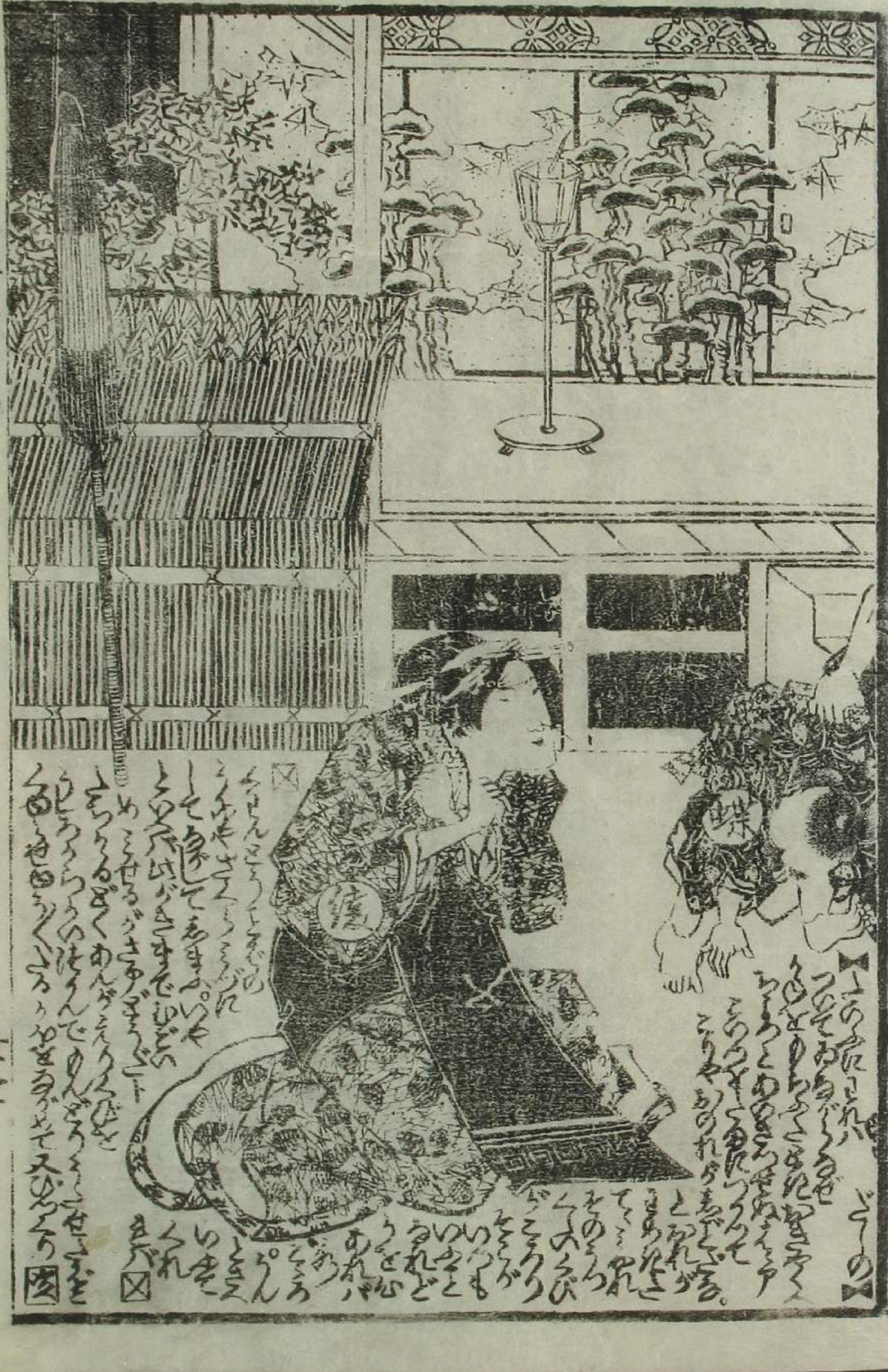
㊂まくら さびのせんぎとするびく一やく せずとえくたぬれ きのそあとかざ むきれが

[illegible]



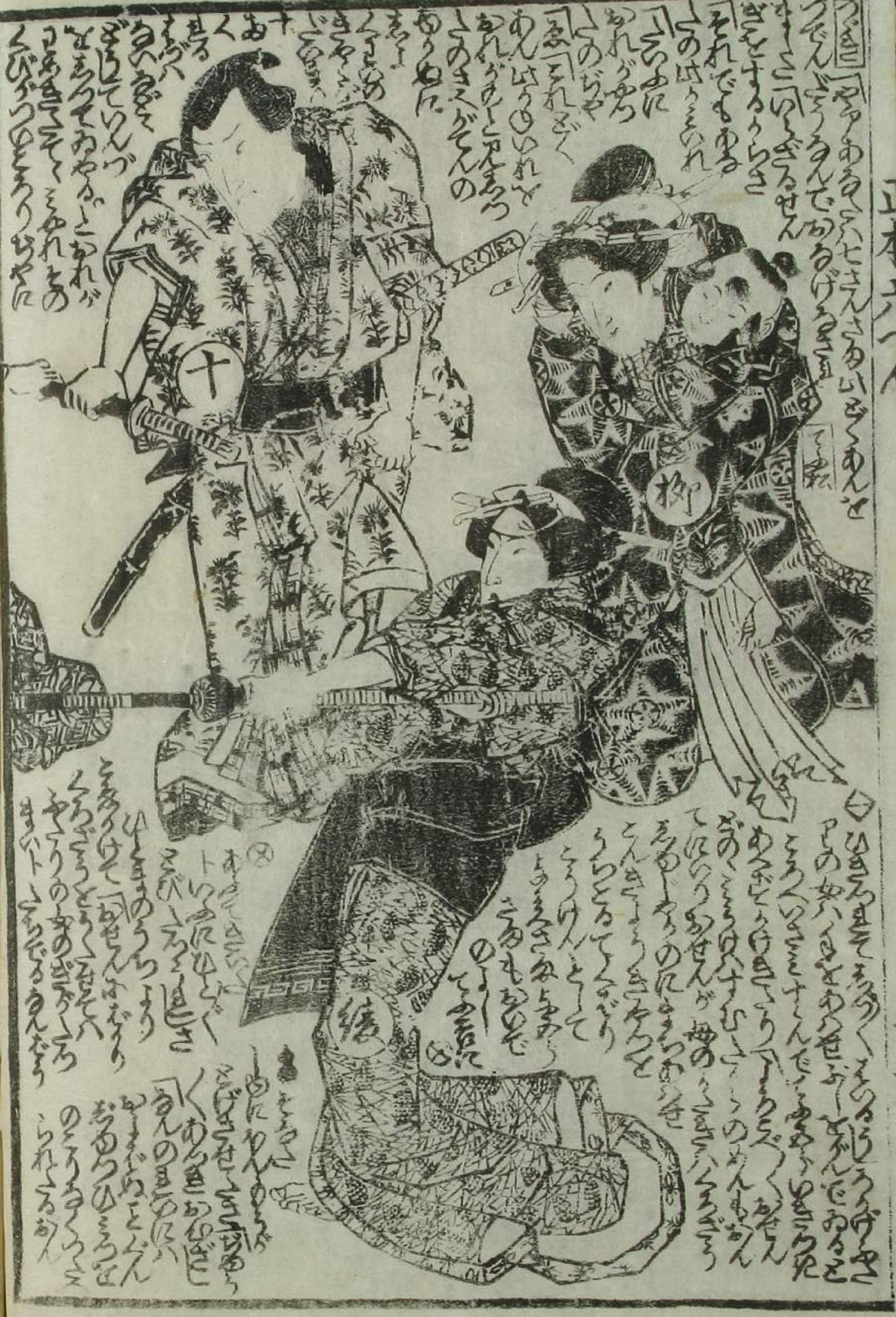
「つゞき」ゑゝめんどうなト いゝそこねん
ふりあげるぎくめんハ まどひしろつよく
あわつとおさへ あやハやうりとおし
みごひ「このさんにおらばよぞ われが
くめるゆへこのまわせかりそめずせらりん
まつさまずせんぎをするハのあるまようぢ
かゝり刀ずすあずのだくよらうたゝぬど
ゆるもいまそりそそぞ
きやぞの ぞろのゝくるき
あるるう
いざく

▲このおちにそのこふハ このさんからこまひが あくんりあゝろうさそれ がるんとしゆんしさ 「ふうそんうろ そのうねどうこ 刀あずや「ゑ 「あるまい へくあんの のとうそ あやそ そおく あひく ずうりでも ゑうて せんぎ おもはゝ みハ コレ 見よ そうとらぬ つき



どうの▼「この衣これハ つひそおちがくるぞ るひとのれいくさのおひをさゝく おうつくのさゝれ ゝすもんちやア ようそれ こりやあのれがあずくず言。 とあれが まあれさ てくれ それ そのうら くのえび がころり そうが いかにも あれど うさ心 あれハ おうそろ ぷん ときえ いきく くれ まやへ図

図くをんとうてをの ことゆきさんうつくづれ しそ縁してあまりぷいや とろ穴のあるすでむどの めさせるがさまうゝぷぢト そうするとくめんがえんろくびと むひとらのはらんでめんずうくゝせうまを くるせのふくさうかをあがめて又ひそくり図

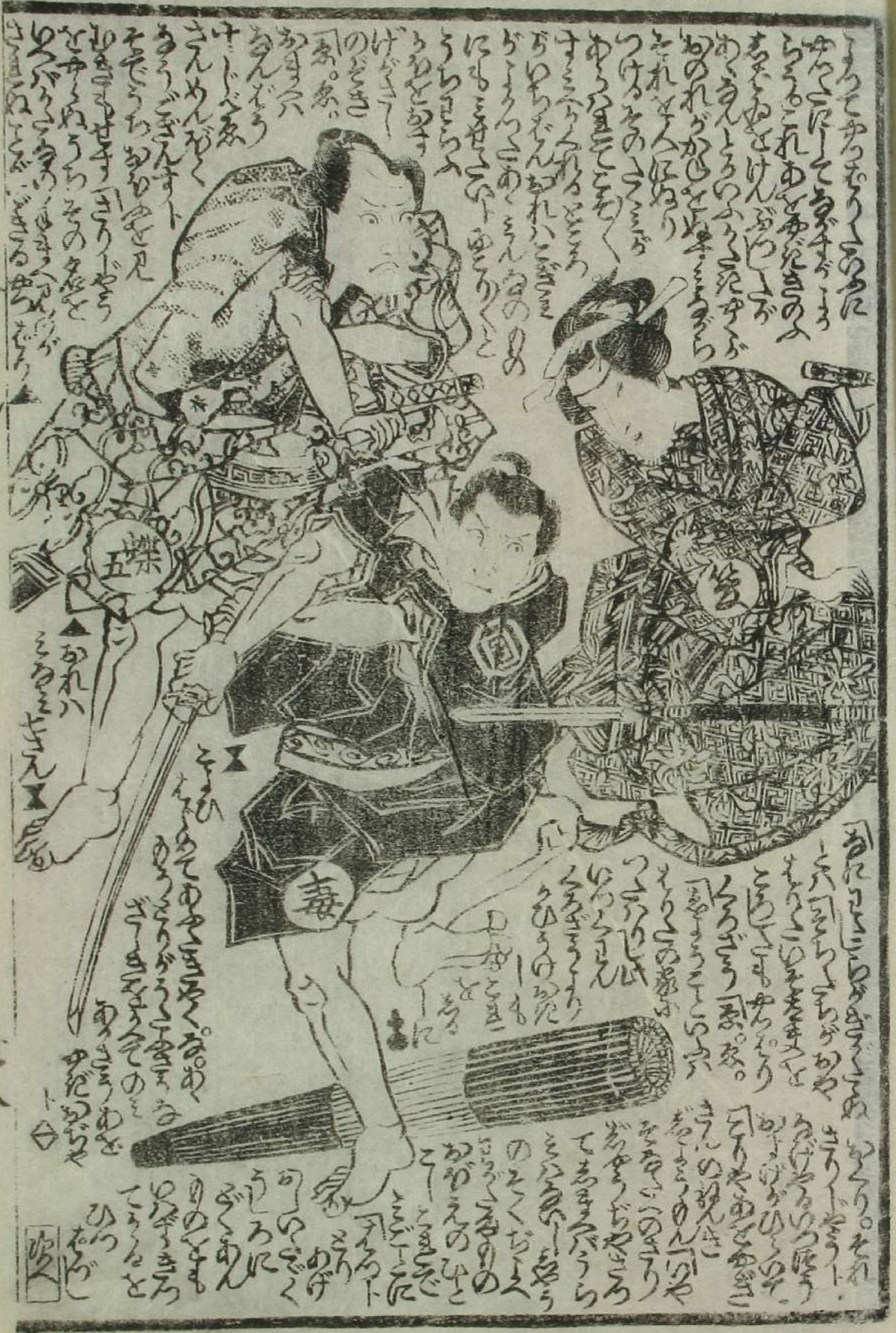


つゞき「ヤアあるじ六七さんさるか山ぶくあんど
づぞんぶりうんでおるげうみせ
すましこ「いゝざるせん
ぎをとするからさ
それでもある
この財ゆゑの
「こゝのかに
かれがかの
「このおちや
「象「これさく
あんばゐの○のいれゝど
おれがおとしたまつ
このきんがそんの
ありやに
まづよ
くすまあ
きゑあるが
ござまへ
十あく
まる
まあく
ゑしきぞく
ざりていんづ
なきろておやぐこあれが
コあまろてゑあれをの
くびかつのとりかやれ

⊖ひきゐまでもつくるのたりしらうげやさ
その女ハ目をわめ世かーともいんでおるを
こゝくいさこすんでかあかゐきうれ
めくぶとかけきてり「あくたつくおせん
がのくこうけハすむさこうのめんもおん
てほのりおせんが母のゝさきハくるざう
えあしやのにそまつおらせ
こんきでようまこそつと
らうとろてくれかり
こうけんとして
よのまえこ家と家みう
こゝもおぞそ
のよし
てか云に

⊗おうて云ひく
トいつかにひとつく
さび「云こ㐂さ
ひきまのうちより
とありけて「おせんはむすり
くろごうとうく行そへ
やうりの女のぜかとうろ
ますハト云かでるうんだう

まをらさ
一やにかれのさう
さげさせてまおちやう
くわんの云ふかぜに
「うんのまへのにハ
かまおめとぐん
おかつひとうせ
のとうあくろつえ
られてるおん



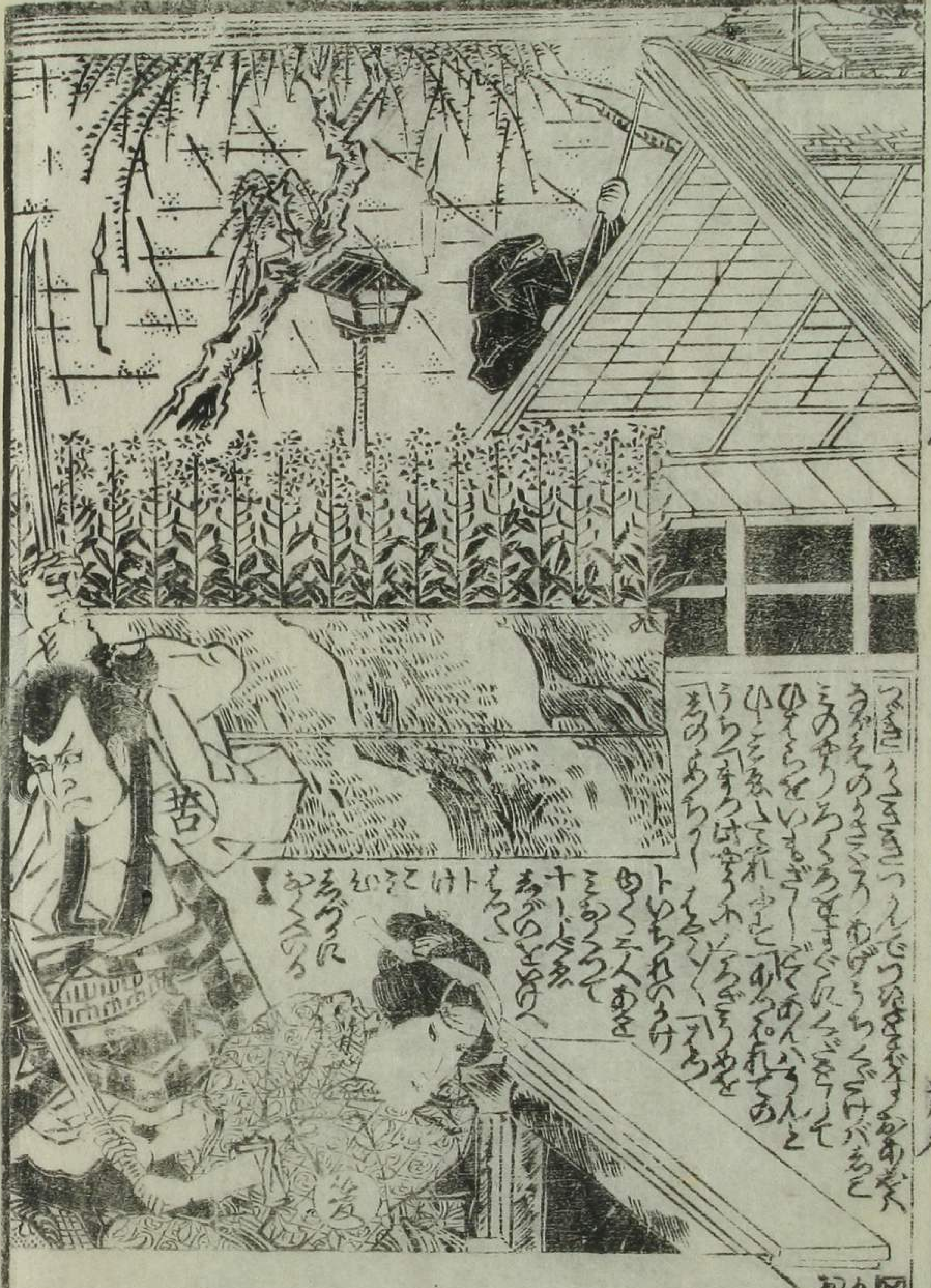
よろてかつぞりくこのかに
ゆへこにして売ずおこう
らうろこれあと手ぬきのふ
まえぬとけんぶやしこぞ
めくらんよろふかくこ死すぶ
わのれがかほとよ来まろずら
それぞんに坂ねり
つけるそのうてきか
やうなまてこぞく
すまふかくれるところ
ぢいやぞんおれハござまで
がこつくこあくきんねのめ
にもこまてひト云とりくと
うちまらへ
うれとおす
げだきて
のぞき
「象。象
おます穴
あんぞう
けじべ象
さんめんがく
あうござんすト
そそうちおかさ見
わたらせす「きりじやう
をかくれうち。その名を
ゆつばうこ云のくゆきくへるがが
さまねてこ云ござるめつぞう

▲おれハ
ころうとさえ

そひ
えんろてかやてまろぞくなあく
かうきりがうてきまる
ざうきまきてのを
あきさうわざ
かだつおちや
ト⊖

おれかとこらかぎぎてや おくり。それ
ーテ「見ちくてちやかれ さいじやうト。
もうくこゐまま来てと うげうるいの限う
こるしてよ出かろり ねうけがひとつぞ
くろざう「象。象。 「こりやあとおぎこ
「象まうてこの穴 きんの頭きさ
そりくこの象ぶ かしまこのん「ひや
つらりて以 そをていのきり
いわうそん かぜまうちやさろ
くろざうろり てまうまろバうら
くひうのかた そんまがーおう
ーも のそくちよえ
上がとさ おおそくるものの
とある おがえのひとに
ーに こーとまとぞ
ことごーこに
「ヲろうト
えおわげ
おかつのぞく
うしろに
ぶくわん
りのとも
いそぎきろ
てまくるを
ひつ
だいし

次へ

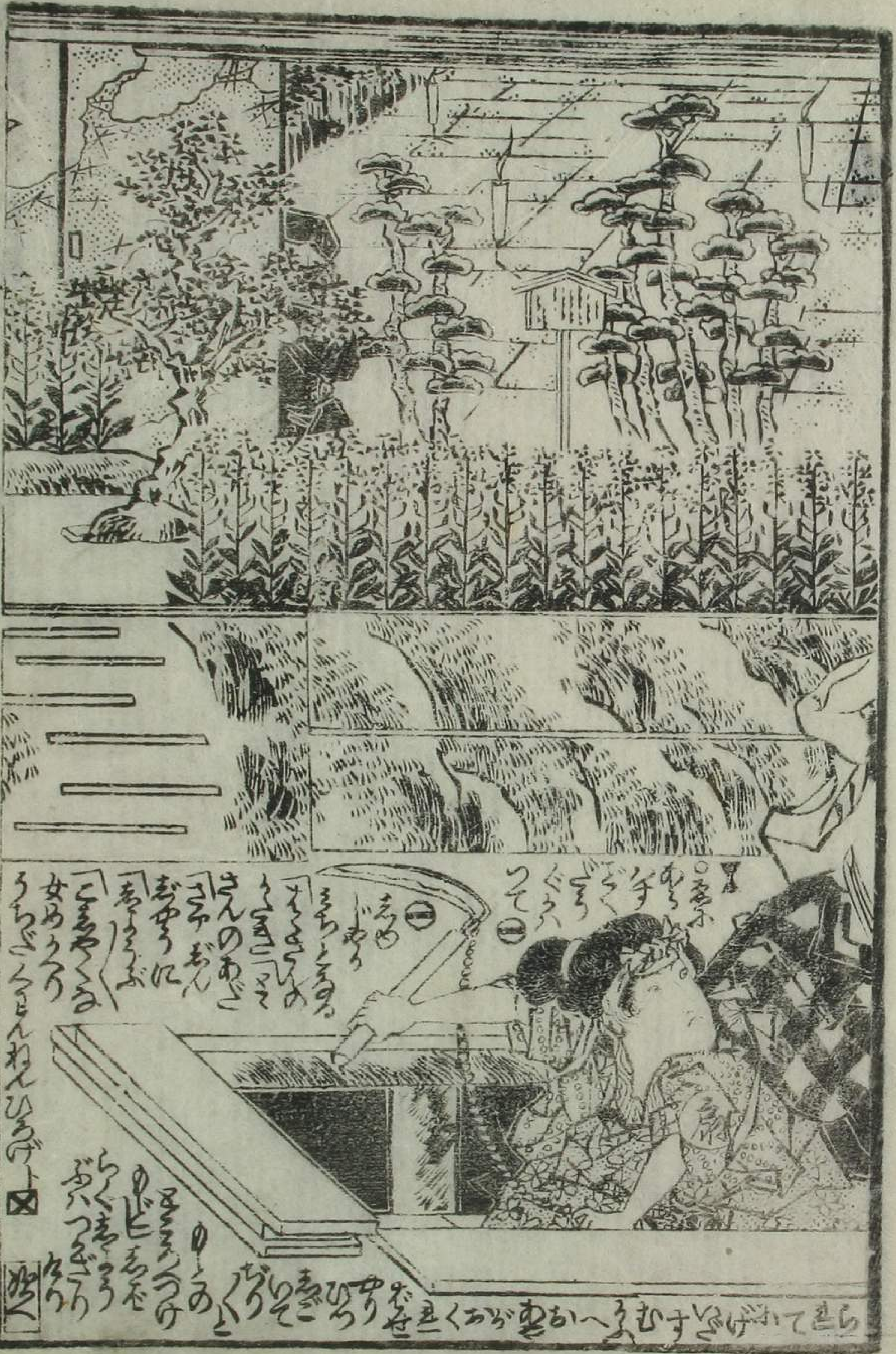


ゑずがま忠でろくぬと為くゑ方は家をこまでくの冬の比き名ち男

「つゞき」くるまこつんでつゞきまずすゝみ出ゑ
うゑのかきこゑろわがうちくぐらけバあと
そのまゝうゑろすゞぐれんぐさうて
ひそかをいまぎーゞてあんへうゑんと
ゆるゑしさもれゆきどーてかちそれであ
うら「まづはまわゞえずうぬをそく〜」
「ゑのあちら」「そく〜」「ゑゑ
トいちれのうけゆく三人あるところにて十ー兵衛なのどありへもぐ

「こけトこれむなつれあくるの」

うちくるるをおけんが 図 春のきのまをはまさらとけ兵衛がれるいかまめくもくろざうハきまそ

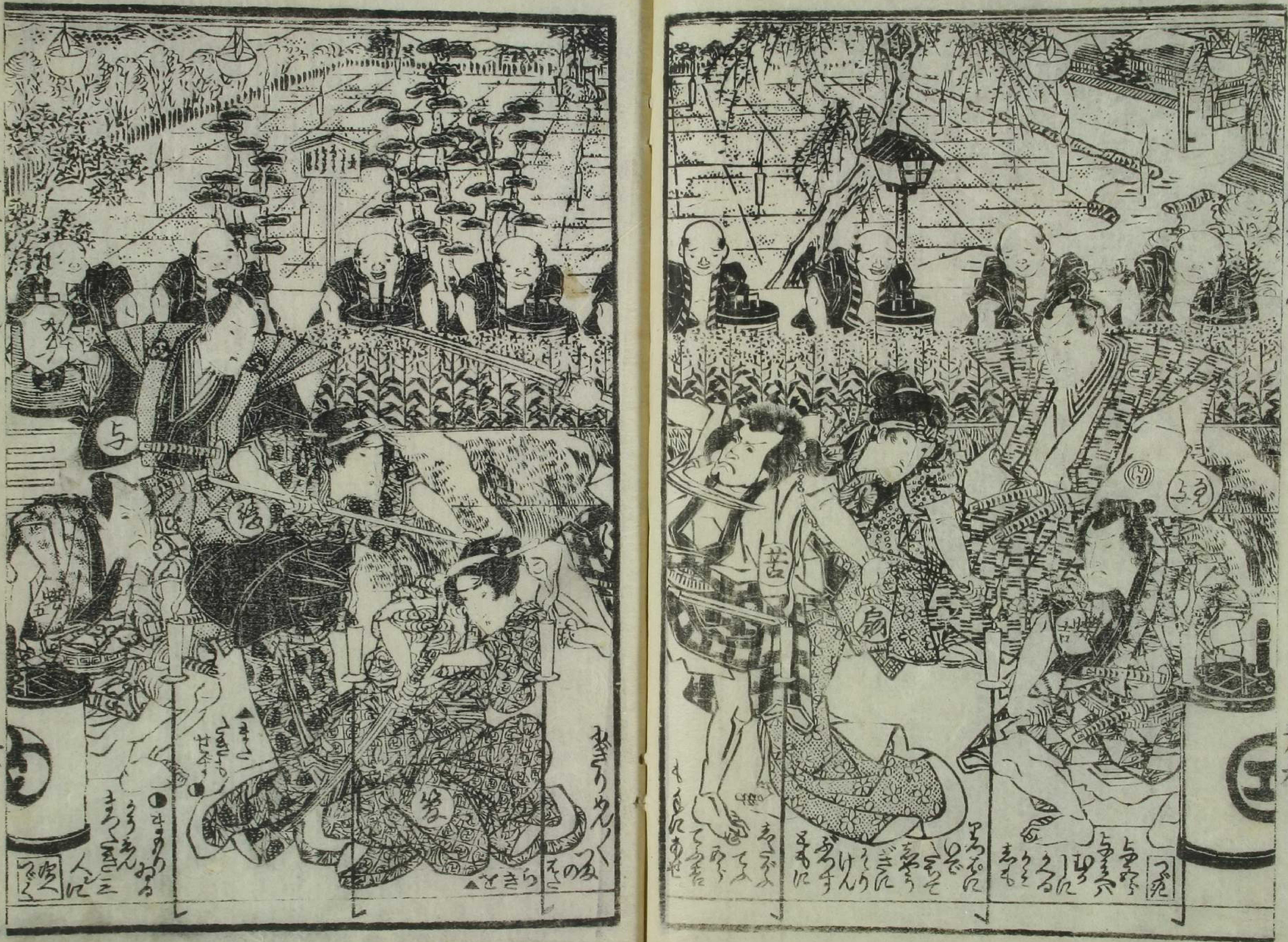


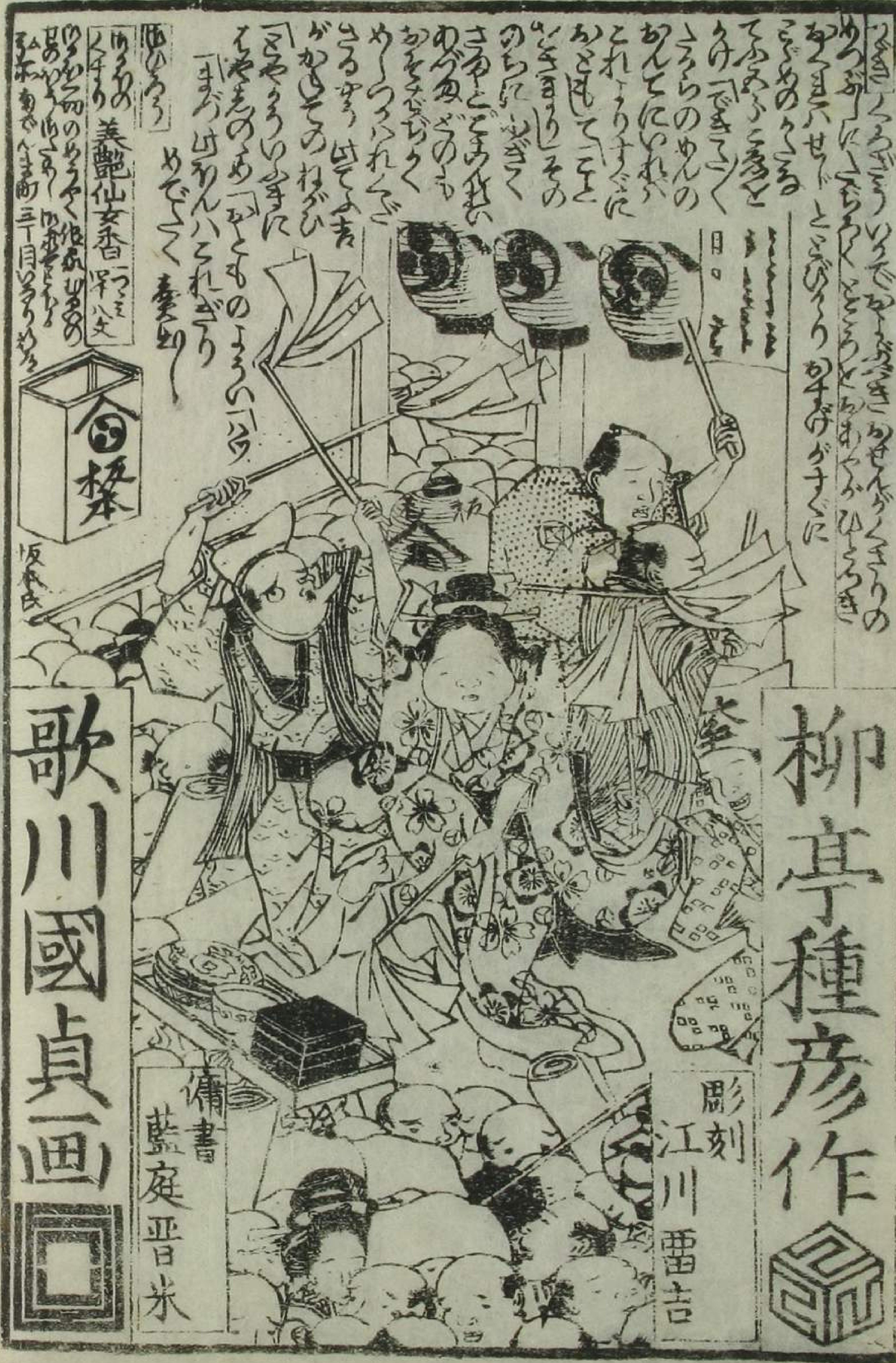
〇ゑふむらむ手つゞがうくぐらつて㊀

ゑめのぢゃっ㊀

まちゃとまちゃそうさしのうき二つてさんのあざごすおまちうに「まちまぶ」「こまやくる」女めうつうちぐぐされんひろげ 図

らせてばなけれすぐけずむすまへおあまりくあがくせまのひそりまくだくりとゆをくきそゆびきぞらくきてぶつごなり


つゞき
与吉
与三六
ひこれ
くる
さう
きも
まつぞれ
いぞ
きつそ
まやう
ざきれ
えうり
けん
ぶうす
さまに
すゑ広
まつ世
まつずみ
てよ
みうき
てかまに
みきりめんく
つのえ
その
▲させきら
▲まさ
しまさの
甘茶す
●きまりわる
うちゑん
まつ二三
人に
次へつゞく



つぎにくろざうりいうでふせうさきにおせんがくさうりの
めつぶりにさちらくところとあわゆくかひきうき
おまいませぬとさびしうかすがゞすぐに
こゝろのうちのる
てふるふこゝろを
うけ「できごく
こゝろのゆんの
あんでにいれか
これよりすぐに
あともて「ここと
いきさまりしその
のちにふぎく
さうとてよい我せい
めづらしざのさか
おそそぶちらく
めでつかれくご
ざるなる世てよき
がかはそのねがひ
「こゝやらいふすに
をあきのをめ「おとものようの「ばり
「まづ此わんハこれぎり
めでたく
種彦

「御かほのくすり」
美艶仙女香 一つゝみ 四十八文
[illegible]
弘所 南てんま町三丁目いなりしんみち

坂本氏

柳亭種彦作

歌川國貞画

彫刻 江川留吉

傭書 藍庭晋米